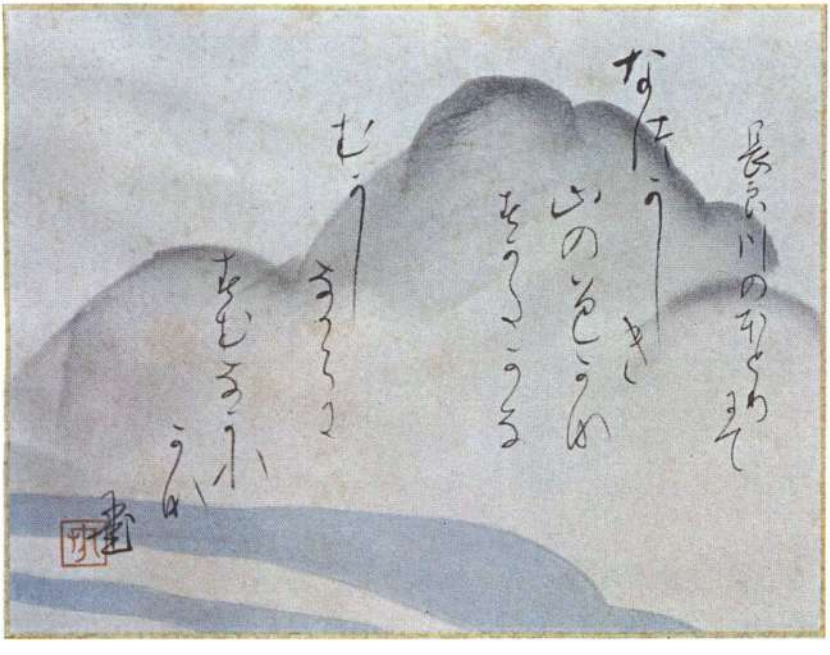
金華小百年

金華小百年

内閣総理大臣　田中角栄



長良川のほとり
にて

なつかしき
山の色かな
すがたかな

むかし
ながらに
すむながれ
かな

玉堂

川合玉堂画伯

本名　川合芳三郎（明治六年十一月生）
出　身　地　愛知県葉栗郡外割田
明治十四年　岐阜町米屋町へ転居
明治十五年　岐阜学校卒業
明治二十年　望月玉泉（京都）に師事
明治二十二年　玉堂と号し第三回内国勧業博覧会に入選
明治四十年　文展審査員に任ぜらる
昭和十五年　文化勲章を受ける

記念誌の発刊について

創立百周年記念事業実行委員長　若井秀一

岐阜市発祥の地に誕生した金華小学校は、本年を以って創立百周年を迎えました。その間、学校は大観舎（のちに岐阜尋常小学校となる）に、有道義校（のちに富茂登尋常小学校となる）が合併したり、校名も幾度か改称いたしましたが、歴代の名校長のもとに、たえず県下の模範となる教育を続けてきました。この栄光に輝く伝統を次の世代に伝えるべく、創立百周年の記念事業の１つとして本誌を発刊することに致しました。

本誌は、岐阜町から岐阜市へと、そして岐阜市が次第に発展するなかでの校下の実状を明らかにし、又移り変る教育制度のもとで、学校がどのような教育目標を立て、研究を進めたかを中心として、その目的の為に実施した学校行事の記録や写真と、それを支えた先生と学級一覧表とを年度毎に掲げ、百年間の本校の教育の歩みを明らかにしようとしたものであります。その間には数回にわたる災害を蒙りながら、不死鳥のように立ち上り、試練を乗り越えて、名誉ある校史を築いてこられた先生方や諸先輩の努力に深甚なる敬意を表するとともに、未来に向ってよりよい学校の実現に決意を新らたにすることを念願するものであります。

本誌の発刊に当り、企画、編集に努力されました編集委員の方々をはじめ、貴重な資料を御提供賜わりました皆様方に対して、深く感謝申し上げる次第で御座います。

空より見た校下風景

目　　次

			頁
題　　字	内閣総理大臣	田中角栄	
記念誌の発刊について	創立百周年記念事業実行委員長	若井秀一	
校　　歌			1
挨　　拶	岐阜市立金華小学校長	吉岡　勲	2
祝　　辞	岐阜市長	上松陽助	3
おちついた、たしかな教育を	岐阜市教育長	戸本　貢	4
百周年を祝して	金華小学校同窓会代表	桑原善吉	5
校下挙げての喜びを	金華広報連合会長	後藤喜八	6

年度	記事	頁
明治時代の概観		7
明治初年	岐阜町	9
〃	岐阜町の教育	11
〃	日本国中に小学校を作ろう	12
6	大観舎・有道義校の設立	13
〃	岐阜町の治安	16
7	金華学校・伊奈波学校	17
〃	小学校が県内に設立された	18
〃	川港と商業	20
11	岐阜学校・富茂登学校	21
〃	公立小学校となる	22
19	岐阜尋常・富茂登尋常	25
〃	尋常科・高等科となる	26
〃	岐阜市となる	28
24		29
25	消防と濃尾大震災	31
26	幼い頃の富茂登	33
27	岐阜尋常の昔を偲びて	35
28	官令綴	37
29	実地授業術の研究	39
30	商工会議所ができる	41
31	富茂登の回想	43
32	伊奈波通りの繁栄	45
33	義務教育4ヶ年となる	47
34		49
35	道路と橋ができる	51
明治36年	訓練事項	53
37	休日日誌	55
38	卒業児童名簿	57
39	岐阜尋常の頃	59
40	義務教育6ヶ年となる	61
41		63
42		65
関谷先生の教育	富田幸治	67
43		69
44	移転前後の大工町	71
大正元年	発展する岐阜市	73
2		75
3	遊びと行楽	77
4	我が学校の火事	79
5		81
6	大正の好景気	83
7	児童の服装	85
8	米騒動余波	87
9	角力と運動会	89
10	林間聚落始まる	91
11	校下に電車が走る	93
12		95
13		97
14	夏季学校聚落始まる	99
昭和元年		101
2	おさない頃　長屋一男	103

年度	記事	頁
昭和3年	血を湧かせた少年野球	105
4		107
5		109
加藤先生の教育	柳原憲一	111
本校の映画教育	河合佐治	112
6		113
7	陸上の想い出…河野末子	115
8		117
9	校地・校舎	119
10		121
11		123
思い出の糸をたぐりて	梅沢英造	125
12		127
13		129
14		131
15	銀杏の研究	133
16	金華国民学校となる	135
17		137
18		139
19		141
20	終戦直後の教育	143
後藤校長時代の教育	朝居稚夫	145
育友会の発足	浅野久蔵	146
私の思い出	松井太郎	147
会長就任時の挨拶	桑原善吉	148
21	新教育の胎動	149
22	6・3・3制となる	151
23		153
24		155
25		157
26	自由研究の時間がなくなる	159
27		161
金華八年、よき八年	鷲見臣一郎	163
鉄筋校舎の完成	中川好太郎	164
28		165
29		167
30		169
昭和31年		171
32		173
33		175
34		177
35		179
たくましい子どもを	林　貞二	181
ＰＴＡ活動のあり方	丹羽清二	182
36	道徳の時間ができる	183
37		185
38		187
雑草のように強く	太田武夫	189
楽しい想い出の数々	船戸茂雄	190
39		191
40		193
41		195
42		197
思　い　出	松田善逸	199
想　い　出	林　義栄	200
43		201
人造りと環境造りに思う	居波重邦	203
体育館建設について	若井秀一	204
44		205
45		207
ゆくてを望んで	吉岡　勲	209
46	クラブの時間ができる	211
47		213
	校地・校舎	217

＊　＊　＊

沿革年表		218
歴代職員		223
歴代校医・薬剤師		239
歴代ＰＴＡ役員		240
歴代金華児童愛護会役員		242

＊　＊　＊

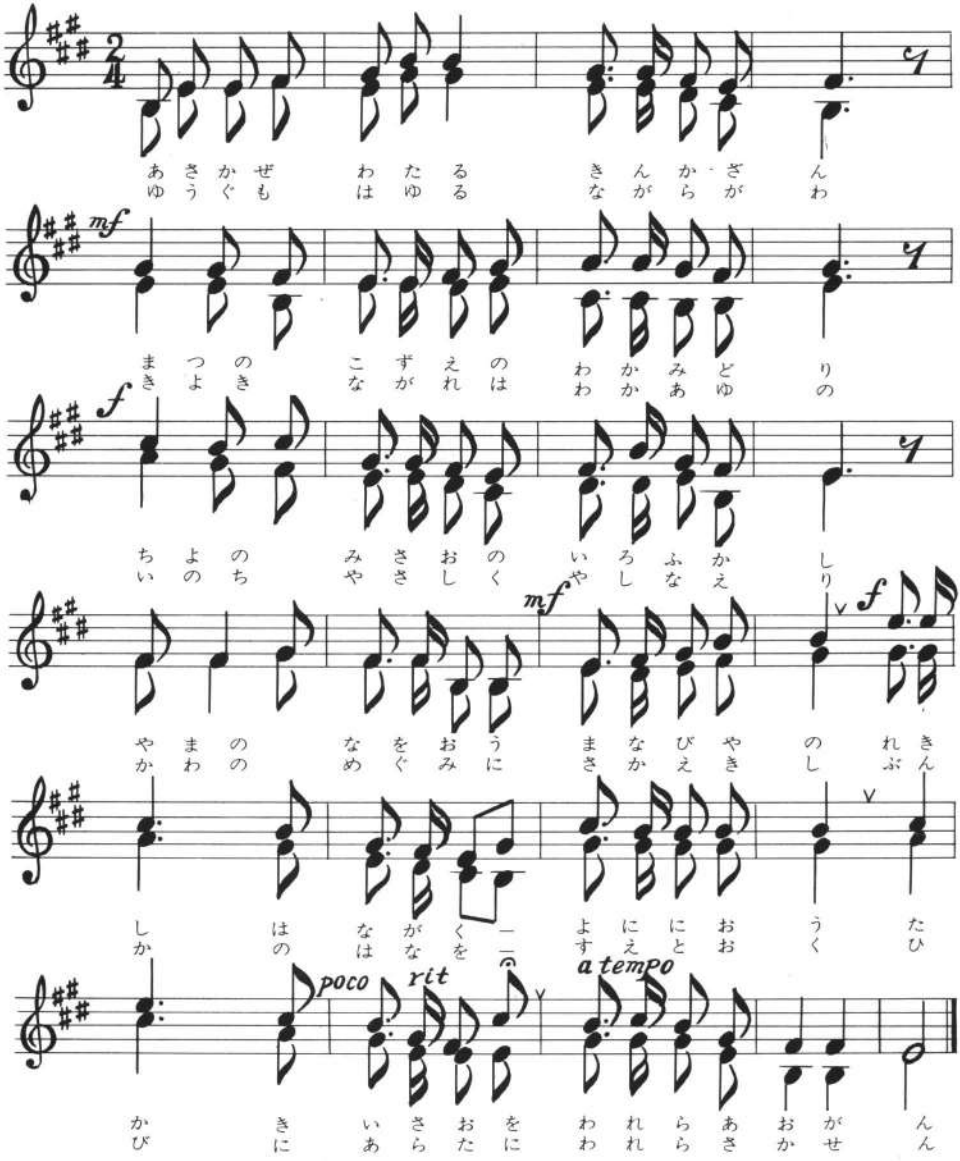
編集後記		243

創立八十周年記念
昭和28年2月26日制定

校　　歌

♩＝88　あかるく、さわやかに

各務虎雄　作詞
河野信一　作曲



挨　　拶

岐阜市立金華小学校長　吉岡　勲

わが金華小学校が創立百年を迎えました。学制発布を契機に雨後の竹の子のように小学校が発足したが、多くは従来の寺小屋の看板を書き直した程度だった時に、わが校は尾州藩の岐阜町奉行所だった建物を利用して堂々と出発した。まことに異彩を放った門出であったが、爾後、岐阜市の最も伝統をほこる小学校として、旧岐阜町を校区として、ひとすじに発展してきた。歴代の校長に人を得て、それらをとりまく職員は意気高らかに団結してきた。校区の人々は学校に期待をよせ、自分たちの学校として、つゝみ育ててこられた。そうした事実が年々つみあげられて今日に至ったのである。

歴史をたたえるというのは、過去の華やかさにひたることではなく、あゆんできた事実の重みに明日の責任を自覚することの謂でなくてはならない。私どもは、いま百年のよき日にはからずもめぐり合ったのであるが、150年さき、200年さきを目ざして、その日がきた折、101年はすばらしいあゆみであったと回想される金華小学校をいま築いてゆきたいと思う。それはよりよい児童の育成に懸命になること以外にはない。私どもは覚悟を新たにして、百年の喜びを喜びとしてうけとめながら、児童と共にがんばりたいと冀うものである。

体育の学習にはげむ子どもたち

正門より校舎を望む

祝　　辞

岐阜市長　上松陽助

明治五年、わが国最初の教育制度としての「学制」が頒布されて以来、百年の歳月を経ました。この百年はなんと激しく厳しい百年であったことでしょう。

明治維新を成しとげ、近代日本を築きあげようと激動の嵐の中を生き抜き、東洋の島国から国際社会に登場していった祖父たちの時代、　大正デモクラシー、第一次世界大戦を経て国際的地歩を確立した父たちの時代、　満州事変、日中、第二次世界大戦と過酷な戦争の時代を生き続けてきた兄たちの時代、　廃墟の中から新生日本と民主主義建設のために、新しい憲法を制定し、平和の崇高な理想を掲げて国際社会に復帰するために貧しいけれども希望にもえていたわたくしどもの時代、　どの時代をとっても、いつも、第一にたいせつなものは「教育」でありました。生きる知識の種子をまき、困苦に耐える知恵を育て人間同志が信じ合う力を鍛えてきたのは「教育」でありました。

その「教育」の場が、今みなさんが創立百周年を祝賀されているみなさんの「学校」でありました。百年の風雪に耐え、みなさんがそこで学び守り育ててこられたその学校なのであります。こういう祝賀に参加できるわたくしは本当に幸福であると信じます。わたくしは、わたくしどものこどもに、人間の幸福と世界の平和のために役立つ知恵と勇気を、この学校で学ばせたいと念じます。

ここにみなさんの学校の創立百周年を心からお慶び申し上げると同時に、この厳粛な選択によりいっそうの英知を傾け合う覚悟を新たにして、百周年のお祝いのことばといたします。

おちついた、たしかな教育を　岐阜市教育長　戸本　貢

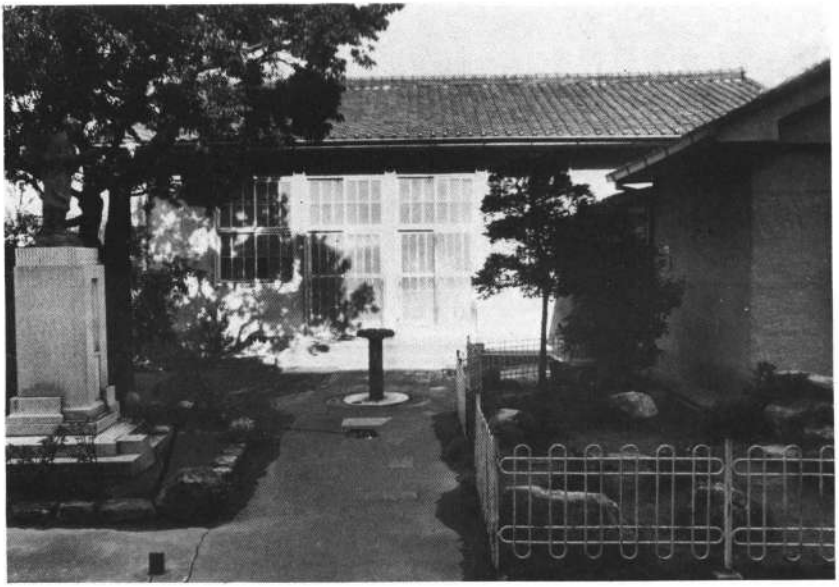
金華校下は岐阜発生の地ということもあってか、わたしども市近在に生まれた者は、小さい頃から金華小学校は市内で最も由緒ある学校のようで、一種のあこがれのような感じを抱いていたことを覚えています。

大観舎という校名に、子弟教育の熱意と希望をこめて出発させた当時の方々は、単に学制が発布されたからつくったというだけでなく、維新の新しい日本を、教育によって進めようという強い願望があったことと信じます。

明治30年代に、すでに就学率90数パーセントということは、全国民に初等教育が普及し、これが国力を躍進的に発展させてきた原動力であることは、内外とも認めているところであります。インドの故ネール首相も「日本に学ぶべき最大なものは、普通教育の普及である」と言っています。

金華小の校下は、教育をたいせつにされてきた地域であります。しかも家庭教育と学校教育が同じ基盤でしっかり結びつき、おちついた、たしかな教育が進められてきた土地であると思っています。百年を迎えた今日は、激変続く世の中で、教育にもむずかしい問題が山積していますが、みなさまの力により、この輝かしい伝統の金華小が、いよいよ発展することをお祈りいたします。

稲荷山より見た学校全景



図書館とその前に立つ　二宮金次郎像

百周年を祝して

金華小学校同窓会代表　桑原善吉

私達の母校である金華小学校が生まれて、ここに百年ということである。

この間は、明治維新から今日まで、日本の近代国家への歩みの歴史である。私は明治41年当時長良川畔にあった、富茂登尋常小学校に入った。それから3年生の時、この富茂登学校は米屋町にあった岐阜尋常と合併して今の大工町に、岐阜尋常として新築された校舎に移ったのである。思えば随分遠い昔のことである。

先年80周年記念の時、たまたま私はＰＴＡの会長をしていたので昔を偲んだものである。その時、将来の教育のために、皆さんの意見が一致したので校下で記念事業として図書館を建てた。この図書館に昔の本校出身である川合玉堂画伯に御依頼して富士の麗峰を揮毫していただいた。

その意味するところは「少年よこの富士の如く清く高い理想を持って進みなさい」ということを今後巣立って行く幾多の少年少女諸君に望みたかったからである。

今や日本は民主的平和的文化国家、福祉国家を目ざして進んでいる。教育も勿論そこに基礎を置いて進められている。何んと云っても教育は国の礎となる一番大切なことであるから、この機会に平素の考えの一端を述べてみた次第である。

校下挙げての喜びを

金華広報連合会長　後藤喜八

なつかしい私どもの母校、金華小学校が創立百周年というめでたい年を迎えまして誠に感慨無量なものがあります。

私の一番古い記憶は、明治天皇の御大葬の遙拝式の時、夜の堤防を提灯をともして竹藪の横を通って学校へ行ったことであります。

それから4年生の頃、校舎の全焼で明徳小へ臨時通学・その後いつだったか大風害で屋根が吹き飛んで校舎が傾き、つんばり学校になったこと・岐阜の大空襲には、奇蹟的に校下がほとんど焼け残ったこと・戦後、はじめて校下市民の集いがありました頃、校下民の総意をもって、校舎の鉄筋改築を、当時の東市長にお願いしたこと・育友会というものができて、故人の浅野久蔵さんが会長になられ献身的につとめられたこと・80周年記念には桑原さんが会長になられ、図書館建設など大事業をされたこと・続いて待望の改築工事が五年間もかゝって漸く今日のようになったことなど……思い出はつきません。

ただ、私どもは、昔から岐阜一番に古い伝統をもつ誇り高い学校として、校下民が学校を大切にし、常に協力一致、学校のために尽くして参りましただけに、この百年の年輪の厚みにひとしおの感慨と深い喜びを感ずるものであります。

こゝに金華小学校百年のあゆみの記念誌発刊に際し心からなる祝意を捧げるものであります。

東より校舎を望む

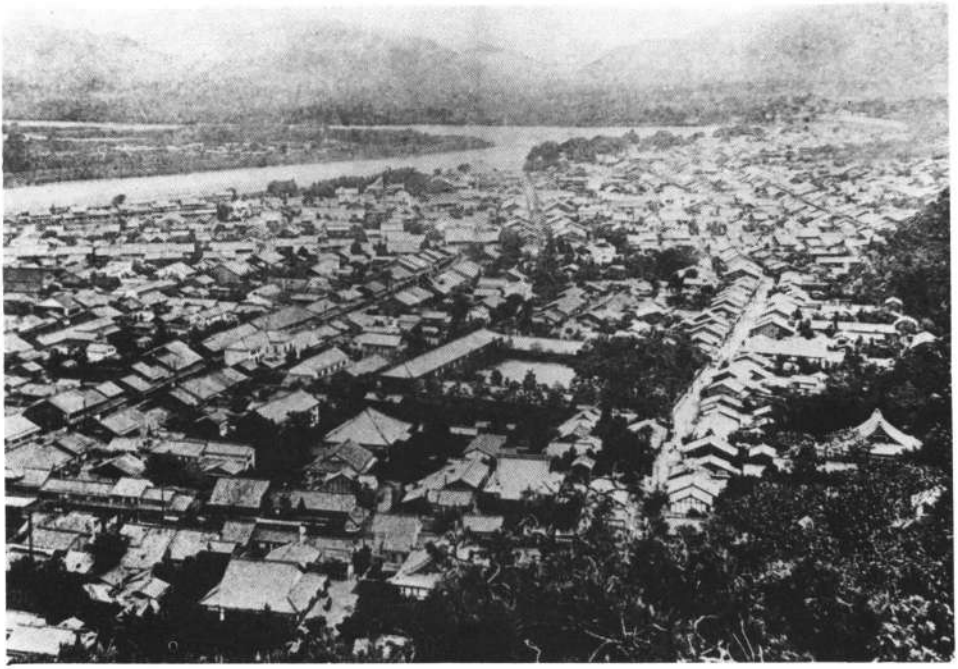
明治時代の概観

本校は明治6年2月創立した大観舎（後の岐阜尋常小学校）に同年同月創立した有道義校（後の富茂登尋常小学校）が合併して、今日に至ったのである。2校の校区は現在の本校の校下を二分し、大観舎は今の東材木町・上大久和町・今町3・4丁目より西、有道義校は今の今町1・2丁目・益屋町・大仏町・梶川町より東である。

富茂登尋常小学校の校地は、現在の港館の西、公園から長良川へ抜ける道路の東、小運動場の北にあって、長良橋から納涼台に通ずる道路に面している。震災後の校舎はペンキ塗りでガラス窓の外に鎧戸のついた和洋風の一部二階建の平屋で東西に建っている。校舎の南は運動場でその南は金華山麓の藪や林に続いている。校舎の北側に正面玄関があって、道路の向うの長良川を上り下りする白帆や長良橋の上をコトコト通る馬車がよく見える。

岐阜尋常小学校の校地は末広町の西に沿い、間之町より東へ稲荷神社へ通ずる道路の南、南北に流れる用水路から東、裁松寺の北にはさまれた一帯で、米屋町から東へ入る道路が正門通りである。その正門通りを米屋町から東へ向いて入って行くと、用水路をわたり、正面に南北の中舎が見え、中舎の北端と南端から東へ北舎、南舎と続いている。三つの校舎はコの字の形をしていて、正門から見ると中舎の裏が運動場である。運動場の東は垣根を越えて末広町の南北の通りで、その向うには伊奈波の北の山が聳え、子供達の黄色い声をはねかえした。

明治42年の岐阜尋常小学校　　権現山より北を望む



明治新政の国是である五箇条の御誓文の一つ「智識を世界に求め、大に皇基を振起すべし」を具現し、それにはすべての国民に教育をと、明治5年学制を公布し、12年に教育令、13年に教育令改正、19年に学校令を、次から次へと公布した。これらは理想から現実へ、外国のまねからわが国の実状へと改正したのである。そして明治23年教育勅語が出るに及んで、教育の基は確立し、義務教育年限も明治33年に至って4ヶ年と明確になり、40年に6ヶ年に延長した。明治時代は一口に云うと教育制度確立の時代である。

明治の初め、町人の町岐阜では学問の不要を唱える者が多かったが、町の先覚者達は小学校と同時に中学校も創設したり、就学の勧誘に努めるなどしたので、次第に教育に対する理解も深まり、宏大な校舎と多数の児童を擁するに至った。又明治6年に県庁ができ、明治22年に市制をしき、今までの商業経済の中心に政治の中心を加え、岐阜市は飛躍的に発展を遂げた。岐阜尋常小学校も町の繁栄、市の発展と共に成長した。市になってからも、市が教育に対する熱意は大変なもので、第2代～4代の堀口有一市長は恒例の学務委員達との学校巡視は勿論の事震災後の校舎建築下見分のため明治26年度中に四回も訪問し、明治35年には表門が石柱、鉄扉に改造したのを服部助役を従えて見に来ている。

このような校下の熱意に応え、教育制度が変るにつれ教授内容も変ることに対処して、岐阜尋常小学校では、毎年盛んに全校研究授業とその批評会を行っている。特に義務教育が四ヶ年六ヶ年になった前後の年は全校研究授業、批評会は勿論の事、各学年でも同様に、学年研究授業、批評会を行い、教授内容と教授法の研究をしている。又1・2学期末には小試験、学年末には大試験を行い、それぞれ5日間か6日間を費している。大試験に合格しないものは卒業ができないので追試験を行い、それに合格した者は4月末に卒業している。遅進児に対して、明治35年度では12月1日より毎週月水金の3回、授業後20分間特別教授をしている。通知表は明治24年10日5日から採用して、保護者との連絡に使っている。教具は新しい物を思いきって採り入れ、明治26年に舶来の風琴、32年にフットボール、34年に鈴木バイオリン、38年にオルガンを購入した。又辯論にも意を用い、明治34年11月25日よりあとの全校朝礼では、児童を呼び出し、5分間以内の談話をさせたり、1・2年（男・女）3・4年（男・女）の四つに分け同様に談話会をしている。

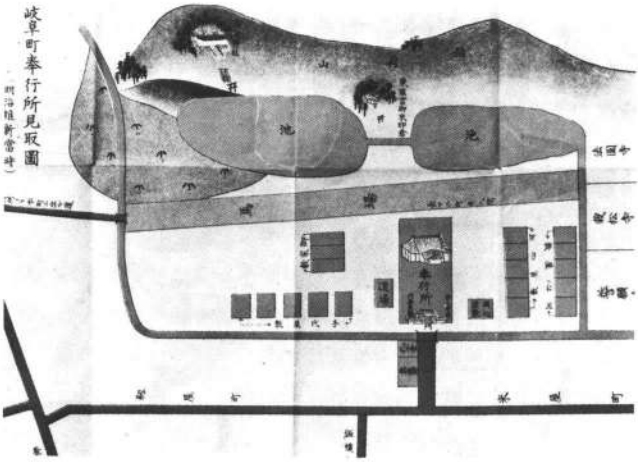
明治の終りになると、生活指導が盛んになり、明治36年からは月の訓練事項を決めて行っている。保健指導についても、明治31年の夏休み直前に衛生心得を児童に配布したり、38年にはトラホーム患者に受療証明票を渡したりしていて、その熱意の程が伺える。又明治33年には郵便切手貯金法を奨励し、同台紙を児童に配布するなど貯蓄について指導をしている。

明治時代の本校の教育は、世界の列強の国々に追いつくため富国強兵を旗じるしとし、そのための国民教育を念願とした国の方針に沿い、努力を重ねている。その中には教育の目標や指導の方法の研究が次第にふみ固められ、生活、保健等各指導の萌芽を見ることができる。

明治初年

岐　阜　町

明治元年まで岐阜町は尾張藩が支配していた。今の末広町には岐阜奉行所が置かれていたが明治2年、藩籍奉還が実施されると廃止となり、名古屋県北地出張所が設けられ、明治4年の廃藩置県により、岐阜町・今泉村・小熊村・古屋敷新田（今の松ヶ枝町・大宮町・松下町・木挽町・上茶屋町・下茶屋町山口町・益屋町）　中河原新田（今の湊町・玉井町・元浜町）は、名古屋県の配下になった。しかし、同年美濃国の諸県を廃し、これを統一して岐阜県とした。



岐阜町奉行所見取図　　明治維新当時

明治6年、県庁が笠松より今泉村(今の司町の辺り)に移り、名実ともに県政がスタートした。県は、行政区を12大区（郡）、175小区（町村）に分割統治することとし、岐阜町は、第1大区（厚見郡）に入り、第1小区（本町以北23町）、第2小区（米屋町外24町）に分けられた。また、第3小区には、今泉・小熊・古屋敷新田・中河原新田、第4小区に上加納村が所属した。各小区の行政は、土地の有力者の中から官選された戸長、副戸長によって推進されることとなった。岐阜町では、旧奉行所前の集議所（上図）が戸長役場とされた。戸長・副戸長の職務は、戸籍帳・明細帳その他の作成管理に当り、今の役場の仕事をした。

明治5年にできた壬申の戸籍による岐阜町は、960軒、3,538人である。この中、若松町は全体、上竹屋町・大和町・松屋町・矢島町は半数以上が借家住いであり、いわゆる横町の長屋住いの人々と、旧来からの資産家の二階層で、岐阜町は成り立っていたのである。

明治8年、古屋敷新田と中河原新田が合併して、富茂登村、忠節村と明屋敷村が合併して、稲東村ができた。

明治12年には、大小区制は廃止され、郡・町村単位の行政に移った。伊奈波には、厚見郡の郡役所が置かれ、各町村（岐阜町・小熊村・今泉村・稲東村・富茂登村）ごとに、戸長役場が

明治12年町村予算

町村名	収入	支出	戸長名
富茂登村	278円035	203円770	松橋喜三郎
岐阜町	2204円928	2372円780	堀田九郎三
今泉村	660円025	632円151	小川汲三郎
小熊村	269円080	226円787	端山忠兵衛
上加納村	430円325	428円262	篠田　太蔵

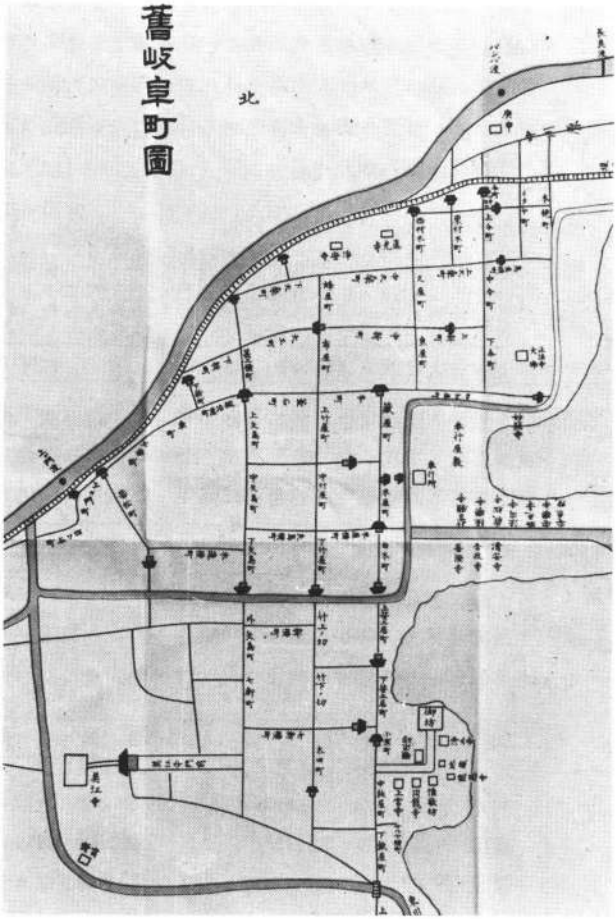
設置され行政と区画の整備がほぼ今日的になった。

このように全県的行政機構の改革が推進される中で、岐阜町は、諸官衛の所在地ともなり、政治面は言うまでもなく、経済、文化の中心として県下に君臨することとなった。

こうした気運の盛り上がりの中で、明治17年、岐阜町を中心とした、周辺5ヶ村は将来の発展を期し、米屋町外54ヶ町村の連合役場をつくることとなり、事実上の岐阜市の成立をみるに至った。

当時の町村ごとの収支を見ると、岐阜町が群を抜いている。岐阜町は、信長以来の城下町として発展して以後、尾張藩統治の間、加納町に比し低滞はしたが、伝統的な商人町としての素地は消え去らず、維新後は、県庁の移転に伴い、往時の力を回復し、町村合併に当っても、その中核として貢献したのである。

旧岐阜町図



明治初年

岐阜町の教育

明治5年学制発布以前の岐阜町には、統一的な教育機関はなく、藩立の教倫館と私塾、寺子屋とが藩士及び町民の子弟の教育を受けもっていた。

岐阜教倫館

岐阜町はもと尾州藩の管轄であった。定まった学校もなかったので岐阜町奉行、遠山彦四郎が尾州藩に願い出て、慶応4年（明治元年になる年）名古屋藩立岐阜学校という寺子屋式の学校を設立した。教室は奉行所構内の町会所を利用することとし、教倫館と名づけた。士族の者は少なかったので、町民の子弟も入学を許可して和漢の学科を教えた。教授には名古屋の人、鷲津毅堂を教頭とし、林三益など岐阜の学者がこれに当った。又開校と同時に町会所の東の空地に、南向きに三間に四間位の堂を建立し、その中に孔子を祀て子弟に参拝させた。生徒の数は150名にも及んだが、明治4年廃藩置県と同時に廃校となった。その際に孔子堂も取りこわした。

私塾（参考のため明治以前のも列記した）

儒者の私塾で教科は漢学が多く、四書・五経・十八史略・史記・国史略・日本外史の類を教科書として教えた。又国典を教授するものもあった。岐阜町には下記の私塾があった。

塾主氏名	身分	所在地	教科	開業年間	生徒数	調査年
林　三益	医師	笹土居町	漢学	安政～慶応	男 35	明治元
賀島重遠	平民	靱屋町	漢学	弘化2～慶応元	男 60	慶応元
高木真蔭	医師	中新町	皇国学	慶応元～明治9	男 20	明治4

寺子屋

庶民の教育機関で、習字を主とし、読書・作文・算術・修身等を教え、日常生活に役立つことを目的とした。岐阜町には下記の寺子屋があった。

教師氏名	所在地	開業年間	生徒数
鈴木　嘉市	矢島町	不　詳～明治4年	110
豊田　秋為	中竹屋町	天保5年～明治5年	200
日比野ミツ	加和屋町	天保12年～明治5年	200
矢島　作吾	中新町	弘化3年～明治5年	90

日本国中に小学校を作ろう

明治元年3月14日、明治天皇は紫辰殿にお出ましになり、五事を天神地祇にお誓いになり居並ぶ公卿諸侯に公表されたのである。この五箇条の御誓文は明治新政の進むべき大道である。その一つ「智識を世界に求め大に皇基を振起すべし」を教育上に実現するのを目的として、その精神については太政官布告を出し、その具体的方策としては学制を発布した。このようにして今まで藩校・私塾・寺子屋とまちまちであった教育制度を学制によって一本化し、各地に小学校・中学校や大学校を創設することにした。

太政官布告　214号　明治5年8月2日　その一節

自今一般の人民必ず邑に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん事を期す

学制発布　明治5年8月3日　文部省布達第14号　（109章よりなる）

- 学区　大学区　全国を8大学区に分けて学区毎に大学を置く。明治6年7大学区に改正
  中学区　1大学区を32中学区に分け、学区毎に中学校1校を置く
  小学区　1中学区を210小学区に分け、学区毎に小学校1校を置く
- 督学局　督学本局（文部省に置く）　督学局（大学に置く）
  学区取締　中学区毎に学区取締10名位を置いて、中学区内の小学校を分担する。
  学区取締は名望ある者を地方官が任命し、学校設立、就学勧誘を任務とした。
- 小学校　下等・上等の小学を各々8級に分け、毎級の期間を6ヶ月とした。
  下等小学は6才より9才、上等小学は10才より13才までに卒業するとした。
  1級毎に必ず試験を行い、合格しなければ進級できないとし、又小学校卒業の時は大試験を行い、合格者は卒業ができた。
- 経費　民費によるのを原則としたので、授業料を徴収し、経費の大部分に当てた。民力の足りない学校へは国より一人当り9厘の割合で補助金を出した。

岐阜県の学校設立計画　学制発布により下の通り学区を定め学校設立計画をたてた。

大学区	中学区		小学区		区域の郡
本部	明6、4	明7改正	明6、4	明7改正	明 6、4、15
愛知県	第1	30番	210校	229校	厚見・各務・羽栗・中島
	第2	31番	233校	249校	海西・不破・石津・安八・多芸
第2	第3	32番	165校	168校	席田・方県・大野・池田・本巣
大学区	第4	33番	215校	235校	郡上・武儀・山県
	第5	34番	231校	228校	可児・土岐・恵那・加茂
（計）	（5）	（5）	（1054）	（1109）	

明治６年　本校の創立（大観舎・有道義校の設立）

明治５年に学制が発布されたので、岐阜町では明治６年２月、米屋町の旧尾州藩役所を仮校舎として開校し、大観舎と称した。大観舎の開業願書は下記の通りで、その当時の教科・教授内容等を知ることができる。

一方、富茂登村では明治６年２月７日、有道義校を設立した。設立責任者は土地の有力者、桑原善吉で、教師３名、生徒は男子65名、女子50名である。

岐阜町小学義校開業願書

第１条　学校位置　　岐阜県管下第二区厚見郡岐阜町六番地所旧役所を当分拝借、大観舎と唱え、是を小学本校とし、第一区岐阜町四番地所普賢寺仏堂を借り啓蒙北舎と唱え、第二区岐阜町一番地所善澄寺仏堂を借り啓蒙南舎と唱え、以て仮小学支校とす。

第２条　学校費用の概略

本支学舎年内営繕料　　凡 100円　　教師年給　凡 798円

小使人年給　　凡　48円　　雑　　費　凡 170円

生徒受業料（生徒凡 600人　一人に付50銭）　　凡 300円

戸数割（校下戸数1392戸　一戸に付２銭）　　凡　27円84銭

第３条　教員履歴　洋学数術　当県貫属　士族　村橋次郎　　皇学兼筆学　日比野大四郎

支那学　　岐阜県　　平民　林　三益　　右の余助教８人補之

第４条　教師給料　凡教員３人　年給 432円　　助教８人　年給 366円

但即今定むる処、斯の如しと雖ども、将来盛大に至らば給料増益ある可し

第５条　学科

習字、修身、地学、理学、史学、外国語学、博物学、数学、幾何代数学、罫画学

教則　　文部省教則に奉準すと雖ども暫く之を斟酌する事左の如し。

	第１６級	第１５級	第１４級	第１３級	第１２級	第１１級	第１０級	第９級
習字	習字初歩	岐阜町名	人　名	三枚高札	美濃郡名	内国名尽	府 県 名	商売往来
暗誦	月 大 小	エ ビ シ 二十六言	五 十 韻	英学入門	会話十言	四段活用	神拝詞記 五 祝 詞	会　話 三 十 言
読書	学問すゝめ	童学入門	大　学 中　庸	孝　経	智恵の環	地学事始	究理図解 天変地異	論　語 究理発蒙
算術	命　数	位 名 字	加　法	減　法	乗　法	除　法	分　数	比例大意

	第8級	第7級	第6級	第5級	第4級	第3級	第2級	第1級
習字	消息往来	諸国郡名	世話千字文	万国往来	諸券帖	公用文 女今川	漢千字文 女大学	即題 手束
暗誦	万国名尽	会話 五十言	年号	帝号	万国旗章	会話 七十言	会話 百言	会話 百五十言
読書	孟子 勧善訓蒙	博物新編 補遺	書経 化学要略	気海観瀾 詩経	十八史略	化学訓蒙	理学日記 経済小学	国史略 英氏経済書
算数	諸等数加	加減乗除	分数	比例	帝用の雑法	求積	開平術	開立術

塾則　1．午前7時入塾、第12時退食、午後第1時入塾、第4時退休の事

1．塾則を犯し怠惰放逸の生徒は罰科あるべき事

1．出精勉励の生徒には褒賞すべき事

1．塾中監視を置生徒勤惰を正さしむる事

1．塾中在来の書籍は生徒へ貸べき事　但監視定則の通可心得事

1．疾病或事故ありて退塾5日以上に至らば父兄これを届出べき事

1．寄宿望の生徒あらば其請に任すべき事　但寄宿生2人扶持の外学校入費担当に出す

1．年内休業日　伊勢神宮御祭日　神武天皇御祭日竝御即位日　孝明天皇御祭日

天長節　伊奈波社祭日（3月28日～30日）　日曜日

開塾1月8日、7月18日　　閉塾7月7日、12月20日

右の外時宜により休業可申付事

前件箇条未た全備ならず経験漸次正則に馴致すべき事。

右の通開業仕度此段奉願上候也。

明治6年2月　　第2区　岐阜町

副長試補　服部太助　　同断　馬島維基　　副長　加藤与三郎

同断　出口利純　　同断　高橋善太郎　　戸長社長　加島勘蔵

第1区　岐阜町

副長試補　箕浦宗吉　　同断　柴田四郎兵衛　　副長　市橋喜佐衛門

同断　野田文柄　　同断　村瀬宗平　　戸長社長　堀田九郎三

長谷部岐阜県令殿

前書の通願上候に付奥印仕奉差上候

厚見郡学区取締心得　　里見龍三

私学開業御差許相成候事　県印

明治６年

大観舎　　有道義校

学制によって設立された小学校の教科内容は、それまでの藩校や私塾、寺子屋で教えていた漢学・国学・読みかき・珠算も入ってはいたが、主として欧米、特に米国の教科内容をとり入れた。これに対して各方面から猛烈な非難の声が出たが、中でも農民や町人からは難しい事や沢山の漢字など覚える必要はない、読み書きができれば暮しに充分だなどといって、進んで就学する者は少なかった。

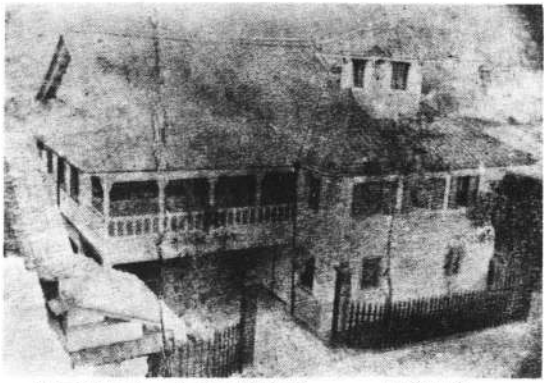
町人の町、岐阜においても上記の全国的風潮を反映していた。その頃鞍屋町に本を売る店があったが、店頭で本を覗く者は身代を破滅させると、町人がわが子をいましめたといわれている程である。このような考え方は根強くて、明治の終り頃までなかなか消えなかった。しかしこういう世相の中で敢然と小学校は申すに及ばず、それと同時に仮中学（遷喬学校、後の岐阜中学校、今の岐阜高校）の二校を他に先じて設立し、就学を勧誘し、施設、設備を拡充した先覚者の尽力は大変なものであった。

小学校、遷喬学校はともに、米屋町の旧尾州藩役所を校舎として発足した。小学校と遷喬学校とは、遷喬学校が今泉村（今の司町）に移転する明治10年５月19日まで校舎は異にしていたが、校地を共にしていて、岐阜町民の教育の殿堂であった。

大観舎第８級（今の５年生前期）の読書の教科書
中は西洋の話を翻訳したものである

岐阜町の治安

明治前半期は、近代日本の基盤づくりの時代であり、行政、司法等各般にわたり改革が行なわれた。国力の増強を目的とした殖産興業と徴兵制とが主柱であり、岐阜町においては、稲葉山は軍事上の重要拠点として、陸軍省の直属となり、岐阜町は一地方の中核のみならず、対内対外両面にその重要性を増したのである。



米屋町にあった岐阜警察署　　明治15年

しかし、維新による政情は、必ずしも安定せず、国民生活の動揺も各地でみられた。明治6年、納税不満による一揆が桑名で起り、その波は竹ヶ鼻村まで押し寄せ、岐阜町も不安に戦いた。幸い乱は竹ヶ鼻村で鎮圧されたが、その任を果したのは、番人（巡査）であった。当時、岐阜町の米屋町、賀島勘右衛門宅に、取締第1番岐阜局が設けられていた。後に、戸長役場に移転し、学校、役場と共に併用していたが、火災で焼け、明治7年、伊奈波入口に新築し、厚見郡一帯を管轄した。以後、世情不安に鑑み、治安体制は、出張所ー屯所、警察所ー分署ー交番所、岐阜署、岐阜警察所ー巡査派出所等と再三変更されたが、明治22年今沢町に移転するまで、米屋町は、県下治安の中心であった。

旧中教院玄関　　今の岐阜公園にあった

こうした中にあって、新しい国家建設の思想が諸政治家によって全国各地に啓蒙されていった。明治18年、自由党総裁板垣退助は、中教院（明治18年、千畳敷下に建つ）において、集った200余名の党員を前に、自由民権についての舌端火を吐くばかりの熱弁を揮った。帰途、相原某に斬りつけられたときの「板垣死すとも自由は死なず」の名言は、あまりにも有名である。氏の銅像は大正6年、有志で岐阜公園内に建設されたが、遭難の旧址は、石標をもって、その位置を示している。

明治７年以後　　金華学校・伊奈波学校　有道義校

大観舎を金華学校・伊奈波学校に改称

大観舎は、明治７年４月、元役所の南北校舎の両端に東西に渉る二階建の校舎を一棟宛新築した。三つの校舎はコの字の形をなしていて、中央の南北校舎を中舎、新築の北の東西校舎を北舎、新築の南の東西校舎を南舎と呼んだ。中舎は遷喬学校が使用した。新築の北舎、南舎は小学校が使用し、校名を大観舎から金華学校（南舎、男子）伊奈波学校（北舎、女子）と改称した。その時の金華学校の校長は吉田伝次、伊奈波学校の校長は説田孫三郎である。説田孫三郎は間もなく退職したので吉田伝次が兼任した。

今まで金華学校（女子）伊奈波学校（男子）の如く伝えられていたが、それは誤りである。現在、本校には大正２年度より昭和21年度までの学校一覧表が１枚も欠けず保存されている。これによると、大正２年度よりは、金華学校（女子）伊奈波学校（男子）と記してあるが、昭和９年度より訂正されている。それは昭和９年11月３日、その当時の金華学校長吉田伝次氏が来校し、その誤りを指摘し「金華学校（男子、校長吉田伝次）伊奈波学校（女子、校長説田孫三郎）説田孫三郎幾何もなく退職し、吉田伝次、兼任す」と紙片にかきその年の学校一覧表に貼布した。その後は終戦後まで訂正した通り正しく学校一覧表に記載されてきたが、戦後の記録は再び誤って伝えられて今日に至っている。これはその間の経緯がわからず、古いものは正しいとして大正の始めを転記した為であろう。創立百年に当り事の次第をのべ、再び正しく訂正するものである。

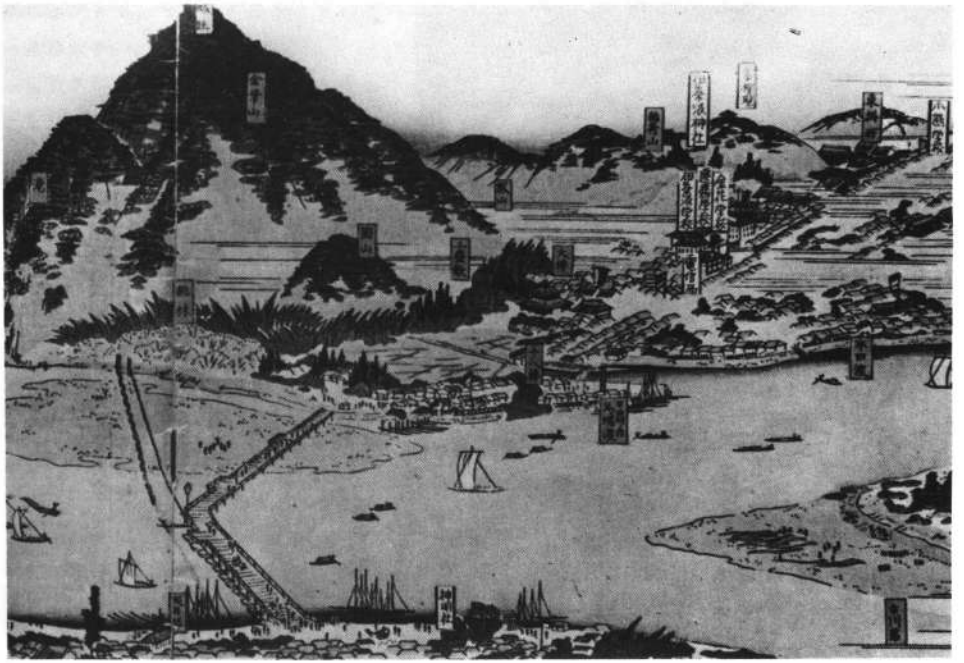
有道義校で使用した教科書、有道義校の印あり
今の１年の読書（修身）の本

小学校が県内にぞくぞく設立された

学制発布の当初は県民の教育に対する理解が少く、就学への関心もうすかったが、県の学校設立計画が明らかになり、学区取締や区長・戸長等の非常な尽力によって、次第に教育にめざめ下記のように県内各地にぞくぞくと小学校が設立された。しかしそこでの一番の障碍は経費であった。そこで本県ではその区内の富有者からの醵金を主とし、授業料の補助とで支弁するのを建前とした。授業料は一定していないが、1銭から5銭位の間であった。

年度	小学校数	児童数	年度	小学校数	児童数
明治6年4月	二百余校	(8年度までは美濃だけ)	明治10	655	67,395
6年10月	五百余校		11	653	63,962
7年3月	582	58,274	12	670	59,178
8年3月	588	56,931	13	678	59,583
8年度	581	55,380	14	683	76,387
9年度(飛騨を加)	662	57,480	15	689	92,778

岐阜町絵図　明治7年1月　　遷喬学校の南に金花(華)学校、北に伊奈波学校が見える



明治７年以後　　金華学校・伊奈波学校　　有道義校

本校の児童数等の統計が創立以来、明らかなのは、明治８年３月に行われた調査である。これによると本校の児童数、教員数は他校に比べ群を抜いて多数で当時の隆盛さがわかる。下記にその調査表をのせる。

（参考のため明治22年に市制施行の時、合併した村の学校ものせる）

校名	児童数	授業料	教員数	主者	位置
金華	457	5銭	男10	飯野忠一	岐阜町
伊奈波		5銭	男10	同上	同上
遷喬	75	50銭	男6	同上	同上
有道	115	1銭5厘	男3	桑原善吉	富茂登村
今泉	176		男5	坂井理兵衛	今泉村
三同	91	1銭	男1	山田儀佐衛門	稲東村
小熊	93		男4	岡本太右衛門	小熊村
徹明	240	1銭	男6	篠田祐八郎	上加納村

教科書（大観舎で使用のもの）
十八史略（四級―今の中一）
詩経（第五級―今の六年）
書経（第五級―今の六年）
論語（第九級―今の四年）

川港と商業

交通機関の未発達なこの時代、川は最大の輸送路であった。江戸時代より、中河原の港（土場）は、その中枢として活気にあふれていた。

木材の輸送は、殆んど川に頼っていた。上流の郡上・板取方面より筏で運ばれた原木は、中河原・西材木町の土場で陸上げされ製材した。製品は、船あるいは大八車・荷馬車で各地に送られていったのである。西材木町の丹羽木材は、織田氏が城下町建設のため尾張より引き寄せた材木商で、最も古く、規模も大きかった。広い土場のある川岸には多くの筏が着き、多数の人夫がかけ声も勇ましく、原木の水揚げをする様は勇壮であった。とくに堤防下には出水時は締め切る特別の原木搬入閘門があり、後には、トロッコを用いて、堤内の工場に運んだ。工場では、そろいの印半天を着た木挽職人が、板や柱の木挽をし、その数は、多い時には数十人に及んだという。明治6年、県庁の移転による庁舎を初め、諸官衛の建築も逐次ふえ、一大建築ブームを呼び、岐阜町・中河原の木材界は一段の活況を呈したのである。

玉井町・元浜町には紙の原料である楮皮が全国各地から集められ、上流の上有知を通して、美濃紙の生産地である武儀郡・山県郡に送られていた。この地区は、傘紙・障子紙・半紙などの紙問屋が多く、今もその姿をとどめている家が多い。

明治7年、岐阜町の村瀬宗平が中心となり、美濃紙会社をつくった。これは、美濃紙の規格統一と品質の向上を期し、販売の増加を目的とした。

美濃紙の供給が増加するにつれ、海外輸出の振興を計るため、明治16年に濃産会社（西材木町）と東京紙商団体己卯組が提携した。この活況のなかにあて、紙の新製品開発に努めていた米屋町の製紙業者、勅使河原直次郎は、手漉紙を用いて木摺の紙ナプキンを我国で初めて創製し、紙業界の内外発展の大きな契機をつくり上げたのである。

勅使河原商店　　明治22年

明治19年の川港の動き

移入		移出	
生糸	1,416,000円	石油	126,750円
屑物	162,000	米	178,245
美濃紙	695,465	食塩	67,062
傘	17,919	紙	11,350
楮皮	50,075	織物	80,000

明治11年以後　　岐阜学校　　富茂登学校

金華学校・伊奈波学校を岐阜学校に改称

明治10年5月19日、それまで同一校内にあった遷喬学校が今泉村へ移転したので、その使用していた中舎(元役所)を明治11年7月、二階建に改築し、全部で二階建三棟の校舎とした。それと同時に金華学校・伊奈波学校の名称を廃して岐阜学校と改称した。校長として味岡正義が着任する。味岡校長の次に安藤幸之助が校長となったが詳細は不詳である。

教育令公布と児童数の減少

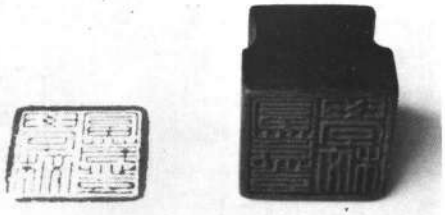
明治12年9月29日公布の教育令は、わが国民に義務教育は就学強制せず人民の自由意志に任せたものと曲解され、そのため学校をやめる者が続出し全国の就学率は急に低下した。岐阜県においては大した混乱はなかったが、やはり下記の通り減少し、岐阜町及びその周辺も若干その傾向が見られた。

教育令公布に伴い	岐阜町及びその近隣の児童数		
県下の減少児童数	岐阜　学校	６５８人（含遷喬学校）	岐阜町
男１０２９人	富茂登学校	１１９人	富茂登村
女３７５５人	今泉　学校	１４１人	今泉村
計４７８４人	小熊　学校	１５１人	小熊村・稲東村
（明治13年12月31日）	徹明　学校	２１４人	上加納村

有道義校を富茂登学校に改称

明治13年、有道義校の名称を廃して、富茂登学校と改称した。

富茂登学校印



公立小学校となる

明治5年の学制はフランス制度に據ったもので、規模が宏大、秩序は整然としてよいが、理想が高遠にすぎ画一的で、当時の国力、文化の程度では全国的に実施が無理であった。その結果、地方経費が増大し、人心ようやく学校教育をきらう風さえ生じた。そこで学制が廃止され教育令が公布された。その大要は次の通りである。

教育公布令　明治12年9月29日　太政官布告第40号

- 町村毎に公立小学校を設置する（今までの学区制を廃止する）

  数町村が連合して小学校を設置してもよい

  私立小学校があれば、別に公立小学校を設置しなくてもよい
- 学務委員を置く　（今までの学区取締、督学局を廃止する）

  町村内の学校を管理するために、町村に学務委員を置き、県の監督を受ける）
- 小学校

  普通の教育を児童に授ける所である

  学制に定める煩雑な教科目を廃止し、次のようにした。

  読書・習字・算術・地理・歴史・修身・裁縫（女子）

  （土地の情況により加える＝罫画・唱歌・体操・物理・生理・博物）

  公立小学校は8ヶ年をもって学期としているが、土地により4ヶ年に短縮できる

  その4ヶ年も、毎年4ヶ月以上授業すればよいとした（義務教育16ヶ月）

教育令は米国式の自由主義によったもので、これにより在来の小学校中、廃止を申し出るものが多く、苦情も百出した。又学校の設置、管理、教科内容についても自由放任にすぎ、当時の人々の誤解するところとなって、全国の就学率も低下した。そこで教育令が改正された。その大要は次の通りである。

教育令改正　明治13年12月28日　文部省

- 各町村は府知事、県令の指示に従い、独立或いは連合して小学校を設置すること
- 父母、後見人等は学齢児童を3ヶ年就学せしむること（1ヶ年16週以上）
- 小学校の学期は3ヶ年以上、授業日数は毎年32週以上とす

  但し授業時間は1日3時間以上、6時間以下とす

小学校教則綱領公布　明治14年5月4日　文部省（詳細な課程表を示す）

小学校の区分を初等科3年、中等科3年、高等科2年と3段階に改めた

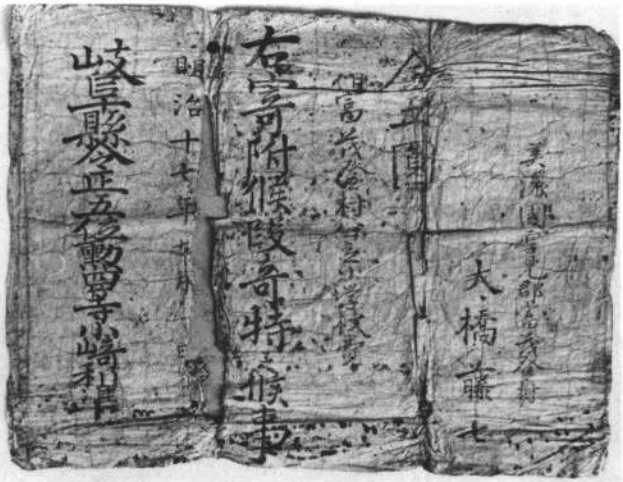
- 初等科　修身・読書・習字・算術・唱歌・体操
- 中等科（初等科に加える）地理・歴史・図画・博物・物理・裁縫（女子）
- 高等科（中等科に加える）化学・生理・幾何・経済

明治11年以後　　岐阜学校　　富茂登学校

岐阜県においては、改正教育令に基いて県内の学区、小学校数を決定した。岐阜町、富茂登村は下記の通りで、どちらも厚見郡第1学区に属し、その後も数回、学区、小学校数が改正になったが変らなかった。

学区竝並びに小学校数　明治14年7月30日　岐阜県甲第85号

郡名	学区名	町村とその学校	校数
厚見郡	第1	岐阜町（岐阜学校）　富茂登村（富茂登学校）	2
	第2	今泉村、稲東村（今泉学校）	
		小熊村（小熊学校）	2
	第3	上加納村（徹明学校）	1



寄付金に対し県令（今の県知事）よりの感謝状

下等小学の級の卒業証書

岐阜縣平民
森廣吉
七年九ヶ月
下等小學第六級
卒業候事
第二大學區
第三番中學
第七番小學
富茂登學校
明治七年
七月十五日

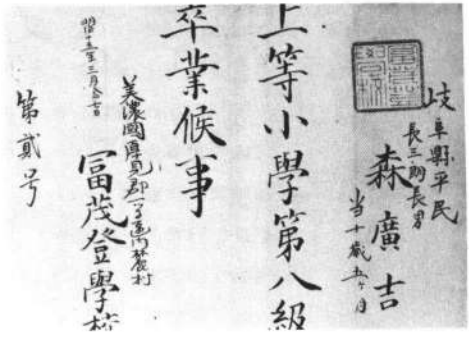
岐阜縣平民
森廣吉
八年七ヶ月
下等小學第五級
卒業候事
第二大學區
第三番中學
第七番小學
富茂登學校
明治十二年
十二月十六日
第十四号

岐阜縣平民
森廣吉
九年八ヶ月
下等小學第二級
卒業候事
明治四年會舍
富茂登學校
第二号

岐阜縣平民
森廣吉
滿拾年
下等小學第一級
卒業候事
明治十四年十月日
富茂登學校
第一号

小学校の進級（写真説明）

明治の初めの小学校は、満６才になると下等小学第８級に入り、半年たって試験に合格すると、第７級に進級し、半年たって試験に合格すると第６級に進級する。このようにして半年毎に下等小学第８級、７級、６級……１級と４年間かかって進級する。下等小学が終ると上等小学へ進み、同様に４年間かかって第８級から第１級までを終え卒業する。写真は富茂登学校の各級の卒業証書で、前頁から順に横へと進んでいる。卒業月日に注意。
大観舎では下等小学８級と上等小学８級を合算し、新入生は第16級に入り、それより第15級、第14級……第１級と進級する。(13頁の第５条、学科の表を参照)


岐阜縣平民
長三郎長男
森廣吉
当十歳九ヶ月
上等小學第八級
卒業候事
美濃國厚見郡二ツ屋村
富茂登學校
第貳号

岐阜縣平民
森廣吉
拾一歳十一ヶ月
上等小學第七級
卒業候事
美濃國厚見郡
八幡學校
第三号

明治19年以後　岐阜尋常小学校・富茂登尋常小学校

岐阜県においては、小学校令公布にともない下記の通り規定した。これにより尋常科、高等科、簡易科がそれぞれの学校にできた。

学区竝並びに学校資格の規定　明治19年9月25日　県令第27号別表

郡名	学区	校名	学校資格	区域
厚見郡	第1	富茂登学校	尋常科・簡易科	富茂登村
	第2	岐阜学校	高等科・尋常科・簡易科	岐阜町
	第3	今泉学校	尋常科・簡易科	今泉村・稲東村
	第4	小熊学校	尋常科・簡易科	小熊村
	第5	徹明学校	尋常科・簡易科	上加納村

富茂登学校を富茂登尋常小学校に改称

県令第27号により、富茂登学校は富茂登尋常小学校と改称し、尋常科と簡易科とを置いた。

富茂登尋常小学校の校印

富茂登尋常小学校
明治二十二年度の卒業写真

尋常科・高等科となる

明治18年12月20日、官制の大改革を行い、各省の卿を廃して新たに大臣を置いた。文部大臣に任ぜられた森有礼は平素の理想に基き教育制度の大刷新を行った。先ず帝国大学令を発布し、続いて師範学校令、中学校令、小学校令、諸学校通則を発布した。これらを総称して学校令と呼んでいる。学校令発布により諸学校は、小学校を基本とし、秩序整然となった。

尋常小学校 → 高等小学校 → 尋常中学校 → 高等中学校 → 帝国大学
　　→ 尋常師範学校 → 高等師範学校

小学校令公布　　明治19年4月9日　　勅令（16ヶ条よりなる）

● 小学校の種類

尋常小学校（4ヶ年）、高等小学校（4ヶ年）に分ける。

簡易科（3ヶ年以内）土地の情況により設け、尋常科（4ヶ年）の代用とした。

● 義務教育

児童6年より14年に至る8ヶ年を学齢とし、父母、後見人等はその学齢児童をして普通教育を受けさせる義務ありとした。且つその学齢児童が尋常小学校を卒らざる間は就学せしむることとした。

● 経費

父母、後見人等は小学校の経費に当てるため授業料を支辨すること。

授業料及寄付金等で小学校の経費を辨じ能はざる時は、区町村費より不足を補う。

小学校の学科及び程度　　明治19年5月25日　　文部省令第8号

● 尋常小学校　修身・読書・作文・習字・算術・体操（図画、唱歌を加うるを得）

● 高等小学校　修身・読書・作文・習字・算術・体操・図画・唱歌・地理・歴史・理科・裁縫（女子）　（英語、農業、商業、手工を加うるを得）

● 教員1人当りの児童数　尋常科（80人以下）　高等科（60人以下）

新小学校令公布　　明治23年10月6日　　勅令 215号　（8章96条よりなる）

前の小学校令と比べると頗る詳細なものであるが、大体の精神は変っていない。

変った主要な点は次の通りである。

● 小学校の本旨

児童身体の発達に留意して、道徳教育及び国民教育の基礎竝に其の生活に必須なる普通の知識技能を授けるのを以て本旨とす。

● 学科　尋常科で日本地理・日本歴史・手工・裁縫（女）を加うるを得とした。

高等科で幾何の初歩を加うるを得とした。

● 経費　授業料を減免する制度を設けた。

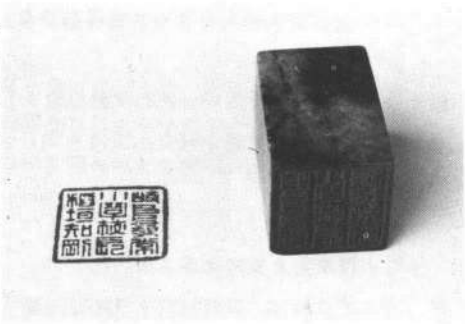
明治19年以後　岐阜尋常小学校　富茂登尋常小学校

岐阜学校を岐阜尋常小学校に改称

県令第27号により、岐阜学校は明治19年11月、岐阜尋常小学校（修業年限４年）と岐阜高等小学校（修業年限４年）とに分立した。岐阜尋常小学校は、南北両校舎を使用し、岐阜学校の低学年生徒を引継いだ。

岐阜高等小学校は、中央校舎を使用したため「マンナカ学校」と世人は呼んだ。岐阜学校の高学年生徒収容す。　その後、明治26年９月、鶯谷へ移転し、明治27年岐阜市高等小学校と改称し、更らに明治33年５月、男子のみ京町へ移転、明治36年10月、女子も京町へ移転す。明治41年４月尋常科を併設し岐阜市尋常高等小学校と改称し、現京町小学校となる。

岐阜尋常小学校の校長印

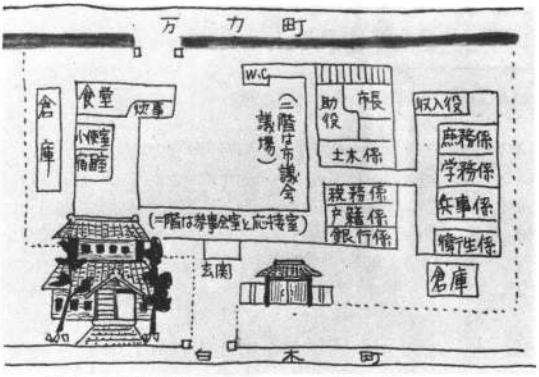


20年４月１日　稲垣鈴吉校長に任ぜらる
22年７月１日　岐阜市制施行
23年10月30日　教育勅語発布、教育勅語は長く終戦まで教育の根本として動かず、国民の精神のよりどころとなった。
24年１月13日　教育勅語を拝戴す
24年２月３日　勅語奉読式を挙行す

岐阜尋常小学校
明治二十三年度の卒業写真

岐阜市の人口増加

明22年	5,150戸	25,750人
26	6,421	31,986
30	6,491	33,779
34	6,820	38,823
38	8,080	39,415
42	9,131	41,536

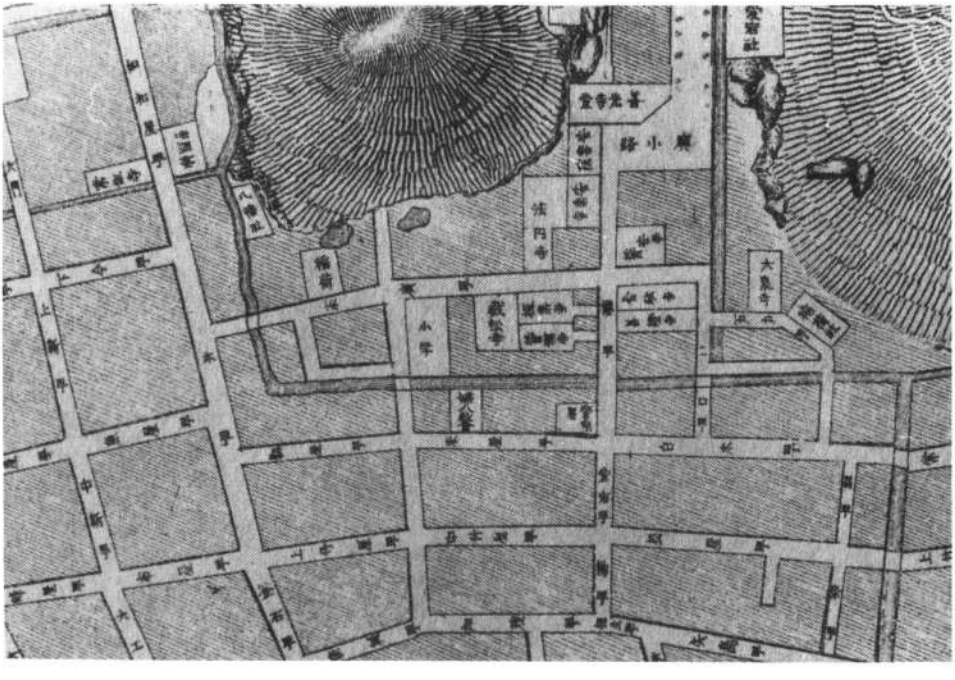


岐阜市役所絵図　　白木町

岐阜市となる

明治17年、岐阜町・富茂登村・今泉村・稲束村・小熊村・上加納村が米屋町に連合役場をつくったが、それ以来、合併の気運は次第に盛り上り、明治22年7月1日県知事の告示により市制を施行した。市庁舎を西野町に作り、市参事会（後の市議会）の第1回選挙を行い、30名を選んだ。市の一般行政は五つの区会（旧町村別）によって推進した。明治24年の濃尾震災は市全体を壊滅状態に追いやり発展を遅らせた。市役所は小熊村の願正坊に仮設したが、明治27年、白木町に新庁舎を完成し、新都市づくりも着々と進み南部へと発展した。

市制当時の伊奈波付近　　明治22年



明治24年度

岐阜尋常小学校の主な出来事

4．1　1年生　入校を許可す　138名
4．10　職員会議を開き　画学科程を定め本期より施行す
6．4　職員会議を開き　作文科程を定め本期より施工す
6．8　小試業施行す　職員学科研究会を週2回　夜開く
7．6　修業証書を授与す（12名）卒業の時不合格の者
7．15　本日より来月15日まで夏季休業とす
9．21　小試業施行す
10．5　本期より通知表を生徒に購はしめ之を使用す
10．23　市内各小学校連合運動会挙行　早田河原
10．28　大震地裂　激火人死　午前6時37分
10．29　震動止まず　前日来の大火四方に延焼10時鎮火
10．31　職員稲葉社務所に会合し、市のたきだしに従事
11．1　震動止まず　校内に境杭を立て縄張をす
11．2　震動やゝ減ず　職員死傷なし
11．4　次の通り報告　全焼 565坪　生徒死亡7名
11．15　仮校舎図面を作り大工に見積らす　負傷1名
12．1　小熊町　円龍寺を借り2部授業を行う
12月中、毎日地震3回位あり
12．26　本日より来月5日まで冬期休業とす
1．1　慶賀式を廃す、1月中　毎日強震弱震3回位あり
1．18　東園勅使来岐　稲垣校長拝謁し国庫負担を請う
2．1　2月中　毎日微震2、3回位あり　3月にはやむ
2．13　校長稲垣鈴吉　知剛と改名届あり
2．17　上宮寺に分教場を設け　午前2年　午后4年とす
3．21　学年試業を施行す
3．28　証書授与式

岐阜尋常小学校

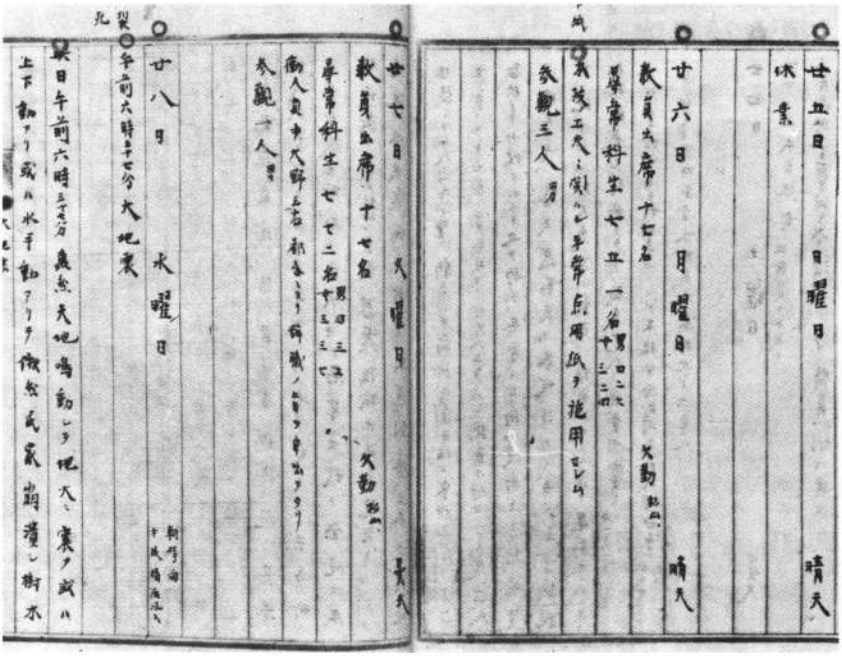
校長		稲垣鈴吉	
年	組	児童数	職員氏名
1		138	大橋保吉 渡辺松太郎 飯田吉徳
2			小池忠晄 奥村俊三
3			中島美三郎 青木善教 月岡哲之助
4		128	山本忠治 荒深道太郎
幹事			朝田純一
小使			宮部利三郎
計		680	13

濃尾震災　伊奈波通り

富茂登尋常小学校

校長		
年	児童数	職員氏名
1		
2		
3		
4		

学校日誌より濃尾地震の記事
明治二十四年十月二十八日
稲垣鈴吉校長の直筆である



廿五日　日曜日　晴天

休業

廿六日　月曜日　晴天

教員出席　十七名

學事科生　七十五名　一名　男　女

欠勤　教員

教員三人　男

廿七日　火曜日　晴天

教員出席　十七名

學事科生　七十二名　男　女

欠勤　教員

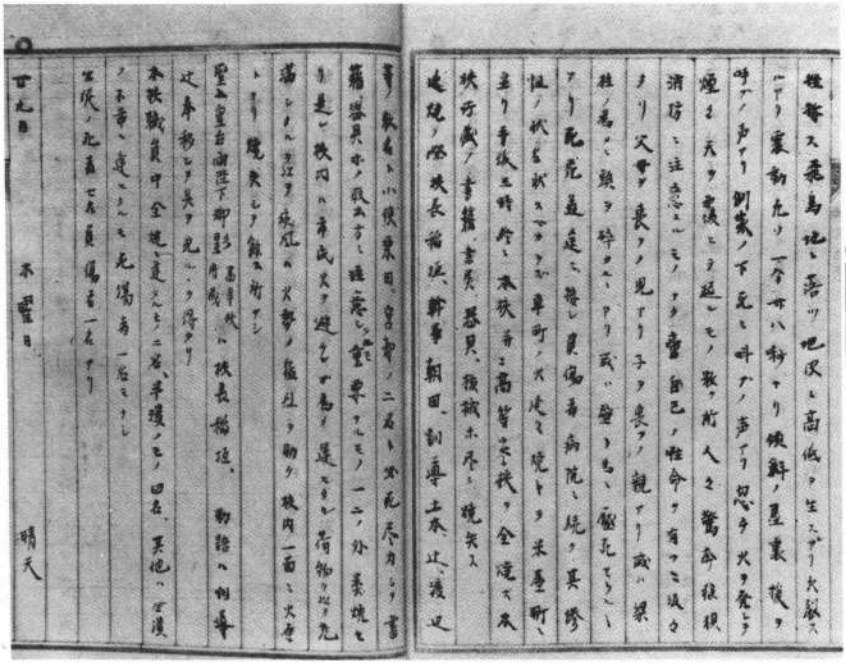
教員一人　男

廿八日　水曜日

午前六時五十分　大地震

午前六時五十分　震災大地震動シテ地大ニ裂ケ或ハ上下動アリ或ハ水平動アリテ激烈或家倒壊シ樹木

上の続き
濃尾地震の様子がありありとわかる



廿九日　木曜日　晴天

明治25年度

岐阜尋常小学校の主な出来事

4．2　昨夜大風のため、仮校舎潰倒す
4．15　震災のため廃学したもの　1年23名　2年16名　3年29名　4年50名　計118名
4．25　北校舎1棟、竣工に付き移転す　北校舎の大きさ　間口19間　奥行4間　5教室
5．16　本月より特別生を廃し、普通生と同じ月10銭
5．25　午前8時始業　午后2時半終業　5時間授業とす
6．13　第1回小試業施行す
7．16　8月15日まで夏期休業とす
8．16　始業式
9．13　暴風校舎を破壊す　校舎南側の廊下屋根吹きとぶ　18日まで休業
9．26　第2回小試業施行す　10月1日了る
10．5　小試業点により席次をかえる
10．27　震災1周年に付き、訓戒し休業とす
11．3　天長節慶賀式挙行
12．6　第3回小試業を施行す　10日終了
12．26　冬期休業始まる
1．1　慶賀式　生徒に密柑を祝賜す
1．11　開校式　各教室に大火鉢を配布
1．23　昨夜、生徒の座蒲団13枚を盗まれる
2．11　紀元節慶賀式
3．8　中舎・南舎（232坪5合）建築のため地場工事始まる
3．16　大試業施行　3日間
3．25　証書授与式　諸事節倹のため来賓を招待せず
3．27　中央校舎・南舎2棟落札　篠田治七　3387円

記念写真　前列中央稲垣校長向ってその右堀口市長明治26年

岐阜尋常小学校

校長			稲垣知剛
年	組	児童数	職員氏名
1	男	61	土本作次郎
	女	35	櫛田すき
2	男	87	杉山保太郎
	女	87	青木善教
3	男	92	西川文吉
	女	70	堀　半次郎
4	男	91	水谷静吉
	女	62	月岡哲之助
幹事			朝田純一
小使			宮部利三郎
〃			篠田秀次郎
計	8	585	12

富茂登尋常小学校

校長		
年	児童数	職員氏名
1		高橋清松
2		
3		
4		

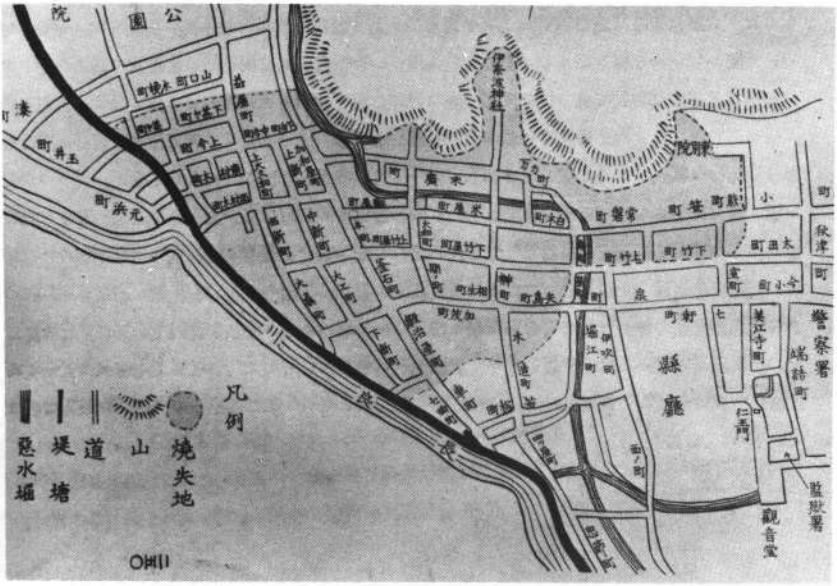
消防と濃尾大震災

火事と喧嘩は江戸の華といわれたが、岐阜町にあっても例外ではなかった。明治10年にできた、「いろはに組」は、横暴な振舞が多く、「市虎」と称され、明治18年解散した。翌年岐阜町町民独自で「消防岐組」ができた。明治21年に完成した岐阜公園は、岐組がつくったもので、万松館は、消防組のクラブとして使用された。岐組は、戸帳役場に常駐した数人の役員によって管理運営され、経費も彼等の支弁であったが、明治22年に解散した。

岐組時代の消防組員　明治20年

明治24年、四組（旧町村別）の「火防組」ができた。組員は、市民の中から市参事が厳選し各100人の火防夫（中20人喞筒組）によって編成された。かってないとまで言われた火防組も同年の大震災には、焼け石に水の力しかなく、明治28年、近代的消火ポンプを導入して、4部制の「岐阜消防組」ができ上がった。

大正12年、消防組が兼ねた水防の仕事を分離し、水防組ができた。大正13年には、関東大震災の教訓から、200名の常設消防夫と、各町内に水利と非常のための井戸を掘った。



濃尾地震による火災地略図
明治二十四年十月

明治26年度

岐阜尋常小学校の主な出来事

4．1　入学式　学科を次の通り改む　修身　読法　珠算　作文　習文　唱歌　体操
授業料改正し全額生12銭　半額生6銭とす
5．9　教室狭陋につき常在寺を月7円半にて借り3組を入れる（2女　4男　4女）
7．7　第1回小試業を施行す　21日了す
7．31　本日より8月31日迄夏期休業とす
8．22　夜11時より長良川大洪水　河原町を浸し、民家3家を流し、長良・忠節2橋を落す
9．11　校舎建築おくれ、本日新校舎の南舎を用いて開校
9．28　中央、南校舎竣工し、市長、議員と立合の上受取る
9．30　本日より12学級に分ちて教授す
10．17　舶来品6号形風琴を共益社へ注文　110円
10．27　市内5尋常小学校連合運動会　加納城趾で
11．3　天長節慶賀式　風琴着荷す
11．11　東西の門（154円50銭）橋（36円90銭）にて落札
竣工期限　11月30日
11．27　市内一定の小試験及び平常点用紙を注文す
12．18　小試業を施行　22日了る
12．27　閉校式挙行　校門落成
1．1　新年慶賀式
1．11　始業式　前夜9時より強震数回あり　市民騒ぐ
1．15　土居並木柵建築に着手　土居地巾4尺　木柵高さ4尺　長さ157間
2．12　紀元節御影奉戴式併落成式挙行　甚だ盛大なり
3．26　証書授与式

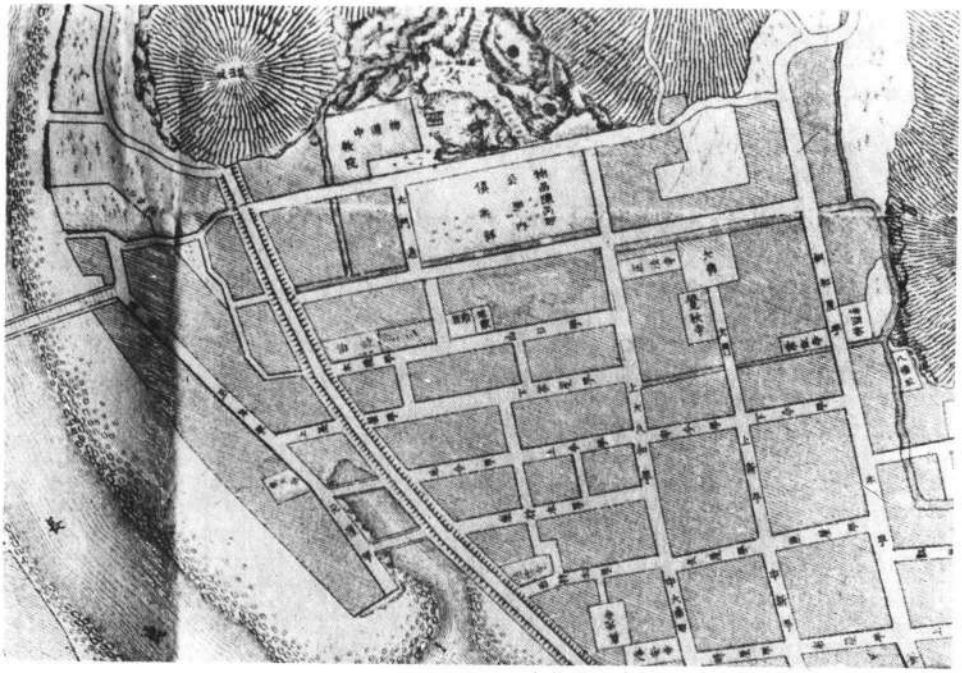
卒業証書

岐阜尋常小学校

校長			稲垣知剛
年	組	児童数	教員氏名
1	男	77	早川仁吾
	女	78	月岡哲之助
2	男	100	櫛田すき
	女	67	月岡哲之助
3	男	106	水谷静吉
	女	100	青木善教
4	男	101	小幡勇治
	女	79	堀　半次郎
幹事			朝田純一
小使			水野政吉
〃			酒井藤吉
計	8	708	11

富茂登尋常小学校

校長		
年	児童数	職員氏名
1		土本作次郎
		伊藤晴湖
2		
3		
4		



富茂登尋常小学校・公園付近　明治22年

幼い頃の富茂登

校舎は洋風で当時としては珍らしいモダンな平屋建の建物で、中央玄関の上だけが二階になっていて、そこは式場や会議に使われていた。ねずみ色のペンキ塗りの校舎が旭日を浴びて濃い緑の金華山を背にして浮びあがる時、それは実に見事な一幅の絵であった。この校舎は岐阜尋常小学校に合併した明治44年に、鶯谷に移され商工会議所として二度の勤めをした。校地の囲りは棒杭を立てて針金でしばってあった。

学校の囲りは西側の民家を除いて自然のままであった。北側は細い道があって、すぐ川原へ続いていた。大水になると校舎の近くまで水がきた。明治26年に大水が出て、鍵の手に建っていた川に近い南北の平屋建の建物が流出した。本館には被害はなかったが、その後も大水が出ると大騒ぎであった。学校の北の細い道は東へ行くと消えていた。今の港館の東にあるヨノ木の大木は当時もあって、そこから東はすべて竹藪であった。

校舎の南は一段低くなって運動場があり、その南は竹藪が南の堤防まで続いていた。学校から竹藪の中の御手洗池の際を通って、山際の下を堤防へ上る小道があって、中教院、大神宮の宮司の弟さんの建部松三郎校長が毎日この道を通ってこられた。学校の西には民家が三軒あって、学校の南西の十字路のすぐ西には現存するヨノ木と稲荷様が当時もあった。

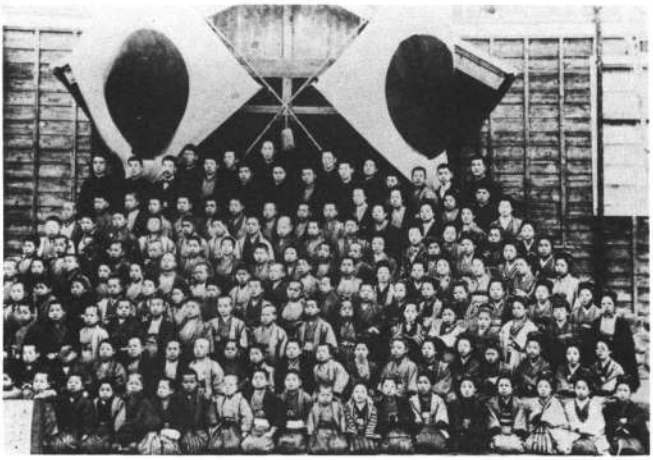
（明治26年卒業　安藤安吉・明治45年卒業　大橋頼二談）

明治27年度

岐阜尋常小学校の主な出来事

4．6　教科程度及び教案編成につき職員会を開く
4．12　太田助役　来校し地均を見る
4．28　健足運動　雄総村観音へ
5．1　東の井戸並びに溝浚え
5．11　本県の参事官森氏・県下16郡長、裁縫教授参観
5．26　稲垣知剛校長　飛騨国巡回教員に栄転
6．14　裁縫生に毎週算術2時間、家政学1時間を加える
7．6　第1回小試験施行　10日結了す
7．11　堀口市長　太田助役　服部書記　学務委員巡視
7．18　榎本利通新校長赴任
9．14　日清開戦につき大本営を広島へ進められるに当り
天皇陛下御通輦、職員生徒一同奉迎送　駅にて
9．18　平壌攻撃大勝利の公報に接し伊奈波神社に参拝
9．21　海軍大勝利を祝し午後休業
10．13　天皇、皇后両陛下御真影を奉戴につき駅にて奉迎
10．20　市内小学校連合運動会　早田河原
11．3　天長節慶賀式　児童にせんべいを給与せり
11．13　児童の席を身長の順により変換せり
11．23　両陛下の御真影奉戴式執行
11．26　旅順占領の公報あり　校門に国旗を掲げ休業とす
1．1　新年慶賀式　児童にせんべいを給与せり
1．21　唱歌、裁縫2科目を増設許可申請をす
1．25　有栖川熾仁親王殿下御薨去　翌日休校
2．11　紀元節慶賀式挙行
2．15　威海衛占領　校長祝賀演説をなす
3．25　証書授与式

岐阜尋常小学校　卒業生



岐阜尋常小学校

校長			稲垣知剛
年	組	児童数	職員氏名
1	男甲	67	堀　晃
	女乙	67	青木善教
	男女	丙60	櫛田すき
2	男甲	55	正木義愛
	女乙	56	野々村文治
	男女	丙43	石寺孝太郎
3	男甲	49	酒向利雄
	男乙	48	中島美三郎
	女丙	62	五井一吉
4	男甲	51	水谷静吉
	男乙	49	月岡哲之助
	女丙	82	小幡勇治
唱歌			杉山巌
裁縫		24	丹羽とく 本多さと
小使			水野政吉
〃			金森銈次郎
計	12	713	16
裁	1	24	2

富茂登尋常小学校

校長		
年	児童数	職員氏名
1		伊藤晴湖
2		
3		
4		

岐阜尋常の昔を偲びて

私はまだ金華小学校となりたる前の岐阜尋常小学校を卒業した者です。今の米屋町の所に建っていました。成績はまあ普通でしたが、只休む事なく登校し、1年生の卒業式の時には精勤賞3等賞をもらいました。その当時は1・2等は学業優秀賞で、3等賞は精勤賞だったのです。入学して始めての賞状で鬼の首でも取ったような心で飛んで家に帰り父母にほめてもらい、その賞状を枕元へ置いて一晩明かした事でした。このような嬉しい事はありませなんだ。

又或る時の事です。1女生徒が本を読む折、教室がわれる程の大声にて読むのが得意でした。そのうち先生が変りまして、彼の女生彼、いつもの如く得意になりて大声で本を読みました所、先生が「女の子が男でもできぬ大声で本を読む事は、つつしまねばなりませぬ。女の子は女らしくしなければなりませぬ」と、実にやさしく女先生のおさとしでした。今もなお頭の中に浮んできます。たしか櫛田先生だったと思います。

勉強は所謂、読み書きそろばんでした。今の国語を読本といい、始めから漢字がまじっていました。和紙に木版刷りの本で、1年の始めに「アノ人ハ犬ヲツレテ、行キマス」とかいてあったように記憶しています。今の算数を算術といい、教室の前に2尺に6尺位の大きなそろばんがぶらさげてあり、1＋2＝3などと大声にて先生がなされば、生徒も声をそろえて、自分のそろばんに入れてやりました。その他、書き方、図画（筆にて墨絵をかくばかり）などで甲、乙、丙とつけられました。義務教育とはいっても、まだ学校へ通いたる者の数は少く、学校にあがる子は大体、家庭よろしき者で、きびしいといっても仲々のんきでした。1学期毎の通知票はなく、1年の卒業毎に卒業証書、賞状がありました。

運動会は男生徒はかけっこ、綱引き、旗取り、二人三脚（今の騎馬戦）、女生徒は、かけっこ、玉入れなどをやりました。一番面白いのは綱引き、旗取りでありました。遠足は早田川原位へ行きました。弁当としては、にぎり飯か油ずし位で菓子はほとんど持ってくる者はありません。弁当は風呂敷にて包み肩から斜めにかけ、今のように手にさげたる者は一人もありません。履物は大ていその時だけ、麻裏履にて新しく買ってもらい、大切にして歩きました。服装は縞の着物に角帯をしめ、前だれをしめ、草履をはいていました。袴は式の時だけはきました。布カバンを横にかけ弁当をもっていきました。頭は男の子は2年生頃までオカッパで真中はツルツルにすり、丁度寺小屋の子供の通りでした。女の子は桃われ、めがねなどの髪を結い、縞の着物を着ていました。

師は生徒を愛し守り、生徒は師を絶対信じて常に学びしたった姿は美しいものでありました。昔を偲べば、今に劣らぬなごやかなものが師弟の中に流れていたと思います。

（明治27年卒業　安田広三郎 談）

明治28年度

岐阜尋常小学校の主な出来事

4．1　入学式
4．25　雄総へ遠足運動
5．4　堀口市長巡視
5．14　祝和式挙行　**日清平和条約なる**　3日間休校
5．29　大元帥陛下、岐阜駅御通輦　職員児童一同奉迎送
6．11．凱旋軍隊歓迎　4年停車場にて
6．25　桂第3師団長以下凱旋　職員一同停車場で歓迎
7．29　学務委員5名　本校を巡視
7．31　終業式
9．1　始業式
10．17　市内6小学校連合大運動会　中学校庭にて
10．28　大震災の4周年に当り、校長が記念の演説をなす
11．3　天長節慶賀式
11．6　北白川宮殿下御薨去に付き哀悼の式を挙行す
11．21　近衛師団の凱旋歓迎　2年以上停車場にて
12．12　小試験に着手　17日結了
12．27　終業式
1．1　新年慶賀式　式後、児童に菓子を与える
1．11　始業式
1．25　人足を傭い運動場の積雪を取除かしむ
1．30　孝明天皇祭日に付、休校
2．14　父兄参観　実地授業後、校長と堀口市長が演説す
2．29　実地授業、研究会　4年丙組　作文科
3．3　職員会後、授業術の批評会をなせり
3．13　大試験施行　19日結了
3．25　証書授与式

岐阜尋常小学校

校長			榎本利通
年	組	児童数	職員氏名
1			伊藤延吉 神山隆次郎 正木義愛
2			堀晃 大西洋 月岡哲之助 野々村文治
3			堀口格 岩田恒吉 大野宏
4		133	日比野恭四郎 水谷静真 箕浦与三郎
裁縫		32	岩佐とく
小使			水野政吉
計		581	15
裁	1	32	1

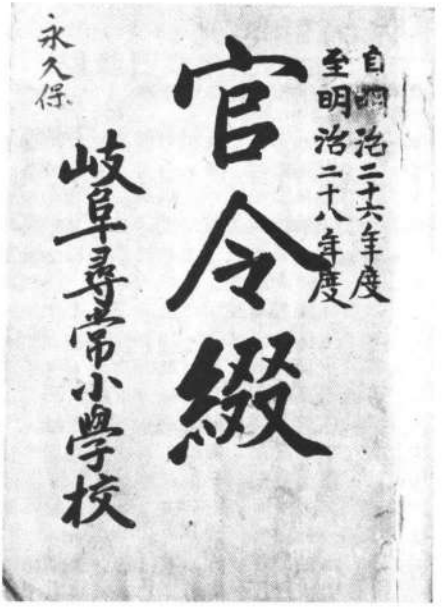
富茂登尋常小学校　卒業生

富茂登尋常小学校

校長		
年	児童数	職員氏名
1		伊藤晴湖
2		
3		
4	39	

官令綴

明治26年度からは官令綴、29年度からは令達綴、39年度からは公文書綴と名称が変って今日に至っている。何れも市役所から校長あての文書を綴ったものである。



明治廿八年度 授業料領收證

岐阜市岐阜尋常小學校

第一號 次第二學年生 山田孟乃

金額	月	領收月日	岐阜縣印
一金拾二錢	十月分	十月十八日	
一金拾二錢	十一月分	十一月十九日	
一金拾二錢	十二月分	十二月十七日	
一金拾二錢	一月分	一月十七日	
一金拾二錢	二月分	二月十八日	
一金拾二錢	三月分	三月十七日	

授業料領収証　　月12銭

卒業証書　岐阜県美濃国……という校印に注意

明治29年度

岐阜尋常小学校の主な出来事

4．15　同窓会　出席二百余名にして盛会
4．20　軍隊歓迎　3・4年　停車場へ
5．18　実地授業並びに批評会　3年甲組
6．8　実地授業並びに批評会　2年甲組
6．11　父兄懇談会　実地授業の後、校長談話
6．19　三陸大津波、大被害の由　校長演説し義捐金募集
7．5　実地授業並びに批評会　1年甲組　算術科
7．14　小試験に着手　18日結了
7．27　実地授業並びに批評会　4年甲組　作文科
8．30　暴風雨により小被害　樹木35株、板垣倒れる
9．17　実地授業、批評会　3年丙組
10．7　本校巡視　堀口市長　文部参事官川上彦次
10．16　遠足運動、早田河原
10．20　実地授業、批評会　3年乙組　体操科
11．3　天長節慶賀式
12．1　本日より毎日、退校時に運動場に全員集合し校長に挨拶して下級より順次帰宅することとなせり
12．7　実地授業術の研究会　3年丙組
12．10　小試験に着手せり　15日結了す
1．1　新年慶賀式　服部市書記臨席
1．13　皇太后陛下崩御、国喪に付、16日迄休校
2．1　各地に天然痘流行の兆あり、牛痘を児童職員接種
2．11　喪中に付、紀元節の式は見合せたり
2．15　実地授業、批評会　1年丙組
3．11　大試験、17日結了
3．25　証書授与式

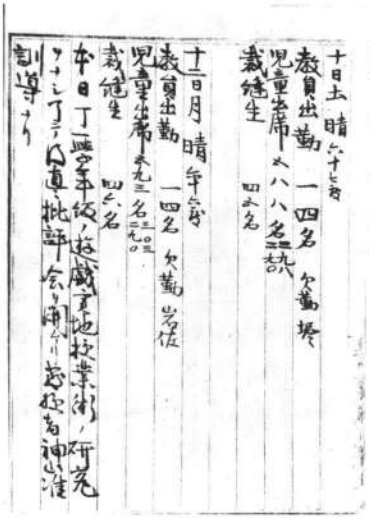
岐阜尋常小学校

校長		覆本利通	
年	組	児童数	職員氏名
1	甲 乙 丙		正木義愛 牧田五百太郎 野田恒吉
2	甲 乙 丙		堀口格 高橋鶴松 神山隆次郎
3	甲 乙 丙		堀晃 大野宏 月岡哲之助
4	甲 乙	108	長尾進一 野々村文治
裁縫		49	岩佐とく
小使 〃			水野政吉 細井栄作
計	11	573	14
裁	1	49	1

富茂登尋常小学校　卒業生

富茂登尋常小学校

校長		矢島圭二
年	児童数	職員氏名
1		浅井鉄次郎 小森実弥
2		吉田章 小林一郎
3		伊藤晴湖
4	33	



学校日誌　十月十二日

実地授業術の研究

岐阜尋常小学校の学校日誌によると、明治29年度、30年度それに42年度、43年度が特に多く研究授業とその研究会の事が記してある。この頃は研究授業の事を実地授業術の研究又は実地授業といった。

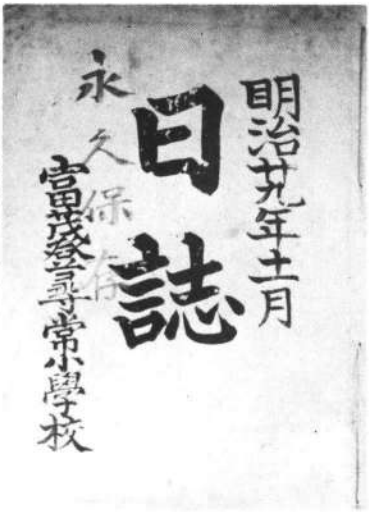
明治29年度の校内全校研究授業とその研究会は下記の通りであるが、全市的な研修が裁縫科をとりあげ、いつも校長が出席しているのが注目に値する。

校内研究

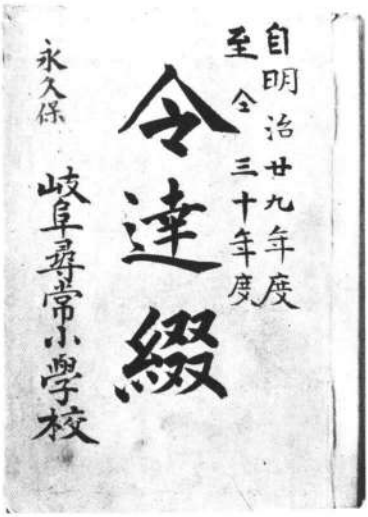
月　日	年組	教科	月　日	年組	教科
5・18	3甲		10・12	1丙	遊戯
6・8	2甲		10・20	3乙	体操
7・5	1甲	算術	10・27	裁縫	裁縫
7・27	4甲	作文	11・9	2甲	作文
9・17	3丙		12・7	3丙	
9・25	2乙		2・15	1丙	

校外研究

月　日	場　所	参　加　者
5・20	本　校	校長、岩佐
6・5	富茂登	〃
6・19	伊都美	校長会にて
7・28	徹　明	校長、岩佐
9・18	岐高小	〃



学校日誌　富茂登尋常小学校



令達綴　岐阜尋常小学校

明治30年度

岐阜尋常小学校の主な出来事

4．1　始業式・入学式　4月23日　遠足運動　雄総へ
4．23　遠足運動　雄総へ
5．6　県知事湯本義憲氏、堀口市長、太田助役等と巡視
5．10　実地授業並びに研究会
5．14　遠足運動　2年三田洞　3·4男琴塚　3·4女笠松
7．12　小試験施行　17日結了す
7．23　卒業生同窓会を開く
7．24　矢野学務委員巡視せらる
8．1　8月は夏期休業の制規なるも本年は本校にて、9月に**52会品評会**を開くにより9月を休業とす
8．3　堀口市長、服部助役等、52会準備のため来校
8．27　閉校式　父兄懇談会　習字裁縫の成績品を陳列
10．6　開校式
10．12　陸軍演習参観　3·4男　各務野にて
10．24　運動会　近年稀にみる盛会なり
11．7　実地授業並びに研究会　3男
11．29　堀口市長、学務委員7名、本校を巡視
12．13　小試験施行　16日結了す
12．25　閉校式
1．1　英照皇太后陛下の喪中に付、新年慶賀式とりやめ
1．12　始業式
1．22　父兄懇談会　成績品を展示し3日間行う
2．11　紀元節慶賀式　饅頭2個づつ与える
2．19　実地授業並びに批評会　4女松田准訓導
2．23　2年以上男子は志段見にて兎狩　他は梅林へ運動
3．25　証書授与式

岐阜尋常小学校

校長		榎本利道	
年	組	児童数	職員氏名
1			堀口格 堀晃 正木義愛
2			福井鉞十郎 牧田五百太郎 高橋鶴松
3			大野宏 鷹見秀夫 川島操
4		161	山本市太郎 辻智観
裁縫		25	小西みき 岩佐とく
小使			水野政吉
〃			松尾祐次郎
計		550	14
裁	1	25	2

富茂登尋常小学校　卒業生

富茂登尋常小学校

校長	矢島圭二	
年	児童数	職員氏名
1		浅井鉄次郎 小森実弥
2		吉田章 小林一郎
3		小沢竹三郎
4	36	

商工会議所ができる

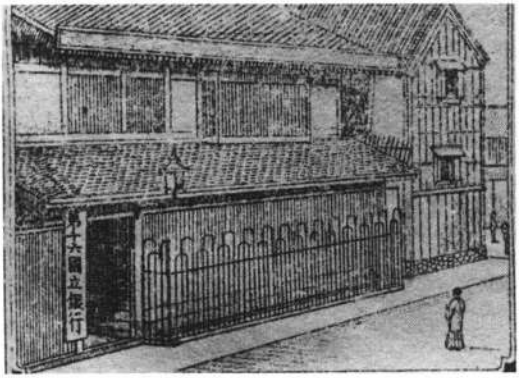
市の経済活動を推進するために大きな働きをしたのは、岐阜商議所（後の商工会議所）である。明治23年12月、米屋町岐阜尋常小学校に設立され、会頭に渡辺勘吉（松屋町）が就任した。明治38年には万力町に移転し、米屋町の勅使河原直次郎や正村平兵衛は、議員として岐阜町の特産物である紙加工品の振興に大きな功績を残した。

明治30年、岐阜尋常小学校を第一会場として、岐阜県五二会品評会が開催され非常な人気であった。毎日押すな押すなの満員で、夏期休暇を9月に変更し、8月に授業をした。当時展示された主なものは、次のようなものであった。

第十六銀行富茂登支店　（雛屋木材）

①絹織物（羽二重、縮緬、絹細）、②綿織物（綿甲斐、絹墨八、白縮）、③毛織物（モスリン、セル、ラシャ）④雨傘、日傘　⑤岐阜提灯、大内行灯　⑥団扇、扇子　⑦ランプ笠　⑧紙ナプキン　⑨帳簿、障子紙　⑩鮎の粕漬、守口漬　⑪筏紗、⑫竹皮　⑬胡蝶盆類。

商工業にとって、金融は欠くことができない。米屋町には、三井小野銀行出張所（明治5年）国立十六銀行、第95国立銀行岐阜支店（明治10年）、濃厚銀行（明治16年）岐阜貯蓄銀行（明治28年）、野々村銀行（明治31年）が相い次いで開業した。このように、岐阜町、就中米屋町は、政治はもとより経済活動の中核をなしていたのである。



第十六銀行本店　明治22年

これら銀行の設立と相前後して、数多くの商工団体（美濃傘問屋組合、美濃紙同業組合、茶業組合、古着商組合）や企業ができた。しかし、濃尾震災の復旧に力が注がれたため、一段の発展を遂げたのは、大正時代に入ってからのことである。

明治31年度

岐阜尋常小学校の主な出来事

4．11　堀口市長　加藤書記など本校を巡視
5．5　健足運動　1・2年近郊　3・4年男桑山　3・4女笠松
5．28　地久節に付、簡略な式を挙行
6．1　榎本利通校長　羽島郡視学に栄転
6．9　佐々木喜一郎新校長赴任
7．14　第1回小試験始まる　19日結了す
7．30　児童に衛生心得を配布
8．1　夏休み児童召集　衛生及児童の心得を訓諭す
8．20　夏休み児童召集
9．15　同窓会　男95人　女45人出席
10．4　健足運動　1・2年梅林　3・4年笠松木曽川堤
10．12　皇太子殿下奉迎送　停車場
10．15　運動会　天少し曇り実に運動をなす好日なり
10．28　震災記念式を行いて退散せしむ
10．29　明日に施行すべき勅語奉読式をくりあげ挙行す
11．3　天長節の儀式挙行
11．9　皇太子殿下、西別院にて一泊　八間道にて奉迎
11．23　市教育会秋季大会を本校にて開くため休校
11．29　午后郊外運動　公園へ
12．12　第2回小試験施行　16日結了す
1．1　新年祝賀式
2．3　梅林へ郊外運動
2．11　紀元節祝賀式
2．22　父兄懇談会始まる　連日各学年毎に
3．9　大試験施行　14日結了す
3．25　証書授与式

学校日誌　明治24年　　明治31年

岐阜尋常小学校

校長		榎本利通	
年	組	児童数	職員氏名
1	男	67	堀口　格
	女	72	堀　晃
2	男	43	正木義愛
	女	54	牧田五百太郎
3	男甲	48	高橋鶴松
	男乙	44	鷹見秀夫
	女丙	40	山本市太郎
	女丁	33	辻　智観
4	男	70	大野　宏
	女	50	森田万寿雄
裁縫		32	松田利津 川島　操
使丁			水野政吉
〃			松尾祐次郎
計	10	521	13
裁	1	32	2

富茂登尋常小学校

校長	矢島圭二	
年	児童数	職員氏名
1		浅井鉄次郎
2		杉山保三郎
3		
4	50	

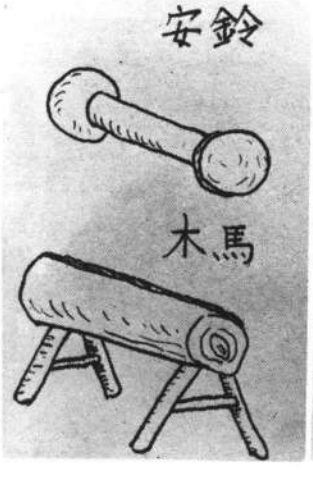
富茂登の回想

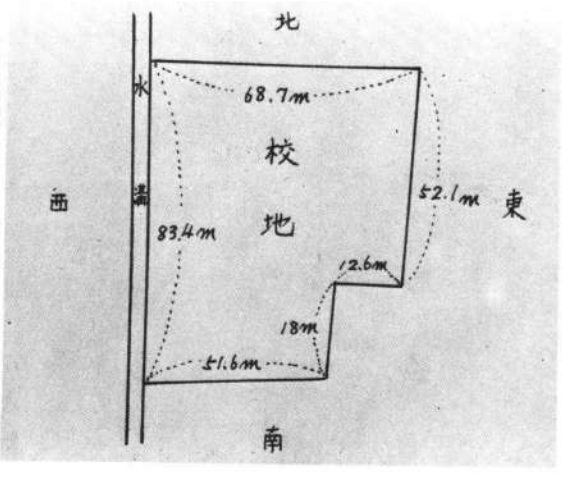
長い昼休みが終って午後の始業の鐘がなると、南や東の竹藪の中からぞろぞろと子どもたちが土まみれになって出てくる。手に持っている物を空にほり上げては口々にわいわい云っている。蛙である。大きいのもあれば小さいのもある。青色のもあれば茶色や紺色の交じったのもある。中には蛇もいる。地面に落ちると走ってきた子が又ほり上げる。それを繰返しながら運動場を横ぎってハイカラな洋館建の校舎の中に消えていく。一頃にぎやかだった運動場が急に静まりかえると、あちこちの教室から子どもの本を読む声が流れてくる。これが富茂登のお昼の毎日である。

男の子は頭髪を大てい五厘刈にしていたが、組に二人位は今のオカッパのように長髪にしていた。女の子はちゃせんにしていて、なかなか可愛いいものだった。着物は木綿のゴツゴツで筒袖であった。大ていは縦縞の物を着ていたが、良家の男子は式や他所へ行く時は紺絣を着た新しい紺絣は藍の香がぷうんとにおってよい気分であった。女子は式の時は紋付きを着てすましこんでいた。いつもは前掛をしめて下駄かぞうり（竹皮のものか、藁で作ったもの）をはいていた。途中で雨に降られると藁草履は水にぬれてグチョグチョになり、足も雨と土とでベタベタにぬれてしまった。

体操の時はいつも安鈴（アレイ）と称する物を使った。堅木で作ってあるので、これを両手に持ち、号令によって、前や上で合わせると、カチッカチッと良い音がした。運動会の時はこれを腰に差してアレイの奪い合いをした。又体操の時には丸太で作った木馬の飛びこしもよくやった。

（明治31年卒業　　伊藤　昇 談）





岐阜尋常小学校の校地（米屋町）
濃尾震災後の明治二十五年二月二十三日に測量したもの。原図は間、尺で表している。

明治32年度

岐阜尋常小学校の主な出来事

4．26　遠足運動　雄総へ
5．8　堀口市長・加藤書記、学務委員5名巡視
5．9　健足運動　1年梅林　2年小熊　3年岩戸
5．22　フートボール1個を購求す
5．23　父兄懇談会　1、2年　翌日3、4年
6．2　体重測定
6．11　同窓会開催　男 170人　女70人
7．10　小試験　15日まで
7．18　午後11時40分激雷、天地を震動し本校旗竿（運動場東北隅に樹立）に落雷し竿竹を破砕す
7．21　検眼　青木校医
9．25　野村知事、稲垣属を随え巡視
10．14　運動会挙行　7時40分より軽気球を掲げ始める
10．24　市制10周年祝賀式挙行に付休業　本校を式場とし5教室を控室とし式終りて万松館で祝宴を行う
10．30　勅語奉読式　運動場にて　午后休業
11．3　天長節祝賀式
11．14　遠足運動　3年笠松　4年鏡島
12．5　第2回小試業を始める　15日終了
1．1　新年祝賀式
2．11　紀元節祝賀式
2．15　郊外運動　公園
3．3　卒業写真撮影
3．9　大試験挙行す　15日まで
3．24　証書授与式　来賓　堀口市長、服部助役、松岡視学、稲垣県属、区会議員5名　市内小学校長等

岐阜尋常小学校

校長		佐々木　喜一郎	
年	組	児童数	職員氏名
1	男	74	堀口　格
	女甲	47	高橋　鶴松
	女乙	45	太田　惣之助
2	男	74	横江　末男
	女甲	43	板津　錠太郎
	女乙	42	市川　小左馬
3	男	50	鷹見　秀夫
	女	66	小島　栄太郎
4	男甲	52	正木　義愛
	男乙	48	山本　市太郎
	女	86	牧田　五百太郎
裁縫		14	松田　利津
使丁			安藤　政吉
〃			安藤　とく
計	11	627	14
裁	1	14	1

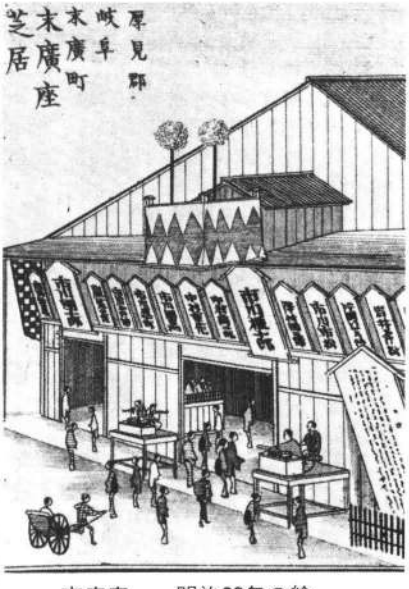
岐阜尋常小学校　卒業生

富茂登尋常小学校

校長	矢島　圭二	
年	児童数	職員氏名
1		浅井　鉄次郎
2		杉山　保三郎
3		
4	58	

伊奈波通りの繁栄

岐阜市の繁華街は、伊奈波神社一帯がその始まりである。岐阜町は、城下町として発展し、沢山のお寺ができて、宗教都市の性格を強めたが、これが経済的な活況にも一役かっていた。伊奈波が近代的な盛り場になったのは明治の中頃で、祭礼ごとに、桜並木の道路と寺の周りに露店が並び、また料理屋も多く、その中に、学校、警察、郵便局、戸長役場があり、今の柳ヶ瀬にはない情緒があった。



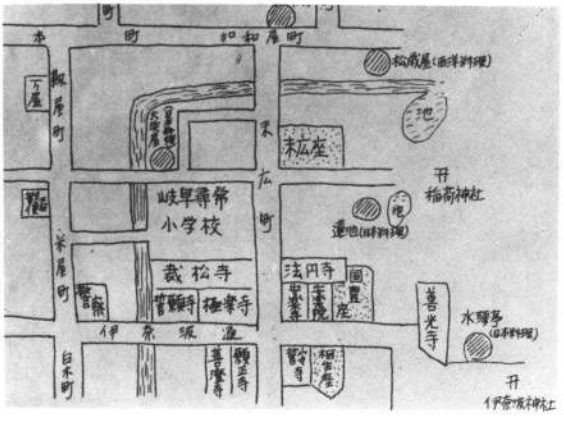
末広座　　明治22年の絵

市民の娯楽の場であった末広座は、明治7年にできた。明治14年に市川団十郎、権十郎が来て、その全盛を築いた。木戸銭は安物で3銭、千両芝居で20銭であった。木戸を入ると、立前（場方）という案内人が客を案内し、場代をとった。客が所用で小屋の外に出るときは、小屋の杉下駄を借用し、手の甲に小屋の印判を押してもらった。附近の料理屋より弁当を持ち込む女中は頭に一定の花カンザシを差していた。千両芝居には前夜より見物客が押し寄せ、小屋の周りは青竹で柵をゆい、木戸は丸太で囲い混雑を防いだという。

末広座のほかに、落語、講談を主にした寄席小屋（花角、国豊座、相生座）もあった。国豊座は、明治14年、松井須磨子が、「白鳥の湖」を公演して小屋開きし、後、明治座となって、岐阜劇場のもとになった。

近代化の波が押し寄せた、明治中頃から後期にかけ、時代の流行は全て伊奈波から始まった。香水を勾わせ、チックで頭をハリコのようにし、白く光るホワイトシャツでエヘンとせきばらいする当時のハイカラ紳士が、米屋町の小間物屋に多く見られた。

当時の伊奈波付近



明治の末期から大正時代になると繁華街は今小町（県庁、市役所の辺り）に移り、漸く、伊奈波は門前町としての色彩を残すのみで静かな明治前期にもどった。

大正末期頃になると、繁華な中心は、交通拠点（岐阜駅）と政治拠点（県庁、市役所）の中間点である柳ヶ瀬に移っていった。

明治33年度

岐阜尋常小学校の主な出来事

4．1　始業式、入学式　**学級の名称を第何学年第何部**と改める。台湾新竹の教育品展覧会に習字25葉送る
4．18　遠足運動　鏡島
4．24　郵便切手貯金法を奨励し、同上台紙を各自に配布
5．10　皇太子殿下御慶事に付、奉祝式
5．21　佐々木喜一郎校長・安八郡視学に栄転
5．28　地久節儀式挙行
5．29　山岡清新校長赴任
6．2　皇太子妃殿下御奉迎送　停車場にて
6．4　体格検査を行う
6．6　父兄懇談会　点燈時より3晩、学年別に行う
6．24　人夫3人を雇い、井戸浚をなす
7．10　本日より第1回小試業を行う　16日終了
7．20　3年生の1名が赤痢にかゝり教室・便所を消毒
7．28　終業式　小試業成績を陳列し父兄の縦覧に供す
9．1　始業式
9．7　改正小学校令により第1学年は1週21時とし月水金は4時間宛、火木土は3時間宛とす
10．13　運動会挙行　10月30日勅語奉読式挙行
11．3　天長節祝賀式
12．27　終業式
1．1　新年祝賀式
1．11　始業式
2．2　降雪2尺　大雪なり
2．11　紀元節祝賀式
3．25　証書授与式

岐阜尋常小学校　卒業生

岐阜尋常小学校

校長			佐々木　喜一郎
年	部	児童数	職員氏名
1	1		正木義愛
	2		山本市太郎
	3		牧田　五百太郎
2	1		堀口　格
	2		高橋鶴松
	3		市川小左馬
3	1		永井牛太郎
	2		板津錠太郎
4	1	95	鷹見秀夫
	2		小島栄太郎
裁縫		33	松田利津
使丁			安藤政吉
〃			安藤とく
計	10	601	13
裁	1	33	1

富茂登尋常小学校

校長		矢島圭二
年	児童数	職員氏名
1		浅井鉄次郎
2		杉山保三郎
3		
4	28	

授業料収入台帳　　富茂登尋常小学校
授業料は１ヶ月、10銭であった

義務教育が４ヶ年となる

明治27．８年戦役の結果、教育の充実が認識され、さきに公布した学校令を尽く改正した。小学校令改正の要点は次の通りである。

小学校令改正　　明治33年８月１日

- 旧令では義務教育年限が３年又は４年であったのを４ヶ年と明確にした。
- 修業年限　尋常小学校　４ヶ年　義務
  高等小学校　２ヶ年
  （又は３年又は４年）
- 従来の読書、作文、習字の３教科を国語の１教科に包括した。
- 教科（尋常）　修身　国語　算術　体操　（加えうるもの　図画　手工　唱歌　裁縫）

訓示（学校日誌より）

6月１日　生水を飲むな
　　梅を食はぬこと
6月９日　女生徒に筒袖の奨励のこと
6月30日　教室にて横見せぬこと
　　終業後、校内に入らぬこと
7月３日　帰校分れの際互に敬礼せよ
10月３日　室内で毬を投げ奔走せぬこと。
1月31日　絵本を持参せぬこと。

富茂登尋常小学校　卒業生

明治34年度

岐阜尋常小学校の主な出来事

4．1　**本年より裁縫専修科を廃止す**　入学式挙行
4．17　身体検査　天野校医
5．26　名古屋の鈴木政吉より注文のヴァイオリン1個到着（金12円也）
6．2　岐阜市高等小学校落成式を挙行す
6．8　不就学児童報告書を市役所へ差出す
6．17　父兄懇談会1年　翌日2年　翌々日3、4年
7．28　教員共同運動　市内小学校教員一同　養老へ
9．26　泉県地方視学　本校を巡視
9．27　身体検査　天野校医
10．15　運動会　父兄数百名参観
11．3　天長節祝賀式　来賓区会議員5名　父兄数十名
11．9　遠足運動　1年梅林　2年長良東野　3·4年岩戸
11．15　堀口市長、学務委員一同巡視
11．16　本校式場にて幻燈会　午后5時半より7時まで
11．25　**本日より朝礼拝式後、児童を呼出し5分間以内の談話をなさしめ、話し方練習をす**
12．3　3・4年の談話会を行う　17日は1・2年
1．1　新年祝賀式
1．14　3・4年の談話会を開く
1．28　2年の談話会を開く
2．4　3・4年の談話会を開く
2．11　紀元節祝賀式
2．25　1・2年の談話会を開く
3．18　松2株、大鐘2個を卒業生寄付せり
3．25　証書授与式

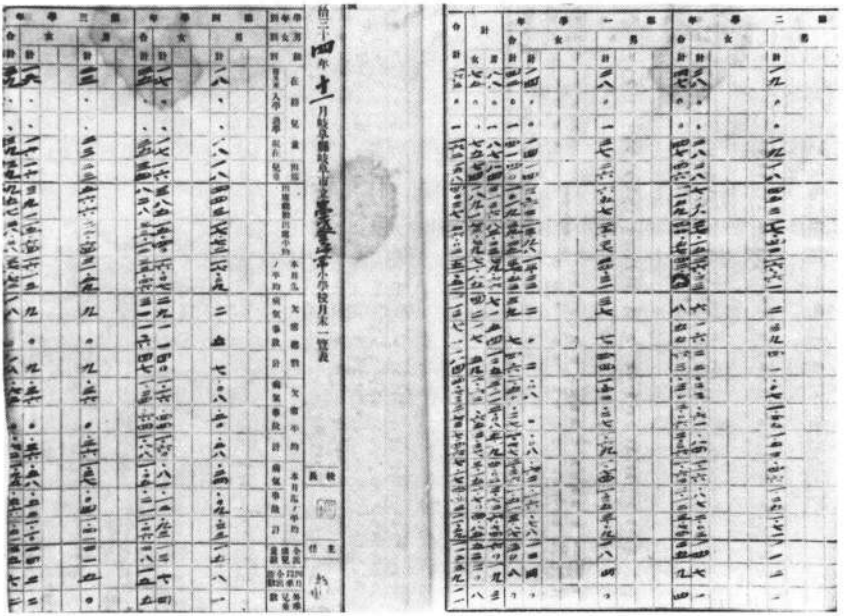
岐阜尋常小学校

校長		山岡　清	
年	部	児童数	職員氏名
1	1		横山　政右衛門
	2		小島　栄太郎
	3		松田　利津
2	1		正木　義愛
	2		山本　市太郎
	3		牧田　五百太郎
3	1		小川　格
	2		高橋　鶴松
	3		柴田　秀四郎
4	1	134	長尾　進一
	2		板津　錠太郎
使丁			安藤　政吉
〃			安藤　とく
計	11	694	14

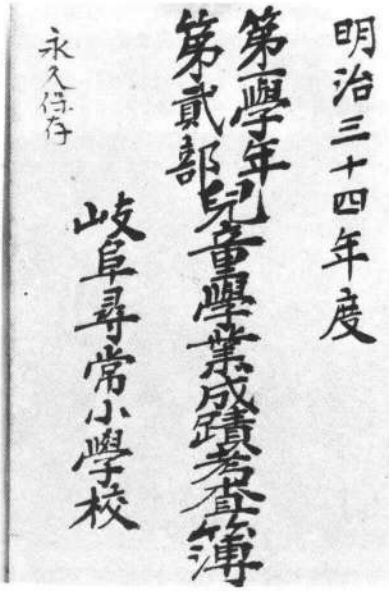
富茂登尋常小学校　卒業生

富茂登尋常小学校

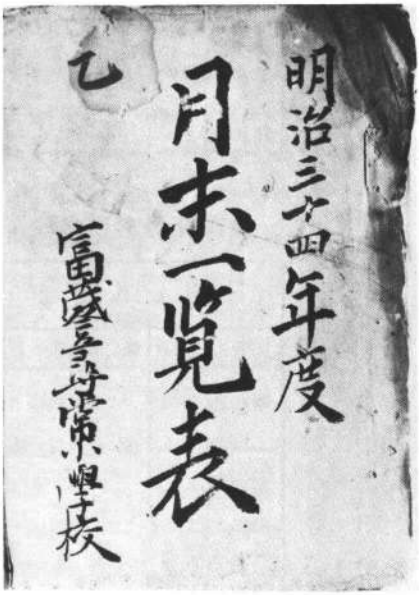
校長	矢島圭二	
年	児童数	職員氏名
1	42	浅井　鉄次郎
2	47	杉山　保三郎
3	42	樋口
4	34	野原
計	165	5



月末一覧表（富茂登尋常小学校）
児童の出欠状況の一覧表で、その月の在籍数、出席人数、欠席人数が一目でわかる。



学業成蹟考査簿



月末一覧表

明治35年度

岐阜尋常小学校の主な出来事

4．11　本日より級長・副級長及び当番を置く
4．15　児童の身体検査　天野校医
5．9　置県30年祭に付、臨時休校
5．14　父兄懇談会　4日間　授業参観　受持、校長訓話
6．23　木馬及び並行棒を作り放課後、遊技をなさしむ
10．6　9月末一覧表を市役所へ納付す
10．8　表門を石柱、鉄扉にて建築す　費用 380円なり
10．10　堀口市長、服部助役、表門検査のため来校
10．16　運動会　来賓寺尾視学官、南谷学務委員、市内小学校長、区会議員等数十名　父兄四百余名
10．21　遠足運動
11．3　天長節祝賀式
11．8　天皇陛下当駅御通輦　全児童御奉迎送
11．14　係を委嘱す　呼吸運動の調査係（小川、近藤）
児童訓練の調査係（高橋、近藤）
植物園係（小島、正木）唱歌選択係（牧田、長尾）
12．1　劣等生の特別教授をなす　月水金の放課後20分
12．26　来年1年間の下肥代を32円にて早田、松原善兵衛と契約し、本日その中金16円を領収したり
1．1　新年祝賀式　父兄百数十名も参列せり
1．14　級長、副級長交代す
2．5　卒業生を撮影す
2．11　紀元節祝賀式　父兄参列百余名
2．27　劣等児特別教授終了す
3．25　証書授与式　来賓、堀口市長、区会議員、市内小学校長50名余　父兄参列五百余名

岐阜尋常小学校

校長		山岡　清	
年	部	児童数	職員氏名
1	1		長尾進一
	2		近藤　信
	3		松田利津
2	1		小島栄太郎
	2		井深佳六
	3		横山政右衛門
	4		伊藤祐吉
3	1		正木義愛
	2		笠井精三
	3		牧田五百太郎
4	1	152	小川　格
	2		高橋鶴松
	3		青木善吉
使丁			安藤政吉
〃			安藤とく
計	13	694	16

富茂登尋常小学校　卒業生

富茂登尋常小学校

校長	矢島圭二	
年	児童数	職員氏名
1		杉山保三郎
2		
3		
4	38	

道路と橋ができる

明治末期まで、物資の輸送に欠くことのできなかったのは、船（ウカイ船）と大八車であった。運送機関として、大八車や船の数が増加するにつれて、業者の対立、交通妨害も生じた。明治7年に無鑑札営業の禁止（陸上運送）がでたのを皮切りに、次々と新しい規則が生まれた。中でも、交通量の多い中河原、岐阜町では、諸車の交通が困難で、明治13年には、街頭取締心得が出され、駐車の条件が厳しくされるほどであった。また、河川においても、事故、紛争が絶えず、明治14年には、川船取締規則ができ、陸上、川上とも交通がひん繁であったことがわかる。川船の輸送増大に伴い、下新町や玉井町には、明治の中頃に専門の船問屋ができた。

明治14年の船・車

	岐阜町	今泉村	小熊村	富茂登村	上加納村	日野村	長良村	福光村
船	9			4		13	104	29
大八車	111	32	19	52	51		30	6
人力車	28	39	12	1	23		7	3
馬　車		1						

従来、長良川の横断は、渡し船であったが、明治7年、天龍川の船橋をまねて、湊町と鵜飼屋との間に、船橋（明七橋）ができた。船橋は、長良川常水55間のうち南側24間を木橋、北側31間を船10そうでつなぐもので、橋の両側には手すり、夜はガス灯をともした。当時の交通を見ると、人が4厘、車が8厘で、一ヶ月の取場銭（交通料）が120円ほどであったから、かなりの交通量であったことがわかる。

しかし、出水のときは、船が流失することも多く、不通になることもしばしばあった。明治17年、長良橋梁社によって、木橋が架設され、以前の不便は解消された。この梁社は、それ以前、明治14年に河渡橋を架設していたが、長良橋と同時に、忠節橋、尻毛橋もつくり、岐阜町と対岸の村々との交通は著しく発展した。これらの橋は、巾が二間余で、人や車や、大八車の通行には十分であったが、木製のため　耐久年が短かく、明治末期に馬車が増加すると、危険も多くなり、大正4年には　鉄製の橋に生まれかわるのである。

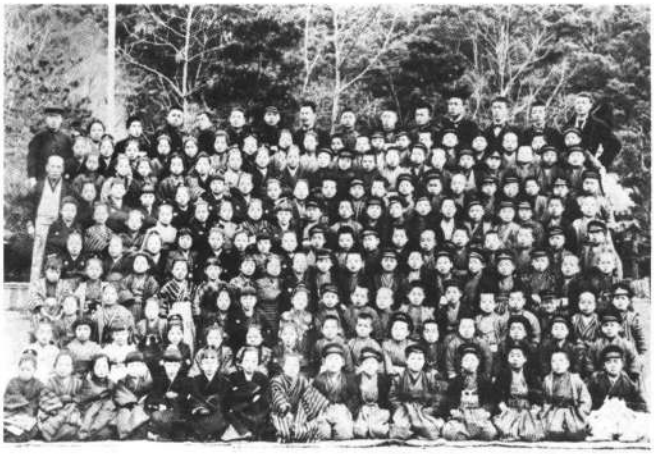
橋の架設に伴って、道路の重要性が大きくなり、道路の拡巾が盛んになった。しかし、町家の密集している岐阜町は　震災を契機として　大きく進展したが、南部ほどの大巾な拡張は困難であった。県庁が設置されてから、岐阜県交通の起点は全て司町に移った。高富街道は、白木町・今町・玉井町・長良橋をへて高富に至り、揖斐街道は、忠節町・忠節橋をへて揖斐に至った。高山へは、美殿町・金山町をへて、関ヶ原へは加納より中仙道を利用していった。

明治36年度

岐阜尋常小学校の主な出来事

4．10　学校基本財産　546円1銭5厘
4．13　腰掛（もたれ付）赤158脚　白23脚注文
4．17　4月分経費61円50銭を市役所より受取る
4．20　午後8時より本区調査会を本校事務室にて開く
5．10　聖上陛下御通輦　2年以上停車場にて奉迎送
6．10　懇談会（実地授業2時間　懇談）7日間
　　出席1年153人　2年131人　3年129人
　　4年138人　（実地授業は45分間）
10．10　児童身体検査　15日まで
10．15　秋季運動会　長良村字車野にて
10．17　午後7時半より等級調査会　事務室にて四晩行う
10．23　皇太子殿下当駅御通輦につき児童一同奉迎送
10，27　フットボール1個を富茂登小へ貸与（運動会用）
10，28　3・4年富茂登小運動会見学
11．3　天長節祝賀式
11．6　郊外運動　1年小熊野　2年梅林　3・4年鏡島
12．4　蔬菜果実品評会参観　4年物産館にて
12．31　林屋より饅頭750人分受取る
1．1　新年拝賀式挙行
1．19　体操講習会を始む　毎週火木土の1時間宛
2．2　卒業写真撮影
2．10　宣戦の詔勅下る
2．11　紀元節祝賀式　戦勝を祝し3・4男提灯行列
2．20　出征軍人歓送　2・3・4男　停車場
3．3　出征軍隊歓送　2・3・4男　停車場
3．25　証書授与式

岐阜尋常小学校　卒業生

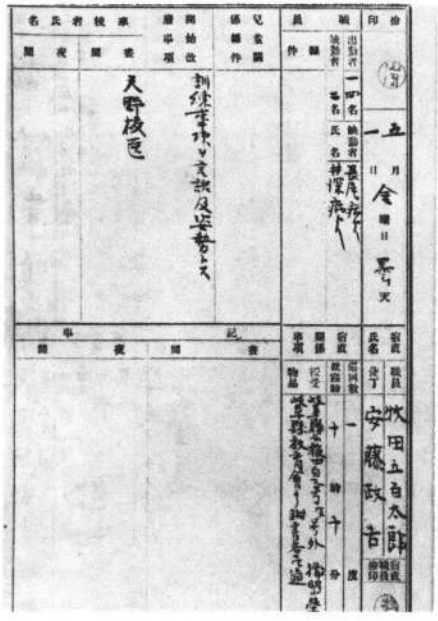


岐阜尋常小学校

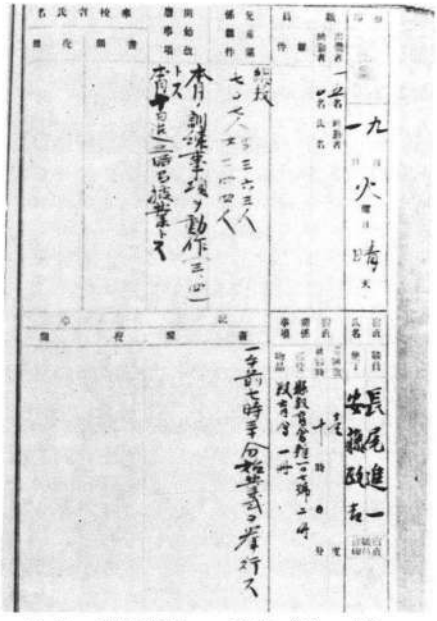
校長		山岡　清	
年	部	児童数	職員氏名
1	1 2 3	18	正木義愛 牧田五百太郎 酒井清太郎
2	1 2 3		小川格 小島栄太郎 長尾進一
3	1 2 3		伊藤祐吉 井深佳六 青木善吉
4	1 2 3	165	近藤信 横山政右衛門 藤田宗
使丁			安藤政吉
〃			安藤とく
計	12	708	15

富茂登尋常小学校

校長	矢島圭二	
年	児童数	職員氏名
1		杉山保三郎 奥村徳三郎
2		田宮新一 野原
3		
4	42	



五月　訓練事項　言語及姿勢



9月　訓練事項　動作（3・4）

訓練事項

明治後半になると、校長の話や先生の話の中に、日常生活についての躾の面が時々出てくる。それが明治36年になると、年度の始めに、月の訓練事項を決めて実践するようになった。

4月　敬礼
5月　言語及姿勢
6月　容姿及衛生
7月　動作、飲食
9月　動作（3・4）
10月　動作（5～13）
11月　公徳（1～6）
12月　公徳（7～12）
1月　社会（1～4）
3月　衛生

富茂登尋常小学校・卒業生

明治37年度

岐阜尋常小学校の主な出来事

4．15　出征軍隊歓送　4男　岐阜停車場
4．17　応接室にて等級調査会を二晩開く　午後6時より
5．4　健足運動　3年鏡島　4年金華山
5．12　出征軍人185名歓送　3・4男　入間道にて
5．12　午後7時より日露戦争の幻燈を見る　日吉座にて
5．15　岐阜市教育総会　明徳小にて
6．20　12教室を女子食堂　13教室を男子食堂とす
7．8　出征軍人歓送　3・4男　大宝寺野西にて
7．21　山土、車15台分の土を門前に布く
8．14　上村艦隊大勝の号外出る
9．5　遼陽占領　2時間にて授業をやめ伊奈波参拝
9．7　戦勝祝賀式　市内各学校合同し岐阜高等運動場で
10．18　父兄懇談会開く　5日間486人出席　七割二分
10．28　健足運動　1・2年梅林　3年岩戸　4年笠松
11．3　天長節祝賀式
11．21　応召軍人歓送　3・4男　大宝寺野西にて
12．11　戦病死者葬儀　4年総代にて会葬
1．1　新年拝賀式
1．12　旅順陥落祝捷式　旗行列　伊奈波神社前
1．15　男子同窓会、女子同窓会　演説、福引等盛会なり
1．17　丸山麓西北に火事　富茂登校無事
2．2　卒業写真をとる　森島写真師により
2．11　紀元節祝賀式
2．20　各教室の大火鉢を片づける
2．28　児童に種痘を行う
3．25　証書授与式

岐阜尋常小学校

校長		山岡　清	
年	部	児童数	職員氏名
1	1		正木義愛
	2		酒井清太郎
	3		伊藤祐吉
2	1		久世五百太郎
	2		横山政右衛門
	3		青木善吉
3	1		井深佳六
	2		近藤信
	3		長尾進一
4	1	154	小川格
	2		小島栄太郎
	3		樋口政章
	4		藤田宗
使丁			安藤政吉
〃			安藤とく
計	13		16

岐阜尋常小学校　卒業生

富茂登尋常小学校

校長		矢島圭二
年	児童数	職員氏名
1		細野宇一
2		森崎
3		横山
4	33	野田

上

九月十八日　日曜日　晴天

朝六時におき手水をつかひ朝飯をすまし少し運動して讀本修身習字のふくしゅーをなしかみをゆふてもらひ後父母のよーじにて美園町のしんるいへ行きそこのことよーきんをひさて遊びひる飯をよばれそこのこと柳ケ瀬町のかんこーばをまはる中にりばんがありたるに一つづゝかひついでに八間道の方へ遊びに行き清水寫真店にて横山富三郎さんの寫真を見物いたししんるいの内へかへりたる時は三時なり又そこのこにいろゝの本をみせてもらって遊び居る中に五時ごろになりしゆへゆに入り夕飯もよばれ七時まで遊びかんざしやおしゑをいたゞきうちへ八時にかへりて日誌をかき九時半にやすみたり

上

休日々誌

尋常科第四學年

西松ぎん

明治三十八年

一月一日　日曜日　晴天

朝七時におき手水をつかひ最敬禮をなし朝飯をすましかみをときつけてもらひ妹たちと共にき者をきかへ又妹たちや岡田たちと學校へ行き少し遊びて吉田さんと二人にておちゃをふけいのおかたに出し九時ごろにはじまり皆々運動じょーにてれつをつくりきょーじょーの中にはいり式をすまし十時半ごろに内へかへり又き者をきかへて少し遊び河合さうさんや浅野ことさんたちすまし妹たちをなしかごろより五とびなどをしてびに行内へ日誌をかき遊びて八時ごろにねました

明治38年度

岐阜尋常小学校の主な出来事

4．15　等級調査会三晩行う　午後7時より11時まで
4．21　同窓会役員会開く
5．1　児童身体検査　トラホーム患者に受療証明票交付
5．12　健足運動　1・2年小熊野　3年鏡島　4年金華山
5．18　山岡清校長　依願退職
5．28　波艦隊対馬沖の海戦に勢力半減すと東京電話あり
6．1　日本海海戦祝勝の旗行列　2時間授業してから
6．5　運動会　公園にて
6．19　本日より日直を設く
7．23　西別院にて戦病死者葬儀　4男会葬
9．1　加藤良次郎校長赴任
9．17　卒業生同窓会を開く
10．4　本日よりポンプ井戸の工事に着手す
10．14　遠足運動
10．16　調査会を二晩開く　午後8時より
10．28　午後6時より加藤校長、天野校医よりトラホーム患者父兄に対し、トラホームに対する訓話を行う
11．3　天長節祝賀式　全員により唱歌演習会を催す
11．20　ペンキ屋硝子窓の修繕をなす
12．22　堀口市長及学務委員数名巡視
2．2　岐阜区会　区会議員諸氏参会　北舎にて
2．3　卒業生記念写真撮影
2．11　紀元節祝賀式　来賓8名
2．16　小型オルガン1個　受取る
3．5　人夫をやといブドウ棚の修繕をなす
3．25　証書授与式

岐阜尋常小学校

校長		山岡　清	
年	部	児童数	職員氏名
1			正木義愛 井深佳六
2			青木善吉 伊藤祐吉 近藤　信
3			久世五百太郎 長尾進一 小島栄太郎
4		152	小寺太郎 藤田　宗 福田きみよ
使丁			安藤政吉
〃			安藤とく
計			14

富茂登尋常小学校　卒業生

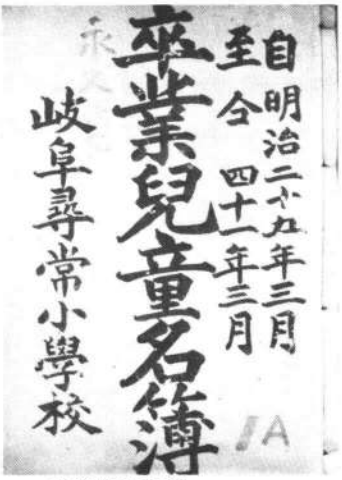
富茂登尋常小学校

校長	矢島圭二	
年	児童数	職員氏名
1		細野宇一
2		野田
3		
4	47	

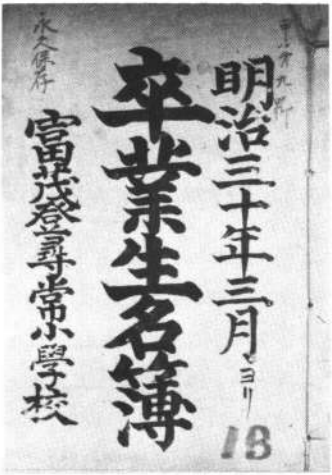
卒業児童名簿

濃尾震災で焼失しているので、それ以前のものはない。岐阜尋常小学校の分は、明治24年度より現在までが十冊になっている。富茂登尋常小学校の分は、明治29年度より岐阜尋常小学校に合併するまでが一冊になっている。

卒業児童名簿には、卒業児童の氏名・生年月日・住所・保護者名等が記入してあって、学校の重要な書類となっている。



卒業児童名簿
岐阜尋常小学校



卒業生名簿
富茂登尋常小学校

富茂登尋常小学校

明治39年度

岐阜尋常小学校の主な出来事

4．1　市凱旋祝賀式参列　全児童
4．2　始業式　入学式（本年より二つに分けて行う）
4．14　階上大掃除
4．21　階下大掃除
5．2　父兄懇談会　1年　翌日2年……とつゞく
5．7　遠足運動
5．22　実地研究授業　各学年とも行う
5．26　海軍記念日に付、第2・3時に体操遊戯演習会
6．3　テニス大会　市内教員十数名出場し仲々盛会
　　加藤校長は女子同窓会員を引卒し、農学校・師範女子部を見学
9．14　稲葉の誓願寺にて全児童　日光の模型を見学
9．15　男子同窓会
10．6　トラホーム検診
10．10　黒板画講習に全職員出席　岐阜高等にて
10．12　文部視学官　大島氏巡視
10．13　健足運動　1年梅林　2年岩戸　3年金華山
　　4年笠松
10．17　新嘗祭につき休業
10．30　運動会
11．3　天長節祝賀式
11．17　岐阜区会　開会さる
11．20　父兄懇談会
2．5　卒業記念のため写真撮影
2．20　梅林へ郊外運動
3．25　証書授与式

岐阜尋常小学校

校長		加藤良次郎	
年	部	児童数	職員氏名
1			正木義愛 井深佳六 青木善吉
2			伊藤祐吉 久世五百太郎 長尾進一
3			小島栄太郎 小寺太郎 上松啓次郎
4		159	藤田宗 福田きみよ
使丁			安藤政吉
〃			安藤とく
計			14

富茂登尋常小学校　卒業生

富茂登尋常小学校

校長	山田京松	
年	児童数	職員氏名
1		細野宇一
2		野田
3		
4	34	

岐阜尋常の頃

朝の始業の鐘がカーン、カーンと稲荷山にこだますると、あわてて家を飛び出して走る。教室へ入ると先生が「手を見せよ」とおっしゃるので手を見せると、「塀を乗り越えてきたな」と大目玉を食った。岐阜尋常の北側はからたちが植っていて入れないが、東側の末広町通りは低い石垣の上に低い板塀があって、その板塀は真っ黒に塗ってあった。末広町の私たちは近道をしてこの板塀を乗り越えると、手のひらが黒くなって先生に見つかってしまった。正門は米屋町から東へ溝を渡った所にあったが、朝なんかとても廻る時間がなかったもんだ。

私には5才年上の兄がある。私が学校へあがる前、「歯が痛い」というと、その兄が「これをかめ、歯の痛いのがなおるぞ」といって竹の切れを呉れた。「これなんや」というと、「これはな、学校の先生にもらったもんで、大分前に雷が学校の国旗掲揚の竹棹に落ちた時の竹の切れだ。これをかんでいるとなおる」と大切そうに呉れた。私はもらってその竹の切れをかんだもんや。歯の痛みがなおったかどうか忘れてしまったが、その時は竹の切っぱしが雷の落ちたもので、貴重なものやと思っとった。私が学校へ行く頃は、国旗掲揚は丸太になっていて、その下に花壇があり、美しい花が咲いて、そのそばに井戸があった。きまって暑い八月には井戸浚いがあって、井戸の中の土やごみ揚げの綱を引っぱるのを手伝わされた。

いろんな遊びをしたもんだ。一番よくやったのはタガ廻しである。直径45cm位のまるい鉄輪を、先にY型の針金がついた竹の棒で、押して走って鉄輪を廻すのである。速力が出ると輪が走るので分銅の代りに、鉄輪に二つ小さな輪がはめてあった。学校の備品としてあったので、休み時間などタガ廻しの取りあいをやった。自分が廻して思いっきり運動場を走るときはカタ、カタ、カタ、カタと音がして皆どいて自慢であった。運動会の種目にもタガ廻しがあって、やったもんだ。放課後は校門がしまって、運動場へは入れなかったので、家の近くで遊び、鉄輪のタガは高かったので竹の輪をまわした。自転車のリームで輪廻しが流行しだしたのは学校を卒業してずっと後の事である。

学校にはタガ廻しの外に、茶色の皮製のフットボールが一箇あって、運動場でみんなで蹴って遊んだ。私物のゴムまりでベースボール（今の野球）もした。バットは青竹で組毎の試合もした。ゴムまりは仲々高価なものだったので大てい何人かでお金を出しあって鞦屋町の奈良屋で買ってきた。先生に紫インキで学年・名前を書いてもらうと小使室へとんでいって灰をかけた。灰をかけておくと字がなかなか消えなかった。このゴムまりでテニスもやった。稲荷山へはよく出かけた。山の中でかくれんぼ、鬼ごっこ、椎の実拾い。路では石けり、庄屋券、走りごっこ、戦争ごっこ。女の子はお手玉、あやとり、石けり。遊んだことは想い出してもきりがなく、その一つ一つが楽しいもんだ。

（明治34卒森本すゑ、35卒説田俊治、37卒奥田市三郎、38卒生月銀次郎談）

明治40年度

岐阜尋常小学校の主な出来事

4．12　健足運動　1年梅林　2年小熊野　3・4年鏡島
4．13　加藤校長死亡　15日葬儀
5．4　県産品共進会参観　全校
5．24　芝居観覧　川上一座　美殿座にて
6．3　新校長　関谷国治着任
7．12　風琴1台購入　東洋株式会社製第2号
7．18　始業時刻変更7時35分　終業11時30分
7．24　撒水車1輌　購入
8．2　井戸浚人夫4名来校
10．1　父兄懇談会始まる　5日間
10．15　秋季運動会挙行
10．16　日露戦役記念式挙行
10．25　遠足　1年浄土野　2年以上長森
10．30　午前授業　午後、勅語下賜記念日につき休業
11．1　上松啓次郎　富茂登尋常小学校長に転任
11．3　天長節拝賀式
11．13　3年　富茂登小運動会参観
11．18　学校巡視（堀口市長、服部助役　他6名）
12．21　オルガン修繕
1．1　新年拝賀式挙行
1．25　堀口市長　午後6時逝去さる
1．30　孝明天皇祭につき休業
2．11　紀元節奉祝式
2．19　全校、午後郊外運動　梅林へ
2．28　卒業記念の廻旋塔完成
3．25　証書授与式

岐阜尋常小学校　卒業生

岐阜尋常小学校

校長		関谷国治	
年	部	児童数	職員氏名
1			正木義愛 久世五百太郎 長尾進一
2			小島栄太郎 青木善吉 小寺太郎
3			井深佳六 伊藤祐吉 上松啓次郎 藤田宗
4		158	野田まさ 安藤けい 福田きみよ
使丁			安藤政吉
〃			安藤とく
計			16

富茂登尋常小学校

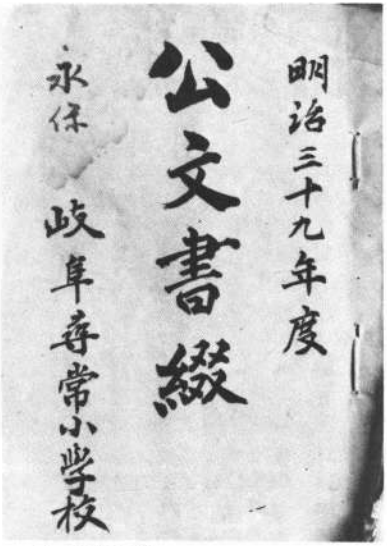
校長	山田京松	
年	児童数	職員氏名
1		河村直也
2		矢島利
3		
4	34	

義務教育が6ヶ年となる

4ヶ年の義務教育が短いのは、識者の認めた所であったが、国民の自覚も次第に高まり遂に小学校令を改正して義務教育を6ヶ年とした。小学校令改正の要点は次の通りである。

小学校令改正　明治40年3月20日

- 修業年限　尋常小学年　6ヶ年　義務
  高等小学年　2ヶ年（又は3ヶ年）
- 教科（尋常）　修身・国語・算術・日本歴史、地理・理科・図画・唱歌・体操（加えうるもの手工、裁縫）



公文書綴

米屋町の岐阜尋常小学校（明治41年7月26日撮影）　運動場より西に向き、中舎を望む。左右に平屋の北舎、南舎があり、三つの校舎は運動場を中にしてコの字形をなしていた。

明治41年度

岐阜尋常小学校の主な出来事

4．1　始業式　新入児童200名余の実力調査をなす
4．14　校舎鎧張塗替職工作業す
4．22　京都市窪添晴吉、全校児童を撮影す　16枚
4．25　遠足　1年小熊野　2年以上岩戸
4．30　宿直室を北校舎の東北室へ移す
5．9　岐阜連隊軍旗到着　2年以上迎送　神田町にて
5．11　保護者懇談会始まる　6日間
5．18　校地板囲、職工二人作業す
6．27　岐阜高等における手工講習会に職員14名出席
7．8　学務委員巡視（服部市長、関谷助役　他7名）
7．26　西濃印刷より岐阜市案内掲載のため校舎撮影をす
7．27　トラホーム検診
10．13　午後11時まで楽隊練習
10．14　運動会
10．16　市調査会　午後7時より　調査委員9名来校
10．31　午前授業　午後休業（勅語下賜記念日）
11．3　天長節拝賀式
11．5　保護者懇談会
11．10　健足運動　1年梅林　2年鷺山　3・4年大垣
1．1　新年祝賀式挙行
1．29　農林学校生産物品評会観覧（加納）3・4年
2．7　今朝積雪　1尺2寸　近年にない大雪
2．11　紀元節祝賀式挙行
2．15　明徳小にて第1回音楽会開会　訓導10名出席
3．5　全校健足運動　梅林
3．25　証書授与式

岐阜尋常小学校

校長		関谷国治	
年	部	児童数	職員氏名
1			正木義愛 久世五百太郎 長尾進一
2			井深佳六 青木善吉 細野増五郎 武藤久吉
3			小栗卓爾 小島栄太郎 伊藤祐吉 藤田宗
4			野田まさ 安藤けい 福田きみよ
使丁			安藤政吉
〃			安藤とく
計	14	720	17

富茂登尋常小学校　卒業生

富茂登尋常小学校

校長	上松啓次郎	
年	児童数	職員氏名
1		河村直也
2		井上造一
3		矢島利
4		

岐阜尋常小学校一年三部

岐阜尋常小学校二年

富茂登尋常小学校学級写真

明治42年度

岐阜尋常小学校の主な出来事

4．1　始業式　義務教育6ヶ年に延長につき5年を置く
4．16　健足運動　1･2年鷺山　3年鏡島　4･5年三田洞
5．17　音楽会に出演　明徳小にて
5．24　保護者懇談会　4日間行う
6．2　バイオリン講習会（明徳小にて）受講　5訓導
6．3　トラホーム検査（天野校医）
6．4　市役所吏員　授業料徴収　毎月1回
6．16　トラホーム患者の洗眼
7．28　天野校医　水泳志望者の体格検査をなす
7．31　終業式　褒状授与
8．5　井戸浚をなす
9．1　始業式　級長（正副）
9．14　京都某写真師　全校児童の撮影をなす
9．18　皇太子殿下奉迎　全校児童　八間道にて
9．25　皇太子殿下行啓の際に使用の卓子掛の1部を受く
9．27　音楽会に出演　明徳小にて
10．8　楽隊にあわせ各学年の遊戯をなす
10．13　運動会
10．15　等級調査会　午後7時より10時　3晩行う
11．3　天長節　午後金華倶楽部主催のロンテニス大会
12．27　終業式
1．1　新年祝賀式挙行
1．11　始業式　級長（正副）任命
2．11　紀元節儀式挙行
3．25　証書授与式
3．28　名古屋市共進会観覧　3年以上

岐阜尋常小学校

校長		関谷国治	
年	部	児童数	職員氏名
1	1		細野増五郎
	2		青木善吉
	3		安藤けい
2	1		近藤卯三郎
	2		正木義愛
	3		清水つね
3	1		伊藤祐吉
	2		渡辺佐太郎
	3		桜井よね
4	1		堀口亮治
	2		長尾進一
	3		福田きみよ
5	1		久世五百太郎
	2		坪内郁郎
	3		武藤久吉
使丁			安藤政吉
〃			安藤とく
計	15	810	18

富茂登尋常小学校　学級写真

富茂登尋常小学校

校長	福田鹿之助	
年	児童数	職員氏名
1		河村直也
2		井上造一
3		林清吉
4		矢島利
5		藤田宗

富茂登尋常小学校学級写真

富茂登尋常小学校学級写真

富茂登尋常小学校学級写真

関谷先生の教育（元校長　明40～昭5）　富田幸治

関谷先生は本巣郡穂積町本田のご出身で、小学校長、県視学などを歴任されて明治40年6月当時の岐阜尋常小学校長として着任された。その後高等科が併設され、金華尋常高等小学校と改称されたが、昭和6年3月まで24年間ずっと校長をなさっていたので、当時校下の若者は悉く教え子であり、斉しく恩師と仰いだ。先生は県の校長会長をなさって教育界にも校下にも信望の厚い重厚な権威者であった。

1920年代（大正から昭和にかけて）の初等教育は、海外の学者を驚嘆させるほど画期的な飛躍発展をみせた。ドルトンプラン・自由教育・全人教育・労作教育・郷土教育・映画教育に続いて創造教育・綜合教育へと大正デモクラシーは教育界に多彩な花を開かせた。関谷校長は新教育のメッカといわれる玉川へ奈良へ広島へ職員を派遣して原理をつきとめ、新風を吸収させ吟味と検討を加えて定着するまで指導をされた。金華の映画教育は県下の嚆矢であったし、あとになって労作、綜合教育で全国に名をあげたのはここで素地ができたものであろう。

こうしていろんな技術や方法が考えられたが、日本教育の基本は教育勅語であった。国語も修身も歴史も基本を逸脱することはなかった。関谷校長が重々しい口調で捧読された勅語の一字一句ははらわたにしみた。忠孝・朋友・自立・博愛など少年の胸底に刻み込まれた。戦後になって思想統制に利用したとか、神話や天皇制がどうとかの誹謗によって教育の場から消されてしまったが、明治23年から半世紀間に勅語教育を受けたひとには思い出のたねであろう。

関谷校長は職員の研修と実力養成に力を注がれた。研究授業と成績物の校長点検にはいつもひやひやした。公開授業を全員でみると総べての先生に意見を述べさせたあと、授業者を酷評し、批評者をたしなめられる。「限りなく求めよ」「自から窓を開け。」「教材に精通せよ」というのが先生の指導であった。成績の処理・進級の決定・公表簿の記帳整備は極めて厳しく、常に公正であるか、信念をもって処理しているか、責任ある仕事ができているかを確かめられた。全校児童の清書と図画は一枚一枚丹念に目を通された。担任の甲とか10とかの評点の肩に関谷の私印を捺してもらえないと教室掲示ができなかった。鑑賞眼を高め、かたよりを正し、学級差をつくらないで全校レベルをあげるようにされた。考査簿や学籍簿に記載もれでもあると学年主任まで呼び出していっしょに叱られた。

スポーツの奨励は校名が金華と改称されたとき、全国にその名を知らせたいというねらいもあって関谷校長の力の入れ方も格別であった。とりわけ少年野球は尋常科が県内最強で練習相手がないので一宮第四・高岳・やまぶき等名古屋まで出かけ、全国大会の県代表として遠く明治神宮外苑や寝屋川・藤井寺の球場まで遠征して活躍した。高等科は明徳・笠松と三つ巴で覇を争った。その時の少年選手松井・村瀬・加藤・永井君らが岐商の全国優勝をやりとげた。高野・林先生が指導と監督、私や白井先生は投げては打たせるマシンの役だった。柳原・可児・

野中・中島先生らはマネージャー役。とにかく職員みんなで休み返上の練習を重ねた。陸上は永田・高崎・沢田先生らが中心になり、強さもマナーもすばらしい金華の選手を生んだ。市内6校の職員スポーツも旺んであったが、優勝カップに注いだ一升ほどの酒を投捕のバッテリーで飲み干したこともあった。

関谷先生はご在職中校庭の隅にあった校長公舎でご家族とお住いであった。長めに刈込んだごま塩の頭髪、太い眉もと濃いひげは縮み上がる位のこわさを感じたが、しきりと眼ばたきをしながら話を聞いて下さる時は、頼みがいのあるやさしい親爺さんであった。学校で私事を語られなかったが、くつろいだ時に公事を持出されることもなかった。

先生はぐずとぼんやりが嫌いであり、ごまかしや中途半端は許されなかった。放課後いろり端などでだべっていると教頭をさしむけて「早く帰って勉強せよ」とか「校庭に出て運動をせよ」とか注意される。「自から学ばざるもの人を教うべからず」ということであろう。先生で文検をとる者がふえ、検定をとってもそのまま残るひとが多かった。答案や綴方は家へ持帰って採点したし、中等学校なみの高度な内容をもつ教授細目をつくったり、休みの日に出てきて実験の用具や標本を自作したりした。それは義務感や煩らわしさでなく楽しかった。

関谷先生のご在職は明治、大正、昭和にかけて四半世紀に及び、その教え子は数千名に上った。遠藤さんらの発起で先生の胸像が校庭に樹てられた。先生のご功績が学校の続く限り伝えられることになった。先生のお喜びはひとしおであった。しかし戦争が酣となったとき赤だすきをかけて供出されたまゝ還らず、先生のよすがを偲ぶこともできなくなったのは残念であり申訳ないと思う。金華小百年を祝う中でみなさまと共に改めて恩師関谷先生を讃えたい。

（筆者は旧職員にして、現在、富田女子高等学校長）

校門より校舎を望む

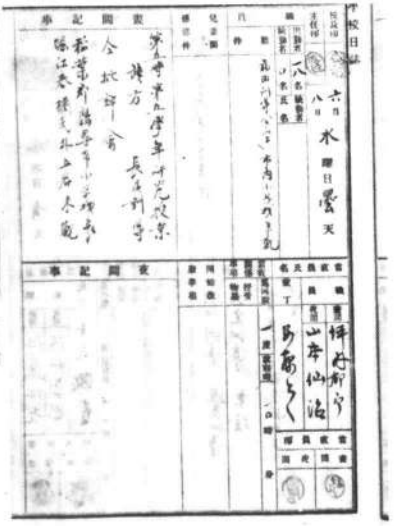
明治43年度

岐阜尋常小学校

主な出来事

4．1　尋常科第6学年を置き、1年より6年を収容す
富茂登尋常小学校を廃して分教場とし、学校の位置を大工町に移転することに決す
始業式　入学式　正副級長任命
4．15　新教科書研究会　年間に6回行う
5．4　市役所吏員来校し授業料徴収す
5．10　健足運動
5．13　伊奈波の忠魂碑竣工式、招魂式に参拝
5．15　金華山頂模擬天守閣落成　市内人出10万人
3日間祝賀会挙行　4男以上提灯行列
5．21　全校実地授業並批評会　5年理科　堀口訓導
7．25　トラホーム患者検眼
7．30　終業式
9．1　始業式　正副級長任命
10．14　秋季大運動会挙行
10．25　新校舎へ諸道具移転　午後児童運搬
10．26　大工町の新校舎1棟竣工し、米屋町の3年以上の児童670人を収容す（11学級）
10．29　修学旅行　5・6年470名　南宮神社へ
11．3　御真影を大工町新校舎に奉遷し祝賀式挙行
午後宿直室の夜具畳を新校舎に運搬す
12．27　終業式
1．1　祝賀式
1．11　始業式　正副級長任命
2．11　紀元節祝賀式
3．18　米屋町の1・2年及富茂登分教場の教室移転
3．20　修学旅行　5・6年　熱田地方へ
3．25　卒業式

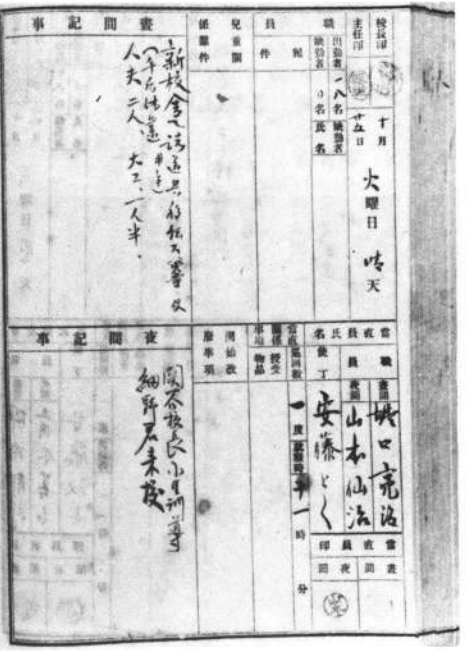
校長		関谷国治	
年	部	児童数	職員氏名
1			渡辺佐太郎 久世五百太郎 近藤卯三郎
2			堀口亮治 坪内郁郎 青木善吉 武藤久吉
3			伊藤祐吉 福田鹿之助 長尾進一 山本仙治
4			小里勲 河野銀治 岸嘉兵衛
5			大岩藤市 河村直也 日比野とく 宮崎ゑつ
6		175	清水つね 桜井よね 福田君代
使丁			安藤政吉
〃			安藤とく
計		1189	24



学校日誌　研究授業が記載してある

学校日誌（10月25日、26日）

大工町の新校舎へ移転が記してある。26日は移転と研究授業とを同日の中で実施していて、研究の意欲の程が伺える。



明治44年度

主な出来事

4．1　始業式　入学式　**米屋町旧舎並富茂登分教場とも大工町に移転**に付、学級編制換をなす
4．12　級長辞令授与（正副）　22日合同体操
4．26　全校遠足運動　雄総
4．29　全校実地授業並批評会　6の2算術　山本訓導
5．5　学年実地授業並批評会　5の2歴史　渡辺訓導
これより各学年毎に実地授業並批評会を行う
5．27　新校舎落成式挙行
6．9　本夕より電燈十燭、五燭点火す
6．12　学年別父兄懇談会　13日合同体操
7．31　終業式　褒状授与式挙行
9．1　始業式　級長任命（正副）
9．9　学年毎に実地授業並批評会始まる
10．7　畜産共進会観覧　2年以上
10．14　運動会
10．25　修学旅行　1～3年鷺山　4年宮代　5・6年彦根
10．30　教育勅語奉読式
11．3　天長節奉祝式
12．1　学芸会並懇談会
12．27　終業式
1．1　慶賀式挙行
1．11　始業式　級長任命（正副）
1．20　全校実地授業並批評会　4の3算術　伊藤訓導
2．11　祝賀式挙行
2．13　合同体操
3．1　お伽会　3年以上
3．25　卒業式
3．26　学芸会

岐阜尋常小学校

校長			関谷国治
年	部	児童数	職員氏名
1	1	140	渡辺佐太郎
	2		久世五百太郎
	3		坪内郁郎
	4		青木善吉
2	1		福田鹿之助
	2		近藤卯三郎
	3		山本仙治
	4		岸嘉兵衛
3	1		岩間勘四郎
	2		武藤久吉
	3		清水つね
	4		桜井よね
4	1		河村直也
	2		堀花枝
	3		日比野とく
	4		小里勲
5	1		堀口亮治
	2		伊藤祐吉
	3		渡辺志な
6	1	153	春田き美よ
	2		長尾進一
	3		内田りゃう
使丁			栗田七太郎
〃			岩田長吉
計	22		25

移転前後の大工町

親から聞いたように思いますが、学校が移ってくる以前には、今の南の校門のあたりには、米穀取引所があって、それが三番町に移るとその跡に紙すき工場があったようです。私の知っている時は工場は仕事をやめてしまって、大きな平屋の建物が荒れるにまかせて、ガランと雑草の中に建っていました。これは子どもたちの格好の遊び場で、兵隊ごっこや、かくれんぼやバッタを追いかけたりしました。今の東門から西へはずうっと堤防まで道がのびていてその両側に町並みが続いていました。下大桑町といって、今の中大桑町と続いていたのですが学校が移ってくる時に、立ちのいてしまいました。それにしても今から思えば学校の辺りもその前には米穀取引所といい、下大桑町といい、仲々大勢の人達が出入りして、にぎやかな場所であったようです。

大工町には北舎と南舎の二つの校舎が東西に建てられて立派なものでした。それが二階建の渡り廊下で結ばれていて、北舎の二階から南舎の二階へ住来するのに便利でした。この渡り廊下の二階の中央には鎧一揃が飾られていました。廊下を通る度に立派なものだななどと感心して首をかしげたものです。なんでも桑原善吉様が寄贈されたものだと聞いています。しかしこれらはすべてが大正4年の火事で焼けてしまったことはほんとうに残念なことです。

南門からずっと東への大工町通りと、東門から南への蜂屋町通りとは道路に面して民家がありました。学校から見ると運動場の南も東も、南門・東門を除いて、民家があってその裏が見えました。今ある銀杏も校庭にはなかったのです。大工町の通りから北へ露地を少し入ると門があり、その門のわきに銀杏が立っていました。門を更らに北へくぐりねけると、こぢんまりした本堂がありました。これが護持舎という寺です。これら大工町、蜂屋町の通りに面した民家やお寺は大正13年9月の校地拡張の時に立ちのいてしまいました。お寺の門のわきにあった銀杏が今は校庭の中にそびえているのです。

校門より　明治四十四年四月一日

遠足は文字通り歩いたものです。鷺山や雄総へ行きました。男子は多くは袴をはいて、男子も女子もわらじをはいて行きました。弁当は日の丸弁当で、それを白い布を折って袋のようにしたものに入れて、肩から斜めにかけて胸の前に結びました。テクテク歩くのですがそれでも結構楽しいものでした。

（大正元年度卒　青木通雄・大正2年度卒　松野　勇談）

大正元年度

岐阜尋常小学校

主な出来事

4．1　入学式　始業式
4．8　正・副級長の任命　電燈会社工夫来校電球取りかえ
4．18　市役所吏員２名　本月分授業料を徴収す
4．19　午前11時烈風降雹　境川鉄橋にて貨物列車落つ
4．25　修学旅行　５年桑山　６年赤坂
4．26　遠足運動　１・２年岩戸　３・４年長森
5．13　合同体操
5．25　第５時　全校実地授業並批評会　読方６の３　尾頭
6．1　帽子白覆布を用う
7．26　学芸会　２日間
7．28　聖上陛下御危篤の号外出る
7．29　天皇陛下御病気平癒祈禱の為め伊奈波神社に参拝
7．30　天皇陛下崩御　哀悼式を行う
9．2　始業式　級長・副級長任命
9．13　明治天皇御大葬　遙拝式を挙行す
9．23　暴風雨のため南舎階上殆んど吹き払われ、北舎瓦の大半がとび西室半潰　風速35ｍ　３日間休校
9．26　北舎にて２部授業をなす
9．29　内務省潮書記官、服部市長、風害状況巡視
10．1　市教育会主催夜学会幼年部本夕より開会
　志望者21名　関谷校長、福田、武藤訓導が教授
10．26　５・６年桃山御陵参拝　日帰り
10．29　全校普通授業をなす
11．13　合同体操
1．11　始業式　級長・副級長任命
1．21　全校算術実地授業並批評会
3．22　学芸会
3．25　卒業式　成績展覧会

校長		関谷国治	
年	部	児童数	職員氏名
1			市川進一 山本仙治 春田き美よ
2			武藤久吉 桜井よね 河村農夫吉 河村直也
3			福田鹿之助 日比野とく 清水つね
4			岩間勘四郎 青木善吉 堀花枝 野村宗男
5			岸嘉兵衛 坪内郁郎 近藤卯三郎 渡辺志な
6	1 2 3	169	尾頭信一 堀口亮治 杉山澤平
使丁			栗田七太郎
〃			岩田長吉
計			24

政治・経済の中心　白木町・米屋町　明治四十二年

発展する岐阜市

大正8年、市役所は白木町から美江寺（現公園）に移った。市会はいつも熱気をはらみ乱闘による流血までひき起すほどで、鉄条網で囲いをしなければならないとまで言われた。九代目市長の丸茂藤平は、一万円市長（当時の県知事の給料は四千円）と呼ばれ、岐阜市の発展を期して迎えた大物であったが、僅か一年半で辞職してしまうほど、びん乱の様相を呈し、全く"つける薬"がないというありさまであった。

十代目市長を勤めた松尾国松は、その頃、県地方課長をやめ、木田の自宅で百姓をしていた。俸給ばかり高くて役立たない市長は、評判が悪かったが、"松尾がやるなら賛成だ"という声が強く、就任することになった。

このような状況の下、旧岐阜町出身の市議会議員の活躍は、めざましいものがあった。明治28年に中河原より木材界の伊藤孫左衛門が出たのを初め、大正6年には、中川三左衛門、大正10年には、伊藤孫左衛門、山内膳次郎、丹羽種次郎、平野吾一、村瀬庄吉、等続々とくり込み大正末年には、全議員の四分の一が木材界で占められたほどである。第一次大戦、関東大震災による業界の盛況は、そのまま政界に反映されていたのである。

大正時代の岐阜市の人口

2年	50872人
6年	55033人
10年	66101人
14年	82281人

経済の好況は、市内及び周辺部に大工場の建設を促し、労働者として、農村を離れて都市に集中する青少年も多く、かってないほどの人口増加をした。これら企業の多くは、旧岐阜町を離れた市南部にでき、その方面の発展の足場となったのである。

大正２年度

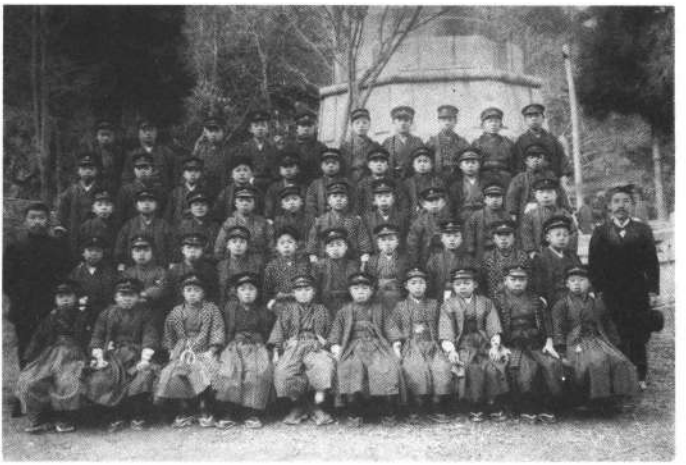
岐阜尋常小学校

主な出来事

4．1　入学式　始業式
　　風水害の復旧工事竣工し、普通授業を行う
4．19　修学旅行　１年岩戸　２年雄総　３・４年志段見
4．21　肥塚藤重氏の戦争談をきく　５・６年
4．25　修学旅行　５年笠松　６年赤坂
4．28　合同体操
6．5　父兄懇談会始まる　６日間
6．27　合同体操
7．3　模型御大葬展覧会観覧　４年以上　有楽園にて
7．17　故有栖川宮威仁親王殿下葬儀につき休校
7．21　校下取締区別に編成す
7．25　学芸会　２日間
9．29　皇太后殿下、京都へ行啓　５・６年駅にて奉送
10．13　運動会挙行
10．19　天皇、皇后両陛下行幸啓　５・６年駅にて奉送
10．25　修学旅行
　　１年（鏡　島）　２年（早田）
　　５年（名古屋）　６年（彦根）
10．31　天長節儀式を挙ぐ　旗行列を行う
11．1　全市小学校連合運動会　４年以上参加　駅の東で
11．11　観兵式見学　４年以上　68練兵場にて
11．27　合同体操
1．1　四方拝儀式挙行
1．16　電燈破損箇所修理　電燈会社人夫来校
2．20　教室の火鉢を取り付ける
3．18　皇太子殿下、岐阜駅通過　６年奉送
3．23　学芸会　２日間
3．25　卒業式　成績品陳列

校長		関谷国治	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	66	野間宗男
	2	67	岩間勘四郎
	3	66	岸　嘉兵衛
	4	66	市川進一
2	1	65	杉山澤平
	2	65	坪内郁郎
	3	64	福田鹿之助
3	1	63	武藤久吉
	2	62	青木善吉
	3	61	堀口亮治
4	1	57	近藤卯三郎
	2	58	河村農夫吉
	3	53	河村直也
	4	51	山内泰治郎
5	1	56	山本仙治
	2	55	木村省吾
	3	49	渡辺志な
	4	50	春田き美よ
6	1	53	堀　花枝
	2	48	清水つね
	3	49	桜井　米
	4	49	五十川茂登
使丁			栗田七太郎
計	22	1273	24

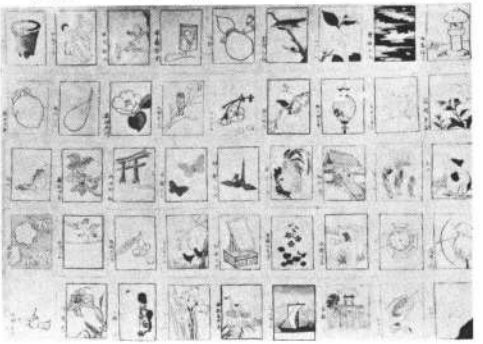
卒業写真　六年一部



卒業写真　六年三部

習字　6年3部

図画　6年4部



大正３年度

岐阜尋常小学校

主な出来事

4．11　皇太后宮崩御につき訓話
4．15　岐阜郵便局新築につき６年縦覧
4．22　市吏員２名来校し、４月分授業料を徴収す
4．27　校外取締組長任命並びに組編成をする
4．29　遠足運動　１年（公園）２・３年（岩戸）等
5．23　校庭２ヶ所に電燈をつける　100燭燈
5．24　昭憲皇太后御大喪儀遙拝式挙行
5．25　昭憲皇太后御霊柩車通過　駅にて３年以上奉送
5．28　合同体操
6．1　保護者懇談会始まる　６日間
6．8　日光模型の展覧会観覧　４年以上
6．14　天皇・皇后両陛下奉迎送　駅にて５年以上
7．4　皇太子殿下奉迎送　駅にて６男
7．27　学芸会　２日間
9．8　学用品購買部を開く
10．13　秋季運動会挙行
10．27　修学旅行　１年（岩戸）２年（梅林）３年（長森）
　　４年（養老）５年（名古屋）６年（常滑）
11．8　青島陥落祝賀旗行列　伊奈波神社まで
11．11　６年　測候所見学
12．12　合同体操
1．1　新年祝賀式
1．11　始業式後各教室に大火鉢配付
1．14　大雪　１尺１寸
1．24　学用品費　旅行費徴集
2．11　大喪中につき紀元節拝賀式を挙行せず
3．10　健足運動　１年円山　２・３年権現山　４年以上
3．25　卒業式　成績品陳列　金華山

校長		関谷国治	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	69	野村宗男
	2	70	杉山澤平
	3	68	市川進一
	4	70	安達為松
2	1	65	坪内郁郎
	2	63	傍島昌次
	3	65	福田鹿之助
	4	64	武藤久吉
3	1	62	青木善吉
	2	64	近藤卯三郎
	3	65	河村農夫吉
4	1	62	河村直也
	2	61	太田泰治郎
	3	64	山本仙治
5	1	58	木村省吾
	2	57	渡辺志な
	3	51	春田き美よ
	4	50	堀　花枝
6	1	51	田中すゑ
	2	51	宗宮きし
	3	43	五十川茂登
	4	43	河村　享
使丁			栗田七太郎
計	22	1316	24

遊びと行楽

子どもの頃を想い出すと童心にかえったようで楽しさで一ぱいです。勉強もしましたがとにかくよく遊んだものです。今のように車が通りませんから道は子どもの遊び場でした。たまに通る馬車や人力車も子どもが遊んでいるとよけて通ってくれて、道は子どもの天国でした。お天気がよかろうが雨が降ろうが、道のまん中や庇の下で遊んだものです。かくれんぼ、鬼ごっこ、ゴムまりでテニス、庄屋券などをしました。

夏は川あそびで川にばかりいました。冬はなんだか今より寒かったようで、雪もよく積りました。独楽廻しは正月の子どものものですが、それがすぎると竹馬です。竹馬といわずにアシダといいました。高いのに乗るのが自慢で、足をのせる台の下が二米以上もある高いのに乗って、鼻高々と道を歩きました。それから片足で立ってみせたり、駆けてみたり、軽業のような真似もしました。アシダを作るのも楽しみの一つで丹羽裏の渡船場か四屋の渡船場で長良川を渡り、向う岸の竹藪で竹を切ってきました。渡し賃は無料でしたから、アシダ作りに夢中になる中にも、今から考えればのんびりした時代でした。

はやっていたアシダがすぎると凧あげです。喧嘩祭といわれた美江寺祭がやってくるのを子どもは首を長くして待っています。その日は親にせがんで、どこの子も凧を買ってもらいました。凧の中でも人気のあるのはアブ凧で、あげるとブーンとアブのような音を出します。美江寺祭がすぎると、どの道も、堤も凧あげの子どもで一ぱいです。そして待ちに待った凧あげ大会がやってきます。学校裏の河原の会場には賞品が山と積まれて、河原は凧をあげる子どもとそれを応援する親たちで大変なにぎわいです。

お彼岸には家中揃って西別院へお参りに出かけました。行くと食物屋は勿論、覗き、軽業なども小屋をかけていて近郷近在の老若男女で一ぱいでした。又蓮華の花が咲く頃になるときまって鏡島の弘法さまへ家族連れでお弁当を持ってお参りしました。シバイミといって末広座や明治座へ家中総出で芝居見物に行きました。持っていった重箱の御馳走を食べるのが楽しみでした。何かあるときまって家族が揃って行ったことが今とは大分ちがいます。年中で一番にぎやかなのが岐阜祭です。山車が12台も出て、各町内からは縦が80cmもある大行燈を何箇も若い衆がかついで、にぎやかに繰り出したものです。

小学3年生の時、大工町新校舎落成のお祝がありました。昼花火は揚るし、裏の河原では宝探しがあるし大変なにぎわいでした。宝探しは貝がらの中に紙片が入っているのです。その時嬉しかったのでよく覚えていますが、宝探しの貝がらを石の下に見つけて賞品に蚊帳のつり手1組をもらいました。学校の先生はよく面倒を見て下さいました。私達の受持ちは1年から6年まで青木善吉先生でした。先生は慈愛のこもった中に厳格と寛容のある訓をして下さいました。先生が大正11年6月早世された時は同窓生愕然とし、先生の追悼の法要を西別院で行いました。関谷校長先生はじめ諸先生も列席され盛大でした。まだ先日のように想い出されます。

（大正3年度卒　山村　清／談）

大正４年度

岐阜尋常小学校

主な出来事

4．9　書画展覧会観覧　４年以上　県会議事堂にて
4．20　学用品費、旅行費徴収　学用品入袋使用
4．23　市役所吏員２名来校し授業料を徴収す
4．27　健足運動　各学年毎に日を定め実施す
5．17　校舎焼失　校舎校具全部焼失　臨時休校２日間
5．20　２部授業開始　１年（宿直・物置）２･３年(明徳)
　　４年以上（岐阜市尋常高等）に収容す
6．27　新校舎地鎮祭
8．19　１年、公園内武徳殿に収容す
9．15　祝大典提灯行列　先頭楽隊　本校・白山・徹明
　　明徳、順路　泉町･司町･美江寺･柳ヶ瀬
10．5　御大典記念文庫新設趣意書配布す
10．20　記念文庫新設寄付金　全校合計23円86銭
10．28　公園にて全校合同体操　それより遠足
10．30　御大典記念文庫を設置す
10．31　天長節祝賀式
11．6　御即位式行われる
11．9　奉祝御大典　日の丸徽章１個づつ配布
11．10　御即位祝賀式挙行
12．13　北舎（２階建　180坪、12教室）竣工
　　今までの武徳殿・明徳・岐阜市尋常高等より児童を
　　戻し、２部授業をなす
1．1　新年祝賀式
1．18　南舎竣工　２部教授を普通授業に回復する
2．3　御大礼活動写真を観覧　３年以上電気館にて
2．11　紀元節奉祝式
2．16　京都御所拝覧　５・６年　臨時列車にて
3．25　卒業式　成績品陳列

校長			関谷国治
年	部	児童数	職員氏名
1	1	73	杉山澤平
	2	74	安達為松
	3	71	松原郁郎
	4	74	傍島昌次
2	1	63	近藤卯三郎
	2	64	武藤久吉
	3	63	福田鹿之助
	4	64	青木善吉
3	1	64	山本仙治
	2	64	河村農夫吉
	3	62	河村直也
	4	63	太田泰治郎
4	1	62	木村省吾
	2	66	山本幸七
	3	61	渡辺志な
5	1	59	春田き美よ
	2	58	堀文一
	3	58	石川清流
6	1	52	堀花枝
	2	55	田中すゑ
	3	46	宗宮きし
	4	43	五十川茂登
使丁			栗田七太郎
計	22	1359	24

我が學校の火事

五の一　末原孝一

ちょうど十七日の晩でありました。ぼうぼんをたべ、外へでて見ると、大勢が花火の様になって畫のやうで大そう大大事でありました。それ大事だと弓吸提灯をこしにつけ、學校へやっつけたがおしいことにはそろ〳〵焼け落ちてしまった。金はたへまなく、だらうちに「ヤレ〳〵」とはんしよをたたいた。家にかへり屋根に水をまきそれぞれの家へ見舞に行ったが、まやうい所屋のためにたすかって焼けなかったから一先安心いたしたけれども學校だけですんだから安心した。又大事場でさはぐ人の聲かこえまでも聲へる。

私が學校の火事

五の二　家田政男

五月十七日の夜私が學校は焼けてしまった。僕がねかけたらぼんしようをじゃん〳〵とうつた。僕はおどろいてどこかと見れば學校らしかった。僕もかけつけて見たら學校であった。見るまに火の勢が強くなった。四方にとび方る火のこは天を大丈りその内に四方より飛び来りし消防の動きにて火勢やうやく不火となった。消防にいきし人にきけば學校は全部やけてしまったといはれたその時間は大つそ一時間半ばかりであった。僕なこの時火はじつにをそろしいものだと思った。併し授業をする所が有いからしんぱいで〳〵たまらなかった。

我が學校の火事

五の一　河村治

とつぜんぢやん〳〵とかねの音が聞えたかと思つくりしてどこだ〳〵と見ると見ると火は勢がついて火のこはおちて来る。天はまつかになつてゐるひけしはちをちんを持って學校へ行く其の中にようやく火もきえた。畫はおもしろく勉強していたが一夜の中にまる焼となったのは殘念である然し御眞影はぶじであったと言ふのでまつ安心した。火は實にをそろしい物だ火の取あつかひは大切にしなければ成りません。

我が學校の火事

五の二　東本孝權

五月十七日の夜勉強をしまうれば機械現山のみかぢやとぶとぶとにはれに水りちがいたがらおどろいて雨戸まあけてみれば思ちがけになく大火事であった。實におそろしいあっていれば學校と何一つでもだめさんねんに思った。

次正四年五月

児童自作文 我學校は火事

第五學年一部

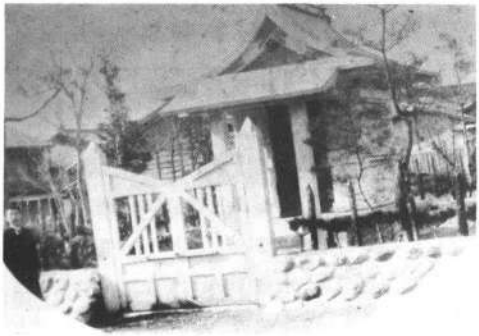
大正５年度

岐阜尋常小学校

主な出来事

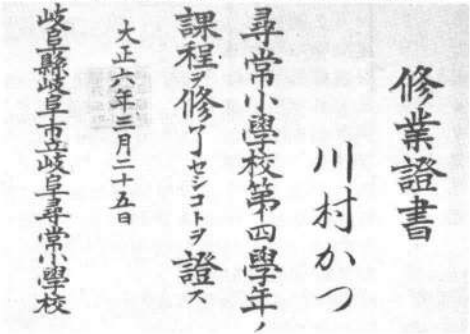
4．21　学年ごとに修学旅行　５年養老　６年船来山
5．8　奉安庫建設着手
5．20　アート・スミス氏の飛行を観覧　68練兵場にて
5．29　御大典文庫　児童に閲覧始める
6．1　懇談会　６日間行う　下足番１人を毎日傭う
6．12　南舎・北舎大掃除
7．8　表運動場に鉄棒備付
7．13　学校長　住宅に引移らる
9．12　欧州戦乱の少年譚をきく　３年以上　武徳殿にて
9．27　合同体操
10．1　お伽噺をきく　３年以上　武徳殿にて
10．27　校庭西南隅に奉安庫竣工　御影奉戴式　運動会
10．31　天長節奉祝式
11．2　遠足運動挙行
11．3　立太子礼奉祝式　午後６時より４男以上提灯行列
11．4　立太子礼奉祝旗行列
11．7　奉安庫生垣植込
11．8　衛生劇観覧　３年以上　明治座
12．18　矢野動物園観覧　全校生　今小町にて
12．21　歯牙衛生講話をきく　３年以上
12．23　学芸会　２日間
12．28　積雪　尺余に及ぶ
1．1　新年拝賀式
1．5　積雪　１尺５寸　20年来の大雪
2．11　紀元節奉祝式
2．28　電話開通　1092番
3．25　卒業式　成績品陳列
3．26　６年修学旅行　彦根多賀地方

校長		関谷国治	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	60	杉山澤平
	2	60	安達為松
	3	59	松原郁郎
	4	60	渡辺廉
	5	55	近藤卯三郎
2	1	68	武藤久吉
	2	68	福田鹿之助
	3	70	青木善吉
	4	69	山本仙治
3	1	65	河村直也
	2	65	永田正三
	3	65	河村農夫吉
	4	64	山本幸七
4	1	58	渡辺志な
	2	60	春田き美よ
	3	65	堀文一
	4	66	石川清流
5	1	63	田中すゑ
	2	67	森藤吾
	3	62	堀花枝
6	1	51	篠田美和
	2	51	道家文子
	3	54	田辺ひさ
使丁			栗田七太郎
計	23	1425	25



奉安庫　運動場の西南隅（現在の体育館）にあった。

1年を修業する度に、修業証書を渡した



修業證書

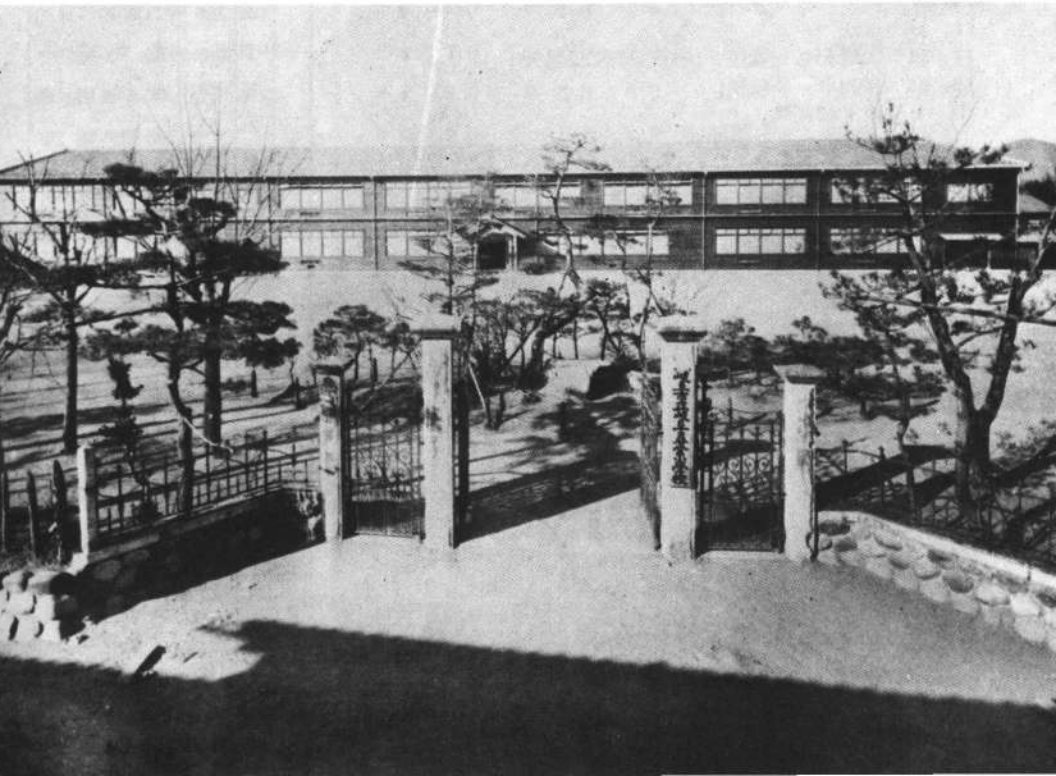
川村かつ

尋常小學校第四學年ノ課程ヲ修了セシコトヲ證ス

大正六年三月二十五日

岐阜縣岐阜市立岐阜尋常小學校

火災後、再築された校舎全景



大正６年度

主な出来事

4．1　共同購買　売渡所を南舎東階段下に設ける
4．11　昭憲皇太后式年祭につき儀式を挙げる
4．14　６年修学旅行　名古屋市へ
4．25　健足運動　１年岩戸
5．3　欧州戦乱写真展覧会観覧　４年以上　明徳小にて
5．15　鳳水会事業として運動場の１部に角力場を設ける
5．17　火災２周年につき職員一同　午後10時まで警備
5．19　運動場に掲示板を設く
6．1　保護者懇談会始まる　６日間
6．14　５・６年飛行機見学　歩兵68連隊で
7．4　東宮殿下駅通過　５・６年奉迎送
7．26　学芸会　２日間
7．30　明治天皇５周年式年祭挙行
8．1　朝起徒歩会　毎朝８月30日まで実施　３年以上
５時半より７時までの間に伊奈波、金神社へ参拝
10．8　天皇陛下の御影奉還
両陛下の御影奉載式挙行
10．27　運動会挙行
10．30　６年修学旅行は彦根　５年修学旅行は名古屋
10．31　天長節奉祝式
11．10　角力大会に６男４チーム出場　伊奈波神社前
11．14　遠足
11．21　大典記念三重塔上棟式　学校長参列
12．25　学芸会　２日間
1．1　新年祝賀式
1．11　各教室へ大火鉢配布
2．11　紀元節奉賀式
3．25　卒業式　成績品陳列

岐阜尋常小学校

校長		関谷国治	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	59	杉山澤平
	2	60	松原郁郎
	3	59	近藤卯三郎
	4	59	武藤久吉
	5	52	田中広蔵
2	1	68	青木善吉
	2	69	太田仙治
	3	70	福田鹿之助
	4	69	河村直也
3	1	69	河村農夫吉
	2	71	永田正三
	3	65	山本幸七
	4	65	遠藤清九郎
4	1	58	石川清流
	2	59	渡辺志な
	3	69	春田き美よ
	4	67	森藤吾
5	1	56	田中すゑ
	2	56	堀花枝
	3	59	纐纈武一
	4	62	道家文子
6	1	57	永田静
	2	59	鳥沢貫一
	3	55	田辺ひさ
使丁			栗田七太郎
計	24	1492	26

大正の好景気

大正3年に起きた第一次大戦は、日本の経済発展に大きな影響を及ぼした。資力のある者の成金時代を迎えたのである。

大正5年の一戸当りの納税額は、前期47銭5厘5毛、後期57銭5厘5毛で、これを市内の10人の多額納税者と比較すれば、業界が如何に繁栄を極めていたかがわかる。また、注目すべきことは、その多くが、旧岐阜町、旧富茂登村の出身者で占められ、依然として、市経済界の中核は、金華校下にあったのである。一方岐阜市の予算が、5万6千円余であったことからみて、彼等が岐阜市の財政の屋台骨になっていたことを十分うかがうことができる。

この間、国内では好況の裏に米価を初め、諸物価の値上りは著しく、一般市民の生活は、次第に苦しくなっていった。しかし、岐阜市においては企業の勃興に伴う労働力の増加と、農民の購買力の急上昇とで、経済活動は、益々伸展した。

岐阜市多額納税者　大正5年

前期納税	後期納税	住　所	氏　名
141円70	171円70	松屋町	渡辺　甚吉
89　00	107　90	玉井町	桑原　善吉
71　40	86　60	元　町	篠田　祐八郎
56　70	68　70	本　町	矢野嘉右衛門
56　70	68　70	金屋町	岡本太右衛門
44　20	53　60	玉井町	松井　三治郎
44　20	53　60	七軒町	加藤　清助
25　30	22　45	常盤町	奥住　半兵衛
18　50	30　65	末広町	井上　兵助
18　50	30　65	久屋町	今井　武兵衛

大正12年、商工会議所会頭であった桑原善吉はこの好景気をとらえて、贈答品の展覧会を、物産館（現大学病院東新館の地）で開催し、各種商品の品質の改善をはじめ、包装と容器に特別の意匠を凝らす流行を生み出した。

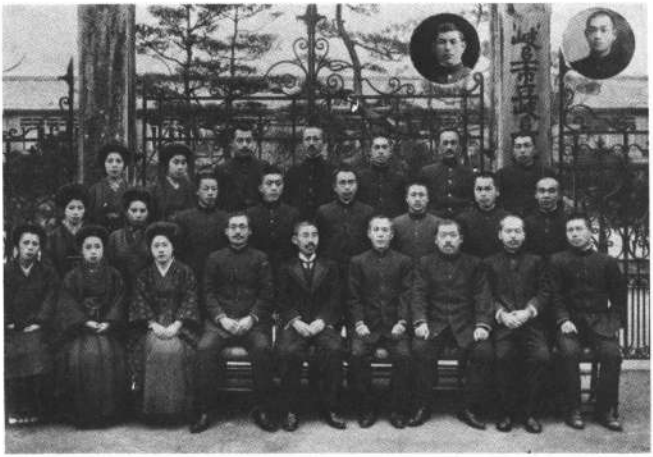
木材界においては、大正12年の関東大震災の復旧による諸材木の需要が急増し、その好況は他業界を圧していた。鉄道不通により、長良川や木曽川を利用して四日市まで運び、汽船で東京芝浦まで出したという。とにかく、木材の価格が一躍3倍になったのだから、その利益は漠大であった。

この好況の中で、岐阜市では多くの企業の誕生と規模の拡大がみられた。金華校下においては、不動産、有価証券、商事、建設、織物等の合資、合名会社が多く設立された。しかし、大正末から昭和にかけて、次第に産業活動はにぶり、没落していく企業も、数を増していった。

大正７年度

主な出来事

4．12　お伽講演をきく　３年以上
4．21　岐阜公園板垣伯銅像除幕式　同伯来岐
4．22　お伽歌劇観覧　明治座　３年以上
4．24　遠足運動挙行
5．17　火災３周年に当り職員一同、11時半まで警備
6．5　保護者懇談会始まる　６日間
6．12　消防劇観覧　３年以上　明治座
7．12　烈風午後２時頃最も烈しく瓦を剝ぎ樋を落す
7．21　武徳会主催水泳講習会に４年以上100名参加
7．27　学芸会
8．15　**米価暴騰救済事業**として市営米価廉売実施につき市役所吏員数名来校す　本日より６日間
その後も米券交付により幾度も廉売実施す
8．24　第３師団に動員令下る　市内で350名
9．3　歩兵68連隊野戦隊見送り　５・６年
9．5　第３師団を岐阜駅にて見送り　４年
9．22　**恩賜米交付**　１戸につき１升入１袋
10．28　運動会挙行
10．29　悪性感冒にかゝる者148名　５日間休校
11．8　16日まで休校
11．19　休戦奉告祭に学校長　伊奈波神社に参拝
1．1　新年奉祝式
1．11　各教室へ大火鉢配布
1．20　降雪　６寸
2．5　歩兵68連隊の１部隊凱旋　５・６年出迎え
2．11　紀元節奉祝式
3．16　６年多賀旅行
3．25　卒業式　展覧会



岐阜尋常小学校

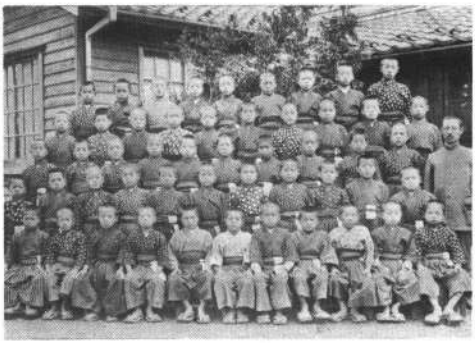
校長		関谷国治	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	64	杉山澤平
	2	63	松原郁郎
	3	60	近藤卯三郎
	4	62	関谷広蔵
	5	58	武藤久吉
2	1	70	青木善吉
	2	73	太田仙治
	3	72	永田正三
	4	69	河村直也
3	1	67	河村農夫吉
	2	67	山本幸七
	3	65	遠藤清九郎
	4	66	福田鹿之助
4	1	71	中村保
	2	71	森藤吾
	3	72	渡辺志な
	4	68	春田き美よ
5	1	54	田中すゑ
	2	58	長田花江
	3	67	纐纈武一
	4	66	道家文子
6	1	57	五島静
	2	51	鳥沢貫一
	3	53	田辺ひさ
	4	56	奥田泰境
使丁			栗田七太郎
計	25	1600	27

児童の服装

写真を撮るというので、かすりの着物を着ているが、平常は木綿の立縞の着物を着ていた。しかし式の時は女子は紋付きを着る。袴は平常ははいていない。こゝにある写真は式と日常との中間で、他所行きの姿である。

1 年 1 部

1 年 3 部



6 年 1 部

6 年 3 部

大正８年度

岐阜尋常小学校

主な出来事

4．1　始業式　入学式
4．3　歩兵68連隊出征見送り　5・6年
4．11　昭憲皇太后祭に付き臨時休業
4．24　遠足運動
4．25　6年修学旅行　多賀彦根
5．7　皇太子殿下成年奉祝式
5．13　皇后陛下岐阜駅通過　6年奉迎送
5．25　歩兵68連隊の一部帰還　5・6年歓迎
6．2　保護者懇談会始まる　5日間
7．1　ヴェルサイユにてドイツ講和条約に調印
講和祝賀式　5．6年は旗行列
9．29　1年　矢野動物園観覧
10．25　市制30周年　市庁舎落成　祝賀旗行列をなす
10．26　歩兵68連隊の一部帰還凱旋　5・6年出迎え
名和昆虫博物館開館式　学校長参列
10．27　運動会
10．31　天長節奉祝式
11．6　遠足運動
11．10　天皇陛下岐阜駅通過　6年奉迎送
11．15　2日間　凱旋祝賀休業　5・6年旗行列をなす
11．17　新愛知新聞主催　お伽噺会　4・5年岐中にて
11．18　天皇陛下駅通過　5年奉迎送
12．26　学芸会
1．1　新年祝賀式
1．12　各教室に大火鉢を配布
1．17　流行性感冒予防のマスクを児童に使用せしむ
2．11　紀元節祝賀式
3．25　卒業式　展覧会

校長		関谷国治	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	61	杉山澤平
	2	63	松原郁郎
	3	64	近藤卯三郎
	4	67	武藤久吉
	5	66	青木善吉
2	1	61	河村直也
	2	61	河村農夫吉
	3	60	山本幸七
	4	59	遠藤清九郎
	5	54	白木豊司
3	1	72	柳原憲一
	2	74	福田鹿之助
	3	63	中村保
	4	62	森藤吾
4	1	72	渡辺志な
	2	76	田中すゑ
	3	68	長田花枝
	4	74	林みね
5	1	70	纐纈武一
	2	72	道家文子
	3	71	三浦スエオ
	4	65	鳥沢貫一
6	1	52	五島静
	2	53	渡辺隆徳
	3	58	田中ひさ
	4	59	河野躬之
使丁			栗田七太郎
計	26	1677	28

米騒動余波

第一次世界大戦による好景気の裏には、米価および諸物価の非常な値上りがあった。中流階級以下は、悲惨な生活に陥ったのである。中でも米価の暴騰は停止することなく、大正7年8月1日に、岐阜米穀取引所（米屋町、後に三番町に移転）は、立会を中止し休業した。米騒動の波は、名古屋市より岐阜に及ぶきざしがあり、市は臨時参事会と市議会を開き、救済費5万円を支出し、又救済資金は、市内資産階級の寄附により、低廉な米穀を供給することにした。警察署は、日夜公園その他、人の集合する個所を厳重に警戒した。とくに資産階級、米穀商店の多い旧岐阜町や旧富茂登村では、当事者の不安は隠しきれず、警察との連絡を密にし、倉庫内の米の放出にやっきとなった。

市は町総代を招集し、納税等級24等以下の市民に米廉売券を毎日午後3時より7時まで交付し、市内の本校始め各小学校及び市役所で、内地米35銭、外国米19銭で米廉売券と引き換えに売り渡した。

米価の騰貴は、依然として止まず、市民生活は窮乏の度を加えた。

大正7年当時の1日の賃金（米は1升40銭～60銭）

農夫 60銭	大工 80銭	傘張 1円	理髪 95銭
井戸堀 75銭	左官 90銭	木挽 1円10銭	

大正7年8月、市議会議員、商業会議所役員、市の有力者、新聞記者等、100名の会合で、市長服部正を会長とする臨時救済会を作った。米券交付をやめ、全ての市民に、白米1升30銭、外米は15銭で売り渡した。また、困窮者には、御下賜金の参千円をもって、施米したのである。

9月に入り、恩賜デーを挙行し、22日には、午前8時より12時半まで、市内の本校始め各小学校において、恩賜米一升ずつを与えた。その数は7,249人にのぼった。米の廉売券を受けたのは延8万5千余人に達していた。とにかく、失業こそ少くなかったものの、物価の上昇は、賃金を大きく上回わり、市民は食うのが精一杯の有様であったのである。

旧岐阜町や旧富茂登村においては、経済的な階層の差が大きく、上下の対立の危機は他地域に比べて大きかった。しかし、多数の資産階級の人々は、岐阜市の政経両面にわたる重鎮であり、公的にも私的にも人道的精神の持主が多く、それらの人々の敏速な処置によって、流血の惨事は幸いに避けることができた。

この米価の上昇による市民生活の混乱は、その後も市民生活に多大の影響を及ぼし、細民の子弟の一部を養育するため、警察、寺院、官史、有力者の援助で保育会が、大正5年につくられ、大正12年には、今町2丁目に北部分所を設けた。こうした、慈善事業は、経済的に苦しむ市民に多大の精神的安定を与え、この難局を切り抜ける大きな力となったのである。

大正９年度

岐阜尋常小学校

主な出来事

4．1　始業式　入学式
4．9　皇太子殿下駅通過６年奉迎送
4．20　６年お伽講演会をきく　県会議事堂
4．28　遠足　６年は桑山
5．25　各学年毎に体操会を始める
6．4　保護者懇談会始まる　６日間
7．19　学芸会
7．20　終業式　褒状授与
9．25　各学年毎に体操会を始める
9．27　増築工事手斧始をなす
10．17　市体育奨励会主催角力大会に幼年部１等賞を得
10．28　運動会
　　父兄等の来観者、運動場に黒山を築く
10．30　教育勅語煥発30周年記念式挙行
10．31　天長節奉祝式
11．1　明治神宮鎮座祭につき遙拝式を行う
11．4　東宮殿下御西下　６年奉迎送
11．7　市民大運動会　丸山公園グランド
11．11　遠足　５年修学旅行（名古屋）
11．14　６年修学旅行（彦根・多賀）
11．25　各学年体操会始まる
12．15　北舎増築の建前をなす
12．25　学芸会
1．1　新年拝賀式
2．11　紀元節奉祝式
2．25　東宮殿下御通過　６年奉迎送
2．28　各学年体操会始まる
3．25　卒業式　展覧会

校長		関谷国治	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	63	杉山澤平
	2	62	松原郁郎
	3	63	近藤卯三郎
	4	65	武藤久吉
	5	67	青木善吉
2	1	63	高野憲治
	2	62	遠藤清九郎
	3	64	河村直也
	4	62	河村農夫吉
	5	59	柳原憲一
3	1	74	福田鹿之助
	2	70	今川幸市
	3	75	渡辺志な
	4	77	田中すゑ
4	1	71	頴穎武一
	2	79	高木吝い
	3	67	長田花江
	4	71	林みね
5	1	73	道家文子
	2	73	渡辺隆徳
	3	72	鳥沢貫一
	4	77	河野躬之
6	1	68	林貫治郎
	2	71	五島静
	3	58	土方寿美恵
	4	60	田辺ひさ
使丁			栗田七太郎
計	26	1765	28

角力と運動会

大正になってから角力が次第に盛んになってきた。とにかくまわし一本の準備で、寒い冬は身体をぶつけあって暖かくなり、暑い夏は玉なす汗をたらしてとり組む壮快さが一般大衆に受けたのであろう。伊奈波の広場に角力場ができて夜間は大人も子供も稽古に集った。そして、祭日等には何かの名目をつけては角力大会が開かれた。その時は大変なにぎわいで声援や野次が飛び角力の事が後々までも語り草となった。少年角力もあって、下新町の山田寛君と外川君とが優勝争いをしていたように覚えている。行司は久屋町の加藤さんがいつもして下さった。

学校には旧岐阜町の青年団鳳水会が大正6年5月15日角力場を作った。子どもたちは待望の角力ができると大喜び、学校の先生方も非常な熱の入れようで、放課後には先生や青年団のコーチで角力に取り組む子たちが見られた。他の学校でも次第に角力を行うようになり、大正9年10月17日には市体育奨励会主催の角力大会が開かれた。そこで本校は1等を勝ちとった。これがそもそも野球に陸上に籠球にと各運動部門に活躍し運動王国金華を打ち建てた第一歩である。それから毎年角力大会で優秀な成績を収めてきたが、特に大正14年10月11日市体育奨励会主催では高等科が優勝、昭和5年11月3日市体育奨励会主催では尋常科が優勝している。

このように角力は学校の誇る運動種目として永く続けられてきた。その間、角力場もあちこちと場所をかえた。大正6年に創設された頃は、今ある大銀杏が民家の庭にあって、その北寄りに角力場が作られた。その後、大正13年に運動場隅が大拡張され大銀杏も校庭に入った。越えて昭和8年に奉安庫が講堂建設のため運動場西南隅より、運動場東南隅（今の仲よしの丘）に移転したので、角力場は銀杏の北から校庭の裏、今の岩石園の西あたりに移転した。この角力場は屋根付き四本柱で立派なものであった。終戦後になって奉安殿が取りこわされるとその跡に前と同様、屋根付き四本柱の角力場を完成したが、伊勢湾台風などにいためつけられ屋根はなくなり四本柱のみ残していたが、仲よしの丘がこゝに築かれたのである。そして角力によせる夢と情熱とは大正、昭和を通じて約半世紀の長い間、若い金華の少年達を動かし、その大観衆の声は稲葉の山々にこだましていた。

運動姿は今からは想像もつかないような恰好であった。男の子も女の子も着物を着ていた。着物で体操をするのだから、やりにくくて仕方がない。それで男の子は下着の白のメリヤスのももひきを膝で紐でしばり、身体に食いつくようなシャツを着て行った。女の子は着物のまゝなので長い袂もあって、赤いたすきを十文字にかけて行った。

運動会ともなればそれは大変な賑わいであった。父兄総出で運動場正面に作られた桟敷は勿論、トラックの周りに黒山のように集まり、終日大喚声が揚っていた。運動の種目も棒たおし騎馬戦など勇ましいものが多く、やんさ、わんさと騒ぎまくり、勝つと山と積まれたいろんな賞品がもらえた。勝った子たちはにこにこ顔で賞品をもらった。専門の楽隊屋がプカプカドンドンと勝負に景気をあおり立て、三八式小銃がズドンと号砲をならした。ほんとうに賑やかなのどかな運動会であった。　（大正9年度卒　貝崎準一、田中甚一　12年度卒　太田鈴子談）

大正10年度

岐阜尋常小学校

教育の重点　映画教育　体操教育

4．26　健足運動
4．27　体操会　各学年毎に校外児童取締組別をなす
5．24　5・6男　蠅蚊駆除宣伝のため校下一巡
6．1　保護者懇談会始まる　6日間
6．30　暴風雨　被害板塀、樋、瓦、ガラス約 750円
7．1　6年活動写真観覧　東宮殿下の渡欧　岐阜劇場
7．16　移転造作中の宿直使丁室完成 5燭電灯1個取付
7．19　学芸会
8．9　幼児世界9月号受けつける
9．3　皇太子殿下帰還奉祝式挙行
9．7　3年以上活動写真観覧　御渡欧写真　衆楽館
9．20　5・6年活動写真観覧　計量器について　衆楽館
9．21　看護当番勤務　本日より実施
9．26　暴風雨　午前2時半より1時間、最激烈
南舎中央6教室倒壊　東西各10間大破損
移転間もない宿直使丁室の屋根飛ぶ　損害6万円
9．28　1・2年は2部教授をはじめる
10．27　運動会挙行　31日天長節奉祝式
11．3　6年　お伽講演会をきく　岐中にて
11．6　連合運動会に出場　5・6年選手　岐中にて
11．10　1・2年の2部教授を廃す
11．11　各学年にて修学旅行　雄総・岩戸・三田洞等
11．15　5年修学旅行　多賀・彦根
11．17　6年修学旅行　京都・桃山　日帰り
1．1　新年拝賀式　1月28日劇観覧4年以上岐劇
2．11　紀元節奉祝式
2．13　非常用井戸堀り着手
3．25　卒業式　展覧会（2日間）

校長		関谷国治	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	55	杉山澤平
	2	58	松原郁郎
	3	55	近藤卯三郎
	4	56	武藤久吉
	5	55	青木善吉
2	1	64	高野憲治
	2	63	遠藤清九郎
	3	58	柳原憲一
	4	59	河村直也
	5	45	河村農夫吉
3	1	64	今川幸市
	2	63	福田鹿之助
	3	64	渡辺志な
	4	65	田中すゑ
	5	61	纐纈武一
4	1	70	渡辺隆徳
	2	72	鳥沢貫一
	3	69	高木斉い
	4	73	長田花江
5	1	74	林みね
	2	68	道家文子
	3	65	河野躬之
	4	65	林貫治郎
6	1	67	五島静
	2	69	土方寿美恵
	3	59	北川つる
	4	61	田辺ひさ
使丁			栗田七太郎
計	27	1697	29

林間聚落始まる

本年より（大正13年度まで）市内尋常小学校の虚弱児童を集めて、林間聚落が行われた。第１学期の終業式の翌日頃から８月20日すぎまで岐阜公園で行った。

遊んだり、昼寝をしたり、水泳をしたり、おやつをもらったりして，楽しい毎日が続き、身体が弱く青白い子も、聚落の終る頃には、まっ黒に日焼けして、見るからに丈夫になった。本校からも毎年20名位が参加し、職員も若干名がこの指導に当った。

全員勢ぞろい（大正12年）

楽しいおやつの時間（大正12年）

女子も冷水摩擦（大正12年）

長良川で水泳（大正12年）

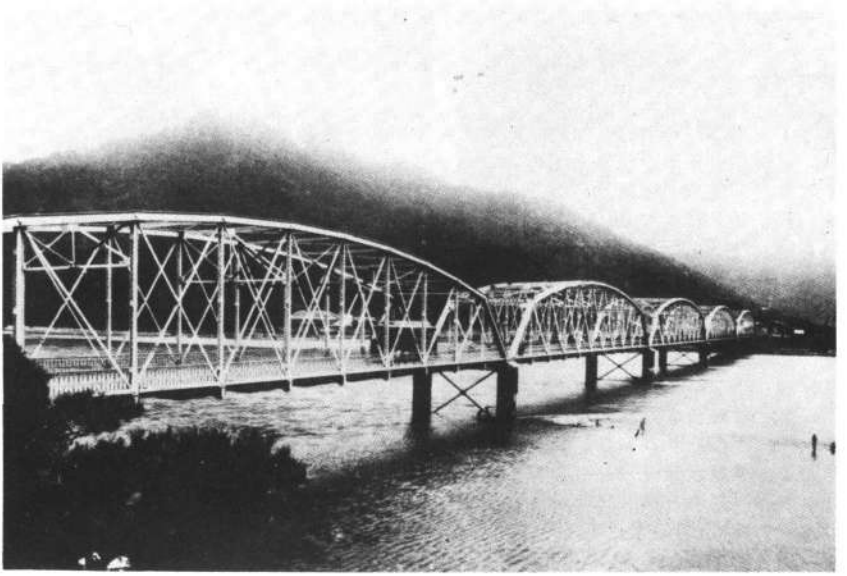
大正11年度

教育の重点　映画教育　体操教育

4．27　遠足
4．28　英国皇太子来岐　4年以上奉迎送
5．18　6年修学旅行　富田浜へ汽車にて
5．26　体操会
6．1　6年お伽講演会をきく　県会議事堂にて
6．5　6男　午后蠅蚊駆除宣伝隊に参加し校下一巡
6．6　保護者懇談会始まる　6日間
6．18　青木善吉訓導　病気静養中の処、遂に永眠
6．30　6男　左側通行並防火宣伝旗行列に参加
7．2　少年野球大会に出場　岐中校庭
7．12　岐阜日日新聞主催のお伽講演会をきく　4年以上
7．17　学芸会　3日間
7．21　市内尋常小学校の虚弱児童を集め林間緊落　公園
8．30　北舎控の鉄材工事竣功
10．27　運動会挙行
10．30　学制発布50周年記念式挙行　体操祭(丸山で)
10．31　天長節奉祝式
11．4　各学年毎に修学旅行　5年多賀　6年敦賀
11．26　女子師範音楽会に賛同出演　4女14名
12．11　校舎改築地鎮祭　竹中建築店　50,900円
12．20　5．6年活動写真観覧(少年義勇団)衆楽館
1．1　新年奉祝式
1．12　各教室に大火鉢を配る
2．11　紀元節奉祝式
2．23　6年　岐中にてお伽講演会をきく
3．2　体操会を開く　各学年毎に
3．4　宿直使丁室　移転工事着手
3．25　卒業式　成績品展覧（2日間）

岐阜尋常小学校

校長		関谷国治	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	69	杉山澤平
	2	69	松原郁郎
	3	71	近藤卯三郎
	4	70	武藤久吉
2	1	69	青木善吉
	2	69	高野憲治
	3	70	遠藤清九郎
	4	68	柳原憲一
3	1	59	河村直也
	2	60	今川幸市
	3	58	福田鹿之助
	4	58	渡辺志な
	5	60	田中すゑ
4	1	62	纐纈武一
	2	62	渡辺降徳
	3	63	林　みね
	4	62	鳥沢貫一
	5	63	河野躬之
5	1	72	伊藤たか
	2	72	林　貫治郎
	3	69	内木たまえ
	4	70	土方寿美恵
6	1	72	田辺ひさ
	2	70	北川つる
	3	58	佐藤とみせ
	4	58	日比野貞子
使丁			野村仲助
〃			野村うめ
計	26	1693	29



長良橋（大正4年竣工）
鵜飼と金華山と共に天下の名所の一つとして絵葉書やポスターに宣伝された美しい橋。

校下に電車が走る

明治22年、東海道線が全線開通し、大正2年には、複線化が完成し、岐阜駅が長住町（現新岐阜駅）から清田町現在位置に移った。

市内電車は、明治44年に、長住町～今小町間が開通し、大正4年には長良橋が鉄橋につくりかえられ、大正2年にできていた長良～高富間の電車に接続され、市内電車は、広く市民の足として利用され始めたのである。当初市内電車の運賃は2銭で、時速20キロぐらいのノロノロであった。同じ距離を人力車は1銭で走り電車より安いので多くの人に利用された。しかし市内電車はめずらしく、わざわざ田舎から乗りにきた。

長良に鉄橋がかかり、市内電車が走るようになって、市内交通の幹線は、従来の玉井町・元浜町・今町・本町・鞍屋町・米屋町・白木町から、電車通りに移った。道路も、いままで四間ぐらいであったものが、七～八間に拡張され、通りに面した商家も面目を一新した。八間道路にそって、市役所ができ、県庁も新しく改築され、観光場（今のデパート）が、七軒町にできると、繁華の中心は、今小町付近に移り、市内はもちろん、市外から多くの見物人が集まった。

このような交通機関の発達と道路の拡張は、旧岐阜町の白木・米屋・今町・旧富茂登村の元浜、玉井町の商業発展に大きな影響をもたらした。それらの中には、南部、岐阜駅を中心とした地域に移転をする企業も多く、校下の活況は徐々に消えていったのである。

しかし、当時の交通機関のうち、舟（昭和8年63そう）、荷馬車（同年 258台）、荷車（同年 2,208台）、自転車（同年12,801台）、自動車（同年97台）であり、玉井町、元浜町と川港とのつながりは、まだ強く、川の果す力は相当残っていたのである。

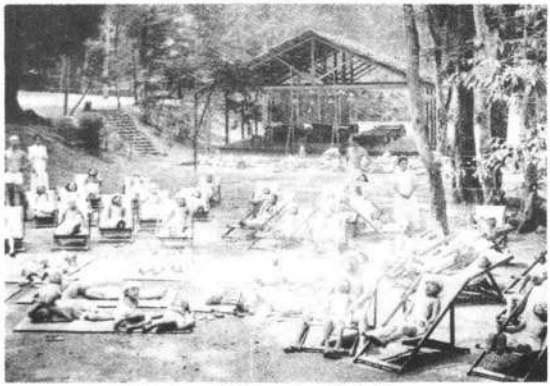
大正12年度

教育の重点　映画教育　体操教育

4．1　高等科を併置し、岐阜尋常高等小学校と改称す
　　但し工事完成まで高等科児童を岐阜高等へ収容す
4．2　入学式　始業式
4．27　健足運動
5．9　修学旅行　5年赤坂　6年多治見虎溪山
5．17　本校火災8周年記念日　消火器使用実験
6．1　父兄懇談会始まる　6日間
6．10　全国少年野球大会　第1次予選に優勝
6．13　治療室移転工事完成
6．23　使丁室移転中の拠、竣工につき本日移転す
7．8　東海少年野球大会に岐阜大会優勝校として出場
7．22　南舎取りこわし、職員室改築、ともに着手
9．1　関東大震災　人心不安　南舎改築竣工
9．14　関東地方罹災児童へ児童1人10銭づつ醵金
　　205円50銭を送る
10．20　運動会　丸山下公園グランドにて
10．25　遠足
10．31　天長節奉祝式
11．4　中舎取りこわし着手
11．5　北舎東端に北へ鍵の手に移転改築中の校舎完成
11．11　名古屋市旗屋小と本校にて野球試合
12．25　音楽会　お話し会挙行
1．1　新年拝賀式
1．26　皇太子殿下御成婚奉祝式　旗行列　夜提灯行列
2．11　紀元節奉祝式　時限合図のベル取りつけ
2．14　中舎竣工
3．8　6年修学旅行　知多新舞子
3．25　卒業式　展覧会

岐阜尋常高等小学校

校長			関谷国治 杉山澤平
年	部	児童数	職員氏名
1	1	69	市原田鶴子
	2	67	武藤久吉
	3	70	田中すゑ
	4	77	纐纈武一
2	1	55	渡辺隆徳
	2	53	柳原憲一
	3	55	川村かつ
	4	49	正木清作
	5	55	河野躬之
3	1	67	遠藤清九郎
	2	67	藤谷静
	3	65	宇野志ん
	4	68	福田美稲
4	1	60	近藤卯三郎
	2	60	今川幸市
	3	57	小池貞子
	4	56	鵜飼由己
	5	56	山田義三郎
5	1	58	鳥沢貫一
	2	54	赤塚重治郎
	3	60	翠精一
	4	58	土方寿美恵
	5	53	可児良行
6	1	55	松原郁郎
	2	55	林貫治郎
	3	53	北川つる
	4	51	林みね
	5	51	永田甚吉
高1			高野憲治
使丁			野村仲助
〃			野村うめ
計	29	1654	33



夏季林間聚落　公園にて　日光浴
（大正13年）

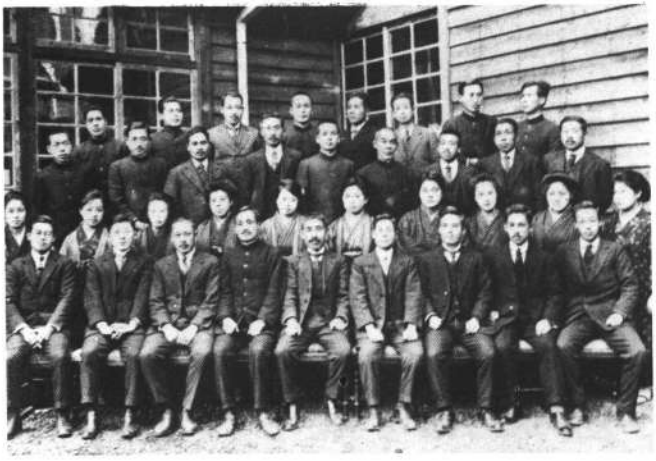
夏季林間聚落　冷水摩擦
（大正13年）

校門より見た学校全景　　大正12年度

大正13年度

教育の重点　映画教育　体操教育

4．1　入学式　始業式
　　岐阜市尋常高等小学校より高等科2年を収容す
4．13　校舎内外電燈をメートルに変更す
4．23　遠足健足運動挙行
5．1　市内小学校運動場を開放することになり本日実施
5．28　体操会　各学年毎に実施
6．3　父兄懇談会
6．15　日本少年野球　岐阜予選に尋常科優勝
7．1　メートル法本日より実施
7．20　濃飛日報主催中部日本女子オリンピックに参加
　　大岐阜新聞主催角力大会に参加
7．24　岐阜市の林間聚落開校　岐阜公園にて
8．13　陸上競技練習始まる　児童35名　8月31日迄
9．8　運動場東南隅拡張　約350坪　本日より使用
9．14　土蔵移転工事着手　11月30日完成
9．23　岐阜日日新聞主催オリンピック尋男2等尋女3等
10．22　運動会
10．26　笠松の競技大会に優勝旗2流を獲得
10．31　天長節
11．2　角力大会に参加　公園
11．3　新県庁落成につき児童引卒縦覧
11．7　修学旅行　5年養老　6年多賀神社
11．25　体操会　各学年毎に
12．6　学芸会
1．1　新年拝賀式
2．11　紀元節奉祝式
3．10　陸軍記念日　市東郊の演習見学　6年以上
3．25　卒業式　展覧会



岐阜尋常高等小学校

校長		関谷国治 杉山澤平	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	61	西村時二
	2	62	永田甚吉
	3	61	林　みね
	4	66	宇野志ん
2	1	67	栄　マツ
	2	68	武藤久吉
	3	68	日比野貞子
	4	66	頴繊武一
3	1	53	渡辺隆徳
	2	53	柳原憲一
	3	53	篠田多弥
	4	54	渡辺志な
	5	52	正木清作
4	1	52	桜井良治
	2	51	藤谷　静
	3	58	加藤　雄
	4	53	北川つる
	5	50	福田美稲
5	1	60	近藤卯三郎
	2	60	今川幸市
	3	63	波良はる
	4	58	鵜飼由己
	5	57	山田義三郎
6	1	56	鳥沢貫一
	2	55	赤塚重次郎
	3	49	翠　精一
	4	58	土方寿美恵
	5	56	可児良行
高1	1	47	松原郁郎
	2	44	林　貫治郎
	3	60	野中富吉
高2	1	55	高野憲治
	2	36	杉山澤平
使丁			野村仲助
〃			野村うめ
〃			船戸いさ
計	33	1862	37

少年野球に優勝した選手

身体の弱い子は
公園で林間緊落
おやつの時間

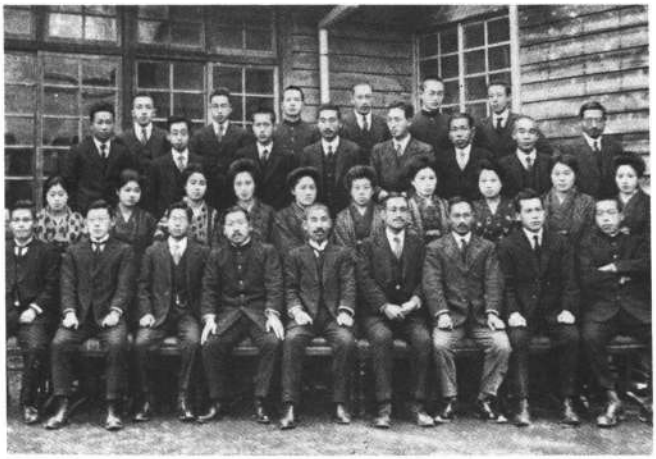
優勝に輝く運動部

大正14年度

岐阜尋常高等小学校

教育の重点　映画教育　体操教育

4．25　健足運動
5．6　5年修学旅行　南宮神社、6年修学旅行　赤坂
5．10　天皇皇后両陛下銀婚奉祝式　旗行列　提灯行列
5．15　皇太子殿下岐阜駅通過　高等科奉迎送
5．26　体操会　各学年毎に
6．3　保護者懇談会始まる　5日間
6．9　奉安殿正門改築完成
6．21　少年野球協会主催野球試合に尋・高夫々出場
7．22　大毎主催少年野球大会に尋常科優勝　大垣にて
7．27　学校内にて聚落開所　尋2·3·4年計50名
8．5　全日本少年野球協会主催全国大会に尋チーム出場
大阪　寝屋川グランドにて
9．30　国産共進会を観覧
10．1　校名変更　金華尋常高等小学校と改称す
10．11　市体育奨励会主催角力大会に高等科優勝
笠松青年会主催陸上競技大会に尋女・高女優勝
10．20　運動会挙行
10．23　修学旅行　5年名古屋　6年敦賀
10．25　岐阜日日新聞社主催陸上競技大会に尋女·高女優勝
10．27　遠足　1年雄総　2年岩戸　3年以上68連隊
10．31　天長節奉祝式
11．1　富田高女運動会にて尋女・高女陸上選手優勝
11．6　高等科修学旅行　伊勢　1泊2日
12．7　照宮御降誕奉祝式　旗行列　夜6年以上提灯行列
12．23　学芸会
1．1　新年拝賀式
2．11　紀元節奉祝式
3．25　卒業式　展覧会（2日間）



校長		関谷国治 杉山澤平	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	51	正木清作
	2	51	高野憲治
	3	53	野原きみ
	4	55	窪田薫
2	1	61	西村時二
	2	59	加野磯治
	3	64	川村かつ
	4	59	宇野志ん
3	1	69	武藤久吉
	2	69	纐纈武一
	3	62	栄マツ
	4	64	日比野貞子
4	1	67	渡辺隆徳
	2	66	柳原憲一
	3	69	篠田多弥
	4	63	渡辺志な
5	1	67	桜井良治
	2	64	藤谷静
	3	67	野中富吉
	4	63	北川つる
6	1	64	近藤卯三郎
	2	60	今川幸市
	3	44	翠精一
	4	61	鵜飼由己
	5	61	山田義三郎
高1	1	45	赤塚重次郎
	2	45	可児良行
	3	50	鳥沢貫一
高2	1	38	河合佐治
	2	30	林貫治郎
	3	46	沢田三鶴
使丁			野村仲助
〃			野村うめ
〃			船戸いさ
〃			長屋安太郎
計	31	1787	37

廊下で枕を並べて午睡（昭和３年）

夏季学校聚落始まる

前年までの市の林間聚落は評判がよく、希望者が収容しきれなくなったので、本年から各学校毎に行うことになった。

本校では50名の希望者を募り実施した。この行事は長く続き戦前の夏季行事の一つとなった。

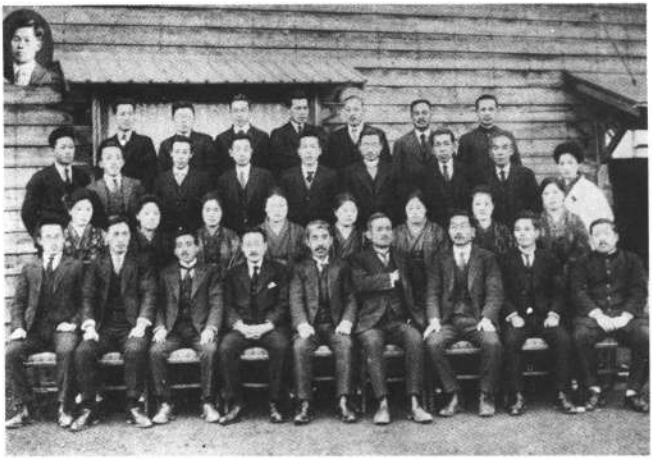
七夕のお飾りの前で（昭和３年）

林立する優勝旗を勝ちとった運動部

昭和元年度

教育の重点　映画教育　体操教育

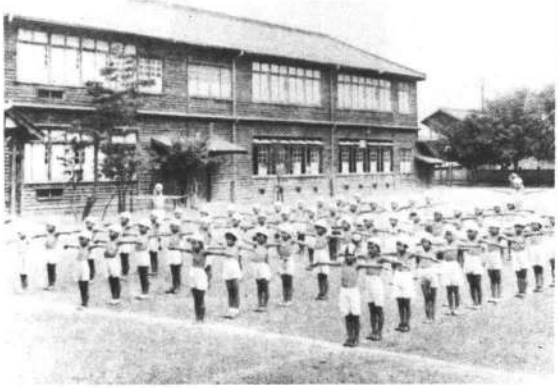
4．21　野球練習試合　一宮第三小、京町小と本校庭にて
4．27　関谷校長胸像の型の製作開始　簡野佳石氏
4．28　体操会　各学年毎に
5．1　健足運動　5年は赤坂へ
5．10　歩兵68連隊軍旗祭の見学　高2男
5．15　6年修学旅行　彦根へ
6．11　保護者懇談会始まる　6日間
6．6　近県少年野球試合　3日間　本校庭にて
6．15　モーターサイレン取付け
6．20　県下少年野球試合　本校庭にて
7．1　本校に金華青年訓練所開設す
7．11　一宮市の少年野球大会に尋常科チーム出場
7．24　伊吹登山　5年以上有志　128名
7．26　夏期聚落開所式
7．26　四日市海浜聚落へ　5・6年20名　8月5日迄
8．24　聚落閉所式
10．3　京町小主催オリンピック大会に出場
10．10　岐阜日日新聞社主催の陸上競技大会に出場
10．13　6年修学旅行　敦賀へ
10．20　運動会挙行
10．24　市体育会主催の角力大会に出場　25日遠足
10．29　高等科修学旅行　京都・奈良　1泊2日
10．31　天長節儀式挙行
12．23　学芸会　3日間
12．25　聖上陛下崩御　哀悼式挙行　年号を昭和と改む
1．1　諒闇中につき式は遠慮す　紀元節も同じ
2．7　大正天皇大喪につき2日間休業
3．25　卒業式　展覧会（2日間）



岐阜市金華尋常高等小学校

校長		関谷国治 杉山澤平	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	57	今川幸市
	2	57	翠　精一
	3	62	宮脇かな
	4	67	日比野貞子
2	1	48	正木清作
	2	46	高野憲治
	3	51	野原きみ
	4	49	窪田　薫
3	1	61	西村時二
	2	61	加野磯治
	3	55	川村かつ
	4	56	宇野志ん
4	1	66	林　貫治郎
	2	64	河合佐治
	3	64	武藤久吉
	4	64	纐纈武一
5	1	62	渡辺隆徳
	2	62	柳原憲一
	3	62	鵜飼由己
	4	62	沢田三鶴
6	1	65	桜井良治
	2	67	藤谷　静
	3	58	野中富吉
	4	59	北川つる
高1	1	42	高崎甚一
	2	42	山田義三郎
	3	51	近藤卯三郎
高2	1	68	赤塚重次郎
	2	35	可児良行
看護婦			三輪好恵
使丁			野村仲助
〃			野村うめ
〃			船戸いさ
〃			長屋安太郎
計	29	1663	36

夏季学校緊落　体操（昭和３年）



全校児童が仰いだ校旗
（昭和10年２月16日樹立式）

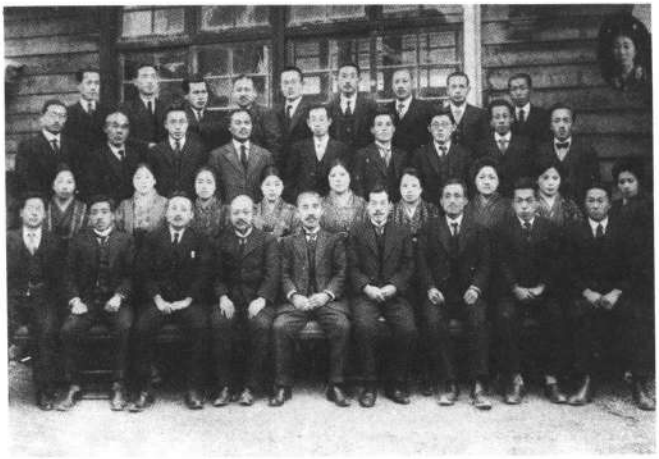
優勝に意気軒昂の運動部

昭和２年度

岐阜市金華尋常高等小学校

教育の重点　映画教育　体操教育

4．24　尋常科野球部　一宮大会で準優勝
4．26　体操会　各学年毎に実施
4．29　諒闇中につき天長節の儀式差し控える
4．30　遠足運動
5．16　校外取締り組分け
6．6　保護者懇談会始まる　5日間
6．26　尋常科野球部　笠松へ遠征
7．9　騎兵3連隊の馬術見学　6男以上刑務所跡にて
7．10　金華処女会発会式並びに第1回総会
7．25　唱歌会
7．27　伊吹登山　6年以上有志84名
7．28　夏季聚落開始
8．4　全国少年野球大会に尋常科チーム出場　美吉野
8．21　夏季聚落終了
8．30　秩父宮殿下御来岐につき奉迎　5年以上
9．22　一宮第三小野球部と対戦し勝つ　本校々庭で
10．20　運動会
10．24　5年多賀旅行　6年知多郡新舞子へ旅行
10．28　遠足　高1高2修学旅行　伊勢地方　1泊2日
11．3　明治節制定さる　関谷校長壽像完成除幕式
11．10　校内珠算競技会
11．28　体操会　各学年毎に行う
12．11　尋常科野球部　名古屋へ遠征　1勝1敗
12．25　大正天皇1周年遙拝式挙行
12．26　学芸会
1．1　新年拝賀式
2．11　紀元節奉祝式
3．25　卒業式　展覧会



校長		関谷国治 杉山澤平	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	70	武藤久吉
	2	70	藤谷静
	3	52	池田志げこ
	4	54	窪田薫
2	1	57	今川幸市
	2	57	翠精一
	3	61	宮脇かな
	4	62	日比野貞子
3	1	61	正木清作
	2	62	高野憲治
	3	64	野原きみ
4	1	63	西村時二
	2	62	加野磯治
	3	53	川村かつ
	4	56	河村富美子
5	1	66	林貫治郎
	2	65	河合佐治
	3	63	赤塚重次郎
	4	61	頴瀬武一
6	1	60	渡辺隆徳
	2	64	柳原憲一
	3	63	鵜飼由己
	4	59	沢田三鶴
高1	1	37	中島貞雄
	2	40	野中富吉
	3	52	北川つる
高2	1	61	高崎甚一
	2	34	山田義三郎
看護婦			三輪好恵
使丁			野村仲助
〃			野村うめ
〃			船戸いさ
〃			長屋安太郎
計	28	1629	35

関谷校長寿像完成　昭和２年11月３日

関谷校長先生の徳をたゝえ、永く世に伝えようと有志はかり昭和元年４月27日簡野佳石氏に製作を依頼して、１年半、ここに目出度く竣工した。

この胸像は戦争激化の最中昭和18年７月22日お国のために供出された。供出壮行式は厳粛に壮重に行われたが今に還らず、台座のみが現在図書館の前にたっている。

おさない頃

北舎、中舎、南舎と三列の校舎が建っていた。それは、美しい調和の美を創っていた。授業の始めと終りを告げる鐘が、この校舎を縫うように響いていた。

裏の長良川がとても“きれい”だった。今のような冷いコンクリートではなく、柔かい草が覆い茂って、美しい堤だった。放課後など、ここでごろりと寝ころぶと、生臭いような草の匂いが、つうんと鼻をついてくる。

石の門柱と赤く錆びた鉄の扉があり、小さな馬車廻りと呼ばれた築山もあった。

高等科ができて、校名が岐阜尋常から金華に変った。帽子の徽章が桜の花から井之口に変ったが、子供心にも何か大切なものが奪い取られたように淋しかった。

秋の運動会で白虎隊の演技が父兄の人気の的だった。今で言えば“マスゲーム”である。白いシャツ・袴・鉢巻のいでたちがカッコよく、切腹の場で全員がグランドに寝ると割れるような拍手がわいた。　（昭和２年度卒　長屋一男／記）

運動部

昭和３年度

教育の重点　映画教育　体操教育

４．18　遠足　６年美濃町　高１芥見　高２赤坂
４．29　天長節奉祝式挙行
５．９　済南事変起る　第３師団に動員　岐阜市298名
５．10　尋常科野球部　名古屋市高岳小主催の試合に出場
５．13　歩兵68連隊出動見送り　徹明町通　５年以上
５．29　体操会
６．６　懇談会　６日間
７．３　活動写真会　夜８時より校庭で　24日唱歌会
７．27　富田浜海浜旅行　５年以上有志198名
７．28　夏季聚落開所式
８．18　全国少年野球大会に出場　明治神宮外苑
８．21　夏季聚落閉所式
９．８　岐中主催県下少年野球大会に尋常科・高等科優勝
10．３　天皇皇后両陛下の御真影を拝戴す
10．14　京町小主催オリンピック大会に尋女・高女優勝
10．18　秋季大運動会挙行
10．27　５・６年修学旅行　名古屋博覧会見学
10．30　遠足
11．３　明治節奉祝式挙行、理科室に電気実験の配線をす
11．10　即位礼奉祝式挙行　夜５年以上提灯行列
11．11　歩兵68連隊の帰還部隊歓迎　６年以上
11．14　大嘗祭執行につき休日
11．17　大礼奉祝旗行列　夜男職員変装行列
11．27　体操会　各学年毎に行う
１．１　新年拝賀式挙行
２．11　紀元節奉祝式挙行
２．13　高２　修学旅行　京都奈良　２泊３日
３．25　卒業式　展覧会

岐阜市金華尋常高等小学校

校長			関谷国治 杉山澤平
年	部	児童数	職員氏名
1	1	60	纐纈武一
	2	59	鵜飼由己
	3	57	池田志げこ
	4	60	正木清作
2	1	47	武藤久吉
	2	46	藤谷静
	3	47	中島貞雄
	4	49	窪田薫
	5	46	北川つる
3	1	58	今川幸市
	2	59	馬渕敏男
	3	60	宮脇かな
	4	62	日比野貞子
4	1	45	高崎甚一
	2	46	高野憲治
	3	49	野原きみ
	4	48	賀島いま
5	1	63	西村時二
	2	63	加野磯治
	3	53	川村かつ
	4	54	河村富美子
6	1	47	林貫治郎
	2	50	河合佐治
	3	49	翠精一
	4	53	赤塚重次郎
	5	54	山田義三郎
高1	1	33	渡辺隆徳
	2	32	柳原憲一
	3	48	沢田三鶴
高2	1	57	野中富吉
	2	33	可児良行
専科			林みね
看護婦			三輪好恵
使丁			野村伸助
〃			野村うめ
〃			船戸いさ
〃			長屋安太郎
計	31	1587	39

血を沸かせた少年野球

私は5年生の昭和2年、6年生に伍して奈良県吉野山の美吉野で開かれた全国少年野球大会にショートとして出場したが2回戦で敗退した。この頃、全国大会に出場することは並たいていの事ではなかった。先ず岐阜市予選大会・県大会で勝ち、岐阜県・尾張との出場決定戦で勝たねばならなかった。翌3年には捲土重来、全国大会の開かれた明治神宮外苑の神宮球場に出場した。8月18日より真夏の炎天下で試合が展開された。広い球場の四隅で同時に試合が行われ、日本国中からよりぬきの古豪、新鋭がぶつかり合った。第1回戦、第2回戦と勝ち進み第3回の準優勝戦は球場の2ヶ所で行われ、相手は和歌山県の強豪、西巻小である。9回が終っても0対0。こうなると監督の林貫治郎先生や河合佐治先生は勿論、付添の数名の父兄も声をからしての応援である。延長戦に入ってからも投手の私は力のあらん限り投げに投げた。しかし相手の打ったレフトフライをとろうとして走ったレフトの近藤栄太郎が他の試合の外野手にぶつかって転倒し、ホームランになって遂に負けた。相手の西巻小はこの大会で全国優勝をした。共に喜び共に涙を分ち合ったチームのうち4人の友は今は亡く、加野、稲葉、近藤、岡田の諸君が健在である。

尋常科チームは大正12年に県下で優勝したのを皮切りに昭和5年まで8ヶ年、県下で覇を称えたばかりでなく、全国大会には大正14年（大阪寝屋川）昭和2年（美吉野）3年（神宮球場）4年（大阪藤井寺）5年（京都岡崎公園）と連続出場し、岐阜県の声援をになって大活躍をし、名門校中の名門として金華小の名を天下に轟かしたのである。この頃は野球部というのがあったのではなく、運動部員は4月からは角力、夏は水泳・野球、秋は陸上というように季節に合わせて練習し試合に出た。私も角力をとったし陸上にも出た。野球を教えて下さったのは林貫治郎先生である。私は投手だったので、腰掛を3箇積み少し距離をおいて二つ並べ、上の方に一本、下の方に一本糸を張り、その間をストライクと見たてて投げた。朝の8時から午前中それぱかりで、午後は打法練習、夕方まで毎日であった。

神宮球場で活躍した尋常科チーム

林先生は厳しくも又なつかしい先生である。

（昭和3年度卒村瀬保夫／談）

ちなみに氏は

昭和8年　岐阜商業が甲子園で優勝時の主将

昭和14年　早稲田大学が6大学野球優勝の主将

昭和21・22年　大日本土木が都市対抗優勝の監督。

昭和４年度

教育の重点　映画教育　体操教育

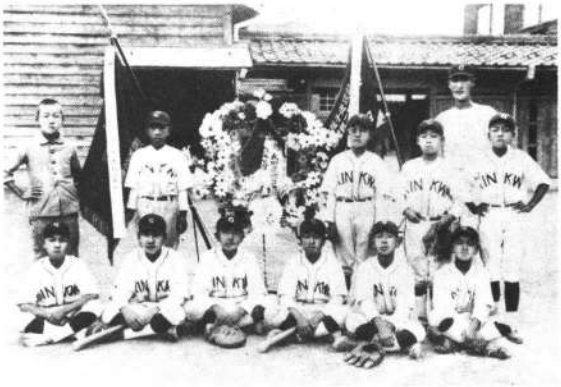
4．25　健足運動
4．29　天長節奉祝式挙行
5．21　支那山東派遣68連隊帰還出迎え　３年以上
6．6　保護者懇談会始まる　５日間
6．19　駆虫剤（サントニン）服用
6．22　運動場南隅に防火用非常井戸完成
6．23　岐商主催　籠球大会に高等科優勝
7．15　学童野球大会で尋常科優勝　大垣にて
7．25　唱歌会　伊吹登山へ有志126名
7．28　学校聚落開所式
8．3　全日本尋常科野球選手権大会に出場　大阪藤井寺
8．21　聚落閉所式
9．21　教材映画観覧
9．22　京町小主催学童オリンピック会に高女優勝
10．8　児童映画会　夜６時より
10．18　秋季大運動会挙行
10．25　６年　敦賀旅行
10．28　健足運動
10．30　高２　修学旅行　伊勢参宮　１泊２日
11．3　明治節奉祝式
11．8　児童映画会　夜６時より
11．26　校内珠算競技会　５年以上
12．26　学芸会
1．1　新年拝賀式挙行
2．11　紀元節奉祝式挙行
3．6　映画会
3．10　陸軍記念日につき演習見学
3．25　卒業式　展覧会

岐阜市金華尋常高等小学校

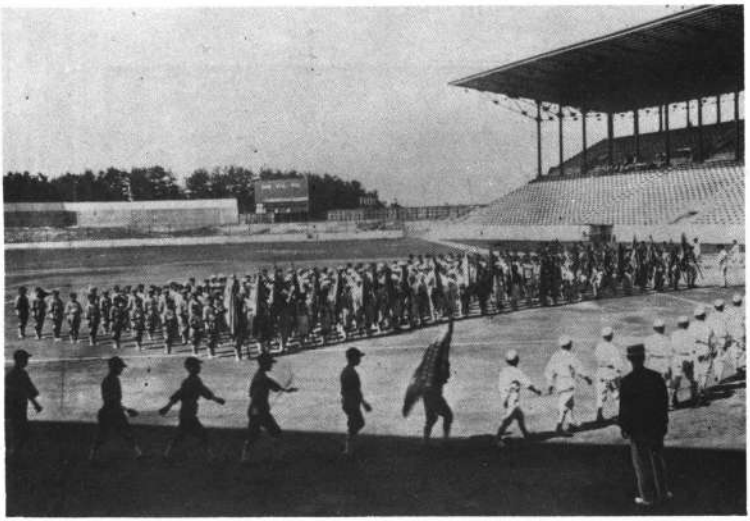
校長		関谷国治 杉山澤平	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	54	山田義三郎
	2	51	野原きみ
	3	50	池田志げこ
	4	58	翠　精一
	5	57	野中富吉
2	1	61	纐纈武一
	2	59	渡辺隆徳
	3	57	山口八重の
	4	59	賀島いま
3	1	59	中島貞雄
	2	61	可児良行
	3	59	正木清作
	4	56	馬渕ひで
4	1	55	今川幸市
	2	56	馬渕敏男
	3	60	宮脇かな
	4	59	杉山貞子
5	1	46	高崎甚一
	2	47	高野憲治
	3	47	河村富美子
	4	45	鵜飼由己
6	1	60	西村時二
	2	59	加野磯治
	3	51	川村かつ
	4	54	沢田三鶴
高1	1	45	林　貫治郎
	2	42	河合佐治
	3	49	赤塚重次郎
高2	1	53	柳原憲一
	2	35	藤谷　静
専科			林　みね
看護婦			三輪好恵
使丁			野村仲助
〃			野村うめ
〃			船戸いさ
〃			長屋安太郎
計	30	1604	38

運動部　昭和３年度

運動部　昭和４年度



目ざましい活躍をした
尋常科野球部の姿



全日本尋常科野球選手権大会に
出場し、堂々入場行進する
本校尋常科チーム
八月三日・大阪藤井寺球場

昭和５年度

岐阜市金華尋常高等小学校

教育の重点　映画教育　体操教育

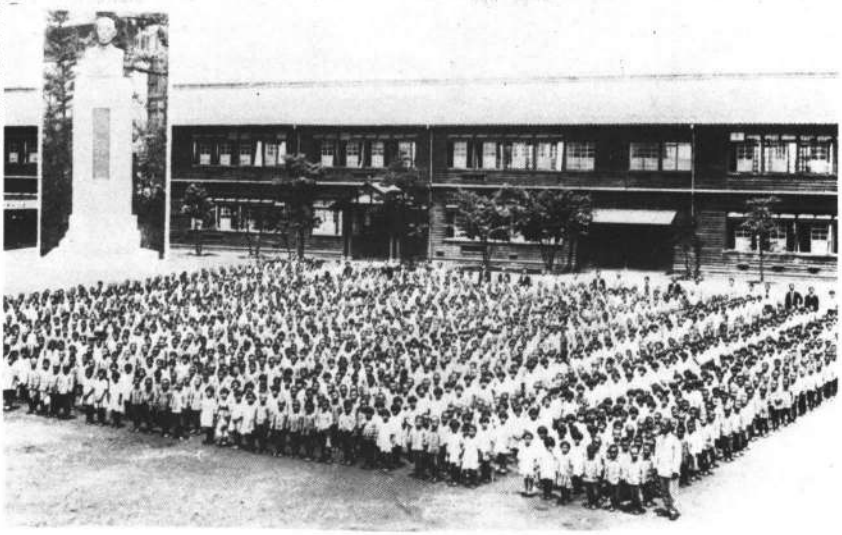
4．28　遠足運動挙行
4．29　天長節祝賀式挙行
5．7　全校映画会
5．10　歩兵68連隊軍旗祭見学　高等科
6．4　宮島校医より虫歯予防の講話をきく
6．6　懇談会始まる　5日間
7．1　加野校医より衛生講話をきく　映画会夜校庭で
7．7　映画利用並体操指導の批判会　参観者250名
7．22　唱歌会
7．26　富田浜海浜旅行　有志
7．27　夏期聚落開始　8月20日終了
8．7　全国少年野球全国大会に出場(尋)　京都岡崎公園
9．19　全校児童映画デー
9．28　降雹　午後2時　席田・西郷の被害甚大
10．18　秋季大運動会挙行
10．22　6年　敦賀旅行　日帰り
10．24　5年　多賀旅行　4年以下は遠足
10．30　教育勅語渙発40周年記念式挙行
10．31　高等科修学旅行　奈良・京都　2泊3日
11．3　明治節奉祝式挙行　市角力大会に尋常科優勝
11．11　映画観覧
12．24　学芸会
1．1　新年拝賀式挙行
1．20　天皇皇后両陛下御真影奉還式挙行
1．29　天皇皇后両陛下御真影を奉戴す
2．11　紀元節奉祝式挙行
3．14　映画会
3．25　卒業式　展覧会

校長			関谷国治 杉山澤平
年	部	児童数	職員氏名
1	1	59	杉山貞子
	2	57	馬渕敏男
	3	58	池田志げこ
	4	61	今川幸市
2	1	53	山田義三郎
	2	52	野原きみ
	3	52	高木須磨子
	4	56	翠　精一
	5	56	野中富吉
3	1	60	纐纈武一
	2	62	渡辺隆徳
	3	57	山口八重の
	4	56	賀島いま
4	1	58	中島貞雄
	2	58	可児良行
	3	58	正木清作
	4	56	馬渕ひで
5	1	59	沢田三鶴
	2	55	西村時二
	3	59	森　英子
	4	61	藤谷　静
6	1	46	高崎甚一
	2	48	高野憲治
	3	46	河村富美子
	4	46	鵜飼由己
高1	1	32	柳原憲一
	2	32	加野磯治
	3	50	川村かつ
高2	1	44	林　貫治郎
	2	42	河合佐治
	3	48	赤塚重次郎
専科			林　みね
看護婦			三輪好恵
使丁			野村仲助
〃			船戸いさ
〃			長屋安太郎
〃			梅村きぬ
計	31	1637	39

優勝又優勝　大いに張り切る運動部

作文指導が熱心に行われ
毎年下記のような文集が
作られた

全校児童整列



加藤先生の教育　（元校長 昭6～11）　柳原憲一

加藤気作校長は市内梅林小学校から昭和6年3月金華小学校に赴任された。

金華校は前任者関谷国治氏が明治・大正・昭和三代にわたり24年の長い間すべてに徹底、細心の気配り、大胆で児童の実力をたかめ職員には絶対権を以って臨み成果を挙げ、よき校風を樹立された。従って校下に信頼をはくし、同窓生からも胸像を贈られ玄関先にそれを飾り、氏の教育力を称えられた。名実共に大した校長であった。

加藤校長は赴任に際しそれ等を深く意識し元気横溢、確たる構えと独得の新感覚を以ってよき後継者たらんの念に燃えて赴任された。

新校長は「金華の地」は、岐阜市教育発祥の地である。金華山、長良川を教育の場にとり入れ、教育活動の拡充を計られた。金華山は戦国武将中新しいチャンピオン織田信長が近世の歴史の切替に営々力を尽した名山であることを深く心におさめ教育エネルギーの源泉とし今日まで己が修めた教育体験の蘊蓄を傾けて学校経営に当り其の成果を期し責任を果す決心であった。

教育の方針として、上品直観・観察・行動・責任等を打出し、児童愛に燃えて出発された。

すべて学習は観念思考にとらわれず手足をよく働らかせ直観観察を重視し人間を造り、知識の確立と拡充を計る主義を採られ今日新教育の魁というものがあった。其の信念のあらわれとして金華学校先輩渡辺中将に「行」（ぎょう）の一字を大書額面におさめるように依頼された。後それが出来雨天体操場に永く掲げられた。

無意味なる制約を排し自発活動性を促し自から学ぶ教育を企画され、其の一例としてラジオ体操を朝・昼行うに当り整列に入らず開始の合図と同時に其の場で自己の責任に於て正しく行なうよう指示された。

学芸会・運動会・音楽会等も上品に行うよう種目決定・方法・用語にも注意を払われた。

児童愛に燃え校内・校外に於いても、児童の生活状況をよく注意観察し、児童とよく話し合い又病気・衛生に意を払われた。

学習に於ても時々教室に入り全児童が理解しているか、目こぼしはないかの観点で参観し後、担任者とよく話合いをされた。

加藤校長は名を気作（気がるで親しみやすい）といい、円満元気のうえ理路整然フィーリングに富んだ独特の話術を身につけていられた。其の上社交にたけ、婦人会・処女会・青年訓練等も充実の上に和気あいあいの気が溢れいかにも楽しげであった。

加藤校長は大なる決心と気構えで赴任し終生の場所と自ら定め、じっくり小学校経営に当られたが、六年目の短年月しかも七月という異例の月に県人事行政の都合で校下民、児童、職員におしまれ後髪を引かれる思いで突如京町小学校に転任された。

思うに金華学校在任中が教員生活の最良の六年であったようである。

（筆者は旧職員）

本校の映画教育

旧職員　河合佐治

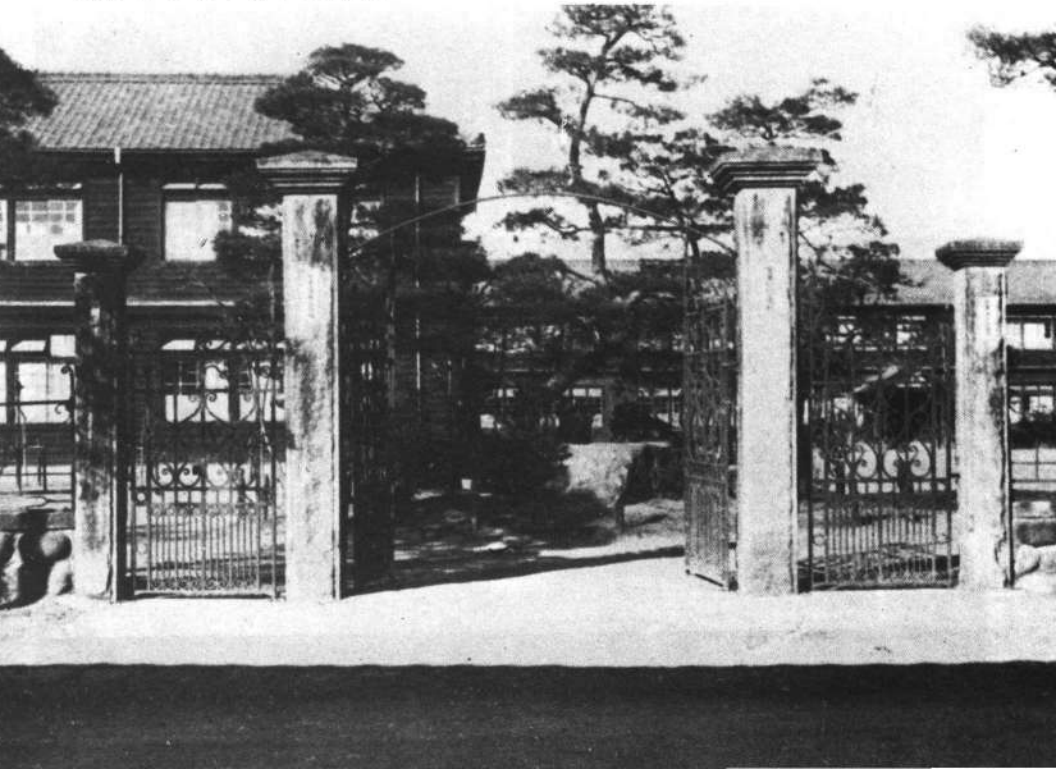
映画が青少年に対して如何に魅力を持っているかは説明を要しない。従って教育者や父兄はこの映画を半ば敬遠し、半ば警戒する向もあったのが大正末期の実状であった。その頃からいち早く映画を教育に活用しようとする試みをしたのが金華小学校であった。

そして昭和5年7月7日に、前例のない「映画利用研究発表会」を開催して、全国各地から多数の参観を仰ぎ、一躍、金華の映画教育と名声を博した。この会で発表したものに修身教科書の「友だち」の内容の映画がある。1年がかりで製作した理科映画「米になるまで」は文部省から讃辞をいただいたものである。又昭和6年には氏神様の伊奈波神社の記録映画も製作した。

加藤校長が南洋群島へ出張せらるるや、校長自から16ミリ撮影機を携行して、立派な教育的記録映画を写してこられた。こうして全国的に「映画教育の金華小学校」の評判は上り、各地からの視察者が多くなった。その頃はまだ映画の初期の時代で、伊奈波神社の感謝状にも「活動写真」とかゝれている。

筆者は現在　三愛会（リコー・三愛グループ）常務理事
文部省、視聴覚担当の審議会委員

静かなたたずまいの校門



昭和６年度

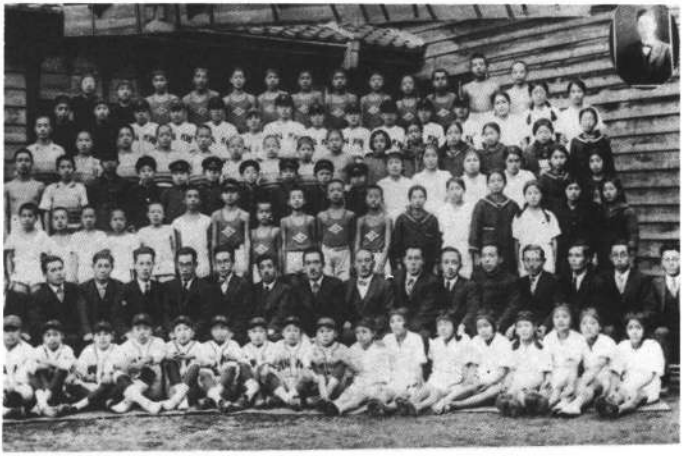
岐阜市金華尋常高等小学校

教育の重点　映画教育　硬筆習字　直観教育

4．29　天長節儀式挙行
5．2　本荘、日野合併祝賀旗行列
5．3　合併祝賀運動会　美江寺運動場
5．4　遠足運動
5．23　学友団　組別を行う
5．25　映画を公会堂で
5．27　海軍記念日　大竹中尉講演を５年以上きく
6．1　保護者懇談会始まる　５日間
6．22　水道起工式に学校長参列
7．20　本校児童８名　名古屋放送局より唱歌放送を行う
7．23　映画会
7．27　伊吹登山　６年以上有志140名
7．27　学校聚落入所式
7．29　金華婦人会発会式を挙ぐ
8．4　澄宮殿下奉迎　神田町９丁目にて
8．21　聚落閉所式
10．19　運動会挙行
10．23　５年　多賀旅行
10．27　健足運動
10．31　６年　敦賀旅行
11．3　明治節奉祝式挙行
11．18　映画会
12．24　学芸会
1．1　新年拝賀式挙行
2．11　紀元節奉祝式挙行
3．10　陸軍記念日　岐阜市攻防演習を見学
3．18　映画観覧　美殿館　肉弾三勇士
3．25　卒業式　展覧会

校長		加藤気作 杉山澤平	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	56	河合佐治
	2	56	加野磯治
	3	56	林　貫治郎
	4	56	鵜飼由己
	5	58	赤塚重次郎
2	1	59	河村富美子
	2	56	白井敏彦
	3	53	池田志げこ
	4	52	今川幸市
3	1	52	山田義三郎
	2	52	野原きみ
	3	50	高木須磨子
	4	54	亀山幸造
	5	54	野中富吉
4	1	58	安田　隆
	2	58	渡辺隆徳
	3	56	藤根千草
	4	57	賀島いま
5	1	55	中島貞雄
	2	56	可児良行
	3	55	正木清作
	4	54	馬渕ひで
6	1	56	沢田三鶴
	2	55	西村時二
	3	57	森　英子
	4	56	藤谷　静
高1	1	53	高野憲治
	2	44	岡崎　操
高2	1	55	柳原憲一
	2	41	川村かつ
専科			杉山貞子
看護婦			三輪好恵
使丁			野村仲助
〃			長屋安太郎
〃			梅村春吉
計	30	1630	37

勢揃いした運動部



優勝に輝く高等科籠球部

学芸会が盛んであった　6年4部

男子は全員洋服になった

女子はセーラー服を着る者がふえた

昭和７年度

岐阜市金華尋常高等小学校

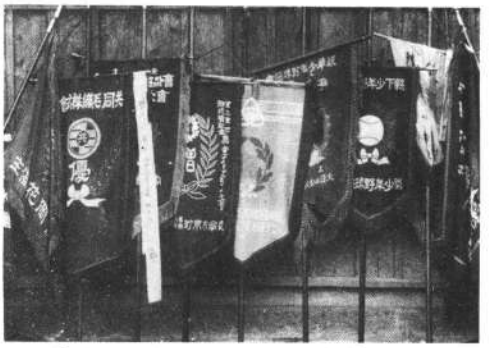
教育の重点　映画教育　硬筆習字　直観教育

4．29　天長節奉祝式挙行
5．7　健足運動
5．10　歩兵68連隊軍旗祭に参列　６年・高２
5．15　市民運動会に出場
5．24　映画観覧　公会堂にて
6．1　懇談会始まる
7．4　健康週間　10日まで学年毎に小運動会を行う
7．27　富田浜へ海浜旅行　日帰り
7．28　夏季聚落開所式挙行
8．21　聚落閉所式
9．11　梅林小主催籠球大会に高等科優勝
9．18　竹鼻小主催陸上競技大会に高女優勝
市小体育連盟主催の野球大会に高等科優勝
9．30　児童映画　午後６時半より校庭にて
10．11　高等科修学旅行　京都奈良　２泊３日
10．18　運動会挙行
10．25　遠足運動
10．26　６年　修学旅行　敦賀
10．30　教育勅語奉読式挙行
11．3　明治節奉祝式挙行
11．18　市体育大会　４年以上参加
11．30　映画観覧　公会堂
12．13　各教室に大火鉢　各学年に弁当保温器配当す
12．26　学芸会　２日間
1．1　新年拝賀式挙行
2．5　市内小学校剣道大会で３等
2．11　紀元節奉祝式挙行
3．25　卒業式　展覧会（２日間行う）

校長		加藤気作 高野憲治	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	49	賀島いま
	2	57	杉山貞子
	3	55	亀山幸造
	4	51	高木須摩子
	5	56	河合佐治
2	1	55	安田　隆
	2	58	富田幸治
	3	57	仁科品子
	4	57	藤根千草
	5	54	赤塚重次郎
3	1	59	河村富美子
	2	57	野田　茂
	3	57	池田志げこ
	4	57	今川幸市
4	1	54	鵜飼由己
	2	54	白井敏彦
	3	54	西村時二
	4	56	野原きみ
	5	51	藤谷　静
5	1	60	沢田三鶴
	2	60	渡辺隆徳
	3	58	伊藤一郎
	4	56	森　英子
6	1	56	中島貞雄
	2	58	可児良行
	3	57	正木清作
	4	56	野田ひで
高1	1	66	林　貫治郎
	2	64	野中富治
高2	1	49	高野憲治
	2	39	山田義三郎
専科			柳原憲一
〃			川村かつ
看護婦			三輪好恵
使丁			野村仲助
〃			長屋安太郎
〃			梅村春吉
計	31	1727	39

陸上の想い出

河野末子



各地の大会で得た優勝旗の偉容

幼い頃の想い出は、夢の中にかすんだようで、清く爽やかでなつかしさでいっぱいです。

高学年になって運動部に入りました。白いシャツに、横に赤線の入った今のブルマより長目のものをはき、布製の地下足袋をはいて走ったり跳んだり一生懸命練習をしました。先生にも教えていただきました。リレー棒の受け渡しとか、リレー棒をうけとる時は止ってないで走りながら受けとるとか、トラックのコーナーを走る時は、身体の角度をこうするんだとか。その中にスパイクを使うようになりました。6年生の夏には暑い日ざかりを白山小学校まで歩いて練習をしました。いつも中島先生や安田先生がご一緒でした。

その頃、八ツ梅町にあった富田女学校を会場にして陸上競技大会が行われました。私は四百米リレーに出ることになりました。始めての事で皆とても心配しました。でも中に武藤さんがみえます。この方は頭のよい方で走るのも早く、なんとなく心強い存在でした。第1ランナーの次が私です。日頃先生にいわれたように、ラインに入るなり、大きく深呼吸をしました。でも胸がどきどきします。皆の声援が一つになってグワンと耳に入ります。とにかく懸命に走り、リレー棒の受け渡しを上手にやりましたが惜しいことに、二位になりました。第1位白山、第2位金華、第3位長良。等外は明徳・梅林でした。先生からよく頑張ったとほめていただき公式の始めての出場で涙の出る程嬉しかったのをおぼえています。

それからその頃佐久間町にあった佐々木女学校で行われた陸上競技大会の百米に出て2位になりました。この頃は賞に入ると種々の賞品がもらえました。

私も肌色のネルの腰巻をいただき、とても嬉しかった事をよくおぼえています。

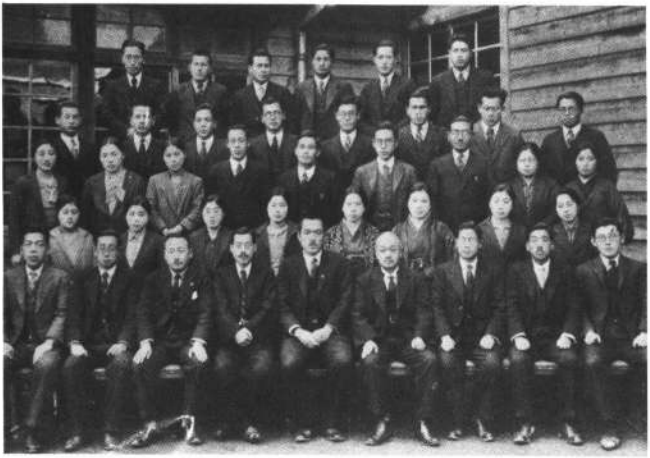
（筆者は旧姓小川、昭和7年度卒業生）

運動部

昭和８年度

教育の重点　映画教育　硬筆習字　直観教育

４．28　遠足
４．29　天長節奉祝式挙行　石を拾い伊奈波神社へ奉納
５．10　68連隊軍旗祭参列　高２男・６男
５．29　映画鑑賞　公会堂で　６月６日より保護者懇談会
７．１　校舎裏にプール完成（23間×７間）
７．27　夏季聚落入所式
８．11　伊吹登山
９．６　講堂建物地鎮祭執行
９．８　奉安庫移転　西南隅より東南隅へ
９．14　関谷校長の胸像を玄関西へ移す
10．10　奉安庫移転完成
10．14　プールへ鮎の卵を入れる
10．18　秋季大運動会挙行
10．24　遠足
10．28　体育連盟主催陸上競技大会に４年以上参加
10．29　岐商主催角力大会に尋常科優勝　高等科５等
　　岐師主催剣道大会に２等
10．30　教育勅語奉読式挙行
11．３　明治節奉祝式挙行
11．５　高等科　伊勢旅行　１泊２日
11．９　６年　敦賀旅行　日帰り
11．25　岐商主催　剣道大会に優勝
12．28　講堂竣工す
12．29　皇太子殿下御降誕奉祝式挙行
１．１　新年拝賀式挙行
２．８　学芸会
２．11　紀元節奉祝式挙行
３．25　卒業式　展覧会（２日間）

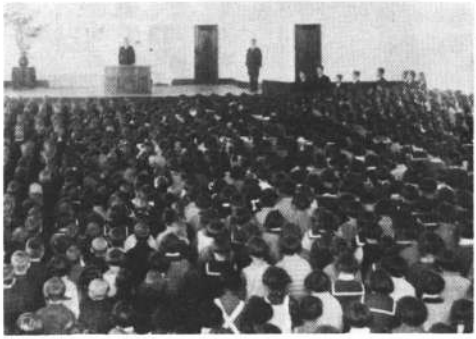


岐阜市金華尋常高等小学校

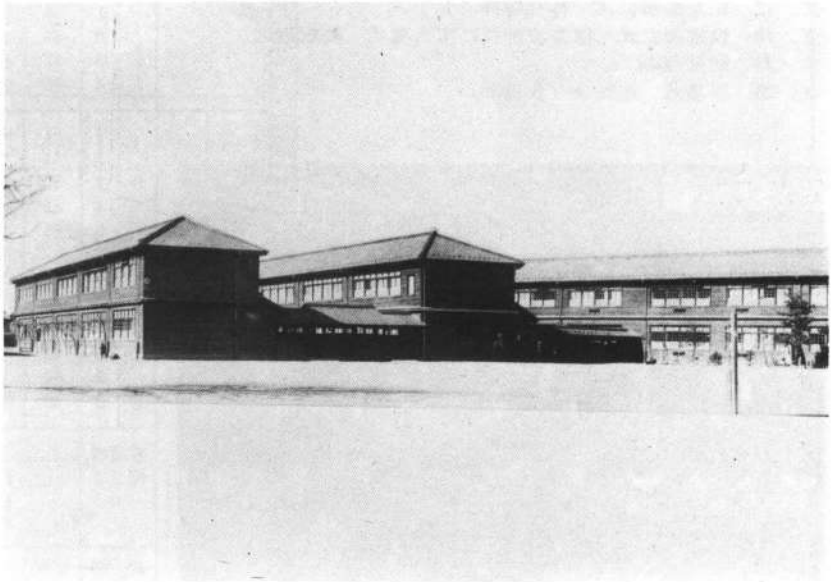
校長		加藤気作 高野憲治	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	55	野田　茂
	2	54	戸本　満
	3	55	藤谷　静
	4	58	河村富美子
	5	56	池田志げこ
2	1	50	渡辺一江
	2	57	杉山貞子
	3	49	亀山幸造
	4	50	高木須摩子
	5	57	今川幸市
3	1	53	安田　隆
	2	55	富田幸治
	3	55	正木清作
	4	57	仁科品子
	5	54	藤根千草
4	1	55	川村かつ
	2	57	可児良行
	3	58	森　定一
	4	56	野田ひで
5	1	54	鵜飼由己
	2	57	白井敏彦
	3	54	西村時二
	4	50	野原きみ
	5	50	市川保房
6	1	59	沢田三鶴
	2	60	渡辺隆徳
	3	57	伊藤一郎
	4	57	森　英子
高1	1	46	中島貞雄
	2	44	柳原憲一
	3	50	山田義三郎
高2	1	60	林　貫治郎
	2	53	野中富治
看護婦			三輪好恵
使丁			野村仲助
〃			長屋安太郎
〃			梅村春吉
計	33	1792	39

奉安庫　木立に包まれ静かなたたずまい
運動場の東南隅へ移転した

尋常科野球部の精鋭（昭和９年度）



卒業式　新講堂の中で厳粛に行われる



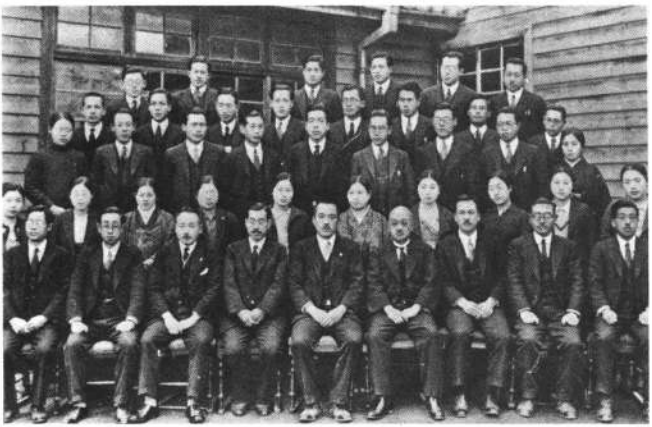
運動場より校舎を望む
右より北舎・中舎・南舎
南舎の左に写真には写っていないが講堂がある

昭和９年度

岐阜市金華尋常高等小学校

教育の重点　映画教育　硬筆習字　直観教育

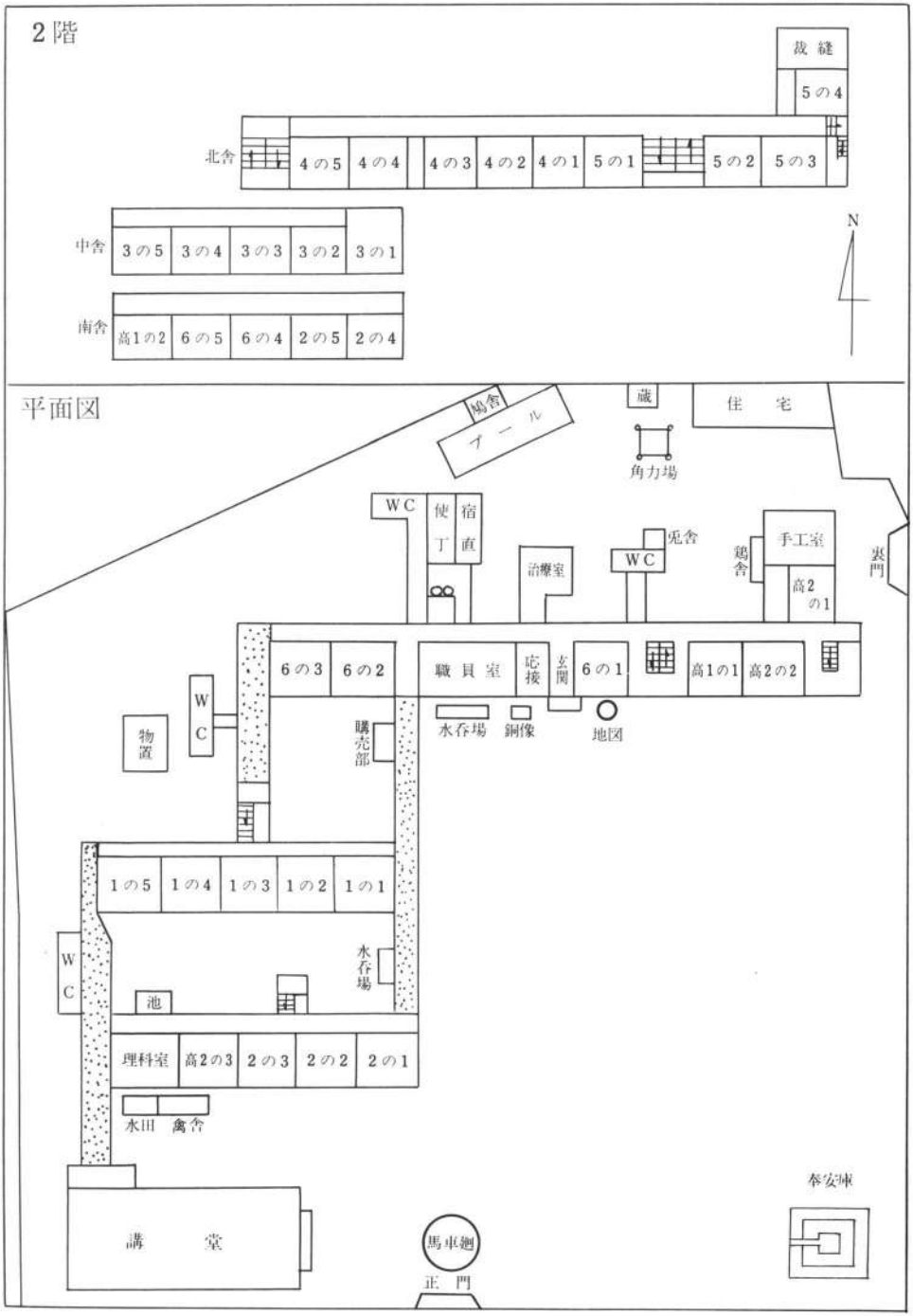
4．9　動物飼育場と作業園の整理
4．11　68連隊出動見送り　５年以上　徹明町
4．26　遠足
4．29　天長節奉祝式挙行
5．24　小運動会
6．5　故東郷元帥国葬日　弔旗掲揚
6．12　サントニン錠服用　父兄懇談会始まる（５日間）
6．23　職員野球試合に優勝
6．24　市民運動会に参加　４年以上体育ダンス
岐商主催籠球大会に高等科優勝
7．15　児童養鳩部５羽が競技会に参加　弁天島から
7．27　５年以上希望者が富田浜旅行　夏季聚落始まる
9．21　台風襲来　風速37ｍ　板塀や植木倒壊
10．1　関西地方風水害義損金募集　40円84銭送付
10．16　二宮尊徳銅像除幕式挙行　講堂渡り廊下工事着手
10．18　運動会
10．26　遠足
10．30　教育勅語奉読式挙行
11．3　明治節奉祝式挙行
11．13　高等科　京都奈良へ修学旅行　２泊３日
11．21　６年　敦賀旅行　日帰り
12．24　学芸会
1．1　新年拝賀式挙行
1．27　少年団幹部　志段見にて兎狩
2．11　紀元節奉祝式　神社参拝
2．16　校旗樹立式　伊奈波神社にて入魂式　校旗奉迎
3．13　健足運動
3．25　卒業式　展覧会（３日間）



校長			加藤気作 柳原憲一
年	部	児童数	職員氏名
1	1	56	酒向司馬
	2	59	渡辺隆徳
	3	57	富田幸治
	4	59	渡辺一江
	5	54	仁科品子
2	1	55	野田茂
	2	54	戸本満
	3	57	藤谷静
	4	56	信田美貴子
	5	54	池田志げこ
3	1	48	河合ユキ
	2	54	杉山貞子
	3	49	亀山幸造
	4	52	高木須摩子
	5	53	今川幸市
4	1	54	大野隆
	2	53	沢田三鶴
	3	51	正木清作
	4	57	森英子
	5	56	伊藤一郎
5	1	56	林貫治郎
	2	59	可児良行
	3	57	森定一
	4	56	野田ひで
6	1	52	鵜飼由己
	2	51	白井敏彦
	3	55	西村時二
	4	52	野原きみ
	5	51	市川保房
高1	1	61	野中富吉
	2	49	田中桂
高2	1	44	中島貞雄
	2	60	金武有一
	3	46	山田義三郎
看護婦			三輪好恵
使丁			野村仲助
〃			長屋安太郎
〃			梅村春吉
計	34	1837	40

校地・校舎

昭和9年度

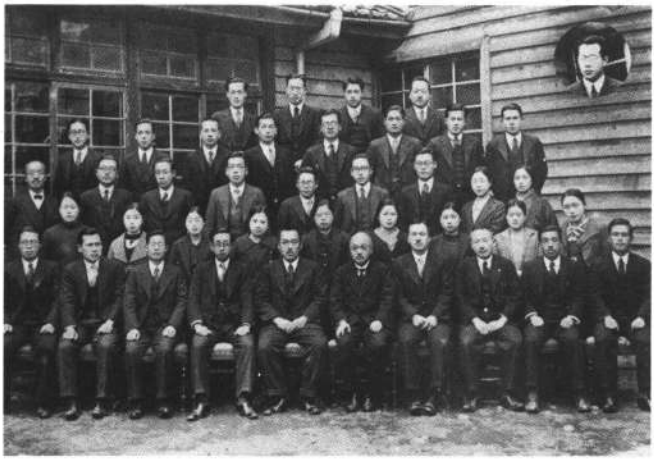

2階
裁縫
5の4
北舎
4の5
4の4
4の3
4の2
4の1
5の1
5の2
5の3
中舎
3の5
3の4
3の3
3の2
3の1
南舎
高1の2
6の5
6の4
2の5
2の4
N
平面図
鳩舎
プール
蔵
住宅
角力場
WC
使丁
宿直
治療室
兎舎
WC
鶏舎
手工室
高2の1
裏門
6の3
6の2
職員室
応接
玄関
6の1
高1の1
高2の2
物置
WC
購売部
水呑場
銅像
地図
1の5
1の4
1の3
1の2
1の1
WC
水呑場
池
理科室
高2の3
2の3
2の2
2の1
水田
禽舎
奉安庫
講堂
馬車廻
正門

昭和10年度

岐阜市金華尋常高等小学校

教育の重点　映画教育　硬筆習字　直観教育

4．10　児童に給食開始
4．11　メートル法記念日
4．15　満州国皇帝奉送迎　高２　岐阜駅にて
4．23　金華少年団　団長任命
4．24　遠足
4．29　天長節祝賀式挙行
5．13　作業園の借地契約をなす
5．25　大楠公 600 年祭につき大旗１箇を校庭に立てる
6．4　父兄懇談会　５日間
7．22　伊吹登山　希望者118名
7．28　夏季聚落始まる　角力部練習を始める
10．18　運動会挙行
10．21　高等科　岩戸で飯盒炊事
10．24　５年　多賀旅行
10．25　遠足
10．30　教育勅語奉読式挙行
10．31　６年　敦賀旅行　日帰り
11．3　明治節奉祝式挙行
11．8　高等科伊勢地方へ修学旅行　１泊２日
11．18　音楽連盟主催唱歌会に３年以上参加
11．28　親王殿下御降誕　国旗掲揚　万才三唱
12．4　親王殿下命名式奉祝式　旗行列
12．24　学芸会
1．1　新年拝賀式挙行
2．1　積雪２尺にして大雪
2．8　針供養
2．11　紀元節奉祝式挙行
3．25　卒業式　展覧会（２日間）



校長		加藤気作 柳原憲一	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	52	亀山幸造
	2	55	西村時二
	3	54	野田ひで
	4	59	杉山貞子
	5	53	河合ユキ
2	1	56	酒向司馬
	2	57	渡辺隆徳
	3	59	富田幸治
	4	56	渡辺一江
	5	58	仁科品子
3	1	53	野田茂
	2	54	戸本満
	3	54	藤谷静
	4	54	川上千蔵
	5	49	池田志げこ
4	1	69	白井敏彦
	2	69	今川幸市
	3	66	野原きみ
	4	62	高木須摩子
5	1	54	大野隆
	2	54	沢田三鶴
	3	50	正木清作
	4	51	森英子
	5	53	伊藤一郎
6	1	56	林貫治郎
	2	57	可児良行
	3	56	森定一
	4	58	山田義三郎
高1	1	56	中島貞雄
	2	59	市川保房
高2	1	45	野中富吉
	2	49	金武有一
	3	40	田中桂
看護婦			三輪好恵
使丁			加藤玉太郎
〃			加藤玉次郎
〃			長屋安太郎
〃			梅村春吉
計	33	1884	40

二宮尊徳銅像竣工
校門を入った馬車廻しに立って、全校の子に無言の教えを垂れる
昭和九年十月十六日

国旗掲揚（６年１部）

理科の学習（６年３部）

作業園の除雪（６年２部）

動物の飼育（６年４部）

昭和11年度

岐阜市金華尋常高等小学校

教育の重点　映画教育　硬筆習字　直観教育

4．1　入学式　始業式
4．10　正副級長任命　少年団長並びに幹部に徽章授与
4．18　躍進博覧会を全校参観
4．27　遠足
4．29　天長節拝賀式挙行
5．8　68連隊凱旋歓迎　全校生伊奈波通りにて
5．21　小運動会挙行
6．2　父兄懇談会　5日間
6．27　金華少年団視閲　ピアノ寄贈渡辺甚吉・桑原善吉
7．11　唱歌会開催
7．13　ラジオ体操練習会
7．21　元浜町裏の水泳場開き
7．27　夏季聚落始まる　8月20日まで
9．18　満州事変勃発記念日　記念講話
9．23　児童野球大会に尋常科優勝　京町校にて
10．5　市学童体操大会に3年以上参加　大縄場にて
10．12　秋季大運動会実施
10．24　遠足
10．25　市民運動会に出場（継走）
10．30　教育勅語奉読式挙行
11．3　明治節奉祝式挙行　学童角力大会に参加　京町校
11．12　高等科修学旅行　奈良・京都　2泊3日
11．20　尋常科修学旅行　敦賀　日帰り
11．25　市学童音楽会に6女出演
12．23　学芸会
1．1　新年拝賀式挙行
2．11　紀元節奉祝式挙行
3．25　卒業式　展覧会（2日間）

校長		加藤気作 柳原憲一	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	53	市川保房
	2	56	池田志げこ
	3	54	戸本満
	4	53	仁科品子
	5	53	藤谷静
2	1	53	亀山幸造
	2	53	西村時二
	3	56	野田ひで
	4	59	杉山貞子
	5	53	河合ユキ
3	1	55	酒向司馬
	2	60	渡辺隆徳
	3	59	富田幸治
	4	59	渡辺一江
	5	54	中村すえの
4	1	56	酒向長重
	2	54	林貫治郎
	3	49	可児良行
	4	58	川上千蔵
	5	53	柳原憲一
5	1	57	白井敏彦
	2	55	山田義三郎
	3	55	今川幸市
	4	49	野原きみ
	5	52	田中桂
6	1	53	大野隆
	2	52	沢田三鶴
	3	51	正木清作
	4	50	森英子
	5	53	伊藤一郎
高1	1	63	野中富吉
	2	61	森定一
高2	1	70	中島貞雄
	2	50	金武有一
看護婦			三輪好恵
使丁			加藤玉太郎
〃			加藤玉次郎
〃			長屋安太郎
〃			梅村春吉
計	34	1819	40

作業園で、汗を流してがんばる（6年1組）

養鳩　みんなで可愛がる（6年2部）

写生（六年三部）

理科の学習（6年5部）

算数の学習（6年4部）

思い出の糸をたぐりて　元校長（昭12～20）梅沢英造

終戦の翌年、昭和21年3月31日で金華小学校を最後に37年間の教壇生活に別れを告げた私は、昭和12年7月10日付で、金華小学校へ赴任して退職まで8年9ヶ月。その間支那事変、太平洋戦争、敗戦、金華の児童職員父兄と困苦を共にしたことは終生忘れることの出来ない思い出である。

日夜応召兵を伊奈波社頭に見送り、英霊を次ぎ次ぎ迎える。不安と焦燥の毎日であった。私は子供の教育を犠牲にしないという考えから、全校児童職員を代表して私一人が日となく夜となく伊奈波社頭に英霊の家庭に出かけたものである。つとめて学校の授業を欠かせぬことにしたことは、顧みて悔いないことである。愈々戦況悪化して防空訓練から退避訓練・家屋疎開・学童疎開、愈々都市や工場の爆撃が烈しくなって、学校ではこの空襲下にあって教育をつづけることは決して容易なことではなかったが、反って真剣な教育が行われたのである。

食糧を補うために堤防に、校庭に、護国神社前やわきの広場に、早田磧に甘藷や南瓜を栽培して、それを分配、配給（家庭）、供出したりしたものであった。この肥料は堆肥を作って豊富に施したものである。金華の堆肥は当時有名なものであった。この堆肥作りは決してだてやすいきょうではない。真剣な働きで堆肥についての研究と勤労協同の体験とに価値があり、それとともに甘藷も南瓜も茄子もよく出来るように努めたものである。

その他、牛も豚も兎も鶏もいざという時の用意に大切に飼育させた。而してただ食糧用として飼うのではない。実はその飼育の間に、それぞれの性質や其の取扱方を研究する。飼料も工夫して手に入るもので飼うという様に苦心する。そして其の間に学習目的を達成するというねらいで、いつも実地に当って勉強するのであった。必ず研究・実践・表現と三面を展開させてこれを記録や、数字や、絵や、作品などにして、しっかりした知識や技術を身につける。それと共にどこまでもやり通す、物を生かす、考える、更に協同して行う、仲よく皆んなで働くという様な行き方、これが本当の勤労教育であり、綜合教育であり、公民教育である。その教育的意図を全員が体して日々の教育に当られたのが、学校の各種の行事や展覧会となって現われたのであった。

子供自らの研究が色々現われてきたが、今私の記憶から去らぬものを思い出して見ると、豚の研究、いちょうの研究、紙すきの研究、野菜糖分の研究、家ダニの研究、頭の髪の毛の研究炭焼の研究、堆肥作りの研究、長良川の研究、タドンの研究、器楽合奏団、労作教練など研究や実践がまだまだ沢山あるが他は省略する。1年から6年、高等科とそれぞれその程度にあった労作と、それに伴う知識・技術がみがかれ、団体訓練が行われた。教科書の中に立てこもらぬ、それ以上の研究が行われて而も子供達が生き生きとして喜んで進んでやったことは嬉ばしいことであった。中でも紙すきの研究などは国定教科書にとり入れられたものであった。

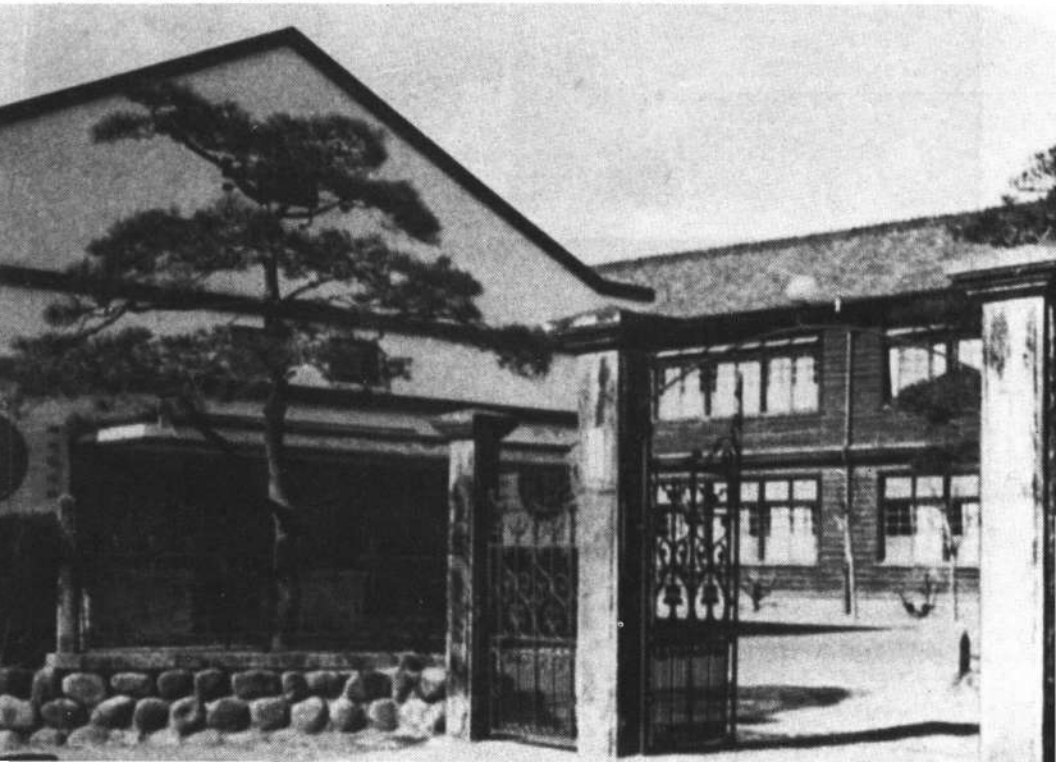
家屋疎開で廊下や天井をはずせとの事だったが廊下などは破壊しないで分解してさび釘1本でも、針金一筋でも大切に取りはずしておいて、それで養豚舎を作った。五間間口で1間奥行きの瓦屋根で土台付きのがっちりした豚舎が出来上った。この疎開作業で反ってプールの側に豚舎が出来た。

更らに衛生室を取りこわせとの命令を受けたのを幸に、これ又廊下の分解以上に慎重に作業を行って、材料を整頓して愈々、早田磧へ移築して本校の焼けた際は、この移築建物を本拠に金華教育をつゞける覚悟であったが、間もなく終戦になったので、この計画は取り止めて学校の復興は衛生室からと再建築することにした。高1の児童と受持の朝居先生とで見事に完成してしまった。この労作の間に先生も児童も学んだことが予想以上に多かったことと信ずるものである。小学校教育で、こんなところまで出来るとは恐らく平時では思いもよらぬことであったと思う。

子供だからといって決して見くびったものでない。協同勤労の力の大きいことは思いの外である。子供も先生も私も大きな体験と自信を得たもので、私にとって金華校で戦時中のつらかった思い出というよりは、本当の教育が而も力強く行われたということの方が楽しい思い出である。戦災で岐阜市が焼けてしまって、金華校下の大部分と学校が残った時、或る子供のお母さんが「一生けんめいやっていただいた其のまごころで焼け残ったのですよ」と言われたことが、今なお耳の底に残っている。思い出の糸はたぐれど尽きず、されど紙面に限りがあるのでここらで筆を止める。

（金華80年誌より）

校門より講堂、南舎を望む　　昭和12年度

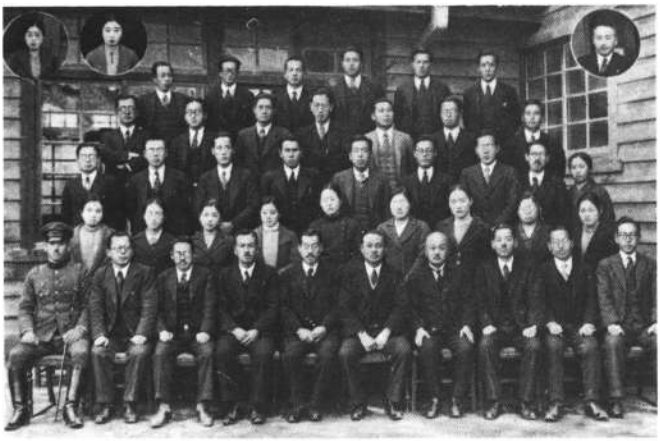


昭和12年度

岐阜市金華尋常高等小学校

教育の重点　公民教育　労作教育　綜合教育

4．6　入学式　始業式（前年までは4月1日始業）
4．23　4年以下遠足　5年以上遠足運動
4．27　靖国神社臨時大祭につき休業
4．29　天長節拝賀式挙行
5．22　体操大会　岐商で
7．7　北支慮溝橋にて日支軍衝突　日支事変の端緒
7．25　衛生室拡張（北へ9尺増築）工事に着手、8月完成
7．27　夏季聚落開所式
8．20　夏季聚落終了
9．13　在支将士へ慰問文発送
9．15　防空演習　燈火管制開始
9．20　68連隊将士歓送　高等科
10．15　運動会
10．19　健足運動
10．26　紫外線浴室使用開始
10．27　戦捷祝賀旗行列　夜高男提灯行列
10．30　教育勅語下賜記念式挙行
11．3　明治節奉祝式挙行
11．4　6年　修学旅行　敦賀へ日帰り
11．10　高等科修学旅行　伊勢参宮　1泊2日
11．24　警戒警報出る　銀紙集め
12．12　南京陥落奉祝旗行列
1．1　新年拝賀式挙行
1．17　68連隊凱旋歓迎　5年
1．25　朝会で愛国行進曲を練習
2．11　紀元節挙式
3．24　展覧会　3日間
3．25　卒業式



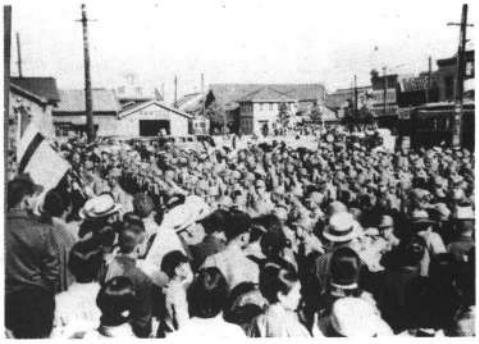
校長			梅沢英造 川村鉄一
年	部	児童数	職員氏名
1	1	57	青木時三郎
	2	57	刈谷すゞ子
	3	56	酒向司馬
	4	56	渡辺一江
	5	56	正木清作
2	1	53	大野隆
	2	53	池田志げこ
	3	52	戸本満
	4	49	仁科品子
	5	50	藤谷静
3	1	52	亀山幸造
	2	55	水谷意啓
	3	56	曽根寿美子
	4	58	杉山貞子
	5	52	河合ユキ
4	1	55	香田龍一
	2	54	渡辺隆徳
	3	57	富田幸治
	4	56	森英子
	5	54	中村又一
5	1	54	酒向長重
	2	52	沢田三鶴
	3	51	可児良行
	4	58	川上千蔵
	5	56	森定一
6	1	57	白井敏彦
	2	55	山田義三郎
	3	50	中根雄次郎
	4	51	野原きみ
	5	51	田中桂
高1	1	81	林貫治郎
	2	53	伊藤一郎
高2	1	55	中島貞雄
	2	52	川村鉄一
看護婦			三輪好恵
使丁			加藤玉太郎
〃			加藤玉次郎
〃			長屋安太郎
〃			梅村春吉
計	34	1864	40

野球　みんな夢中、時々どっとあがる歓声

農園の手入れ　女子はスカート

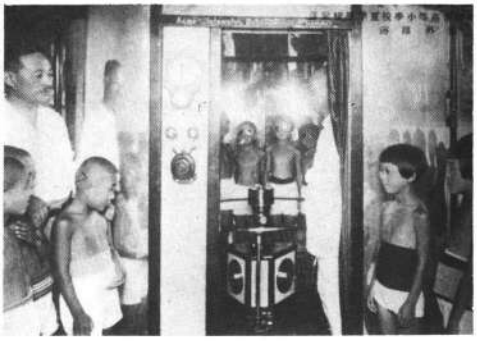
兵隊さんのお迎え　日の丸の旗をもって

出征兵士を駅で見送る



学校聚落　金華山へ

学校聚落　保健室で紫外線浴

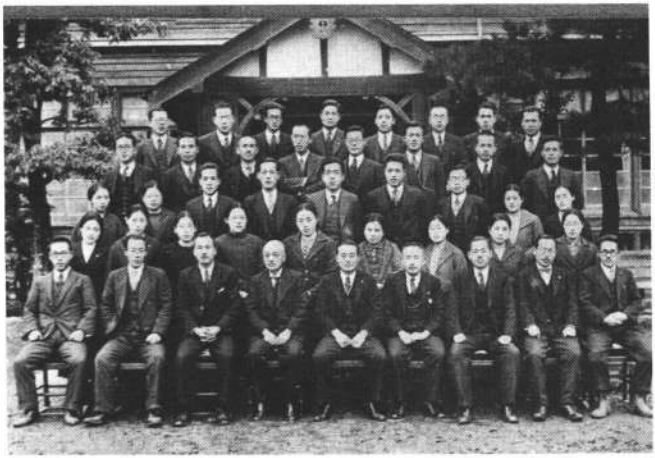


昭和13年度

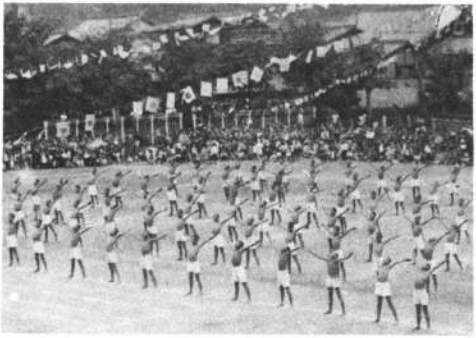
岐阜市金華尋常高等小学校

教育の重点　公民教育　労作教育　綜合教育

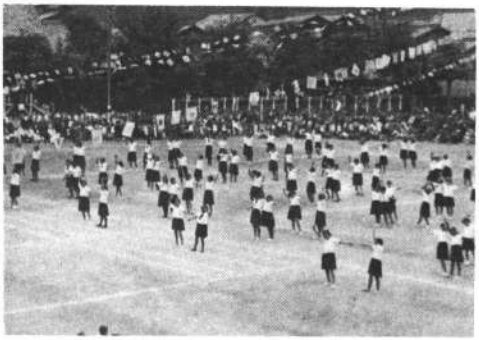
4．8　堤防の松を切り、木柵を溝の南に移す
4．20　講堂内の東部に畳を入れて柔道場とする
4．26　靖国神社臨時大祭につき遙拝式挙行
4．29　天長節奉祝式挙行　68連隊出動歓送高等科
5．9　全校健脚運動挙行
5．16　5男以上に柔道、剣道　女子に薙刀を課外に行う
5．27　海軍記念日につきZ旗掲揚、全校行進練習
5．29　日本体操大会東海大会に6男出場　鳴海球場
6．10　校医（眼科）野川三秀氏逝去
7．8　防空演習
7．25　5年以上志段見にて石拾い、伊奈波神社に奉納
7．27　夏季聚落開所
9．10　68連隊出動　金町通りで高2歓送
9．14　東舎窓下に花壇作り始める　高男
9．25　学童野球大会に優勝　優勝戦は本校尋対大垣南尋
9．26　警戒警報出る　空襲避難訓練実施
10．19　靖国神社臨時大祭につき黙禱遙拝
10．20　運動会挙行
10．28　漢口陥落　奉祝旗行列　高男は夜提灯行列
10．31　教育勅語奉読式
11．3　明治節挙行
11．13　高等科修学旅行　奈良、京都　2泊3日
11．17　6年　敦賀修学旅行　日帰り
11．26　市学童音楽会に出演
1．1　新年拝賀式挙行
2．11　紀元節奉祝式挙行
3．15　校舎裏に炭焼がまを作る
3．25　卒業式　展覧会（2日間）



校長		梅村英造 川村鍈一	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	52	中根雄次郎
	2	49	仁科品子
	3	53	田中桂
	4	50	杉山貞子
	5	50	野田茂
2	1	55	伊藤一郎
	2	58	刈谷すゞ子
	3	54	酒向司馬
	4	58	渡辺一江
	5	56	正木清作
3	1	67	野原きみ
	2	69	藤谷静
	3	56	香田龍一
	4	58	梅田みさを
4	1	57	亀山幸造
	2	55	中村花
	3	54	中村又一
	4	51	曽根寿美子
	5	50	岡本すエ子
5	1	54	野田満
	2	56	渡辺隆徳
	3	58	富田幸治
	4	55	森英子
	5	54	小島仙一
6	1	55	酒向長重
	2	52	沢田三鶴
	3	54	可児良行
	4	59	川上千蔵
	5	54	大野隆
高1	1	47	白井敏彦
	2	46	寺町百助
	3	58	山田義三郎
高2	1	71	林貫治郎
	2	42	水谷意啓
看護婦			三輪好恵
使丁			加藤玉太郎
〃			加藤玉次郎
〃			長屋安太郎
〃			梅村春吉
計	34	1867	41



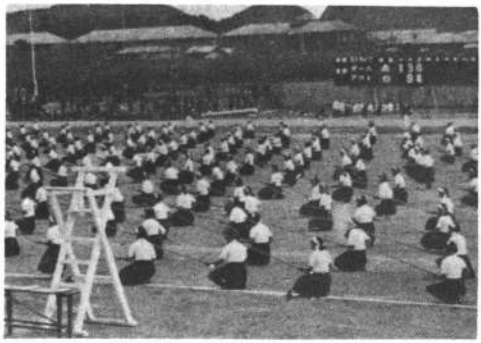
運動会　6男の元気なハダカ体操



運動会　6女の優美なダンス

日本体操大会東海大会
鳴海球場にて開かれる
六男出場し、万丈の気を吐く

運動会　女子の勇しい薙刀



伊吹山でスキー　ころぶも滑るも又楽し

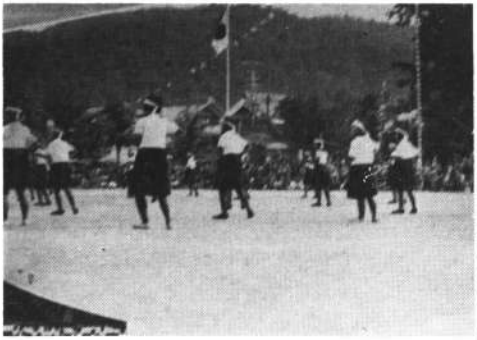
昭和14年度

教育の重点　公民教育　労作教育　綜合教育

4．17　本年度　給食始め
4．20　少年団訓練　年間に何度も行う
4．21　愛馬献金を集めて送る　全校で3円30銭
4．25　靖国神社大祭につき遙拝式挙行
4．29　天長節奉祝式挙行
5．1　市制50周年市内祝賀行進　伊奈波神社参拝
5．3　遠足運動実施　快晴にして絶好の遠足日和
5．6　校内武道大会　5年以上
5．17　プールに魚を放つ　防空訓練2日間実施
5．27　海軍記念日　市体操大会　3年以上廃川敷地
5．29　5年以上男子に柔道、剣道を准正課として課す
6．26　貯金日　全校総額500円を越える
7．27　夏季聚落入所式
8．4　歩兵68連隊歓送　これから何度も歓送迎を行う
8．18　青少年学徒に賜わりたる勅語奉戴式
8．20　夏季聚落閉所式
9．3　岐商プール開きの水泳大会に選手出場
9．7　はん登棒完成　ラッパ15個寄贈を受ける
10．10　運動会　講堂に祭壇を設け英霊に一般人参拝
10．20　靖国神社大祭につき遙拝式挙行
10．21　遠足　24日より5日間防空演習実施
10．30　教育勅語奉読式挙行
11．3　明治節奉祝式
12．1　興亜奉公日
1．15　武道寒げいこ　6年以上4日間
2．11　紀元節奉祝式挙行
2．14　皇紀2600年奉祝　学芸会開催
3．19　卒業式

岐阜市金華尋常高等小学校

校長		梅沢英造 川村鎌一	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	61	林　貫治郎
	2	61	森　英二
	3	60	川上千蔵
	4	60	杉山貞子
	5	60	野原きみ
2	1	52	中根雄次郎
	2	49	仁科品子
	3	53	田中　桂
	4	50	佐合久一郎
	5	50	野田　茂
3	1	53	翠　精一
	2	55	刈谷すゞ子
	3	51	酒向司馬
	4	53	渡辺一江
	5	59	白木とみ子
4	1	63	大野　隆
	2	70	可児良行
	3	52	草野田鶴子
	4	57	岡本す江子
5	1	57	亀山幸造
	2	51	酒向長重
	3	54	中村又一
	4	54	山本正蔵
	5	53	梅田みさを
6	1	54	野田　満
	2	57	藤谷　静
	3	58	富田幸治
	4	55	森　英子
	5	53	小島仙一
高1	1	43	浅野信夫
	2	44	寺町百助
	3	69	水谷意啓
高2	1	68	白井敏彦
	2	64	山田義三郎
看護婦			三輪好恵
使丁			加藤玉次郎
〃			長屋安太郎
〃			梅村春吉
計	33	1895	38

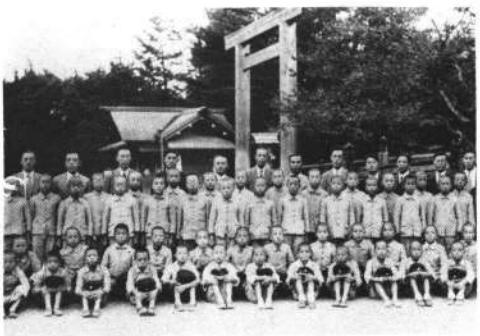


運動会　女子は鉢巻をし凜々しい薙刀

運動会　力強く勇ましい剣道

皇紀二六〇〇年奉祝式
小学生　在郷軍人　警防団
婦人会など、校庭に集り
記念祝典を挙げる

運動会　リズムにのって美しい遊戯



修学旅行　宇治橋で　（６年１部）

昭和15年度

教育の重点　公民教育　労作教育　綜合教育

4．6　始業式　入学式
4．10　紀元2600年記念として金華婦人会より梅樹2本の寄付を受け、南舎の南庭に植える
4．16　運動場南の井戸に動力メートル器を取付ける
4．25　靖国神社臨時大祭につき遙拝式挙行
4．29　天長節奉祝式挙行
5．7　遠足運動実施
5．22　青少年学徒に賜りたる勅語奉読式挙行
5．27　海軍記念日　乙旗掲揚　全校行進練習
6．25　奉安庫周囲の石垣及び樹木の工事に着手
7．7　日支事変3周年記念　神社参拝
7．27　第1学期　終業式
7．28　夏季聚落入所式
8．20　夏季聚落閉所式
9．1　第2学期　始業式
10．10　運動会
10．20　靖国神社臨時大祭につき遙拝式挙行
10．24　遠足
10．30　教育勅語奉読式挙行
11．3　明治節奉祝式挙行
12．1　興亜奉公日　防火避難演習実施
12．28　終業式
1．1　新年拝賀式挙行　1月8日第3学期始業式
1．9　各教室に大火鉢を配布
1．13　寒中修練始まる　剣道・柔道・薙刀
2．11　紀元節奉祝式挙行
3．13　展覧会　4日間
3．20　卒業式

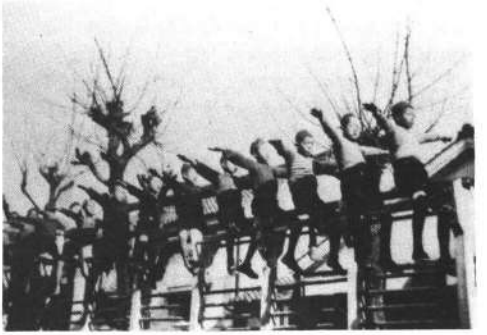
岐阜市金華尋常高等小学校

校長			梅沢英造 水谷意啓
年	部	児童数	職員氏名
1	1	60	長柄保夫
	2	57	翠　精一
	3	58	森　英子
	4	58	野田ひで
2	1	63	堀　重教
	2	62	田口耕作
	3	63	川上千蔵
	4	59	杉山貞子
	5	59	平野静江
3	1	61	中根雄次郎
	2	61	仁科品子
	3	63	田中　桂
	4	64	刈谷すゞ子
4	1	51	富田幸治
	2	54	佐合久一郎
	3	54	朝居稚夫
	4	56	渡辺一江
	5	53	白木とみ子
5	1	52	大野　隆
	2	52	山田義三郎
	3	49	安藤隆男
	4	46	草野田鶴子
	5	47	岡本すエ子
6	1	57	亀山幸造
	2	51	酒向長重
	3	53	中村又一
	4	52	山本正蔵
	5	51	柳田　敏
高1	1	49	野田　茂
	2	47	野村秀一
	3	65	野田　満
高2	1	36	浅野信夫
	2	34	寺町百助
	3	61	水谷意啓
看護婦			三輪好恵
使丁			加藤玉次郎
〃			長屋安太郎
〃			梅村春吉
計	34	1861	39

いちょうの葉拾い
遅いと１枚も拾えないので、競走で朝早く来て、１枚でも多く拾った

校長訓話　じゅんじゅんとおさとしなさった

体操　肋木で元気に身体を鍛える



銀杏の研究

梅沢教育は実地に当って、必ず研究実践表現の三面が展開される。学校のシンボルである銀杏の木を教材にした学習も、研究や調査がそれだけで終るのではなく、仕事そのものが研究であって、働く尊さを身をもって知り、みんなで働く中に協同の精神が培われたのである。

銀杏の学習は、これを綴方からみれば国語であり、高さの測定、葉の量、重さ等の調べからみれば算術であり、虫害調べからみれば理科であり、写生図案からみれば図工である。しかもこれらを一つに綜合して実践したところに特色とすばらしさがある。

銀杏の研究の内容（昭和14年調べ）

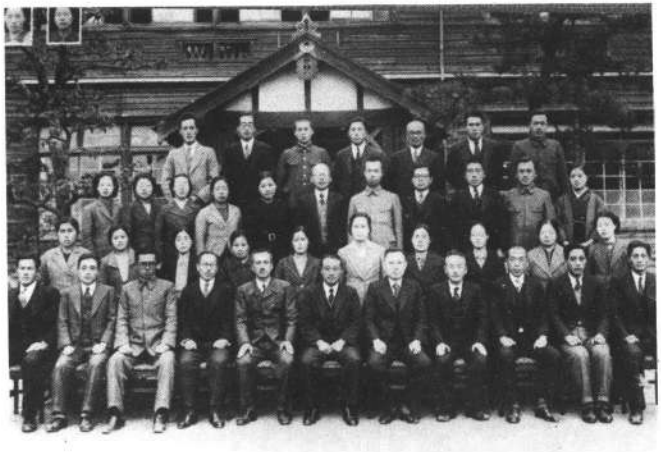
1．樹の高さの測定　　18米22糎
2．葉の数
　　14年　447984枚　　16年　334765枚
　　15年　616094枚　　17年　433346枚
3．葉の量　1615立方米（炭俵９俵）
4．葉の重さ 116.3キログラム
5．葉の面積1213.5平方米
6．葉と実との関係、実の研究
7．防火の樹としての研究
8．銀杏の樹はなぜ虫害がないのか
9．銀杏の生活綴方
10．銀杏の写生、図案

昭和16年度

岐阜市金華国民学校

教育の重点　公民教育　労作教育　綜合教育

4．1　**国民学校令発布により岐阜市金華国民学校と改称**
5．2　健足訓練
5．22　青少年学徒に賜わりたる勅語奉読式　分列式挙行
5．27　早田磧新開拓　修練道場の鍬入れ式挙行
6．4　玄関西側に掲示場を設置　脱穀機、唐箕購入
6．26　雅楽鑑賞　講堂にて高等科
7．2　修練開拓事業　6年以上
7．7　日支事変4周年記念　神社参拝・分列式・灰集め
7．19　加野春次校医永眠さる
7．31　夏季聚落入所式　8月24日まで
8．5　5年以上　各学年毎に開拓訓練　キャンプ
8．25　全校、早田磧にて堆肥用草取り作業
9．4　臣民の道を職員会にて朗読、戦陣訓輪読
9．9　灰44俵を供出
9．17　高等料　陸軍飛行学校を見学
9．18　満州事変10周年記念　護国神社参拝
10．16　避難防火演習　10日間行う
10．30　教育勅語奉読式挙行
11．3　明治節祝賀式挙行
12．5　6年　伊勢参宮修練旅行
12．8　宣戦の詔書下る　太平洋戦争始まる
12．17　秋葉奉積堆肥入魂式挙行
1．13　寒中修練始まる
1．29　音楽修練大会
2．4　鉄材献納のため正門の扉をはずす
2．11　紀元節祝賀式挙行
2．18　シンガポール陥落祝賀式挙行　旗行列
3．20　卒業式　展覧会



校長			梅沢英造 水谷意啓
年	部	児童数	職員氏名
1	1	57	中根雄次郎
	2	52	五十嵐雪子
	3	55	川上千蔵
	4	55	藤田道栄
	5	53	山本すゞ子
2	1	59	長柄保夫
	2	55	翠　精一
	3	58	森　英子
	4	55	野田ひで
3	1	59	谷口秋子
	2	59	安田精一
	3	59	川村かつ
	4	63	杉山貞子
	5	63	平野静江
4	1	63	寺町百助
	2	63	田中　桂
	3	62	仁科品子
	4	63	柳田　敏
5	1	54	富田幸治
	2	54	中村又一
	3	53	山本正蔵
	4	53	渡辺一江
	5	52	白木とみ子
6	1	54	大野　隆
	2	52	山田義三郎
	3	49	安藤隆男
	4	48	草野田鶴子
	5	49	村瀬みつの
高1	1	49	朝居稚夫
	2	50	後藤繁雄
	3	63	山田富子
高2	1	38	川島敏郎
	2	37	野村秀一
	3	48	野田　満
看護婦			山田すて
使丁			加藤玉次郎
〃			長屋安太郎
〃			梅村春吉
計	34	1856	40

金華国民学校となる

小学校令が廃止され国民学校令が公布されて、長い間親しまれてきた小学校の名称は国民学校と改められた。
国民学校令の要点は次の通りである。

国民学校令公布　　昭和16年３月１日　４月１日実施

- 皇国の道にのっとって初等普通教育を施し国民の基礎的錬成をなすことをもって目的とす
- 教育の内容を次の通り分ける　５教科（　）は科目
  国民科（修身、国語、国史、地理）体錬科（体操）
  理数科（算術、理科）　芸能科（図工、唱歌）
  実業科（高等科にて実施する）

戦いの中の校旗

颯爽と長良橋を渡り修練農場へ

修練農場にラッパの音は響き渡る

さあ、力いっぱい開墾だ

分列行進　威風堂々、女子はいく、モンペで

昭和17年度

岐阜市金華国民学校

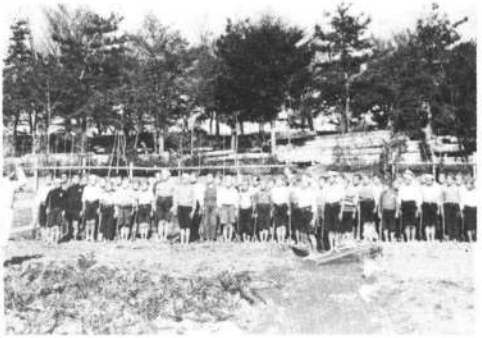
教育の重点　公民教育　労作教育　綜合教育

4．18　始めて空襲あり　宿直2名とす　サイレン北舎へ
4．20　待避訓練　年間数回実施
4．22　青年学校廃校式
4．25　靖国神社臨時大祭につき遙拝式挙行
4．29　天長節祝賀式挙行
5．1　健足修練
5．8　大詔奉戴日　毎月8日は神社参拝　除草奉仕
5．13　発声映画観賞6年以上
5．14　応接室に神棚奉斎
5．21　青少年学徒に賜りたる勅語奉読式挙行
5．22　5年以上　総合運動場にて体操大会
6．6　写生会　肋木を撤去す
7．4　学校長満州壮行祈願式　同月30日帰校
7．7　市教職員滑空隊創設並機体命名式　高男見学
7．21　町内毎にラジオ体操始める
7．25　5男　夜営訓練　1泊
9．14　6年　伊勢参宮修練旅行
10．16　靖国神社臨時大祭につき遙拝式挙行
12．3　映画鑑賞 ハワイマレー沖海戦　5年以上岐阜劇場
12．27　二宮金次郎銅像供出　どんぐり・甘藷供出
1．1　四方拝拝賀式挙行
1．4　職員馬事訓練　4日間　早田磧
1．26　金属類供出　花瓶・鉄屑等
1．30　積雪60cm
2．11　紀元節拝賀式挙行
3．1　満蒙開拓義勇軍壮行会
3．13　やりぬく子供の修練展覧会
3．20　卒業式　労作分列式

校長	梅沢英造
教頭	水谷意啓

年	部	児童数	職員氏名
1	1	58	野村秀一
	2	59	高橋美代子
	3	57	五十嵐雪子
	4	51	勝野みきゑ
	5	56	村瀬みつの
2	1	54	杉山貞子
	2	53	大野隆
	3	52	後藤繁雄
	4	56	藤田道栄
	5	53	山本すゞ子
3	1	54	長柄保夫
	2	54	翠精一
	3	59	鍛代美恵子
	4	59	野田ひで
4	1	58	安藤隆男
	2	57	安田精一
	3	54	今津博夫
	4	64	藤井道子
	5	65	平野静江
5	1	62	寺町百助
	2	62	野田満
	3	61	仁科品子
	4	61	柳田敏
6	1	55	富田幸治
	2	55	中村又一
	3	53	山本正三
	4	51	渡辺一江
	5	53	白木とみ子
高1	1	42	野津畠
	2	44	各務勉
	3	58	横山重一
高2	1	41	朝居稚夫
	2	39	川島敏郎
	3	45	若原好子
看護婦			山田すて
使丁			加藤玉次郎
〃			長屋安太郎
〃			梅村春吉
計	34	1855	40

落葉集め　護国神社付近で



修練農場で、カシラー(頭) 右

土作り　溝土をふるって壌土を作る

スコップかついで、勇ましく分列行進

先生方　滑空隊にて活躍

模型飛行機を作り、早田磧で飛ばす

昭和18年度

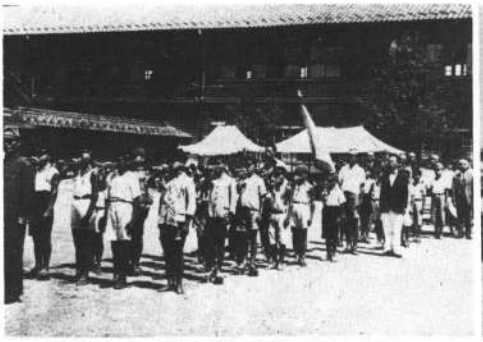
岐阜市金華国民学校

教育の重点　公民教育　労作教育　綜合教育

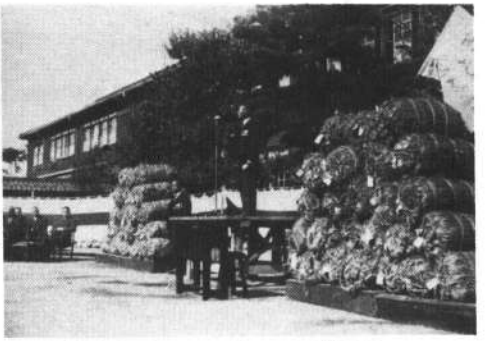
4．12　全校防空訓練実施　年間数回行う　灰集め
4．24　靖国神社臨時大祭につき全校護国神社へ参拝
4．29　天長節祝賀式　学年別強行軍
5．5　行軍修練
5．8　大詔奉戴日　毎月8日に神社参拝、清掃
5．9　高2女　三県連合体操大会に参加　瑞穂運動場
5．27　海軍記念日　撃ちてし止まむ修練会
6．1　アッツ島玉砕、勇士冥福祈り護国神社参拝
6．2　高2　桑剝ぎ　常盤へ
6．5　故山本元帥国葬　伊奈波・護国神社へ参拝清掃
6．7　映画修練　海軍記念　美殿館
7．22　元関谷校長胸像供出壮行式
8．11　講堂、宿直室、小使室の壁ぬりかえ
9．6　全校草刈り修練実施　水源池除草
9．16　大日本少年団員章授与式
10．4　いなご採集修練　何回も行う
10．16　靖国神社臨時大祭につき遙拝式挙行
10．20　鶏小屋建設　銀杏の実落し
10．30　教育勅語奉読式挙行
11．3　甘藷53俵供出
11．5　二宮金次郎像代品着
11．30　市音楽会に1年・3年出演
12．16　味噌汁給食開始　落穂拾い
1．1　新年拝賀式挙行
1．5　馬糞・堆肥の材料集め
3．10　展覧会　4日間
3．18　全校労作分列式
3．20　卒業式

校長	梅沢英造
教頭	水谷意啓

年	部	児童数	職員氏名
1	1	62	野村秀一
	2	64	渡辺一江
	3	64	五十嵐雪子
	4	62	土本照子
2	1	59	翠　精一
	2	60	富田幸治
	3	59	本田まさ子
	4	60	江崎範男
	5	40	村瀬みつの
3	1	52	朝居稚夫
	2	53	後藤繁雄
	3	52	酒向敏子
	4	51	杉山貞子
	5	51	堀　留里子
4	1	54	長柄保夫
	2	54	野津　晶
	3	54	白木とみ子
	4	61	野田ひで
5	1	58	安藤隆男
	2	55	安田精一
	3	54	川瀬知勝
	4	62	藤井通子
	5	62	平野静江
6	1	63	寺町百助
	2	61	野田　満
	3	59	勝野みきゑ
	4	60	柳田　敏
高1	1	37	久世富春
	2	36	川島敏郎
	3	37	若原好子
	4	38	杉山静子
高2	1	32	村木　進
	2	33	各務　勉
	3	40	横山重一
看護婦			山田すて
使丁			加藤玉次郎
〃			梅村春吉
計	34	1799	39



元関谷校長の胸像供出壮行式　7月22日



甘藷供出式　53俵　11月3日

肥料にする堆肥作りに懸命

登校風景　堆肥にする野菜屑などをさげて

紙　す　き

校庭の樹木の枝を切って、木炭を作る

昭和19年度

岐阜市金華国民学校

教育の重点　公民教育　労作教育　綜合教育

4．8　大詔奉戴日、詔書奉読　神社参拝清掃(毎月)
4．13　職員は護国神社開拓道場にて開墾、馬鈴著植付け
4．15　堤防開拓を始める
4．22　青少年学徒に賜わりたる勅語奉読式挙行
4．25　靖国神社臨時大祭につき遙拝式挙行
4．29　天長節拝賀式挙行
5．6　行軍修練
5．7　男子職員早田磧にて滑空訓練参加
5．15　高２男　勤労動員　椿洞で暗渠排水
5．17　防空、火災、待避訓練、職員火叩き作り
6．9　高男　常盤へ麦刈り勤労奉仕　５年以上手旗修練
7．31　高男　宿泊修練　１泊　講堂で
9．11　堆肥の青草集め
9．20　滑空訓練見学
10．6　牛舎起工式　全校草刈り作業
10．7　感謝憤激貯金
10．13　開拓行軍修練　中川原へ　開拓、飼料集め
11．3　明治節儀式挙行
11．9　高２の２　本日美濃航空工業へ入所
11．10　高２の１　本日熊田鉄工所へ入所
12．7　午后１時40分強震　壁や屋根瓦に被害あり
1．1　新年拝賀式挙行
1．12　午前３時　強震あり　被害なし
2．8　護国神社除雪作業　４年以上
2．11　紀元節祝賀式挙行
2．28　高１　志段見へ薪伐採
3．5　慰問文作製
3．24　卒業式

校長 教頭		梅沢英造 富田幸治	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	62	酒向敏子
	2	59	野田満
	3	57	本田まさ子
	4	56	栗林廉子
	5	57	松井正子
2	1	64	野村秀一
	2	66	渡辺一江
	3	65	清水種子
	4	56	土本照子
3	1	55	野村勝利
	2	57	江崎範男
	3	52	小塩多寿子
	4	60	岡田婦美子
	5	60	田中とみ子
4	1	70	安藤隆男
	2	58	後藤繁雄
	3	62	三輪滋子
	4	61	堀留里子
5	1	55	長柄保夫
	2	54	野津晶
	3	60	村瀬みつの
	4	60	野田ひで
6	1	58	朝居稚夫
	2	58	安田精一
	3	58	川瀬知勝
	4	63	藤井通子
	5	65	平野静江
高1	1	37	寺町百助
	2	34	村木進
	3	32	勝野みきゑ
	4	37	柳田敏
高2	1	32	加藤勉
	2	31	川島敏郎
	3	46	若原好子
看護婦			山田すて
使丁			加藤玉次郎
〃			梅村春吉
計	34	1857	39

金華修練隊　開墾に増産に働く

甘藷を俵に入れて目方を計り、俵につめる

きくいもの収獲　みどり橋の下の農場で

恵利蚕の飼育　ニワウルシの葉を与える

家から持ってきた野菜屑等を積みこむ

見事な堆肥の山

昭和20年度

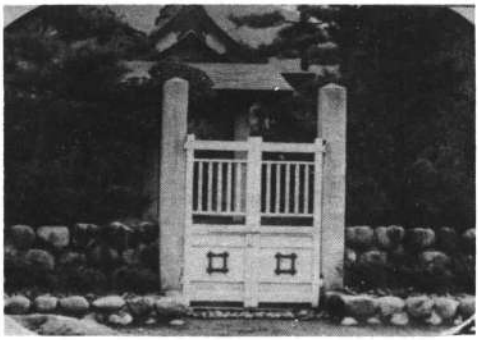
岐阜市金華国民学校

教育の重点　公民教育　労作教育　綜合教育

4．2　中舎、南舎天井取外し作業
4．5　殆んど毎日　空襲警報が出て待避する
4．8　大詔奉戴日　神社参拝　毎月8日に行う
4．15　渡り廊下　取りこわし作業
4．20　軍協力整地作業　公園6年以上　続いて3日行う
4．21　必勝訓、学校長より発表
4．25　青少年学徒に賜わりたる勅語奉読式
4．29　天長節儀式挙行　学童義勇隊結成式挙行
4．29　少年団、貯蓄増強により市長より表彰をうく
5．4　職員報国農園開墾　甘藷を植付ける
5．7　疎開の手伝い　高男　1週間
5．22　少年義男隊にて灰、堆肥材料集め
5．28　桃林開墾　5年以上
5．30　桑剝ぎ奉仕　6年以上　数回常盤へ
6．4　防空用資材運搬　戸板　ガラス戸
6．14　職員報国農園へ甘藷の苗植付
7．6　仔豚2頭購入
7．9　午后10時　岐阜市大空襲を受く　学校は無事
8．9　2の1山村有入長良川にて溺死　丹羽訓導殉職
8．13　鯉の稚魚1000匹を水泳池に放つ
8．15　聖断を拝し、太平洋戦争終結
8．30　全校草刈り作業　秋には落葉集めを何回も行う
10．28　収獲甘藷を全児童に無料配給
10．30　教育勅語奉読式　教育塔合紀祭遙拝
11．3　明治節挙行
12．31　御影奉還式（天皇、皇后両陛下の御真影）
1．1　新年奉賀式
3．23　卒業式

校長 教頭		梅沢英造 富田幸治	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	56	安藤隆男
	2	53	井上邦子
	3	49	栗林廉子
	4	49	長谷川久子
	5	50	宇佐見巴
2	1	68	中村貞三
	2	65	藤井通子
	3	50	酒向敏子
	4	65	村木進
	5	65	林公子
3	1	58	大野辰美
	2	59	渡辺一江
	3	49	加藤松枝
	4	54	高橋重信
	5	51	中村千鶴子
4	1	60	今津博夫
	2	59	江崎範男
	3	57	野田登美子
	4	63	岡田婦美子
	5	62	山本春子
5	1	57	川島敏郎
	2	57	後藤繁雄
	3	57	野々村稔
	4	58	汲田史郎
	5	57	堀留里子
6	1	60	長柄保夫
	2	59	野津畠
	3	70	中村又一
	4	67	福田正巳
高1	1	39	朝居稚夫
	2	39	安田精一
	3	69	平野静江
高2	1	46	寺町百助
	2	47	勝野みきゑ
看護婦			山田すて
使丁			加藤玉次郎
〃			酒向静
計	34	1924	39

戦勝を祈願し、ぬかずいた奉安殿



早田磧の日輪兵舎にひるがえる日章旗

終戦直後の教育

昭和20年8月15日、天皇自ら放送され、日本は無条件降伏をした。それは必勝を信じて戦つてきたわが国民に大きな打撃を与え、精神的支柱を失って虚脱状態になった。その中で本校は幸に戦火はまぬがれたが、天井は取りはずしてなく、ガラスは破れ、荒廃した校舎で文部省から出た新日本建設の教育方針と、軍政部からの四つの指令にもとずき、教科書に墨をぬるなどして、授業を進めたのである。又他方では今までにもまして草を刈り、落葉を集めそれで堆肥を作って甘藷、野菜等を作り、みんな分けあって食べて児童達の空腹の足しにした。次に文部省より出た新日本建設の教育方針と米軍政部の四つの指令との要点をのせる。

新日本建設の教育方針　　文部省発表　　昭和20年9月15日

その初めに今後の教育は軍国的思想及施策を払拭し、平和国家の建設を目途として謙虚ひたすら国民の教養を深める……とかかれている。

同時に、具体的緊急対策として11の項目をあげている。その一つに教科書は新教育方針に即応して根本的改訂を断行しなければならないが、さしあたり訂正削除すべき部分を指示して教授上遺憾なきを期すること

米軍政部の四つの指令

終戦後の教育施策、中でも軍国主義、国家主義の思想、教育を禁ずるを目的として出た

- 10月22日　日本教育制度の管理政策
  現在の教科書等の一時的使用を認めるが、軍国主義的箇所は削除
- 10月30日　教員及び教育関係者の調査、除外、認可
- 12月15日　国家神道、神社神道に対する政府の保証、支援等の禁止
- 12月31日　修身、日本歴史、地理の停止

後藤校長時代の教育　（昭21～27）

敗戦後の社会的混乱は各所に眼をおおわせるような場面を露出した。社会の無軌道な現象は学校教育の上にも影響をもたらした。

児童の体位は長身虚弱型で市内でも下位に属し、又校舎の壁は落ち、ガラスは破れ、破目板には穴があき、児童の学習環境としての校舎は見るも無惨な荒廃の極に達していた。我々のえがく人間像、理想の社会人は、こんな現状下でどうして育て得るであろうか。心身共に荒み切った子供を前にして、先ず情操豊かな子供にしたい。学校環境の整理美化と児童の体位向上こそ目下の急務であると考え、健康教育をスローガンに掲げた。

学習園の経営、庭作り学習、ガラスの補充、清掃による学習、運動器具の充実等、職員児童協同の労作は着々と歩を進めた。

入浴訓練の徹底、衛生袋の常時携帯、爪切りの励行等、習慣形成への教育に邁進し、漸やく花壇にはデイジーの花が、教室の一輪差しには白百合の花が馥郁たる香気を漂よわすようになった。平田博士の指導による体格、体位の綜合判定、松井校医による全校児童に対する精密検査、これらのテスト調査により或は養護学級の特設となり、或は診療券の発行による徹底的な治療となり凱歌を奏じた。かくして昭和25年３月　斯界の権威者、文部省事務官荷見秋次郎先生を招き、近県に呼びかけ二ヶ年の研究結果を発表した。

独立後の日本の国際場裏に置かれた立場を案ずるに、幾多の難関が巍然として横たわっているのを感ずる。就中、生産増強による輸出振興の必要さを痛感せずにはいられない。領土狭く資源に乏しい日本の現状に於て、国内のみの移出入だけでは国勢の維持発展は望み得ないのである。又校下の実態より推察するに「働き」に対する意欲のある積極的な子供に育ち難い条件下に置かれている。此等の現状を打開更進させる将来の国民の養成は如何にあるべきか。児童に児童生活を生活させる教育が最も適切である。然かも生産生活を生活させる一児童の手、頭、心を通して作らせる生活させる生産活動が主体とならねばならない。この生産活動が頭を通して実践される所に創意性が養われるものと信ずる。児童の作品は次の作品を呼び、仕事は仕事を産み、機会は機会を産み乍ら、連続的関連的に教育が行われて、日々の生活に活用利用されてゆくものである。前記のような考え、話し合いにより展開された具体的な学習例を列記すると次のようである。

- 音楽に於ける創作学習
- バケツの修理更生学習
- 虫はさみ作り学習
- 団扇作り学習
- お土産品作り学習
- 紙すき学習
- 文集作り学習
- 飼育学習（山羊、鶏、あひる、兎、豚等）

（金華80年誌　　朝居稚夫記より）

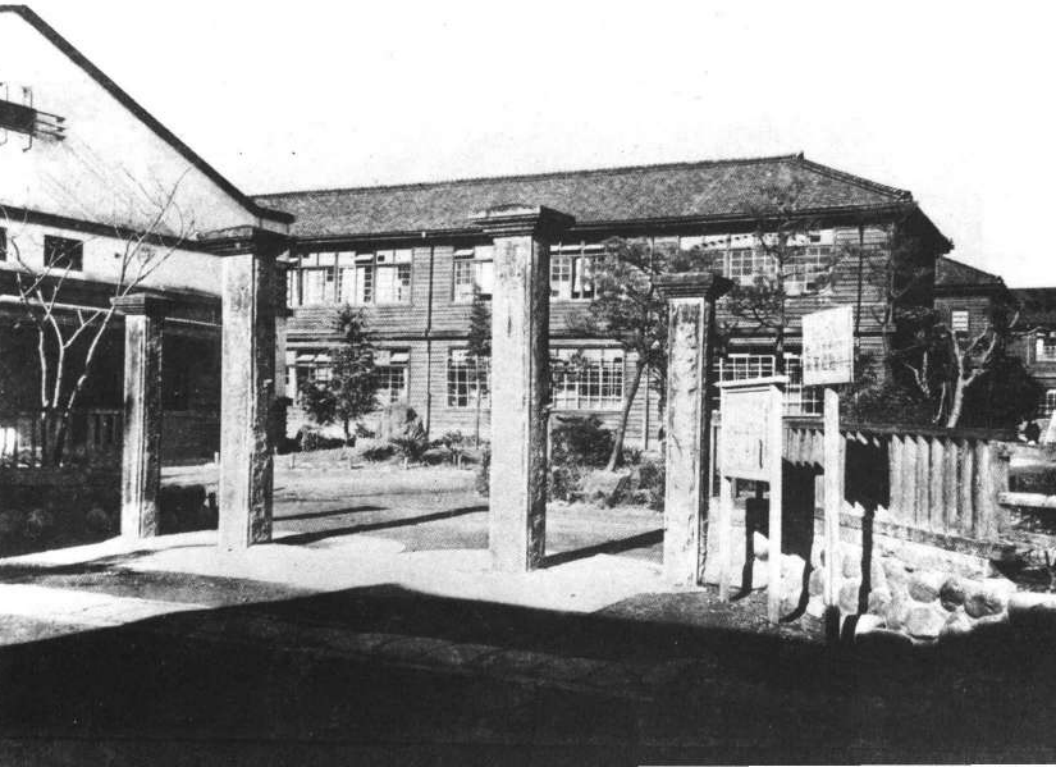
育友会の発足　元育友会長(昭22.23.26) 浅 野 久 蔵

終戦後の混乱がまだ続いていた昭和22年、時の後藤校長の要請によって、当時、金華連合町内会長であった浅野久蔵氏が町内会長会に計り、育友会を創立した。町内会とは今の広報会の前身で、金華校下の町内会は今のようにたくさんはなく、13位の町内会にまとまっていた。

11月30日、白木町の光会館で金華小学校育友会の設立総会が開かれた。出席したのは町内会長が主で、今のように父兄が多数つめかけるようなことはなかった。創設当時は会員は校下民全員で本校児童の保護者は正会員、児童がいない方は賛助会員であって、いずれも会費をいただいた。育友会の当面の活動の目標は、口数の申込みを多くすることによって、終戦後の荒れはてた校地、校舎の整備、教育備品の充実をすることであった。渡り廊下の再建、給食調理室の建設などに育友会は努力をした。

育友会を生み、育友会を育て、下さった初代会長浅野久蔵氏は現職中の昭和27年2月5日病のため永眠された。氏は資性温厚の士で、自宅から空缶をもってきて校舎の樋を作り、運動場の周りのからたちを植え、崩れた石垣を積んだりして、学校のために卒先骨折り、誠に勤勉力行の人であった。　（元育友会副会長　桜井多市談）

校門より講堂・校舎を望む　　昭和27年度



私の思い出　元育友会長(昭24.25) 松井太郎

随分古いことながら軍隊から復員致しまして未だ日なお浅く自宅開業致しまして間もなく育友会長をおおせつかりまして一時は困惑致しました。当時未だ世情は物情騒然と致しておりまして、浅野久蔵さんの軍隊友人から是非にと懇願されまして御引き受け致しました。

当時何のためだか今になっても思い出せませぬが浅野さんから、育友会に五万円必要だからとて十六銀行から借りたいから是非協力してくれとのことで浅野さんのお伴をして十六銀行材木町支店から借りました。小生復員し又生れて始めて借金を致しましたこととて今日に至るまで忘れたことは御座いませぬ。

会長と致しまして当時岐阜市長松尾吾策殿は義兄の岐阜中学時代の同窓親友で御懇意に願って居りました故に、市との交渉に何かと都合よく、校下の皆様の御後援によりまして大過なく過しましたことを今日も感謝致して居ります。

子供の日　昭和二十五年五月

会長就任時の挨拶　元育友会長(昭27.28) 桑 原 善 吉

敗戦の世相、人心ともに頽廃し尽している現状において将来如何にして平和国家にふさわしい立派な国民を養成して行くかと問はれたならば、それは先づ「手近にある小学校と家庭とが融け合って一体となり、まごころと愛情を以て子弟を教育することが先決問題ではないか」と卒直にお答えしたい。それほどに憂慮と深い関心をもっている一人であります。

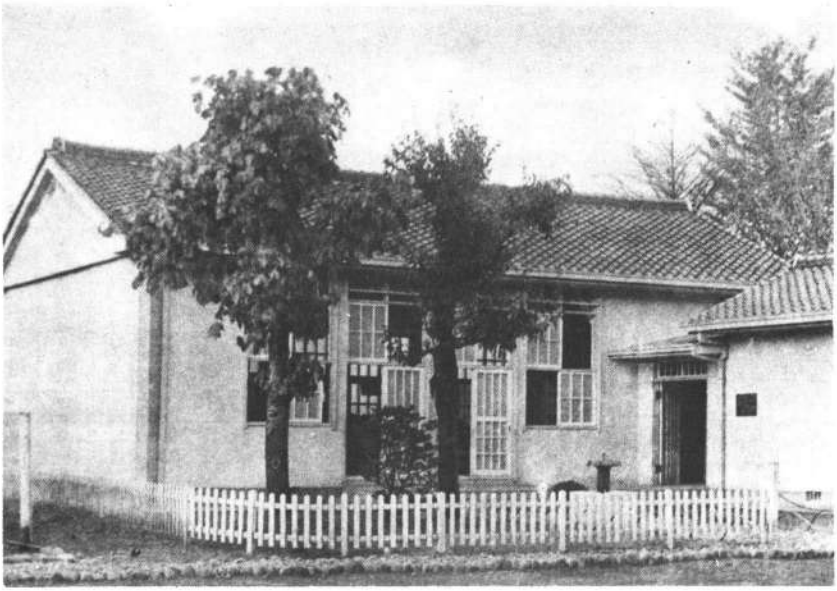
偶々追放解除により身軽になった私なので、このたび会長の大任をお引受けした次第です。そこで今後の抱負をもっておりますが、最も重要かつ緊急な問題の2・3を述べてみますならば

先づ第一、保健衛生規律の面を重視し各位の協力を俟って内部の充実を図ると共に、健全な思想をもって、師弟間の尊敬の念を深かからしめ、将来の日本を背負って立つべき善良な児童を養成することが一番肝心なことだとおもいます。

第二には学校、各団体などと常に緊密な意志の疎通を図り、児童の福祉のため目的達成に協力することであります。

第三には校下から選出されている市会議員、市教育委員等の斡旋により校内に図書館を新設し学力向上の基礎にしたいのであります。

図書館竣工　創立八十周年記念
昭和二十八年四月二日



昭和21年度

教育の重点　健康教育　生産教育

4．28　小玉人形劇観覧
4．29　天長節拝賀式
5．15　遠足
5．20　水曜会　毎週1回、各係より方針連絡をきく
5．29　御手洗農園に甘藷苗植付　高1
6．11　桃林職員畑麦刈り
6．19　甘藷苗64本入手　鷺山、桃林に植付
6．20　甘藷苗千本　岐阜農林より入手
6．25　新教育伝達講習会　裁縫室にて
7．23　奉安殿取りこわし工事
7．25　映画鑑賞　或日の干潟　5年以上　衆楽館
7．27　全校青草刈り　これより数回行う
9．11　映画観覧　4年以上　岐阜劇場
10．3　サーカス観覧
10．10　運動場整地始まる
10．25　天皇陛下行幸　全校金町通りで奉迎
10．30　4年以下運動会　5年以上遠足
10．31　5年以上運動会　4年以下遠足
11．5　分解した衛生室を再建し完成す
11．20　桃林畑に麦播種
11　29　映画観覧　3年以上
12．12　校内音楽会　2日間(前日低学年、後日高学年)
1．1　新年拝賀式挙行
1．23　県軍政官来校　給食状況視察
1．30　校内珠算大会　5年以上
2．8　映画鑑賞　にんじん　6年以上　小劇場
3．24　新制中学対策委員会開催
3．25　卒業式

岐阜市金華国民学校

校長	後藤弥三
教頭	長柄保夫

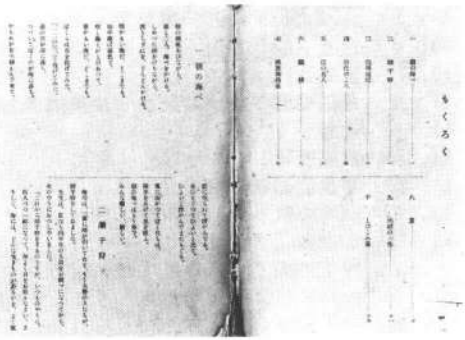
年	部	児童数	職員氏名
1	1	59	渡辺一江
	2	61	酒向敏子
	3	67	堀口すゑの
	4	60	柿内弘子
	5	59	村瀬節子
2	1	51	安藤隆男
	2	52	井上邦子
	3	52	栗林廉子
	4	50	長谷川久子
	5	50	宇佐見巴
3	1	65	河地真知子
	2	64	野津晶
	3	65	藤井通子
	4	64	野田登美子
	5	65	林公子
4	1	55	西村君子
	2	57	土田勇
	3	54	中村千鶴子
	4	50	長柄保夫
	5	49	大野辰美
5	1	68	高橋重信
	2	67	江崎範男
	3	59	中村貞三
	4	66	棚橋好子
	5	66	山本春子
6	1	57	汲田史郎
	2	57	後藤繁雄
	3	57	野々村稔
	4	54	栗田喜代子
	5	56	松野広子
高1	1	59	村木進
	2	65	福田正己
高2	1	60	朝居稚夫
	2	43	勝野みきゑ
使丁			大野和男
〃			山岡寛之
計	34	1983	37

新教育の胎動

物資の欠乏は戦時中よりも拍車をかけ、復員と外地からの引揚げによる人口増のため、特に食糧事情の悪化はその極に達した。その結果、写真でも明瞭にわかる位に肋骨は見え、下肢上肢はやせこけてしまって、頭髪にはしらみがわき、首筋などは垢で変色していた。このような児童をかゝえて本校では一つは健康教育、一つは生産教育の二つの柱を立て懸命の努力をした。

本校がこのような歩みをしている時、外では新教育の動きが見られるようになった。前年出た文部省発表や四つの指令は動揺と混乱も起したが、反面新教育の方向をも指した。本年に入っては第1次米国教育使節団の報告と文部省の新教育指針の発表とがあり、本市においても新教育伝達講習会が始り、新教育の胎動が見られるようになった。

国語の教科書
新聞用紙に刷り
児童が自分で
切ってとじた本



算数の教科書
写真もさしえも
なく、代りにミ
スプリントが多
かった

第1次米国教育使節団報告書　　昭和21年4月7日（6項目に要約されるがその中の2）

- 日本の教育の目的及び内容（新しい理念は個人の完成、6・3・3制の勧告）
- 初等、中等の教育行政（地方分権的教育行政の確立、民主的な教育委員会の設置）

新教育指針　　昭和21年5月　文部省

- これからの教育理念は個性の完成である（人間性の尊重、人格の平等、個性の尊重）

昭和22年度

教育の重点　健康教育　生産教育

4．1　岐阜市立金華小学校と改称す
4．29　天長節祝賀式
5．2　遠足
5．3　新憲法発布祝賀式　新制中学校開校式
5．9　映画観覧　光会館
5．23　小運動会
5．30　講演会　天体事象について　山本一清博士
7．10　軍政部教育係コーニング氏来校
7．17　野球大会で優勝　金華22－白山4
8．2　全国花火大会始まる　戸締り厳重にす
9．11　童話の会　4年以上
10．3　6年　山下鵜匠の講話をきく
10．4　市陸上競技大会　5・6年選手出場　県営運動場
10．17　運動会
11．4　全国唱歌ラジオコンクール東海大会で1等
11．5　遠足
11．24　映画観覧　緑の小筐　小劇場
11．30　育友会結成総会　光会館にて
12．6　戦時中取り除いた天井の板を張る　30日完成
12．15　学芸会　2日間
1．7　校下の大工さん奉仕　机・窓ガラスの修繕
1．8　NHKにより合唱放送　5年女子
1．26　映画鑑賞　満映
1．30　学生帽配給
2．11　紀元節祝賀式
2．21　DDT撒布
3．8　展覧会　2日間
3．24　卒業式　卒業記念　傘棚3箇

校長	後藤弥三
教頭	長柄保夫

年	部	児童数	職員氏名
1	1	51	後藤繁雄
	2	52	堀口すゑの
	3	52	松野広子
	4	52	村木進
	5	52	野田登美子
2	1	61	渡辺一江
	2	61	酒向敏子
	3	61	小島千枝
	4	62	柿内弘子
	5	62	村瀬節子
3	1	51	野々村稔
	2	51	井上邦子
	3	52	勝野みきゑ
	4	51	長谷川久子
	5	51	大野辰美
4	1	52	河地真知子
	2	52	森泰三
	3	52	藤井通子
	4	52	宇佐見正
	5	52	林公子
5	1	56	汲田史郎
	2	57	福田正己
	3	54	中村千鶴子
	4	52	栗田喜代子
	5	52	西村君子
6	1	55	服部一美
	2	54	朝居稚夫
	3	54	中村貞三
	4	54	山本春子
	5	54	高瀬ふみえ
	6	54	棚橋好子
事務			水野登
使丁			土田喜兵衛
〃			山岡寛之
計	31	1678	36

6 3 3 制になる

教育勅語に代るものとして教育基本法が、国民学校令が廃止されて学校教育法が、その具体的指導の手引きとして学習指導要領が公示されて、戦後の教育の空白時代は去り新教育の研究実践の時代がきた。

教育基本法　　昭和22年3月31日　　法律第25号

教育の目的は人格の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたっとび勤労と責任を重んじ自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期す。

学校教育法　　昭和22年3月31日　　法律第26号

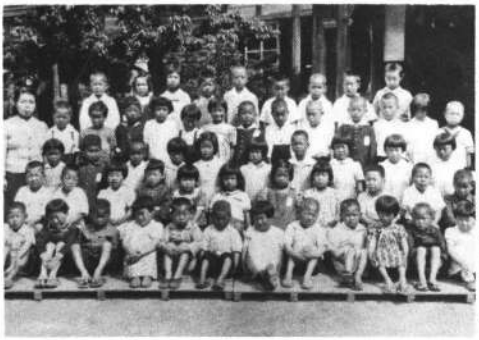
- 6・3・3制の学校体系　　• 9年制の義務教育
- 男女共学　　• 教科書を国定から検定へ改める

学習指導要領　　（試案）　　昭和22年

教育改革に際し早急に作られ、試案として出された

- 社会科、家庭科、自由研究の特設
- 教科は　国語　社会　算数　理科　音楽　図工　体育　家庭（5・6年）　自由研究（4・5・6年）

平和の風にはためく校旗



くりくり頭におかっぱの1年2部

笑いをとりもどした2年4部

金華小学校となる

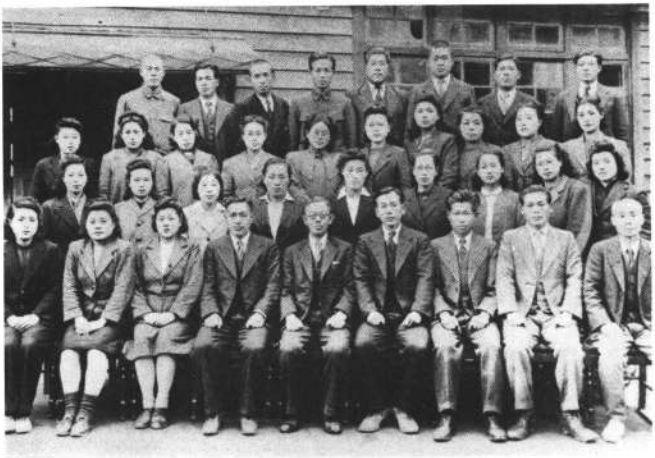
6・3制実施に伴い新制中学が発足し、本校では高等科がなくなり、校名を金華小学校と改称した。そして時間割には社会、家庭、自由研究が入り、一つの教室の中に男女が共学し、教科書も去年とは変って本らしくなり、育友会ができた。　このようなめまぐるしい移り変りの中で、戦時中取りはずした天井を張り、ガラスを入れ、机をなおし、健康と生産の教育を推し進めると同時に、明るい歌声の流れる学校へと情熱は傾けられた。

昭和23年度

岐阜市立金華小学校

教育の重点　健康教育　生産教育

4．17　火災訓練実施
4．22　遠足
4．29　天長節拝賀式
5．2　今日よりサマータイム実施
5．3　新憲法実施記念日　学級毎に訓話
5．5　ＤＤＴ撒布
5．9　金環日食につき３年以上に講話
5．20　映画観覧　ひかり会館
5．24　月曜会始まる
6．29　福井地震の救援物資発送
7．7　七夕祭
9．1　菜食だけの学校給食始まる－米国放出の缶詰
9．13　水泳大会
10．11　全国唱歌ラジオコンクール東海大会で２等
10．17　運動会
10．28　遠足
11．8　巡回映画観覧
11．17　写生大会　岐阜公園
12．18　映画鑑賞　長良小劇場
12．20　学校給食感謝の日　特別献立
1．1　新年互礼会
1．7　校下の大工さんの奉仕　机・窓ガラス修繕
1．14　映画観覧
1．21　巡回映画観覧
2．4　映画鑑賞　鐘のなる丘　岐阜劇場
3．4　映画観覧　風の子　長良劇場
3．14　展覧会　２日間
3．24　卒業式



校長		後藤弥三	
教頭		朝居稚夫	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	51	高瀬ふみゑ
	2	59	丹羽正子
	3	51	山本春子
	4	58	酒向敏子
	5	56	井上邦子
	6	55	玉井哲子
2	1	59	林　公子
	2	49	堀口すゑの
	3	49	松野広子
	4	51	村木　進
	5	49	野田登美子
	6	49	白木栄彦
3	1	60	渡辺一江
	2	58	服部一美
	3	55	小島千枝
	4	60	伊藤　栄
	5	52	林　恭子
4	1	49	児島　正
	2	52	勝野みきゑ
	3	52	長谷川久子
	4	50	北川日出男
	5	48	野田登美子
5	1	58	坂井澄子
	2	60	森　泰三
	3	60	藤井通子
	4	53	尾藤英彦
	5	52	山内きみ子
	6	53	古久保正像
6	1	54	汲田史郎
	2	56	福田正己
	3	55	河田義雄
	4	52	栗田喜代子
	5	55	西村君子
事務			水野　登
使丁			土田喜兵衛
〃			山岡寛之
炊事			小川千代子
計	33	1780	39

笑いと喜びでつどう
三年四部

敗戦の暗さを吹き
飛ばそうと篠島へ
五年生

終戦前後を生き抜いた6年3部

心の平静をとりもどした6年5部

昭和24年度

岐阜市立金華小学校

教育の重点　健康教育　生産教育

4．26　遠足
4．30　映画鑑賞　長良小劇場
5．7　学芸会
5．11　写生大会　岐阜公園
5．26　職員室の天井洗い
7．16　視覚教育研究発表会　3日間　視覚教具展覧会
7．31　夏期聚落始まる　コーラス部納涼博に出演
8．10　巡回映画観覧
9．5　水泳大会
10．2　写生大会
10．13　運動会
10．20　待避訓練実施
10．31　銀杏の実の収獲
11．1　文化祭　展覧会
11．2　写生大会
11．4　遠足
11．26　巡回映画
12．3　器楽演奏会
12．7　映画鑑賞　子鹿物語　自由劇場
12．12　紙芝居　火の用心　観覧
12．15　豚舎改築作業　職員作業で
1．1　新年祝賀式
2．9　狂言観覧　5・6年　公会堂
2．10　映画観覧　白雪先生と子供達　自由劇場
3．10　健康教育発表会　2日間
講演　文部事務官　荷見秋次郎先生
3．18　映画観覧　緑色の髪の少年　自由劇場
3．24　卒業式

校長	後藤弥三
教頭	朝居稚夫

年	部	児童数	職員氏名
1	1	51	渡辺一江
	2	47	松田美知代
	3	51	玉井哲子
	4	49	小森芳勝
	5	50	小島千枝
	6	48	長谷川久子
2	1	55	高瀬ふみゑ
	2	55	丹羽正子
	3	50	山本春子
	4	55	酒向敏子
	5	48	井上邦子
	6	59	山川俊二
3	1	49	村木進
	2	49	内藤紀男
	3	50	野田登美子
	4	48	堀口すゑの
	5	48	伊藤栄
	6	51	林公子
4	1	56	児島正
	2	56	清水千恵子
	3	53	栗本君雄
	4	55	松野広子
	5	54	上野喜久子
5	1	34	北川日出男
	2	51	鈴木智子
	3	54	恩田甲子呂
	4	53	勝野みきゑ
	5	53	西村君子
6	1	32	尾藤英彦
	2	52	坂井澄子
	3	55	森泰三
	4	51	栗田喜久子
	5	56	福田正己
	6	56	山内きみ子
養護			磯部志ず子
事務			水野登
使丁			土田喜兵衛
〃			山岡寛之
炊事			小川千代子
〃			藤沢とし子
計	34	1734	42

子どもの日　三年三部

長良川で　　3年4部

校門の築山で　　4年1部

戦に敗れ　荒れはてた校舎

昭和25年度

岐阜市立金華小学校

教育の重点　健康教育　生産教育

4．21　映画鑑賞　3年以上　少年牧場
4．26　遠足
5．6　子供の日を祝し、神興、旗行列
　　市音楽会に6年出演
5．8　写生大会
6．1　弁論大会　6年
6．20　童話をきく会　4年以上
7．1　巡回映画
7．7　七夕祭発表会
7．10　映画観覧　火山脈　長良小学校
7．27　6年臨海学校　1泊2日　内海で
7．30　夏季聚落開始
9．3　ジェーン台風来襲　屋根瓦・ガラス破損
9．24　角力場開き
10．4　映画観覧　4年以上　長崎の鐘
10．18　運動会
10．26　映画観覧　この一球　小劇場
10．27　遠足
11．6　弁論大会　4年以上　交通安全について
11．20　市音楽会　1年出演
11．26　ＣＫのど自慢大会を講堂にて行う
12．22　巡回映画
1．1　新年の式
1．23　映画観覧　白雪姫　衆楽館
3．3　ひなまつり放送音楽会(校内放送にて)
3．10　ＪＯＣＫより本校児童が放送する
3．12　昆布包装作業　4年以上
3．24　卒業式

校長	後藤弥三
教頭	朝居稚夫

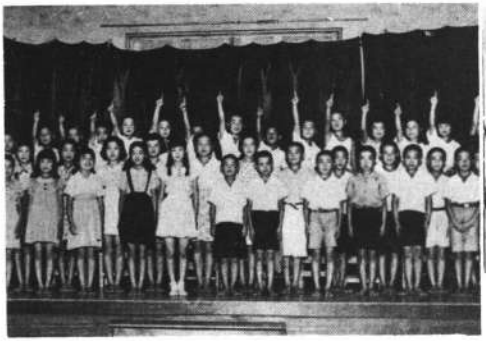
年	部	児童数	職員氏名
1	1	50	山本春子
	2	57	高瀬ふみゑ
	3	52	山内きみ子
	4	55	清水智枝子
	5	53	内藤紀男
	6	50	堀口すゑの
2	1	50	渡辺一江
	2	50	渡辺政枝
	3	50	玉井哲子
	4	48	栗本君雄
	5	51	小島千枝
	6	48	長谷川久子
3	1	37	尾藤英彦
	2	56	児島正
	3	56	林公子
	4	57	酒向敏子
	5	55	井上邦子
	6	57	丹羽正子
4	1	50	土田勇
	2	49	後藤守
	3	49	栗田喜代子
	4	48	上野喜久子
	5	49	伊藤栄
	6	45	武藤信子
5	1	56	小森芳勝
	2	56	安田百合子
	3	55	柳瀬茂信
	4	53	松野広子
	5	56	山川俊二
6	1	35	北川日出男
	2	48	鈴木智子
	3	50	恩田甲子呂
	4	53	勝野みきゑ
	5	51	西村君子
教務			村木進
〃			長井かず子
養護			磯部志ず子
事務			水野登
使丁			土田喜兵衛
〃			山岡寛之
炊事			小川千代子
〃			藤沢とし子
計	34	1738	44

土俵開き　PTA等の働きで角力場ができた

楽しい七夕祭
細い足は見ないで　　6年2部

きたえよ海で　　6年臨海学校　内海で
7月27・28日　　戦後始めて

七夕祭　やせた手足に注目　6年3部



JOCKより放送
美しい歌声は全国に流れる

昭和26年度

岐阜市立金華小学校

教育の重点　健康教育　生産教育

4．24　遠足
4．29　講堂の暗幕装置完成
4．30　映画鑑賞　家路　6年
5．5　子供の日の挙式　6年職員対抗野球
5．7　角力・ドッチボール大会
5．12　講演会　長田新先生　講堂にて
5．13　写生大会
6．4　全校生、川原から砂・石運搬作業
6．7　弁論大会　4年以上
6．9　シロホン教室発会式　昭和44年度まで続く
6．21　職員便所　水洗式に改良す
6．22　貞明皇后大喪儀　午後休業し弔意を表わす
7．5　映画鑑賞　バンビ　岐阜劇場
7．7　七夕祭
7．19　6年海水浴　知多小野浦　1泊2日
7．26　5年海水浴　新舞子　日帰り
8．26　給食準備室新築落成　完全給食開始　工費85万円
10．3　保健室の1部改築　工費20万円
10．9　避難訓練
10．14　ルース台風来襲　瓦・ガラス破損
10．25　運動会
11．4　写生大会
11．6　遠足
1．1　新年祝賀式挙行
2．6　市音楽会　合唱クラブ出演
2．11　映画観覧　3年以上　新しい日本　第一映劇
3．1　学芸会　3日間
3．24　卒業式

校長	後藤弥三
教頭	朝居稚夫

年	部	児童数	職員氏名
1	1	55	渡辺政枝
	2	55	鈴木智子
	3	50	藤井たみ
	4	53	酒向敏子
	5	51	清水智枝子
2	1	54	山本春子
	2	55	前田かず子
	3	53	山内きみ子
	4	51	後藤守
	5	53	伊藤栄
	6	51	堀口すゑの
3	1	33	小島千枝
	2	52	中村庄太郎
	3	51	柳瀬茂信
	4	51	堀喜久子
	5	52	長谷川久子
	6	52	栗田喜代子
4	1	37	尾藤英彦
	2	57	児島正
	3	57	林公子
	4	58	武藤信子
	5	57	柴田鈴子
	6	57	和田教雄
5	1	48	土田勇
	2	47	恩田甲子呂
	3	48	西村君子
	4	47	留田日出男
	5	47	上野喜久子
	6	48	玉井哲子
6	1	54	小森芳勝
	2	54	安田百合子
	3	56	中村すえの
	4	54	松野広子
	5	55	山川俊二
教務			渡辺一江
〃			井上邦子
養護			森千代子
事務			水野登
使丁			土田喜兵衛
〃			山岡寛之
炊事			小川千代子
〃			藤沢とし子
〃			小沢あき
〃			武藤末
〃			大島一江
計	34	1743	47

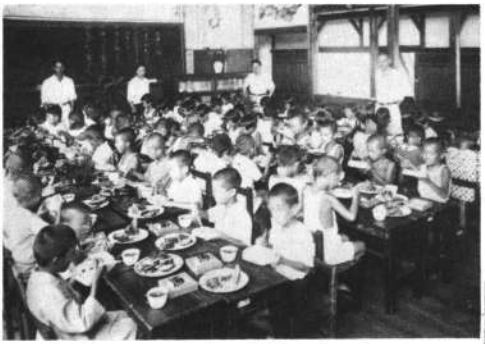
自由研究の時間がなくなる

昭和22年試案として出された学習指導要領は、実践の結果、実状に即しないところを改善することになり、学習指導要領は改正された、その要点は次の通りである。

学習指導要領　改訂　昭和26年

- 教科を四つの経験領域に分け、時数は経験領域を年間総時数に対する％で表した　（国語、算数）　（体育）（社会、理科）　（音楽、図工、家庭－5・6年）
- 自由研究はなし

給食当番　衛生袋を肩にかけて



給食始まる　丈夫な身体を作ろう

登校風景　衛生袋を肩にかけて

歯みがき訓練

昭和27年度

岐阜市立金華小学校

教育の重点　健康教育　生産教育

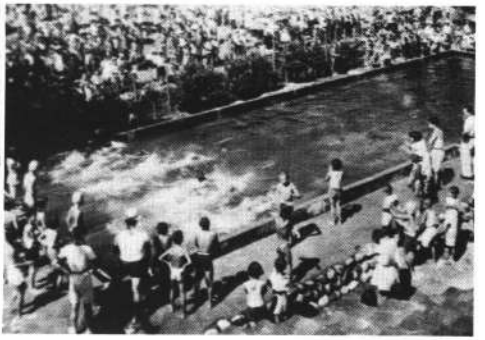
4．21　遠足
5．5　子供の日の挙式
5．9　写生大会
5．29　消火器の噴出実験
6．2　6年　講和記念植樹　木犀
6．23　弁論大会　4年以上　時について
7．4　七夕まつり音楽会
7．22　5年海へ　河和口　日帰り　電車利用
7．28　6年　海水浴　野間海岸
7．31　夏期聚落始まる
9．5　水泳大会
9．11　映画観覧　4年以上　小劇場
9．14　運動場土入れ整理作業始まる10月6日迄
10．10　運動会
10．17　対火・対震訓練実施
10．30　遠足
11．10　立太子礼を行わせられる　旗行列　金華山登山
11．10　6年　伊勢参宮　日帰り
11．24　市音楽会　5年出場
12．1　人形劇観覧
12．23　クリスマス楽しみ会
1．20　映画観覧　4年以上　岐阜劇場
1．25　金華同窓会結成式挙行
2．26　校歌の発表式　岐大　河野先生来校
3．1　創立八十周年記念式典　展覧会　記念誌発刊
3．2　記念講演　玉川学園長　小原国芳先生
3．3　合同慰霊祭　午后　奇術と映画
3．24　卒業式

校長	後藤弥三
教頭	朝居稚夫

年	部	児童数	職員氏名
1	1	46	林　公子
	2	46	長谷川　久子
	3	44	和田　教雄
	4	47	中村　すえの
	5	45	堀口　すゑの
2	1	53	渡辺　政枝
	2	53	鈴木　智子
	3	51	藤井　たみ
	4	54	酒向　敏子
	5	49	清水　智枝子
3	1	35	柳瀬　茂信
	2	57	山本　春子
	3	58	後藤　守
	4	50	上野　喜久子
	5	57	山内　きみ子
	6	57	伊藤　栄
4	1	36	小島　千枝
	2	50	中村　庄太郎
	3	50	小森　芳勝
	4	51	青木　俊夫
	5	51	柴田　鈴子
	6	50	木野村　郁子
5	1	36	尾藤　英彦
	2	56	児島　正
	3	57	古川　幸男
	4	55	山川　俊二
	5	56	武藤　信子
	6	56	安田　百合子
6	1	48	土田　勇
	2	47	松野　広子
	3	47	西村　君子
	4	47	留田　日出男
	5	47	伊佐地　郁郎
	6	47	玉井　哲子
教務			水野　花子
養護			森　千代子
事務			水野　登
使丁			土田　喜兵衛
〃			山岡　寛之
炊事			小川　千代子
〃			藤沢　とし子
〃			小沢　あき
〃			武藤　末
〃			大島　一江
計	34	1689	46

虫歯の治療、保健室で

校舎裏のプールで水泳大会



運動会
東南隅に角力場が見える
黒山の大観衆がつめかけ
まわりには幔幕をめぐらしている

創立80周年記念講演　小原国芳先生

戦後始めての修学旅行　宇治橋にて６年５部

金華八年、よき八年

元校長(昭28～35) 鷲見臣一郎

故梅沢英造校長は、戦時中勤労教育を称えられ、素晴らしい経営をされたが、殊に堆肥作りは、全国に有名であった。家畜もいろいろいたが、私の代になっても、豚が一頭、山羊が一頭それに鶏、兎、家鴨、鷲鳥などがいたが、豚はめずらしかった。愛称を「とんこ」と呼んで、給食の残菜を餌にして六年生が世話をした。この子どもたちが、とんこを可愛がることは、本当にほゝえましく、ホースで水をかけながら、ブラシで体をみがくので、銀色に光っていた。これが毎年十匹ちかく赤ん坊を産んだ。子供たちは、朝も晩も、とんこの家にたかって可愛いいとんこの赤ん坊を愛情一ぱい世話したものであった。このとんこの仔は乳ばなれすると一番優秀な牝一頭だけ残して、親も仔も市に出して売った。相当な金がとれて、それは図書館の本になった。

校長は子どもに接する機会が少ない。私は、せめて放課後のクラブでもと思い、合唱クラブの指導をすることにした。いい子たちがいて、めきめきうまくなった。ＮＨＫのコンクールに出てみたら、県予選で一位になり、中部七県で二位になった。爾来五年間このクラブを続けて中部で優勝、全日本に三回出て二回優秀入選、一時、金華小の合唱クラブは有名になった。テレビ、ラジオに、全国放送などにも出してもらたりしたが、子どもたちは、実によく勉強した。ずい分きびしく練習をしたが、落伍するのは、一人もいなかった。この子たちの中には、現在音楽大学を出て、立派にやっているのが何人もいる。

そのほか、旧家の多い校下から、社会科の資料をご寄附いただいて資料館を作ったこと、

老朽校舎が、鉄筋三階に改築されて、工事が五年もつづいたこと、

伊勢湾台風で、天井が落ちたり、植木がほとんど全部倒れたこと、

学校で死んだ動物の慰霊塚があって、年に一度、秋の彼岸に、心のこもった慰霊祭をやったこと、などが想い出される。

先生方の研究熱も、極めて旺盛で「自主的行動人の育成」を目標に、毎年研究紀要を出し、32年には「創造的学習環境の育成」をタイトルに、大発表会を催した。職員は、生地だけ同じのを買い、めいめい自分のデザインした、上っぱりを着て、大いに気をはいたものであった。34年、35年に、職員文集とでも言うべき冊子「雑草」（あらくさ）を出したが、平素黙々としてやっている先生の、意外に文筆に達者で、考えること、感ずることの深いのに驚いたことを思い出す。

とかく、金華八年、よき八年であったことを本当に有難く感謝している。

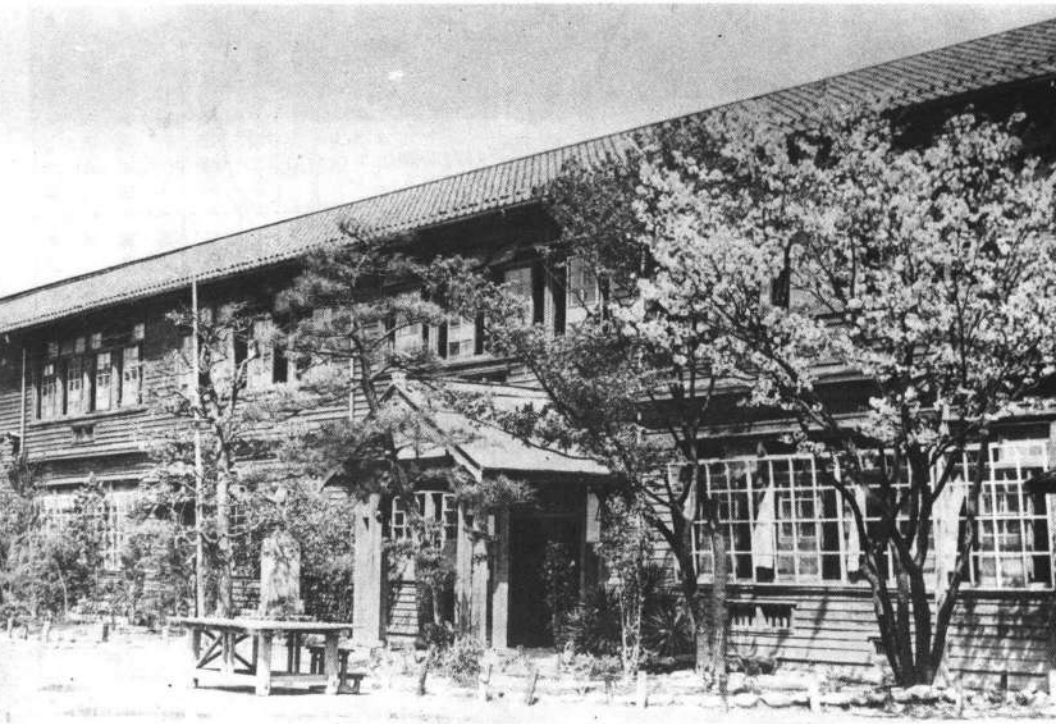
鉄筋校舎の完成　元育友会長(昭29～36)　中川好太郎

昭和29年度より8ヶ年の長い間、育友会長をつとめましたが会員の皆様の絶大な御支援により幾多の大事業を完遂することができました。

当時、校舎は建設以来40余年を経過し、戦争中荒廃したのを修理に努めてはきたものの、老朽が甚だしく、現代建築の鉄筋校舎に改築して頂こうと、役員の方々と十数回に渉り陳情を重ねました。遂に当時の松尾市長の御理解と御配慮とにより、昭和32年度より着工、5ヶ年を費して、昭和37年3月20日、現在の鉄筋校舎が完成致しました。

又、会員の中から、夏などは子どもの食器の汚れが腐敗してひどいという苦情が出たので、早速、熱風消毒器や食器を購入しました。又、運動場の埃を防ぐために撒水設備も完成しました。又、交通事情も次第に悪化し、先生と児童とが通学路に旗を持って立って指導をしていましたので、「先生は教壇に」「登校の安全は父兄の手で」のモットーのもとに、父兄による交通指導が始まりました。これが児童愛護会の発端です。終りに特筆することは、当時、小プールが校舎裏にありましたが水もれはするし、水は濁るので新プールを建設しようと努力し、その頃としては県下一のプールの竣工をみました。

北舎と桜



昭和28年度

教育方針　自主的行動人の育成

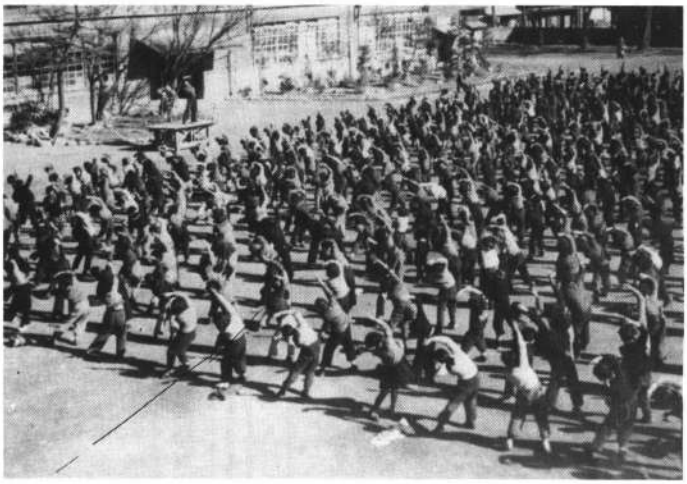
教育の重点　生産人の育成

4．2　**図書館新築落成**　36坪25　工費85万円
4．23　遠足
5．8　写生大会
5．21　立体映画観覧　全校生自由劇場
6．20　野川校医永眠さる
7．3　七夕祭
7．28　5年　河和臨海学校
7．31　6年　内海臨海学校
8．5　6年　日野中川原でキャンプ
8．11　5年　日野中川原でキャンプ
9．3　水泳大会
9．8　消火訓練
9．22　6年修学旅行　汽車で　奈良、京都
10．8　運動会
10．11　全国唱歌ラジオコンクール県大会で1位
10．20　遠足
10．22　映画観覧　シンデレラ姫　第一映劇
11．3　全国唱歌ラジオコンクール東海北陸大会で2位
12．1　避難訓練
12．2　市音楽会に参加
12．11　東京少年劇団観覧
12．17　NHKより合唱クラブ放送
1．30　大雪　積雪50cm　5・6年除雪作業
2．23　市器楽大会に参加
3．2　ひな祭学芸会
3．24　卒業式

岐阜市立金華小学校

校長	鷲見臣一郎
教頭	朝居稚夫

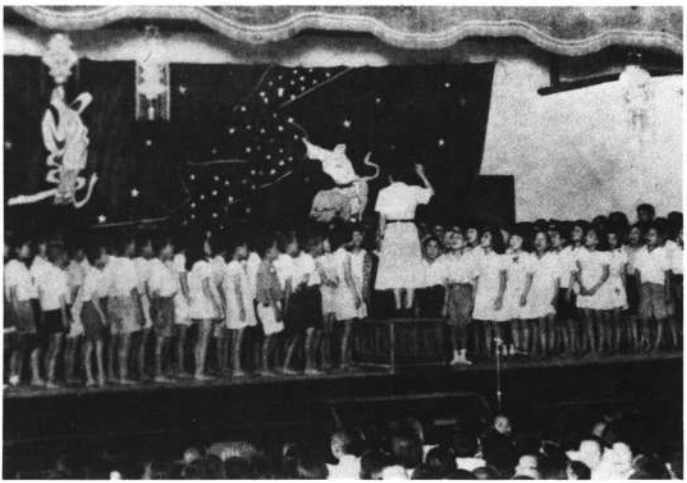
年	部	児童数	職員氏名
1	1	53	渡辺政枝
	2	58	酒向敏子
	3	53	玉井哲子
	4	56	堀口すゑの
	5	55	和田教雄
2	1	54	林　公子
	2	53	長谷川久子
	3	54	西村君子
	4	53	中村すえの
3	1	52	留田日出男
	2	53	松野広子
	3	53	柴田鈴子
	4	53	中村庄太郎
	5	53	水野花子
4	1	34	柳瀬茂信
	2	57	山本春子
	3	56	汲田史郎
	4	56	清水智枝子
	5	57	山内きみ子
	6	57	伊藤　栄
5	1	37	小島千枝
	2	52	鈴木智子
	3	51	青木俊夫
	4	51	丹羽正子
	5	52	伊佐地郁郎
	6	52	土田　勇
6	1	41	尾藤英彦
	2	57	児島　正
	3	56	古川幸男
	4	55	山川俊二
	5	53	武藤信子
	6	56	安田百合子
教養	務		小森芳勝
事	護		森　千代子
使	務		杉山市郎
炊	丁		土田喜兵衛
	〃		山岡寛之
	事		小川千代子
	〃		藤沢とし子
	〃		小沢あき
	〃		武藤末
	〃		大島一江
計	32	1683	44



朝の体操
さあ、元気にそろって
ラジオ体操をしよう

修学旅行　奈良公園で鹿とたわむれる
6年としては始めての関西旅行

修学旅行　春日大社で



七夕祭音楽会
美しいハーモニーは
きく子をうっとりさ
せる

昭和29年度

岐阜市立金華小学校

教育方針　自主的行動人の育成

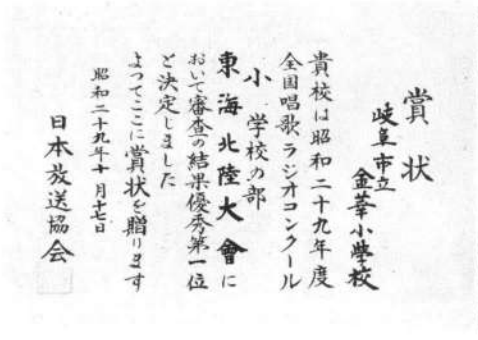
教育の重点　生産人の育成

4．23　遠足
5．1　鯉のぼり掲揚式
5．10　校内書道大会
5．11　写生大会
6．1　蠅とりコンクール開始　豚の給食小屋完成
6．11　子豚の送別会　大垣市南小へ
6．21　弁論大会　4年以上
7．6　七夕祭
7．24　コーラス部　NHKより放送
8．1　6年キャンプ　長良治水記念碑前
8．4　5年海水浴　野間　1泊2日
8．7　伊吹登山　科学班
9．14　台風12号来襲のため臨時休校
9．22　動物慰霊祭
9．26　台風15号襲来、屋根瓦とび銀杏の実落ちる
9．27　映画鑑賞　24の瞳　4年以上
10．3　全国唱歌ラジオコンクール県大会で1位
10．14　遠足　6年修学旅行　汽車利用
10．17　全国唱歌ラジオコンクール東海北陸大会で1位
10．28　歯磨の童話をきく　3年以下
11．30　市音楽会に3年出演
1．12　寒げいこマラソン開始
2．1　マラソン大会
2．17　映画鑑賞　ふろたき大将　講堂
2．22　展覧会　4日間　発刊　金華のこども
3．25　卒業式　（生産人育成の教育）

校長	驚見臣一郎
教頭	朝居稚夫

年	部	児童数	職員氏名
1	1	54	水野花子
	2	52	中村すえの
	3	55	長谷川久子
	4	54	伊藤　栄
	5	54	西村君子
	6	55	柳瀬茂信
	7	58	尾藤英彦
2	1	54	渡辺政枝
	2	56	酒向敏子
	3	53	玉井哲子
	4	54	堀口すゑの
	5	55	和田教雄
3	1	54	林　公子
	2	53	古川幸男
	3	52	丹羽正子
	4	52	武藤信子
4	1	53	留田日出男
	2	51	松野広子
	3	53	柴田鈴子
	4	51	中村庄太郎
	5	53	児島　正
5	1	52	汲田史郎
	2	52	山本春子
	3	52	山川俊二
	4	51	山内きみ子
	5	51	真鍋亨山
	6	52	清水智枝子
6	1	43	小島千枝
	2	53	鈴木智子
	3	50	青木俊夫
	4	52	安田百合子
	5	51	伊佐地郁郎
	6	52	土田　勇
教務			小森芳勝
養護			森　千代子
事務			杉山市郎
使丁			土田喜兵衛
〃			山岡寛之
炊事			小川千代子
〃			藤沢とし子
〃			小沢あき
〃			武藤　末
〃			大島一江
計	33	1737	45

東海北陸で第１位の賞状



賞状

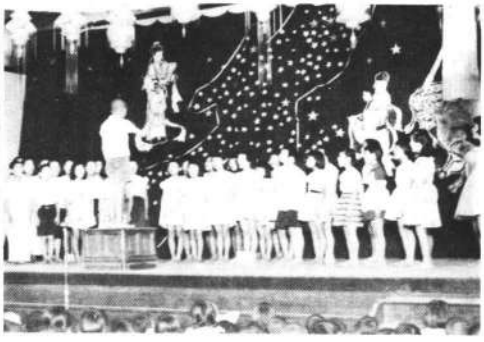
岐阜市立
金華小學校

貴校は昭和二十九年度
全国唱歌ラジオコンクール
小学校の部
東海北陸大會に
おいて審査の結果優秀第一位
と決定しました
よってここに賞状を贈ります

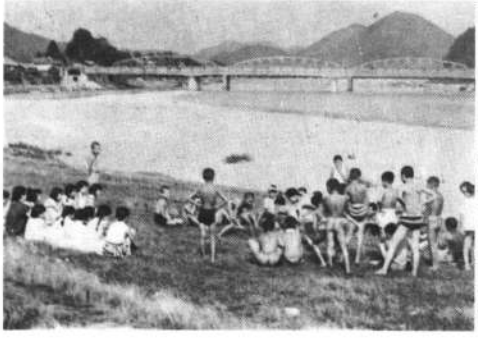
昭和二十九年十月十七日

日本放送協会

七夕祭音楽会　歌いましょう、心の歌を



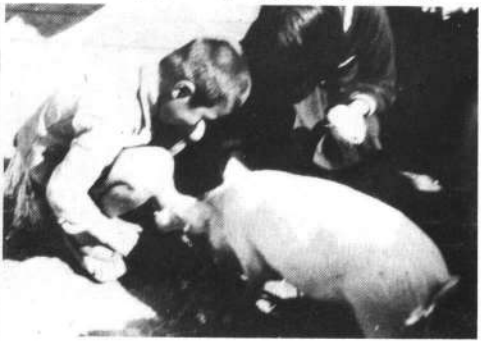
６年キャンプ長良治水記念碑前で



６年キャンプ　　朝の体操

弁論大会　抱負をみんなにぶつつける

トン子は可愛いいな　餌をもらいによる



昭和30年度

岐阜市立金華小学校

教育目標　自主的行動人の育成

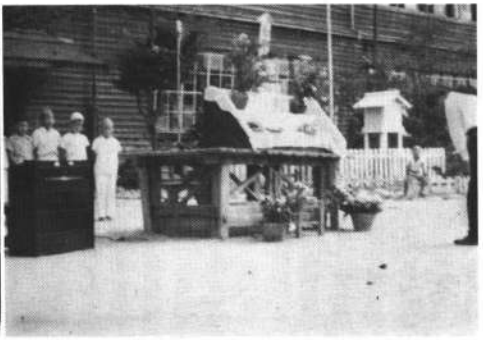
研究主題　創造的な学習環境の構成

4．21　遠足
4．25　人形劇観覧　京芸子供劇場
5．2　鯉のぼり掲揚
5．7　写生会、魚類液浸標本整理
6．16　弁論大会　4年以上
6．30　家鴨1匹、犬に殺される
7．7　七夕祭音楽会
7．28　5年海水浴　野間　1泊2日
8．7　伊吹登山　4年以上希望者31名　教師7名
8．10　6年キャンプ　長良治水記念碑前
9．17　角力大会
9．23　動物慰霊祭
10．2　全国唱歌ラジオコンクールに県代表と決定
10．6　運動会
10．14　6年修学旅行　奈良、京都　汽車利用
10．16　全国唱歌ラジオコンクール東海北陸大会で2位
10．17　遠足
11．2　写生大会
11．24　避難訓練
12．13　市音楽会に2年、コーラス部出演
1．1　新年祝賀式
1．13　市小中器楽大会に器楽クラブ出演
2．15　中日図書館コンクールに3位入賞
3．1　学芸会　3日間　発刊　創造的な学習環境の構成
3．17　給食室増築工事始まる
3．24　卒業式

校長	驚見臣一郎
教頭	朝居稚夫

年	部	児童数	職員氏名
1	1	53	渡辺政枝
	2	53	酒向敏子
	3	53	和田教雄
	4	55	堀口すゑの
	5	55	柴田鈴子
	6	55	中村庄太郎
2	1	56	水野花子
	2	54	中村すえの
	3	54	長谷川久子
	4	54	伊藤栄
	5	54	西村君子
	6	54	柳瀬茂信
	7	57	尾藤英彦
3	1	56	小森芳勝
	2	56	小島千枝
	3	56	伊佐地郁郎
	4	54	玉井哲子
	5	55	松野広子
4	1	54	土田勇
	2	53	古川幸男
	3	53	丹羽正子
	4	53	武藤信子
5	1	52	児島正
	2	50	留田日出男
	3	51	青木俊夫
	4	51	安田百合子
	5	51	鈴木智子
6	1	52	汲田史郎
	2	53	山本春子
	3	52	山川俊二
	4	52	山内きみ子
	5	52	真鍋亨山
	6	53	清水智枝子
教務			林公子
養護			森千代子
事務			杉山市郎
校務			土田喜兵衛
〃			大坪健造
炊事			小川千代子
〃			藤沢とし子
〃			小沢あき
〃			武藤末
〃			大島一江
計	33	1766	45

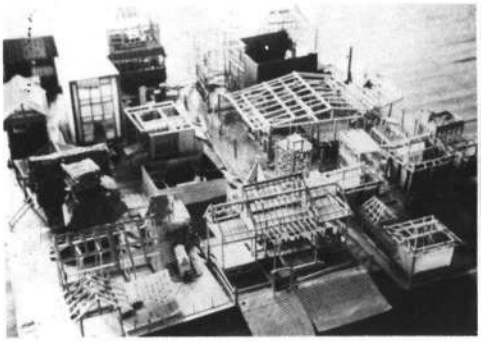
豚のお別れ会　子豚１頭を大垣南小へ



学習の犠牲になった動物の慰霊祭

校長先生の陣頭タクト
われらの歌声
全国にひゞけ

生産人をめざす展覧会　創意の立体構成



展覧会で学習する子どもたち

昭和31年度

岐阜市立金華小学校

教育目標　自主的行動人の育成

研究主題　創造的な学習環境の構成(学習と資料)

4．3　はん登棒取付け
4．7　給食施設取付工事完成
4．9　ちゃぼ3羽なくなる　犬の仕業らしい
4．31　遠足
5．4　写生大会　岐阜公園
5．17　アイヌ文化を見る　全校生
5　金華児童愛護会結成
6．21　午后2時　降雹　各地の被害甚大　学校軽微
7．6　七夕音楽会
7．13　世界動物博観覧
7．27　6年キャンプ
7．29　5年海水浴　小野浦海岸　1泊2日
7．31　伊吹登山　4年以上希望者31名　教師6名
9．14　学力テスト実施　4年
9．23　全国唱歌ラジオコンクール県大会で県代表となる
10．7　運動会
10．12　遠足　6年修学旅行
10．14　全国唱歌ラジオコンクール中部地方大会で2位
10．15　人形劇を見る
10．28　模型グライダー大会
11．26　職員室移動作業
11．29　防火避難訓練実施
12．1　市音楽会に6年、コーラス部出演
12．4　低鉄棒建設
2．26　研究発表会　発刊　創造的な学習環境の構成
3．25　卒業式

校長	鷲見臣一郎		
教頭	汲田史郎		
年	部	児童数	職員氏名
1	1	55	山本春子
	2	54	長谷川久子
	3	52	山内きみ子
	4	53	柳瀬茂信
	5	52	安田百合子
2	1	52	渡辺政枝
	2	53	酒向敏子
	3	52	和田教雄
	4	52	堀口すゑの
	5	53	柴田鈴子
	6	53	中村庄太郎
3	1	54	水野花子
	2	53	関谷光子
	3	55	林　公子
	4	54	伊藤　栄
	5	54	尾藤英彦
	6	54	山川俊二
	7	54	上野喜久子
4	1	56	小森芳勝
	2	56	吉村博江
	3	54	伊佐地郁郎
	4	55	玉井哲子
	5	54	松野広子
5	1	52	土田　勇
	2	50	真鍋亨山
	3	51	中村すえの
	4	52	赤座澄子
6	1	51	児島　正
	2	51	西村君子
	3	51	青木俊夫
	4	50	古川幸男
	5	50	鈴木智子
教務			小島千枝
養護			森　千代子
事務			杉山市郎
校務			土田喜兵衛
〃			大坪健造
炊事			小川千代子
〃			藤沢とし子
〃			小沢あき
〃			武藤　末
〃			大島一江
計	32	1692	44

模型グライダー大会
苦心して作ったグライダーが、夢と
希望をのせて大空を飛ぶ

測候所

科学館

校舎全景
整然と並び偉容を誇る

昭和32年度

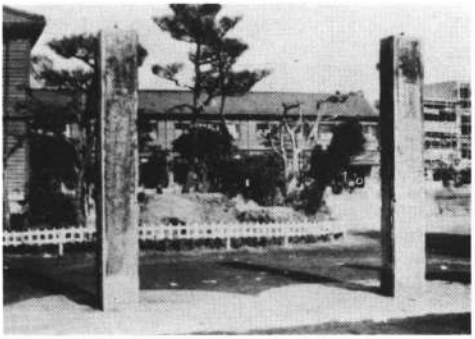
岐阜市立金華小学校

教育目標　自主的行動人の育成

研究主題　創造的学習環境の構成(学習と資料)

4．6　両陛下の出迎え　5・6年　矢島町
4．26　交通整理世話人会
4．30　遠足
5．1　鯉のぼり掲場　5月4日　写生大会
6．22　映画鑑賞　南極探険
7．1　プールの清掃　鯉の収獲4年
7．5　七夕祭音楽会　2日間
7．27　5年海浜学習
7．31　伊吹登山　希望者22名
8．2　6年キャンプ　長良川
8．19　講堂間じきり完成
9．19　プール用鯉427匹購入
9．21　動物慰霊祭
9．27　学力テスト実施
10．6　全国唱歌ラジオコンクール県大会に1位
10．8　運動会
10．13　全国唱歌ラジオコンクール東海北陸大会に1位
10．17　修学旅行　遠足
11．3　全国唱歌ラジオコンクール全国大会に優良校
11．6　写生大会
12．3　避難訓練
12．6　市音楽会　5年、コーラス部出演
2．21　新校舎4教室完成
3．5　新校舎竣工祝賀会　発刊　資料活用表
3．10　飼育動物引継式
3．25　卒業式

校長		鷲見臣一郎	
教頭		汲田史郎	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	47	渡辺政枝
	2	42	柴田鈴子
	3	47	玉井哲子
	4	47	武藤信子
	5	46	中村庄太郎
2	1	53	山本春子
	2	53	長谷川久子
	3	54	山内きみ子
	4	53	柳瀬茂信
	5	53	安田百合子
3	1	52	清水俊夫
	2	54	井川貞
	3	53	和田教雄
	4	53	橋詰美智子
	5	52	篠田正光
	6	52	吉村博江
4	1	52	児島正
	2	53	関谷光子
	3	53	堀部律
	4	54	伊藤栄
	5	53	尾藤英彦
	6	50	山川俊二
	7	54	上野喜久子
5	1	54	小森芳勝
	2	54	鈴木智子
	3	53	伊佐地郁郎
	4	53	桐山富美子
	5	53	古川幸男
6	1	52	土田勇
	2	47	真鍋亨山
	3	49	中村すえの
	4	48	赤座澄子
教務			水野花子
養護			森千代子
事務			杉山市郎
校務			土田喜兵衛
〃			大坪健造
炊事			小川千代子
〃			藤沢とし子
〃			小沢あき
〃			武藤末
〃			大島一江
計	32	1643	44

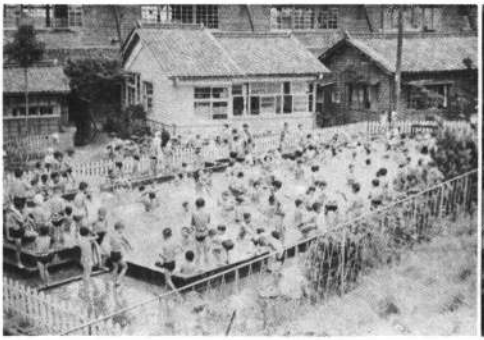


校門より　鉄筋校舎第１期工事が見える

５年生海水浴　　野間燈台で

唱歌ラジオコンクール全国大会で優良校

プールで水泳　プールと北舎との間に向って
右から宿直室、保健室、便所が見える



運動会　遊戯「世界の子らよ手をつなげ」

昭和33年度

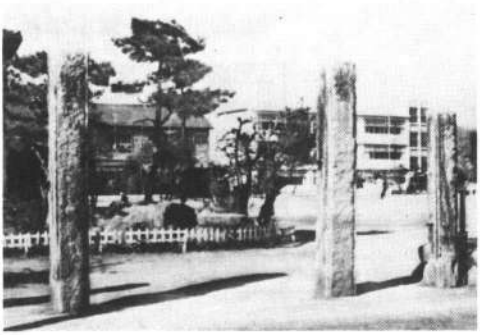
岐阜市立金華小学校

教育目標　自主的行動人の育成

研究主題　創造的な学習環境の構成(資料の有効な活用)

4．16　映画鑑賞　この目で見たソ連　5・6年　衆楽館
4．19　日食観測
4．26　遠足
4．28　消防演習　消防署来校
5．2　リレー大会　鯉のぼり掲揚
5．8　写生会
5．26　イラン皇帝来岐　5・6年出迎え
6．5　運動場撒水施設を新設　工費10万円
7．11　川掃除　5・6年
7．28　5年海水浴
8．4　川のせきとめ作業　4年以上
8．28　校舎取りこわし作業始まる
8．28　新校舎地鎮祭　三興組
9．17　明画鑑賞　3年以上　綴方兄妹　岐阜劇場
10．8　運動会
10．12　楽焼釜作り
10．17　遠足　6年修学旅行
11．6　写生大会
11．8　器械体操の会
11．23　子豚12匹出産
12．3　市音楽会に1年、合唱クラブ出演
1．28　講演会　講師　野村芳兵衛先生
2．15　新校舎5教室完成
　　雑草第一輯発刊
3．14　飼育動物引継式
3．25　卒業式

校長		鷲見臣一郎
教頭		汲田史郎
年	部	児童数	職員氏名
1	1	50	水野花子
	2	51	赤座澄子
	3	51	伊藤栄
	4	51	中村すえの
	5	52	加藤義男
2	1	45	渡辺政枝
	2	48	柴田鈴子
	3	47	玉井哲子
	4	45	武藤信子
	5	45	中村庄太郎
3	1	53	児島正
	2	53	山川俊二
	3	51	真鍋亨山
	4	52	関谷光子
	5	53	長谷川久子
4	1	51	青木俊夫
	2	53	井川貞
	3	53	尾藤英彦
	4	53	橋詰美智子
	5	53	篠田正光
	6	52	吉村博江
5	1	52	土田勇
	2	52	安田百合子
	3	52	和田教雄
	4	52	上野喜久子
	5	51	堀部律
	6	51	柳瀬茂信
	7	51	中島利子
6	1	53	小森芳勝
	2	53	鈴木智子
	3	53	山川冬樹
	4	53	桐山富美子
	5	52	古川幸男
教務			篠崎きみ
養護			森千代子
事務			杉山市郎
校務			土田喜兵衛
〃			大坪健造
炊事			小川千代子
〃			藤沢とし子
〃			小沢あき
〃			武藤末
〃			大島一江
計	33	1687	45



校門より　鉄筋校舎第２期工事が見える

北舎の玄関掃除

本を読みましょう　　図書委員

修学旅行　奈良二月堂前で

修学旅行　　法隆寺　夢殿で

昭和34年度

岐阜市立金華小学校

教育目標　自主的行動人の育成

研究主題　創造的な学習環境の構成(資料の有効な活用)

4．24　遠足
5．6　写生会
5．7　交通訓練　中署より来校
5．27　プールの鯉の販売
7．5　職員室、校長室等の取はずし作業及移転
7．25　長良川水泳場の掃除　5・6年
7．28　5年海水浴　内海　1泊2日　6年キャンプ
8．14　新校舎地鎮祭
9．22　動物慰霊祭
9．26　台風15号(伊勢湾台風)襲来　夜8時～12時
校下浸水の報に、学校を避難所するも、その要なし
9．28　校害状況調査　午后全職員復旧作業
9．29　学力テスト実施
10．9　運動会
10．15　全国音楽教育研究大会始まる（3日間）
本校生、研究授業に参加、合唱クラブ出演
10．23　遠足　6年修学旅行(奈良、京都)
10．30　映画鑑賞
11．5　写生大会
11．27　避難訓練
12．11　市音楽会　中島学級、合唱クラブ出演
12．16　映画鑑賞　自由、小劇
1　16　新校舎6教室　中央玄関完成
3．1　鼓笛隊の楽器一式を受領す　雑草第二輯発刊
3．25　卒業式

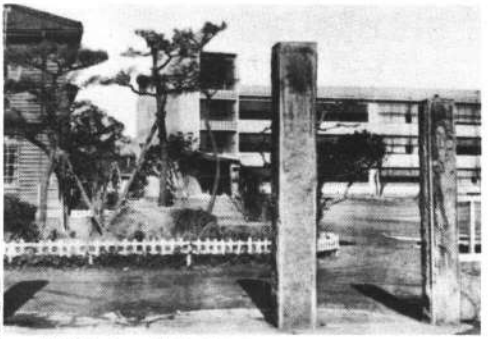
校長	鷲見臣一郎
教頭	梅田一雄

年	部	児童数	職員氏名
1	1	49	篠崎きみ
	2	49	中村庄太郎
	3	45	渡辺政枝
	4	48	橋詰美智子
2	1	49	水野花子
	2	50	赤座澄子
	3	49	伊藤栄
	4	49	中村すえの
	5	46	加藤義男
3	1	56	青木俊夫
	2	56	吉村博江
	3	56	武藤信子
	4	56	井川貞
4	1	54	小森芳勝
	2	53	上野喜久子
	3	53	真鍋亨山
	4	53	関谷光子
	5	53	玉井哲子
5	1	53	山川冬樹
	2	52	桐山富美子
	3	53	古川幸男
	4	53	橋田鈴子
	5	53	篠田正光
	6	52	野中和子
6	1	53	土田勇
	2	53	安田百合子
	3	52	和田教雄
	4	51	森崎栄太郎
	5	52	堀部律
	6	52	柳瀬茂信
	7	52	中島利子

教務	児島正
養護	森千代子
事務	杉山市郎
校務	土田喜兵衛
〃	大坪健造
炊事	小川千代子
〃	藤沢とし子
〃	小沢あき
〃	武藤末
〃	大島一江

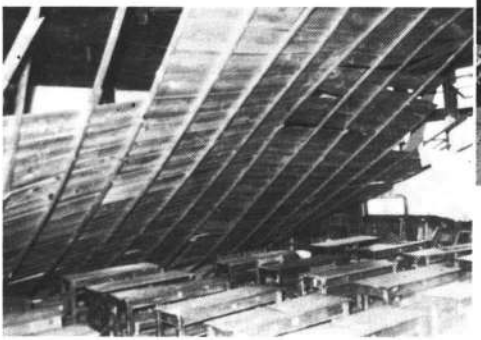
計	31	1605	43

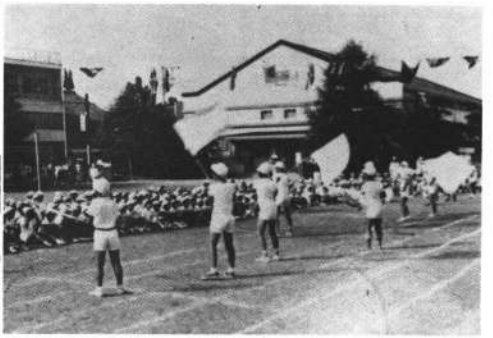
伊勢湾台風　瓦は飛びガラスは破れる



校門より　鉄筋校舎第３期工事が見える

伊勢湾台風　天井は落ちる





運動会　台風被害にも負けず元気に応援

コークス、ストーブで冬も暖かく勉強

いちょうの木の下で

昭和35年度

岐阜市立金華小学校

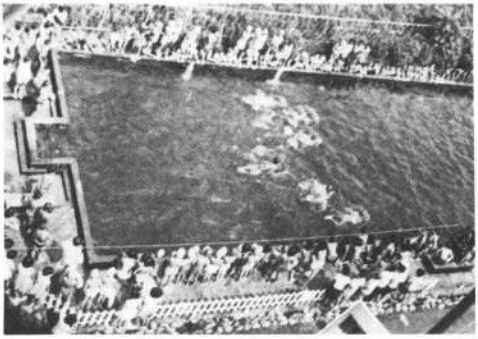
教育目標　自主的行動人の育成

研究主題　創造的な学習環境の構成(資料の有効な活用)

4．21　遠足
5．6　写生会　岐阜公園
5．9　春のリレー大会
5．22　県体操大会に5年出場　県営グランド
6．9　巡回映画　5年観覧
7．12　プール開き
7．15　避難訓練
7．26　6年びわ湖めぐり　バス利用
7．29　5年海水浴　1泊2日　内海で
8．13　台風12号のため玉井町、湊町等浸水家屋多し
9．22　動物慰霊祭
9．25　全国唱歌ラジオコンクール県大会に出場
10．2　鼓笛隊、信長祭に参加
10．4　運動会
10．15　6年修学旅行
10．20　遠足
11．30　避難訓練
12．5　市音楽会に6年、合唱クラブ出演
12．8　消火放水訓練
12．15　交通訓練
1．13　合唱クラブ、CBCテレビに出演
3．1　流感のため学級閉鎖　4日間
3．11　3代名作展観覧　6年
3．15　新一年父母の会　飼育動物引継ぎ
3．22　プール貯金日
3．25　卒業式

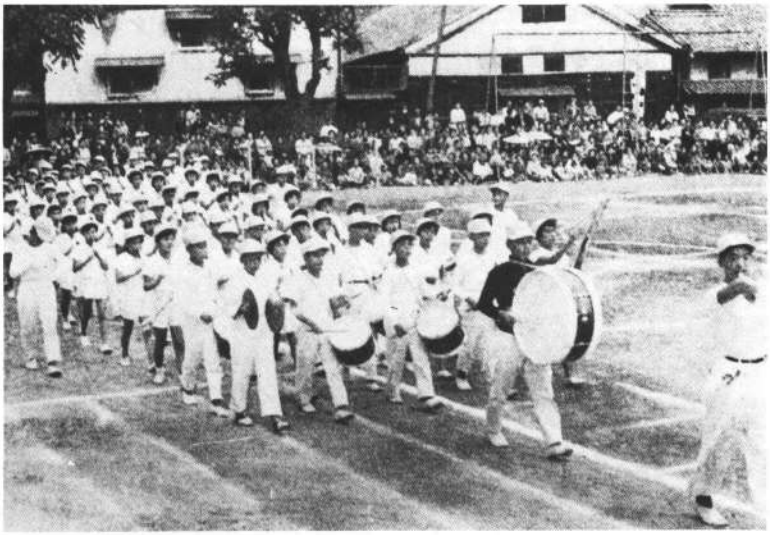
校長 教頭		鷲見臣一郎 梅田一雄	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	46	水野花子
	2	43	森崎栄太郎
	3	45	武藤信子
	4	46	赤座澄子
2	1	47	篠村きみ
	2	49	中村庄太郎
	3	45	渡辺政枝
	4	49	橋詰美智子
3	1	48	柳瀬茂信
	2	48	堀部律
	3	48	和田教雄
	4	47	上野喜久子
	5	47	関谷光子
4	1	56	青木俊夫
	2	56	吉村博江
	3	56	伊藤栄
	4	57	井川貞
5	1	54	臼井正雄
	2	54	中島利子
	3	54	玉井哲子
	4	53	松原伊都
	5	54	加藤義男
6	1	52	山川冬樹
	2	53	桐山富美子
	3	53	古川幸男
	4	53	橋田鈴子
	5	53	篠田正光
	6	52	野中和子
教務			児島正
養護			森千代子
事務			杉山市郎
校務			土田喜衛兵
〃			大坪健造
炊事			小川千代子
〃			藤沢とし子
〃			小沢あき
〃			武藤末
〃			大島一江
計	28	1418	40

校門より　鉄筋校舎第4期工事が見える



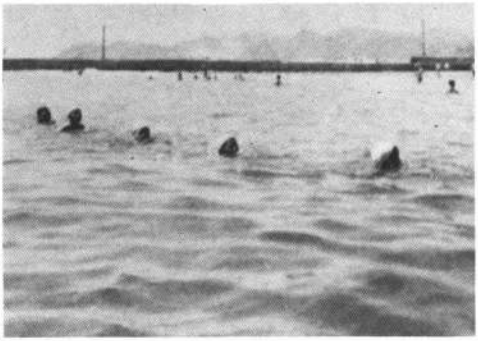
水　泳　大　会

鼓笛隊
運動会に勇ましいマーチを
演奏し堂々と行進する



5年　海水浴　　砂浜で角力　　内海で

5年海水浴　　遠泳　　内海で



たくましい子どもを　元校長(昭36～38)林　貞二

文字通りの山紫水明、岐阜市発祥の地、歴史に輝く校下の全景、教育尊重の伝統に育くまれた誇り高い金華小学校。着任した当時の心境は、緊張と歓喜そのものであった。児童数は約1200、校舎は三階鉄筋コンクリート建が、七分通り出来上り、こどもは、新旧両校舎で熱心に、楽しく勉強していた。名実共によい学校であると思った。

教育目標として「たくましい子ども」を掲げ「全職員一体となってその実現に努力しよう」と申し合せた。児童には分り易く「自分の足で立とう」「仲間とともに伸びよう」「学習に親しもう」を三本の柱として、常に反復し、反省させるよう努めた。この目標は、何度も開いた職員会で、子どもの実態を話し合いの結論から生れたものであった。もともと、上品でやさしく、勉強には熱心で、身じまりも整然としていて、大変良いけれども、やや身体的にも、精神的にもスマートで、ファイトに乏しい傾向が見られる。これを補強することが出来れば理想的な児童像ができ上る筈である。

この教育目標が子ども一人一人に浸透し、効果を挙げるためには、両親や家庭の協力が絶対に必要なことは言を俟たない。学校教育と家庭教育の融合的役割を果すＰＴＡの活動が、積極的であって欲しいと希い、その実現に徴力を傾注した。その希望と期待が見事３年間に果されたことは、限りないわたしの喜びであった。当時の会長丹羽清二氏、副会長毛利吉光氏、仝野村岳子氏を中心に多士済々のメンバーを要して、各委員会が活潑な活動を展開された。

○成人教育委員会　１良親学級の開設　二年連続　文部省より金五万円宛の助成
　　２祖父母学級の開設　年三回
○保健体育委員会　１水泳学校の開設　２夏休み中金華登山　３ラジオ体操コンクール
○給食委員会　１学校給食試食　年三回　２夏休み中の献立作成
○会報委員会　１会報「金華」の編集、実に見事な会報　年四回発行
○校外生活指導委員会　1.町内ＰＴＡの開催、町内子ども会の世話
　　2.廃品回収、寄附金の世話等
○図書委員会　1.古い本の再整備、図書購入、図書目録の作製等。

このようなＰＴＡの活動は、年毎に発展充実し、昭和39年８月には、文部大臣の表彰を受け、本校の教育に多大の貢献をして今日に至っている。

理想的なプールも竣工を見、校舎に似合いのグリンベルトも完成し、教育環境として天下に誇る偉容を備えるに至った。グリンベルト総工費五十万円は、丹羽種次郎氏の篤志寄附であることを明記して深謝したい。

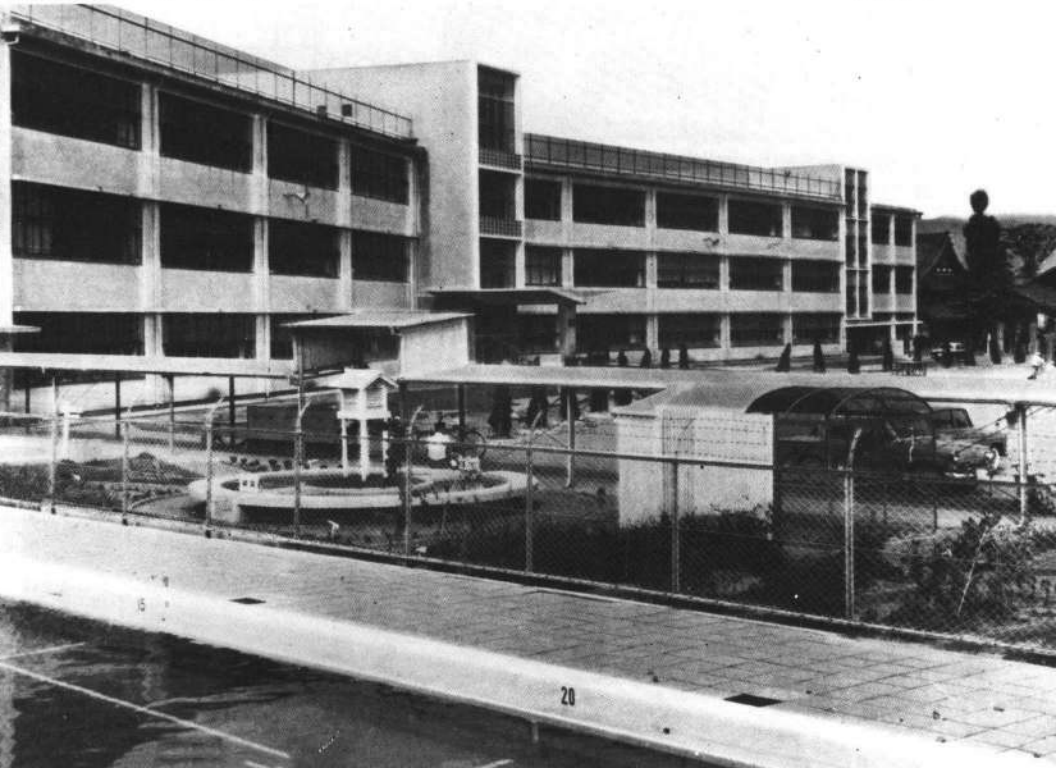
ＰＴＡ活動のあり方　元ＰＴＡ会長(昭37～39)丹 羽 清 二

昭和37年にＰＴＡ会長を御引受けしてから３年間勤めました。此の間最初の年には中川前会長よりの念願でもあり経続事業でもありました、校内プール並に校門の完成でありました。その念願がかなえられ７月15日に完成式を行う事が出来ました。その節には中川前会長並に兵藤秀子さんの御来臨を得て盛大なる、プール開きを行い、兵藤秀子さんの模範遊泳が行なわれました。

第二年目には当校創立九十周年記念式典を11月16日吾々の大先輩でもあり本校同窓会長である、桑原善吉氏を会長に仰ぎ、先輩諸氏多数の参列を得て盛大に行ないました。式終了後記念事業の一つとして校庭内一部に杉、檜の記念植樹を行ないました。

第三年目には私が会長を引受けてからの念願でもあり当校林校長のＰＴＡ活動特に各委員会の活発な活動推進を目標に此の三ヶ年間毎月執行部会を開き各委員会の活動状況の報告並に研究を行う等、真剣な論戦を行ないました。良親学級の活動には特に力を入れその成果は目を見はるものがありました。39年８月18日にＰＴＡは文部大臣表彰を受ける光栄を得たのであります。

新　校　舎　全　景　　昭和38年



昭和36年度

岐阜市立金華小学校

教育目標

たくましい子ども
- 自分の足で立とう
- 友と共に伸びよう
- 常に学習に親しもう

研究主題　効果的な学習指導

4．8　新校舎9教室完成(中央玄関西)
4．27　遠足
5．2　春のリレー大会
5．6　写生会　岐阜公園
5．10　音楽部テレビ出演　虹のコースター
5．23　学力テスト　6年
6．27　臨時休校　豪雨のため長良川大洪水　午后1時20分災害救助法発令　本校避難所となる
午后5時より湊町、玉井町、元浜町、中大久和町の住民、夜半まで避難する
7．8　良親教室開講式
7．10　地区別懇談会始まる
9．15　台風前の風雨強く臨時休校
9．16　台風18号(第2室戸)襲来　臨時休校
下新町等の住民300名校舎へ避難、被害なし
10．8　運動会
10．13　6年修学旅行
10．26　遠足
11．2　写生大会
11．9　避難訓練
12．4　市音楽会に3年出演
2．17　新一年父母の会
3．20　新校舎6教室(両端)西階段、西便所完成
3．24　卒業式

校長	林　貞二
教頭	梅田一雄

年	部	児童数	職員氏名
1	1	49	篠崎きみ
	2	48	橋詰美智子
	3	49	野中和子
	4	48	中村すえの
2	1	45	市原　昇
	2	43	森崎栄太郎
	3	45	武藤信子
	4	43	赤座澄子
3	1	47	青木俊夫
	2	46	宮田博江
	3	46	桐山富美子
	4	47	井川　貞
4	1	47	篠田正光
	2	45	堀部　律
	3	45	和田教雄
	4	45	橋田鈴子
	5	45	関谷花子
5	1	52	古川幸男
	2	55	中野美代子
	3	55	神山　武
	4	55	田中道子
6	1	54	臼井正雄
	2	53	中島利子
	3	53	矢島正夫
	4	53	松原伊都
	5	53	加藤義男
教務			山川冬樹
養護			森　千代子
事務			杉山市郎
校務			土田喜兵衛
〃			大坪健造
炊事			小川千代子
〃			藤沢とし子
〃			小沢あき
〃			武藤　末
〃			大島一江
計	26	1266	38

豊田自動車工場の見学　　6年

道徳の時間ができる

青少年の非行の増加、基礎学力の充実、技術革新による高度成長へ移行など、わが国の実状に即し学習指導要領が新しくできた。

新学習指導要領　33年10月1日公布
36年4月1日実施

- 道徳時間の特設
- 理科教育の充実
- 基礎学力の充実
- 地歴教育の充実
- 教育課程を4領域とする
  （各教科、道徳、特別教育活動、学校行事等）

プールの向うに蔵がある

金華山より学校を望む
金華橋の橋脚が見える

昭和37年度

岐阜市立金華小学校

教育目標

たくましい子ども
- 自分の足で立とう
- 友と共に伸びよう
- 学習に親しもう

研究主題　効果的な学習指導　（集団学習）

4．27　遠足
5．1　プール起工式
5．4　童話会　中、高学年に分けて行う
5．26　天皇陛下奉送　4年以上　今小町にて
6．21　歯みがき訓練
7．11　学力テスト実施
7．15　プール竣工式　工費600万円
8．2　6年キャンプ　伊自良にて
8．16　台風14号襲来　ガラス14枚、樹木2本倒れる
9．18　人形劇観覧
10．7　運動会
10．25　6年修学旅行
10．31　遠足
11．18　花壇造成　仕事師3人
12．5　市音楽会に2年出演
12．10　グリーンベルト完成　工費50万円
12．23　校門改築
1．17　金華児童愛護会、全日本交通安全協会賞を受く
1．31　講堂の1部を和室に改造し公民館として使用
　　講堂への渡り廊下、回旋塔完成
2．4　積雪20cm
3．7　新1年父母の会
3．12　ヘリコプター校庭に着陸
3．25　卒業式　卒業記念として鳥小屋完成

校長	林　貞二
教頭	高橋　章

年	部	児童数	職員氏名
1	1	47	松原伊都
	2	45	宇野美代子
	3	45	武藤信子
	4	45	加藤義男
2	1	49	篠崎きみ
	2	49	橋詰美智子
	3	49	野中和子
	4	48	森崎栄太郎
3	1	45	市原昇
	2	44	藤垣淑子
	3	44	野村由
	4	44	関谷光子
4	1	47	内藤文子
	2	45	宮田博江
	3	45	桐山富美子
	4	46	井川貞
5	1	45	臼井正雄
	2	45	中島利子
	3	45	武藤好雄
	4	45	篠田正光
	5	44	赤座澄子
6	1	44	古川幸男
	2	44	中野美代子
	3	44	神山武
	4	43	田中和子
	5	44	矢島正夫
教務			山川冬樹
〃			堀部律
養護			長谷川早苗
事務			田島宗治
校務			土田喜兵衛
〃			大坪健造
炊事			小川千代子
〃			藤沢とし子
〃			武藤末
〃			大島一江
計	26	1179	38

5年海水浴　波とたわむれる

グリーンベルト完成
美しい幾何模様を描く

表彰状

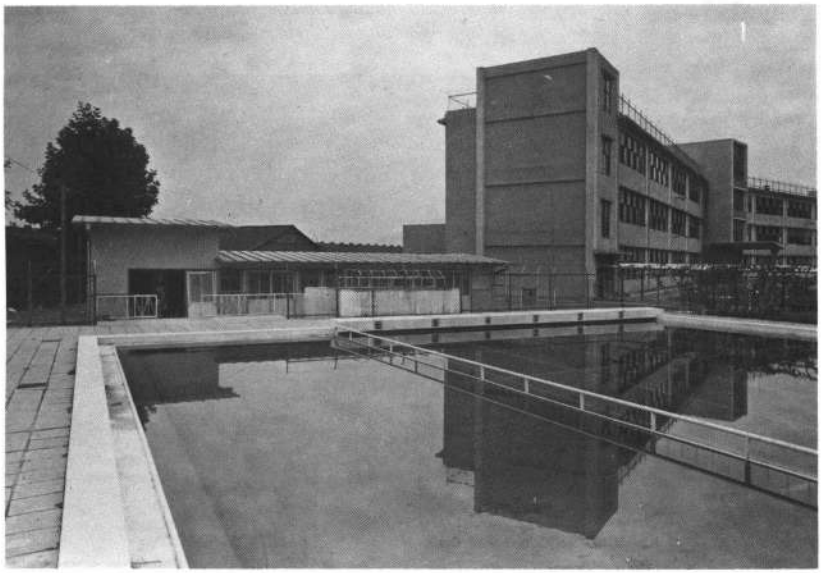
岐阜県
岐阜市金華児童安護会　殿

あなたがたの団体は多年にわたり交通事故の防止のために尽力し交通秩序の確立に貢献されましたその功労はまことに多大であります
ここに第三回交通安全国民総ぐるみ運動中央大会にあたり記念品を贈り表彰します

昭和三十八年一月十七日

財団法人交通安全協会連合会
会長　津島寄一

愛護会、表彰される



新プール完成
水面に新校舎がうつり
清らかなたたずまいを
見せる

昭和38年度

岐阜市立金華小学校

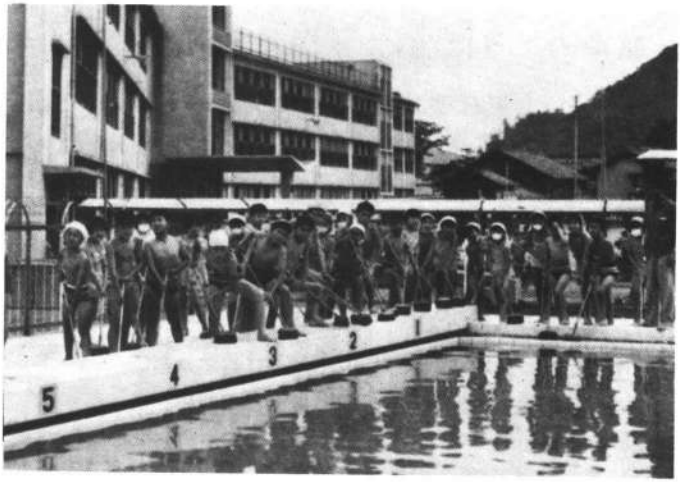
教育目標　たくましい子ども
- 自分の足で立とう
- 友と共に伸びよう
- 学習に親しもう

研究主題　効果的な学習指導（国語、社会、算数、理科）

4．1　育友会をＰＴＡと改称す
4．21　職員室に棚の備えつけ
4．25　遠足
5．18　全校金華山登山
6．26　学力テスト実施
6．28　人形劇観覧
7．26　５年海水浴　１泊２日
10．4　90周年記念大運動会
10．5　鼓笛隊、信長祭に参加
10．7　６年修学旅行
10．19　６年、県マスゲーム大会に参加
10．22　90周年記念写生会　公園、駅前
10．25　交通教室
10．31　遠足　バス利用
11．9　堤防草刈り
11．16　創立90周年記念式挙行　全教室に時計設置
記念講演　山吉　長氏
記念マスゲーム大会　展覧会　映画会
11．19　映画鑑賞　家なき子　大映、丸越にて
12．4　市音楽会に１年出演
1．15　運動場撒水用ポンプ修理完了
2．15　縄とび大会
2．26　新１年母の会
3．25　卒業式

校長	林　貞二
教頭	高橋　章

年	部	児童数	職員氏名
1	1	43	中野　美代子
	2	43	加藤　禎三
	3	44	井川　貞
	4	45	桐山　富美子
2	1	42	松原　伊都
	2	44	武藤　信子
	3	43	宇野　美代子
	4	43	加藤　義男
3	1	48	篠崎　きみ
	2	47	橋詰　美智子
	3	48	森崎　栄太郎
	4	48	田中　道子
4	1	46	市原　昇
	2	44	藤垣　淑子
	3	44	野村　由
	4	44	堀部　律
5	1	44	矢島　正夫
	2	45	内藤　文子
	3	45	野中　和子
	4	45	神山　武
6	1	45	臼井　正雄
	2	44	中島　利子
	3	44	武藤　好雄
	4	44	篠田　正光
	5	44	室　三千子
教務			山川　冬樹
養護			長谷川　早苗
事務			田島　宗治
校務			土田　喜兵衛
〃			大坪　健造
炊事			小川　千代子
〃			藤沢　とし子
〃			武藤　末
〃			大島　一江
計	25	1117	36



新しいプールで泳いだら、きれいに掃除をしよう

お花を作りましょう　栽培部

天文観測

海水浴の松原で　五年

雑草のように強く　元校長(昭39～42) 太 田 武 夫

緑したゝる金華山の麓、長良川の清流に沿った金華校下、これ程自然に恵れたところは他には珍らしい。然かも岐阜市発祥の地であり空襲からは殆んど無きずで残ったため、旧い街並の面影を今だに残している。人口移動が少くなく、祖父以来住みついている家が多く、おぢいさんもお父さんも、この金華小学校を卒業したと云う家庭が多い。このような環境で育っている金華の子供は、他校に見られない特色がある。

「金華の子供は頭がよくて、上品で落着いた子が多い。」

「迫力に乏しく、頑張りのきかない子供が目だつ」

他校から転任して来た職員の多くは、こう云った感想を抱く者が多い。この子等に、踏んだも踏んでも伸び上ろうとする雑草のような強い気力と体力をつくったら鬼に金棒だと考えた。

「たくましい子」　「やりぬく子」　の内容をもった教育目標は以上のような現実の上にたって、職員協議を重ねた結果立てられた。その目標に向って色々な努力が払われた。

運動の場を整える

運動場が荒れていて、雨が降れば水溜りができ、天気が続けば砂塵が舞うと云った有様だった。体を鍛えるのは先づよい運動場からと、ＰＴＡの幹部の方々の協力を得て土盛りと整地を市当局にお願いした。理解と協力を得て、夏休み中かゝって、徹底的に整地願えて見違えるような、すばらしい運動場になって思う存分駈け廻ることができるようになった。立派なプールとこの運動場で思いきり運動を楽しめるようになった。夏休み中の早起き登山の会、冬の運動場の駈足も心身を鍛えるよい行事であった。

仲よしの丘

今も運動場の一角にあって盛んに利用されている施設「仲よしの丘」がある。
名称の示すように、仲よく遊ばせようとする施設であるが、市街地の子供をできるだけ自然に親しむような場を与えたいと云う親心からＰＴＡの委員の方々の努力の結晶から出来上ったものであることを特に記しておきたい。

今ではあちらこちらの公園や学校にこれに似た施設があるが、その当時としては珍しいものであった。ＰＴＡの委員の方々があちらこちらに車をとばして視察調査し、それをもとに協議を重ね、模型をつくり、何度も何度も作り直して、金華の子供に合った丘の模型を作り上げることができた。模型をもとに造営作業となると、ＰＴＡの有志の方々が勤労奉仕で山の土盛り作業を手伝われる等、あの丘の土の中には多くの方々の汗がにじんでいることを忘れてはならない。

すばらしい素質をもった金華の子らが、いつまでもいつまでもより強い体とよりねばり強い気力をもった子たちに成長することを祈念して、当時の教育は進められた。

楽しい想い出の数々 元ＰＴＡ会長(昭40・41) 船戸茂雄

今からふりかえると、楽しい想い出で一ぱいです。40年度には先づ、文部省の家庭教育委嘱学級を引受けて、低学年・中学年・高学年の3学級を設けました。今ではよい人生勉強をしたと感謝しています。又、学校の音楽教育に協力し、オルガン教室を開設し、デスクオルガン、エレクトロンを備えました。又廃品回収を年4回も行ない、ピアノ、ファクス印刷機等、学校の備品の充実に努めました。又、市連ソフトボール大会に優勝して、大喜びをしたり、地区別懇談会を行い、太田校長先生と16地区を次々と廻り日常生活や学校の事等を話し合いました。

41年度には地区別懇談会で出た金華山登山を始めました。又、戦時中殉職された丹羽先生の碑を先生の教え子が建てるのに協力したり、会員のお力添えで当時の中村梅吉文部大臣に「仁智明達」の額を揮毫していただき、校長室に掲げました。幾つかの事業を致しましたが、一番の大事業は「仲よしの丘」の建設でした。街の中の子どもたちが体力をつけるような遊び場を作ろうと知恵を出しあったのがこれです。当時すでに作られていた他校のも参考にし、模型を作り、検討を重ねた結果、原型が出来上り、加野医院等から頂いた土を盛り、もつこをかつぎ額に汗し、工夫を重ねて、他校に比のない立派なものを完成しました。卒業記念に正門の東の藤棚の建設のお手伝いもしました。そして今は、これらを見る毎に数々の想い出が甦えり、当時の皆様のお顔が次々に浮んでまいります。終りに学校の創立百周年を心からお祝い申し上げ、学校の発展とＰＴＡ諸氏の御健在をお祈りします。

仲よしの丘完成
昭和四十二年一月十八日

昭和39年度

岐阜市立金華小学校

教育目標

たくましい子ども
- 自分の足で立とう
- 友と共に伸びよう
- 学習に親しもう

研究主題　効果的な学習指導（音楽、図工、体育、家庭）

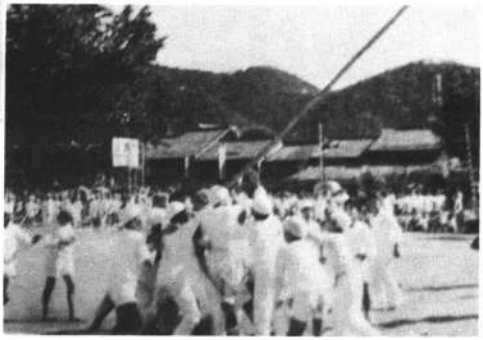
4．25　人形劇観覧
5．4　遠足
5．13　写生会
5．19　5・6年、体操祭に参加
6．5　歯みがき訓練実施
6．23　学力テスト実施
7．27　臨海学校5年敦賀市赤崎　日帰り
7．29　6年合宿を学校で始める
8．18　PTA、文部大臣賞を受く
9．29　運動会
10．2　聖火見送り
10．3　鼓笛隊、信長祭に参加
10．8　6年修学旅行
10．10　東京オリンピック開会式
10．16　堤防草刈り　職員作業
10．23　遠足
11．5　朗読会
12．2　市音楽会に3年出演
12．7　避難訓練
1．23　武藤好雄教諭死亡
2．24　運動場土盛り作業
3．5　縄跳大会
3．20　はん登棒完成
3．25　卒業式　卒業記念として作品陳列棚三個

校長	太田武夫
教頭	高橋　章

年	部	児童数	職員氏名
1	1	39	大橋左門
	2	39	山下光子
	3	39	宇野美代子
	4	39	鈴木　貞
2	1	46	中野美代子
	2	44	加藤禎三
	3	44	井川　貞
	4	44	桐山富美子
3	1	41	中村昭夫
	2	42	中島利子
	3	42	臼井正雄
	4	41	堀部　律
4	1	48	篠崎きみ
	2	47	橋詰美智子
	3	46	森崎栄太郎
	4	47	田中道子
5	1	44	武藤好雄
	2	43	小寺美和子
	3	44	室　三千子
	4	44	野村　由
6	1	45	矢島正夫
	2	45	内藤文子
	3	45	野中和子
	4	45	神山　武
教務			山川冬樹
国体			加藤義男
養護			長谷川早苗
事務			田島宗治
校務			大坪健造
〃			福田義夫
給食			武藤　末
〃			大島一江
〃			前川艶子
〃			勝山いとの
計	24	1043	36

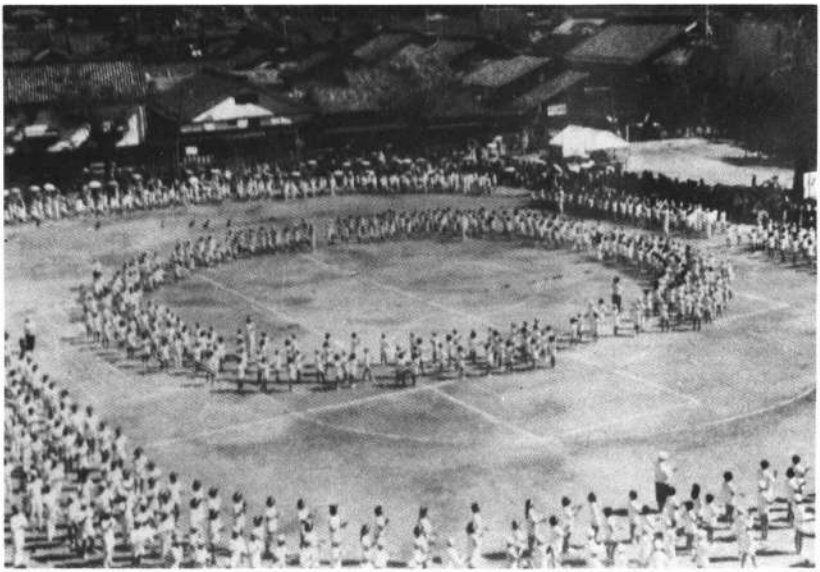
金華小ＰＴＡ、文部大臣賞を受く

校庭でキャンプ　　６年



運動会　　勇壮な棒倒し

運動会
東京五輪音頭を全校児童がおどる



昭和40年度

岐阜市立金華小学校

教育目標

よく考えてやりぬく子
- 力一ぱい勉強しよう
- 友達となかよくしよう
- たくましい身体を作ろう

研究主題　思考力を高める学習指導(国語)

4．2　映画鑑賞　東映にて
4．27　遠足
5．18　海浜学習　5年
5．22　各階のカーテンレール取りつけ
5．23　裏庭花壇作り
6．6　各教室の窓に手すりを取りつける
6．16　学力テスト実施　5・6年　社会、理科
8．11　6年キャンプ　校庭にテントを張る
8．27　水泳大会
9．10　台風のため臨時休校　全職員警備に当る
9．17　台風24号接近のため正午に児童下校
10．24　岐阜国体開会式　鼓笛、マスゲームに出場
運動場は駐車場に使用
10．28　両陛下奉送　5・6年　七軒町
10．29　岐阜国体閉会式　6年参加
10．30　遠足　バス利用
11．2　写生会
11．5　6年修学旅行
11．6　皇太子殿下奉送　3年
11．16　市音楽会に出演　5年
12．2　防火避難訓練
2．4　市庁舎見学　中・高学年
2．5　市庁舎竣工記念パレードに参加
3．25　卒業式

校長	太田武夫
教頭	高橋章

年	部	児童数	職員氏名
1	1	43	神山武
	2	43	内藤文子
	3	43	野中和子
	4	42	沢部豪
2	1	39	大橋左門
	2	38	山下光子
	3	37	宇野美代子
	4	39	鈴木貞
3	1	43	田中道子
	2	43	森崎栄太郎
	3	42	中野美代子
	4	43	木村勝次
4	1	41	中村昭夫
	2	41	渋谷静枝
	3	41	臼井正雄
	4	39	吉田あきゑ
5	1	46	加藤禎三
	2	47	東屋清子
	3	46	矢島正夫
	4	46	堀口ちよ
6	1	43	野田雅之
	2	43	小寺美和子
	3	44	室三千子
	4	42	野村由
鼓笛			桐山富美子
国体			加藤義男
養護			長谷川早苗
事務			田島宗治
校務			大坪健造
〃			福田義夫
給食			大島一江
〃			前川艶子
〃			勝山いとの
計	24	1014	35

交通当番の指示で
元気に電車道をわたる

全校朝の会

海浜学習　　5年

川原で炊事

校庭でキャンプ　6年

昭和41年度

岐阜市立金華小学校

教育目標

よく考えてやりぬく子
- 力一ぱい勉強しよう
- 友達となかよくしよう
- たくましい身体を作ろう

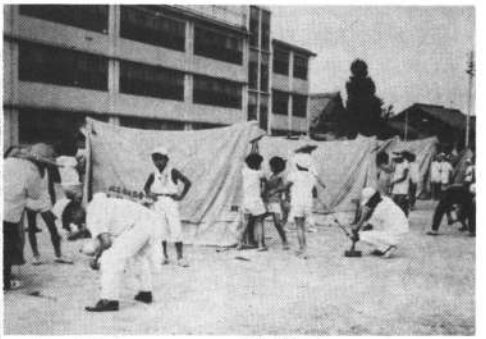
研究主題　思考力を高める学習指導(算数)

4．10　給食室拡張工事完成（休養室、物置）
4．26　遠足
5．2　避難訓練
5．4　写生会
5．11　交通教室　第4時低学年　第5時中高学年
5．20　5年海浜学習　河和町矢梨
6．1　映画鑑賞　フランダースの犬
6．24　学力テスト実施
7．6　校下の地区別懇談会始まる
7．26　6年合宿　学校
8．21　タール舗装、校舎南
8．24　運動場土盛り　トラック7台分
9．27　運動会挙行
10．1　鼓笛隊、信長祭に参加
10．15　交通教室　第3時
10．27　6年修学旅行
10．28　体育倉庫新築
11．1　遠足　バス利用
11．14　漫画教室　5・6年　根本進先生
11．20　丹羽先生顕彰碑除幕式
11．21　市音楽会に3年出演
1．18　仲よしの丘竣工
2．10　研究紀要刊行　思考力を高める学習指導(算数)
3．25　卒業式　卒業記念として藤棚建設

校長	太田武夫
教頭	高橋　章

年	部	児童数	職員氏名
1	1	46	市原　昇
	2	46	小寺美和子
	3	46	高橋　久
	4	45	室　三千子
2	1	42	神山　武
	2	43	内藤文子
	3	40	野田雅之
	4	41	沢部　豪
3	1	40	野村　由
	2	39	山下光子
	3	38	宇野美代子
	4	38	鈴木　貞
4	1	40	田中道子
	2	42	中野美代子
	3	42	安藤　勝
	4	41	木村勝次
5	1	41	中村昭夫
	2	42	渋谷静枝
	3	40	森本孝一
	4	40	吉田あきゑ
6	1	46	加藤禎三
	2	47	東屋清子
	3	45	矢島正夫
	4	46	堀口ちよ
教務			臼井正雄
養護			長谷川早苗
事務			田島宗治
校務			大坪健造
〃			福田義夫
給食			前川艶子
〃			勝山いとの
〃			中村　操
〃			大島きし子
計	24	1016	35

運動会　リズム(おもちゃやさん)　全２年



キャンプ　　校庭で

楽しい楽焼

運動会　全校ラジオ体操

銀杏の実落し

昭和42年度

岐阜市立金華小学校

教育目標　なかまのしあわせのために
よく考え　自主性
助け合い　社会性
力いっぱいやりぬこう　実践性

研究主題　思考力を高める学習指導（社会、理科）

4．27　遠足
5．18　写生会　美江寺　岐阜公園
5．25　海浜学習　5年
6．9　ＰＴＡ　各学級へ洋傘を贈呈
7．26　6年合宿　学校にて
8．30　運動場整地
9．24　運動会
9．30　鼓笛隊　信長祭に参加
10．19　遠足　バス利用
10．20　6年修学旅行　バスで奈良・京都
11．20　市音楽会に5年出演
11．25　ＰＴＡ廃品回収により全教室の半分にテレビ設置
12．4　避難訓練
12．9　学校劇の鑑賞　講堂にて
12．15　職員作業　理科・音楽室の掛図の整理
1．17　新1年保護者会
1．22　新入学児童健康診断
1．25　全教室の半分の教室にテレビ設置
2．9　廊下の下駄箱をロッカーに改装
2．12　研究紀要刊行　思考力を高める学習指導(社理)
3．7　6年　名古屋港・ＮＨＫ・中日新聞社を見学
3．19　映画鑑賞　5・6年
3．25　卒業式　卒業記念として緯度・経度・標高を刻んだ標柱を建てる

校長	太田武夫
教頭	高橋　章

年	部	児童数	職員氏名
1	1	42	東屋清子
	2	41	加藤禎三
	3	40	田中道子
	4	38	矢島正夫
2	1	47	市原　昇
	2	47	小寺美和子
	3	46	高橋　久
	4	46	室　三千子
3	1	40	林　初子
	2	41	神山　武
	3	40	中野美代子
	4	41	野田雅之
4	1	38	野村　由
	2	38	山下光子
	3	38	宇野美代子
	4	38	鈴木　貞
5	1	41	内藤文子
	2	41	安藤　勝
	3	40	堀口ちよ
	4	40	木村勝次
6	1	41	中村昭夫
	2	41	渋谷静枝
	3	41	森本孝一
	4	40	吉田あきゑ
教務			臼井正雄
養護			長谷川早苗
事務			田島宗治
校務			大坪健造
〃			福田義夫
給食			前川艶子
〃			勝山いとの
〃			中村　操
〃			大島きし子
計	24	986	35

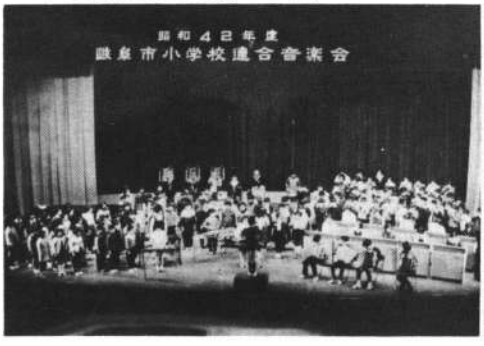
長良川で炊事　（学校で６年合宿）

金華橋下で　（学校で６年合宿）

愛護会のおじさん、おはようございます

鼓笛隊パレード　平和通りの明徳小前で

市連合音楽会に出演　５年



運動会応援風景

思　い　出

元校長(昭43)　松田善逸

東に美しい城をいただく金華山の翠峰を仰ぎ見、北に長良川の清流を臨み見て暮らす金華小の児童は、まことに自然に恵まれた都会の子達である。校舎の2階3階から校下を眺めると、白壁の土蔵があちこちに見られ、落ちついた家並に、岐阜の古いよき時代が偲ばれる。そこここに散見するお寺の大きな御堂の屋根は、あの惨烈であった戦災にもあわなかった金華小校下のしあわせを物語り、物静かな民家のたたずまいを表徴しているようである。岐阜市発祥の地であるとのプライドを持ち、上品な挙措を感じさせる金華の児童は、こうした環境の中に育っているからだと思える。これが金華小学校へ赴任した日の第一印象であった。

児童名簿をめくっていると保護者の住所が目に入る。そして今迄勤めてきた各学校には見られない特異のものを感ずる。魚屋町・茶屋町・材木町・竹屋町・米屋町・鞍屋町・末広町・白木町……。大工町・木造町・木挽町……。梶川町・甚衛町・玉井町……。元浜町港町・大桑町……。江戸時代あるいはもつと古い時代の岐阜のいぶきが感じられる。これ等の町名のいわれを一つ一つ、丹念に調べあげ、綜合するときっと徳川時代の岐阜、信長時代の岐阜、井の口時代の岐阜が、きっと描き出せるにちがいない。観念的に岐阜市発祥の地と意識させるだけでなく、具体的な調査活動によって理解させることに訴えたら、きっと土地に愛着を感ずる意識となるだろう。こんな事を考えながら、その機を得ないまま金華を去ったことは、今でも心残りの一つである。

運動場の西側、プールの東に給食室が新築されることになった。新しくつくってもらうのなら、給食施設として出来るだけ合理的なものをつくってもらいたいと念願し、主任の堀口先生をはじめ給食委員の先生方、現業の調理員さん達と、いろいろと知恵をしぼった。食器の棚一つをしつらえるにも、子どもにとって高すぎるとか低すぎるとか、出し入れに都合がよいとか子どもにはむつかしいとか、それはそれはやかましいことであった。いろいろと論議して出した結論を市へもっていったが、当事者の方たちは、よく現場の声に耳を傾け、その意見を尊重して設計施工してもらうことが出来た。外観は小じんまりとした、しょう洒な建物で、中味は合理的近代的な給食施設として給食室が生れた。配置や施設の一つ一つに思い出が残る給食室である。

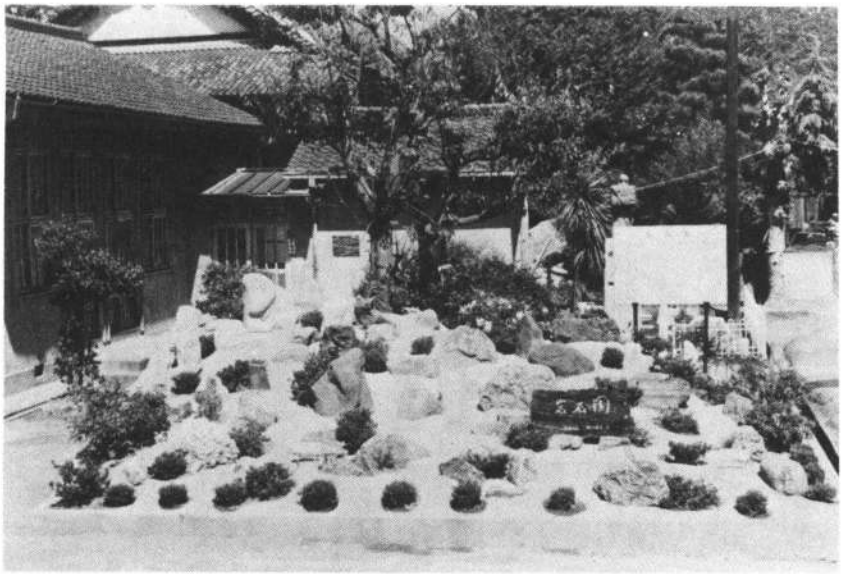
学校の西側に長良川堤防道路と電車通りをつなぐ道路工事が始まった。家がとりこわされ、土が入れられて日増しに道路工事が進んでいく。完成したら金華橋や公園へ行く車にとって、近道となり便利になることと思われる。それとともに車の通行が多くなり、人の往来がむずかしくなりはしないだろうか。特に児童のいききに危険のともなうことが懸念された。幸いにも校下の皆さんのご理解と協力、林会長を中心とするＰＴＡ会員の皆さんの献身的なご努力によって、跨道橋が建設された。渡りぞめの時、橋を渡りながら「これで一安心」と思うとともに軒さきに邪魔なものがつくられるのを承知で、その建設を承諾してくださった人達の好意を感謝せずにはおれなかった。

想　い　出　前ＰＴＡ会長(昭42・43)　林　義栄

子どもたちの視聴覚や情報教育にテレビの利用は、教育の効果をあげるために大変役立つものである。だから何とかして全教室にテレビを設置しょうとした。　ＰＴＡの熱意と努力とが実り、廃品回収によって、42年度に全教室の半分、43年度に残りの半分と全教室に備えつけが完了し、多年の念願を果し得たことは、特に印象深いことである。

又子どもたちの給食の完璧を期するため、給食室の改築を計画し、市当局に積極的に動きかけ、遂に新しい給食室の完成を見た。又子どもたちの学習のため、校舎裏の教材園の整備に努め特にＰＴＡ諸氏の献身的な働きによって岩石園の完成を見たことは、特筆すべきことである。

私どもの母校が創立百周年を迎えたことは、まことにお目出度いことであり、卒業生として誇るべきことであり、母校の一層の発展を祈るものである。



岩石園竣工　昭和四十四年三月

昭和43年度

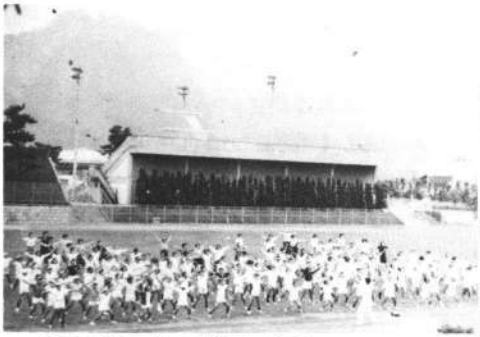
岐阜市立金華小学校

教育目標　なかまのしあわせのために
よく考え　創造性
助け合い　社会性
力いっぱいやりぬこう　実践性

研究主題　創造性を培う学級経営

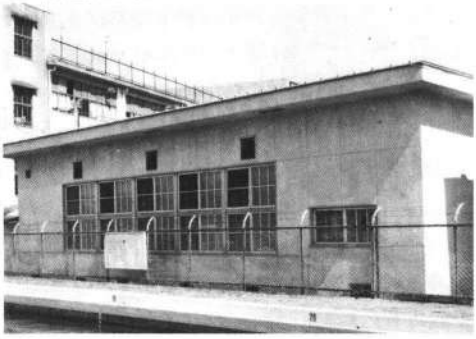
4．25　遠足
5．1　写生大会
5．10　童話会
5．17　海の学習　4・5年　弁天島
7．11　避難訓練
8．4　6年　合宿　水道山ユースホステルにて
8．25　岩石園の岩石採集　揖斐郡谷汲村岐礼
9．17　ＰＴＡ講演会　佐野えんね先生
10．18　6年　修学旅行　バスで奈良・京都
10．20　岩石園の岩石採集　揖斐郡藤橋村親谷
10．23　遠足　バス利用
10．27　岩石園の岩石採集　揖斐郡春日村笹又
10．29　写生会
10．31　人形劇鑑賞
11．12　市音楽会に4年出演
12．1　ＰＴＡ廃品回収により全教室にテレビ設置完成
1．8　新給食室竣工
3．7　避難訓練　新1年1日入学
3　9　教材園の池の改装完成
3．11　研究紀要刊行　創造性を培う学級経営
3．20　フアイリングシステムにより書類管理始まる
3．24　兎小屋、小鳥小屋、孔雀小屋の移転改装完成
3．25　卒業式　卒業記念として希望の碑を建てる
3．27　岩石園、教材園完成

校長		松田善逸	
教頭		鷲見礼司	
年	部	児童数	職員氏名
1	1	40	浦崎浩二
	2	40	山下光子
	3	39	中村昭夫
	4	40	鈴木貞
2	1	41	東屋清子
	2	38	加藤禎三
	3	40	宇野美代子
	4	38	矢島正夫
3	1	43	森本孝一
	2	43	吉田あきゑ
	3	43	安田昭二
	4	43	室三千子
4	1	39	林初子
	2	40	堀部満
	3	39	渋谷静枝
	4	39	野田雅之
5	1	38	野村由
	2	37	小寺美和子
	3	37	高橋久
	4	37	杉下喜美恵
6	1	40	内藤文子
	2	40	安藤勝
	3	38	堀口ちよ
	4	39	木村勝次
教務			臼井正雄
市主事			遠山秀夫
養護			長谷川早苗
事務			田島宗治
校務			福田義夫
〃			黒川つね
給食			前川艶子
〃			勝山いとの
〃			中村操
〃			大島きし子
計	24	951	36



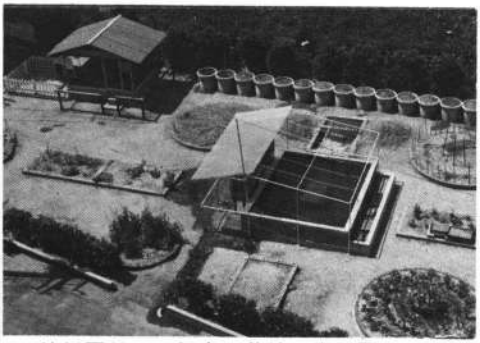
親子体育　総合グランドで

給食室竣工



岩石園完成
美濃の山川から石を集める

水道山ユースホステルで、6年合宿



教材園整う　飼育、栽培の学習園

人造りと環境造りに思う　前校長（昭44・45）居波重邦

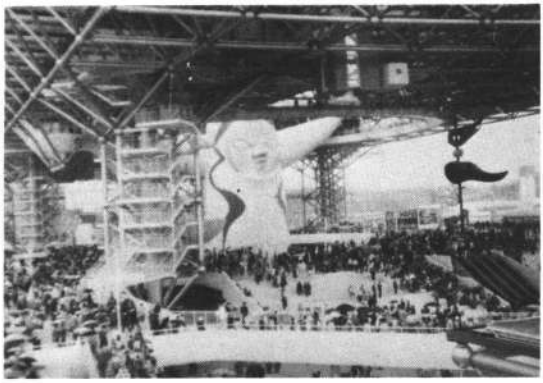
昭和44年4月、着任早々校下各種団体長への挨拶をかねて校下の訪問をした。私も岐阜市で育ち教職40年近くを岐阜市で過し京町校下をはじめいろいろな校下の実態を知っていたが、当校下を一巡してみて従来までのイメージを一変しなければならなかった。成程岐阜市最古の校下として、しかも一部をのぞき殆んどが戦火をまぬがれた地域で、古い建物や伝統ある旧家としての面影は残しているが、内部には新しい気風がいぶきつゝあり、封建的な組織の中に新鮮味を加味し、古い土蔵は内部改造して近代的な経営に切り替えられている状況であり、徐々ではあるがこの伝統を生かしながら近代的に切り替えていく力強い気迫こそ、地域に即した、たくましさではないかと感じた。

学校の様子をみても、古くから伝統ある、きこくの垣根やいちようが聳える中にグリーンベルトにかこまれた鉄筋三階建の校舎を持ち、中には明るい元気潑溂な児童が飛び廻っている。もやしの様なお坊ちゃんでは今後のこの世の中を生き抜いて行けない。これこそ金華小学校の児童達に植えつける根性ではないかと感じた。

明るく、たくましく生き抜く児童形成を目標に、校下の長所とも云うべき秩序正しさに近代的な物事の考え方を生かして、創造性の内容として〝よく考え〟社会性の内容として〝助け合い〟実践性の内容として〝力いっぱいやり抜こう〟この様な児童をねらって児童育成に精進した。そこには児童に酷使とまではいかないが、つらい行事を強要したり、環境整備のためにＰＴＡに勤労奉仕や廃品回収を日暮までお願いしたこともあった。炎天下にソフト・バレーの練習に汗を流して、子供達によい手本を見せてもらったこともあった。

教育目標達成のためのよき環境造りの一環としてすばらしい楽焼釜を造って児童も教師も、父兄も一丸となって自分の手で創造した作品を展覧して競いあった、もっとも楽しい思い出である。

又水はけのよいグリーンベルトを考えて父兄の奔走によるピーチの寄附を仰いで立派に出来上った、〝友情〟の碑は卒業記念を兼ねた児童・職員・ＰＴＡの共同作品であった。



万国博覧会見学
昭和四十五年四月

そんな間に児童達は新設された気象観測所を利用してのグループ活動の自発的に出来る子になり、熱心なＰＴＡの方のお骨折りで、鳥や魚などを飼育した。教材園の自主的経営や、世紀の万国博覧会に小学児童では無理かとも思ったが日頃の合宿訓練のお蔭で立派に雨の中にもかゝわらず、なしとげた印象は一生忘れることが出来ない。

体育館建設について

ＰＴＡ会長(昭44～) 若 井 秀 一

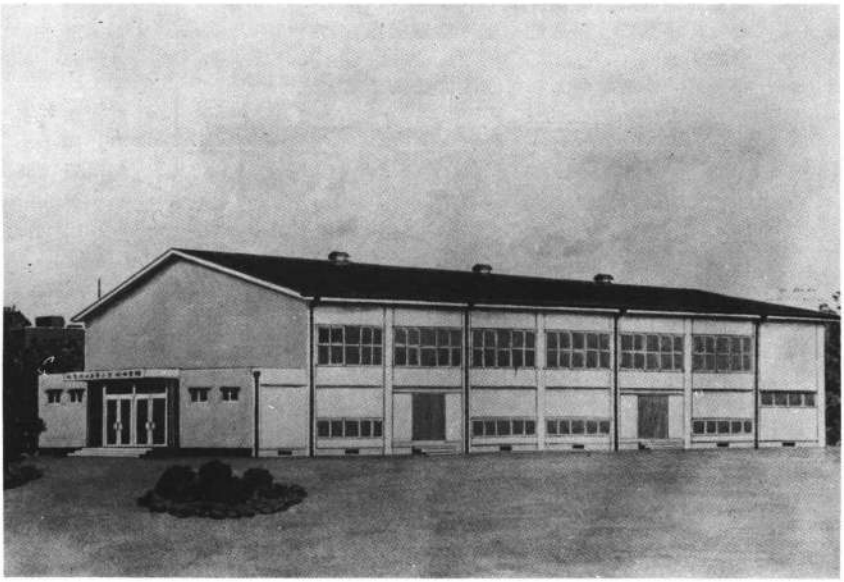
今を去る4年前、即ち昭和44年4月に、ＰＴＡ会長を命ぜられた時、直ちに4年後の創立百周年に思いを馳せました。百周年の記念事業として、何が一番ふさわしいのかと考えた次第です。その結果、かねてより懸案となっている「体育館」の建設の実現に努力する事を決意しました。幸いにも当時校下には「金華公民館」建設促進の気運がみちあふれておりましたので、その推進と共に、あわせて体育館建設の為の陳情を後藤広報連合会長始め各種団体長の御指導のもとに繰りひろげました。

昭和46年6月にはＰＴＡ全会員に呼びかけて一大署名運動を展開し、実に 10380名の御捺印を載だき、請願書を市議会へ、陳情書を市長及び教育長に提出、同年10月の市議会において請願が可決されました。又同年7月の議会で公民館が建設される事に決定されてからは、PTA単独で、更に陳情を再三にわたり実施し、議会の採択の実現を要望致しました。

その結果、岐阜市当局の深い御理解によりまして、47年3月の市議会に於て予算化され、48年5月の竣工を目標に、現在着々と工事が進められております。私達の永年にわたる夢が今かなえられつゝあるのであります。

私達の悲願の達成のためには、多くの方々の御指導と御援助とを賜りました。特に前市会議長の大野正雄先生は数年にわたり、たえず私達の先頭に立って御尽力を賜りました。その御厚情に対しましては、御礼の言葉も御座いません。心から感謝申し上げる次第です。又地元の窪江先生、各種団体長の方々、私と共に陳情を続けてまいりましたＰＴＡの役員の方々、そうして暖かい御支援を賜りました校下の皆様やＰＴＡの全会員の方々に厚く御礼申上げます。

体育館完成予想図



昭和44年度

岐阜市立金華小学校

教育目標　なかまのしあわせのために

明るくじょうぶで
- よく考え　創造性
- 助け合い　社会性
- 力いっぱいやりぬこう　実践性

研究主題　創造性を培う学習指導（国語）

4．4　図書館の机の天板張替え
4．9　楽焼釜竣工
4．24　遠足　徒歩
5．1　しいのみ学級(留守家庭児童)開設　2ヶ年間
5．29　春のリレー大会
5．31　避難訓練
6．6　童話会
7．29　6年合宿　水道山ユースホステルにて
8．30　校舎測溝工事完成
10．5　運動会
10．14　写生会
10．15　気象観測所完成
10．16　遠足　バス利用
10．17　物置を改造して女子職員便所とす
10．21　6年修学旅行　バスで奈良、京都
10．30　市音楽会に3年出演
11．1　学校劇鑑賞
11．4　ＰＴＡ講演会　鈴木満智子先生
12．1　コークスストーブを廃し、石油ストーブにて暖房
1．30　3階北窓に避難袋を設置し、使用訓練実施
2．20　給食室東に扇形花壇完成
3．1　研究紀要刊行　創造性を培う学習指導(国語科)
3．9　避難訓練
3．25　卒業式　卒業記念として玄関に壁画2面完成

校長	居波重邦
教頭	鷲見礼司

年	部	児童数	職員氏名
1	1	42	林　初子
	2	42	加藤禎三
	3	43	浅野佳子
	4	42	東屋清子
2	1	41	浦崎浩二
	2	41	山下光子
	3	41	中村昭夫
	4	40	鈴木　貞
3	1	39	桑原仲子
	2	39	黄倉　崔
	3	40	種田信子
	4	39	安藤　勝
4	1	41	森本孝一
	2	41	吉田あきゑ
	3	41	安田昭二
	4	41	室　三千子
5	1	39	堀口ちよ
	2	39	奥田孝朗
	3	39	渋谷静枝
	4	38	堀部　満
6	1	39	木村勝次
	2	36	小寺美和子
	3	35	高橋　久
	4	36	杉下喜美恵

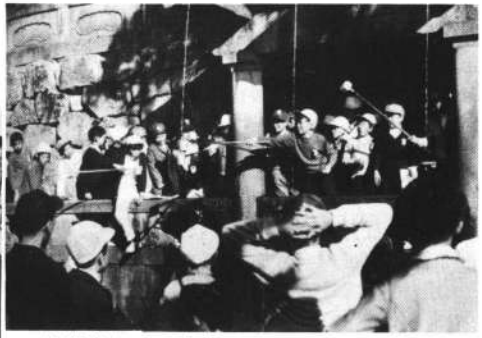
教務	臼井正雄
市主事	遠山秀夫
養護	長谷川早苗
事務	北洞洋子
校務	黒川つね
〃	水谷次郎
給食	前川艶子
〃	勝山いとの
〃	中村　操
〃	大島きし子

計	24	954	36

水道山で朝の体操　　6年合宿

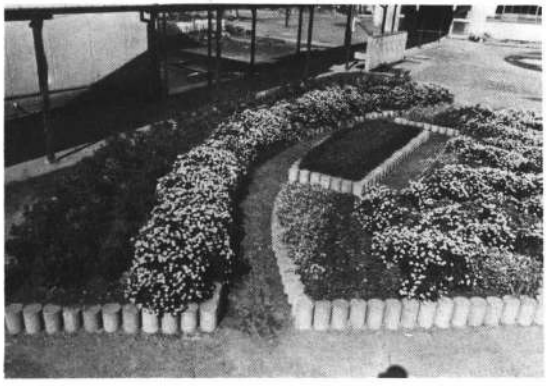
岩石園で学習　　6年3部

卒業記念の壁画作り　　6年4部



修学旅行　　京都、音羽の滝で

花壇竣工　　扇形の花壇に花は咲く



今週の給食献立

昭和45年度

岐阜市立金華小学校

教育目標　なかまのしあわせのために

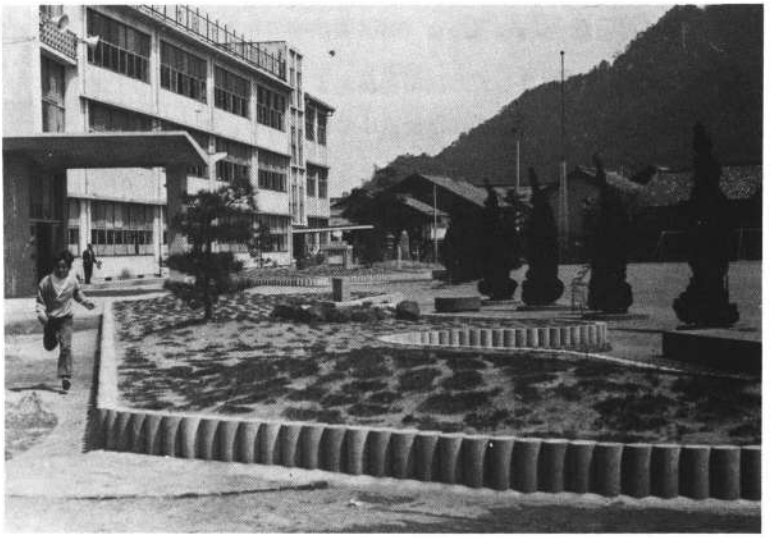
明るくじょうぶで
- よく考え　創造性
- 助け合い　社会性
- 力いっぱいやりぬこう　実践性

研究主題　創造性を培う学習指導（国語）

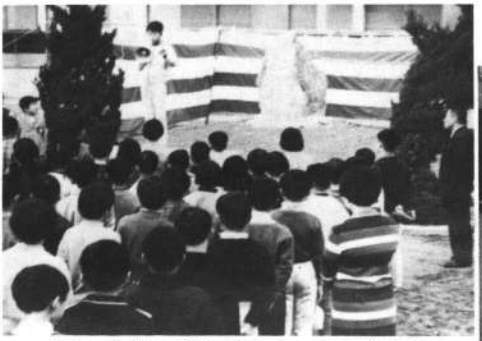
4．18　学習指導要領改訂移行の処置としてクラブ活動発足　5・6年全員　授業時間内にて指導
4．20　6年　万博見学　全職員引卒　バスにて日帰り
4．28　遠足
5．7　4年　海の学習　知多山田海岸
5．28　春のリレー大会
6．3　写生大会
6．25　祖父母の会
7．20　新通知表を作り使用する
7．22　6年　キャンプ　伊自良
9．27　運動会
10．6　6年　修学旅行　バスで奈良・京都
10．12　電灯を取りつける　2階両端の普通2教室
10．15　写生大会
10．27　遠足　バス利用
10．29　5年　市連合音楽会に出演
12．12　避難訓練
12．15　卒業記念として、グリーンベルトを改造し、友情の碑を建てる
3．2　サッカー大会
3．3　研究紀要刊行　創造性を培う学習指導
—文学作品の読み、作文指導—
3．25　卒業式
3．31　図書館への渡り廊下完成

校長	居波重邦
教頭	鷲見礼司

年	部	児童数	職員氏名
1	1	39	杉下喜美恵
	2	39	山下光子
	3	38	山田喜秋
	4	39	高橋久
2	1	42	林初子
	2	40	木村勝次
	3	42	浅野佳子
	4	41	東屋清子
3	1	41	浦崎浩二
	2	41	高木文子
	3	41	中村昭夫
	4	40	鈴木貞
4	1	38	小寺美和子
	2	38	武藤一男
	3	39	種田信子
	4	39	安藤勝
5	1	39	桑原仲子
	2	39	加川よし江
	3	40	安田昭二
	4	40	黄倉崔
6	1	38	森本孝一
	2	38	奥田孝朗
	3	38	渋谷静枝
	4	38	吉田あきゑ
教務			臼井正雄
市主事			遠山秀夫
養護			鹿島君子
事務			大野玲子
校務			黒川つね
〃			水谷次郎
給食			平光チエ
〃			中村操
〃			大島きし子
〃			鷲見光江
計	24	947	36



グリーンベルト改造完成
六年とそのＰＴＡ、職員
の手により竣工



６年、友情の碑を建てる　その除幕式

クラブ発足　　ソフトボールクラブ

伊自良で６年キャンプ

バドミントンクラブ

ゆくてを望んで　校長(昭46～　)吉岡　勲

私が金華小学校へ赴任したのは昭和46年4月からで、ようやく満2年になろうとしている。前任は長良小学校であり、若い意気盛んな職員の渦の中にいたので、転任してきてみると、熟練した仲間ばかりの学校で、前任校とは違ったおちつきを持っていた。児童の数も前任校の半分以下で、しかも年々過疎地域としての減少を見つつあったため、新しい刺激にむせることも無い穏かさが漂っていた。長良川の川筋ひとつ隔てただけで、非常に違うものだとの印象を持った。特に目立った違いは、家に祖父母の多いことであった。祖父母学級を開いたところ、250人の申しこみがあり、230人の出席が見られた。勿論、出席できなかった祖父母が、この他にいらっしゃる。校区は織田信長以降400年近い年月をほこる城下町である。城下町岐阜という場合は、金華校下をさす言葉である。こうした伝統と祖父母、父母の庇護のもとに、あたたかく育っている児童たち。そして一面、都心部であるがために過疎にあえごうとする地域性。そうしたものを踏まえながら、全職員と力をひとつにして、どうした児童に育てたらよいか、それが私の課題であった。

私は気力に溢れたたくましい児童をつくりたかった。児童らの、これからの50年、60年を思いやると、想像さえ出来ないような新しい社会現象に次々とぶつかってゆくに違いない。そうした世の中に対処し、乗切ってゆくには、みがかれた洞察力と、旺盛な気力を必要とする。現在的知識の獲得量などは、ほとんど問題にならないはずだ。明日に生きる児童は蓄えた知識の量にすがるのでなくて、切り開くのであるから、未踏の天地へふみだしてゆく態度と能力を身につけさせねばならない。

そして、そうした児童の態度は教師のかまえを中心として同化され育ってくるものだから、教師自身が日々に新しくならねばならない。それは年令の老少の問題ではなくて、教師の心がまえの問題である。そこで、先生方には、自分自身の研究テーマを持ち、それを日々にみがいていってもらうように頼んだ。教師が昨日よりは今日、今日よりは明日と、日々新しくなってゆくひとであれば、その学級のこどもの姿勢が一学期・一ヶ年のうちには変ってくるはずである。私は一方教える側にそうした期待を持ちながら、他面、こども自体の生活を、安住している軌道からはずし、自身の力でふき出させていきたいと考えた。

ところが赴任して、初夏となった7月、学校のプールで水泳指導の授業中に1年生の加藤哲也さんが不幸にも亡くなるという事故が発生した。私は40年の教員生活の間に、児童の死にも直面したし、校舎の火災にも遭遇してきた。でも、この水泳事故は私にとって痛惜、言葉もないわけで、私は心から亡きひとに哀悼のまことを捧げる。この事故は私が学校経営に対して所信をひろげようとした矢先のことだったので、私は改めて自身に周到な配慮を再省し三省せずには居られなかった。

金華小学校の児童は、いいつけについては従順であるが、自分から進んで計画しうちこんでゆく気力が乏しいきらいがある。これを集団的な遊びや作業によって全面的にきたえたいと考える。また自分の足場をかためて、その上で発言してゆく気力が乏しい。他からきいたこと、本にかいてあったことをオームがえしして満足しやすい。この二つを学習に、作業に、話し合いに取上げて、きたえてゆきたい。そこに父母や祖父母の期待にこたえ得るこどもが育つと思っている。

金華小百年の歴史をふりかえると、尾張藩の出張所の建物をつかって発足した日から金華小学校は、校名も変り、合併もし、校地も異動してきたものの、岐阜市の最も中心となる学校のひとつとして、今日まで続いてきた。これは数多くの教師と児童が、光栄ある金華小学校の名をけがすまいと、戒しめあい、励まし合ってきた結果であって、今日の金華小学校が偶然に出来上ったのではない。更に校区の人々の心からの支えがあって、今日がもたらされたのである。

私どもは、はるか百年をかえりみて、その努力を偲ぶと共に、現在及び将来の金華小学校をひとり伝統に埋もれるのではなく、不死鳥のようによみがえる新しさを求めてゆきたい。将来、金華小学校へ赴任してこられる方々のために、私どもは、伝統に生きるとは、ふるびてくる血を日々に新しくすることであると銘じて、かぎりない発展を期待するものである。

空より見た本校　　昭和46年5月

昭和46年度

岐阜市立金華小学校

教育目標　なかまのしあわせのために

明るくじょうぶで
- よく考え　創造性
- 助け合い　社会性
- 力いっぱいやりぬこう　実践性

研究主題　創造性を培う学習指導(作文)

4．6　学習指導要領が改訂され、新教科書に変り、クラブ活動を授業時間中に行うことになる
4．27　遠足
5．4　家庭訪問始まる　午后、5日間
5．21　写生会
5．25　4年　海の学習　知多山田海岸
5．31　春のリレー大会
6．23　避難訓練
7．8　第2時体育(水泳)の授業中、1年2部加藤哲也君が心臓マヒにて死亡
7．17　加藤哲也君の慰霊祭を講堂にて行う
7．20　終業式
8．8　5・6年　学校で合宿　1泊2日
8．27　始業式
8．31　台風23号接近のため臨時休校　被害なし
9．20　東校舎の南側に金網完成
9．23　避難袋使用訓練
10．3　運動会
10．14　6年　修学旅行　奈良・法隆寺
10．19　遠足　バスにて
10．28　市連合音楽会に4年出演
12．13　公民館落成式挙行
3．6　給食室のボイラー・煙突を新品と取りかえる
3．24　卒業式　刊行、創造性を培う学習指導(作文)

校長	吉岡　勲
教頭	鷲見礼司

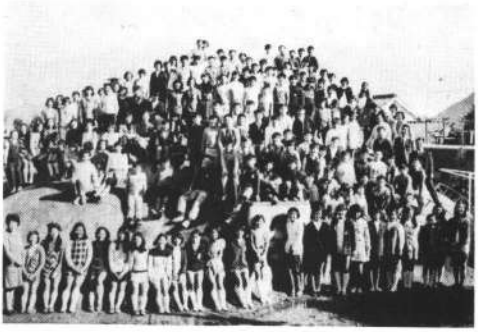
年	部	児童数	職員氏名
1	1	37	奥田孝朗
	2	38	種田信子
	3	37	浅野佳子
	4	37	島塚ゆきの
2	1	38	杉下喜美恵
	2	38	加藤宏曜
	3	37	渋谷静枝
	4	38	吉田あきゑ
3	1	39	林　初子
	2	40	武藤一男
	3	39	深尾美代子
	4	40	片野雅夫
4	1	38	浦崎浩二
	2	39	高木文子
	3	38	東屋清子
	4	40	臼井正雄
5	1	39	森本孝一
	2	38	加藤明子
	3	39	高橋　久
	4	39	鈴木儁子
6	1	38	桑原仲子
	2	39	加川よし江
	3	39	木村勝次
	4	36	黄倉　崔
教務			山田喜秋
養護			鹿島君子
事務			大野玲子
校務			黒川つね
〃			水谷次郎
給食			野田春江
〃			鷲見光江
〃			道家節子
〃			田中静香
計	24	920	35

クラブの時間ができる

最近のめざましい生活、文化の向上、社会情勢の進展に対処し、将来わが国を背負う国民の教育の基礎を一層充実するため、学習指導要領が新しく作られた。

新学習指導要領　　43年7月11日公示
　　46年4月1日実施

- 教育課程を3領域とする
  （各教科・道徳・特別活動）
- クラブ・学級指導の時間を特設する



仲よしの丘につどう全6年

新聞クラブ

料理クラブ

体操クラブ

バレーボールクラブ

昭和47年度

岐阜市立金華小学校

教育目標　なかまのしあわせのために

明るく健康で
- よく考え
- 助け合い
- 力いっぱいやりぬこう

研究主題　こどものひとりひとりにしみいる研究・実践

4．6　始業式、7日入学式
4．27　春の遠足
5．4　家庭訪問始まる　午后、5日間
5．15　沖縄返還さる　16日4年海の学習　知多の山田
5．19　写生会　愛鳥週間につき6年巣箱つけ　金華山で
5．27　ＰＴＡ廃品回収　28日校下市民運動会
6．3　避難訓練　孔雀が卵を生む
6．5　ＰＴＡ祖父母の会　11日父親参観日
6．21　放送設備を新品と取りかえる
7．10　短縮授業開始　11日ＰＴＡが児童へ球を贈呈
7．20　第1学期終業式
8．22　3階の各教室に電灯取りつけて全教室完了した
8．28　第2学期始業式　夏休み作品展始まる　6日間
9．14　体育館建設のため講堂取りこわし始まる
9．18　5年野外教育　椿洞畜産センター　1泊2日
9．24　創立百周年記念大運動会
10．5　6年　修学旅行　奈良・法隆寺　体育館地鎮祭
10．13　親子体育、学年毎に実施
10．27　3年市連合音楽会に出演
11．6　遠足　16日 交通教室　自転車の乗り方
12．26　第2学期終業式
1．8　第3学期始業式　2月5日より　百周年記念展覧会
3．24　卒業式
3．25　創立百周年記念式典挙行

校長	吉岡　勲
教頭	鷲見礼司

年	部	児童数	職員氏名
1	1	46	加川よし江
	2	45	奥田孝朗
	3	44	松尾房子
2	1	37	浦崎浩二
	2	36	高木文子
	3	36	浅野佳子
	4	36	小見山佳子
3	1	37	加藤宏曜
	2	37	種田信子
	3	36	幅　岳志
	4	37	島塚ゆきの
4	1	39	杉下喜美恵
	2	36	武藤一男
	3	35	深尾美代子
	4	38	片野雅夫
5	1	39	林　初子
	2	38	黄倉　崔
	3	39	桑原仲子
	4	36	森井俊介
6	1	39	林　伸一
	2	37	加藤明子
	3	39	高橋　久
	4	38	鈴木儁子
教務			森本孝一
養護			鹿島君子
事務			大野玲子
校務			黒川つね
〃			水谷次郎
給食			野田春江
〃			鷲見光江
〃			道家節子
〃			田中静香
計	23	880	34

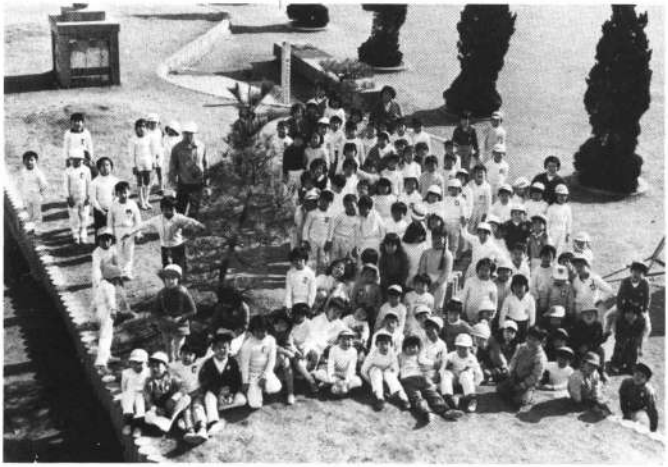
講堂　体育館に改築される前の姿

講堂内部　五月に行われたＰＴＡ総会

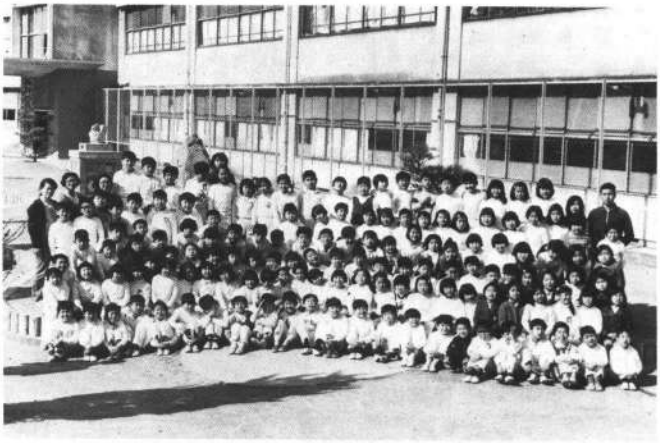
創立百周年記念大運動会

小鳥の巣箱つけ　金華山で

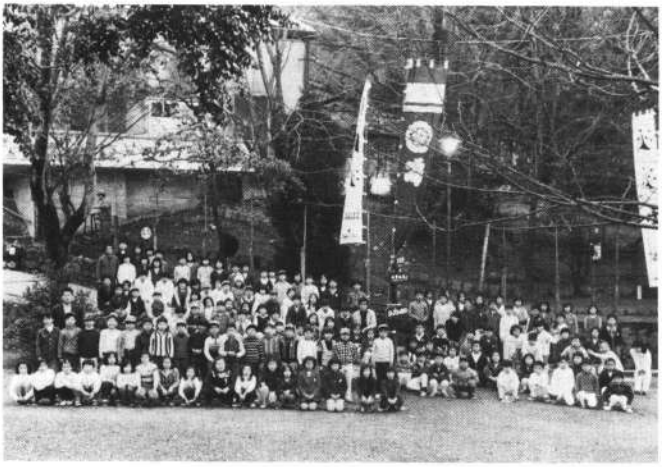
廃品回収　金華小ＰＴＡの見事な活動ぶり



玄関の東で一年全



運動場で二年全



岐阜公園で三年全

芝生の上で四年全

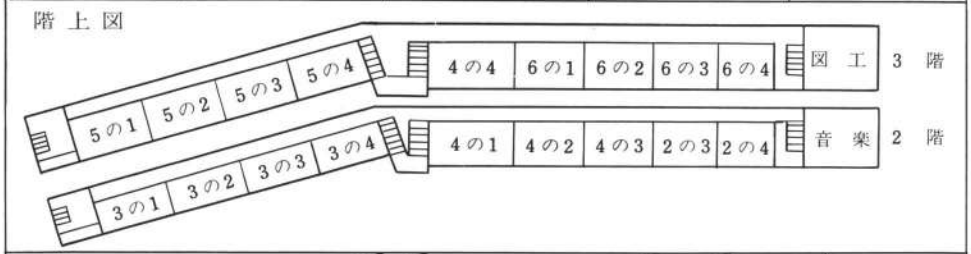
総合運動場で五年全

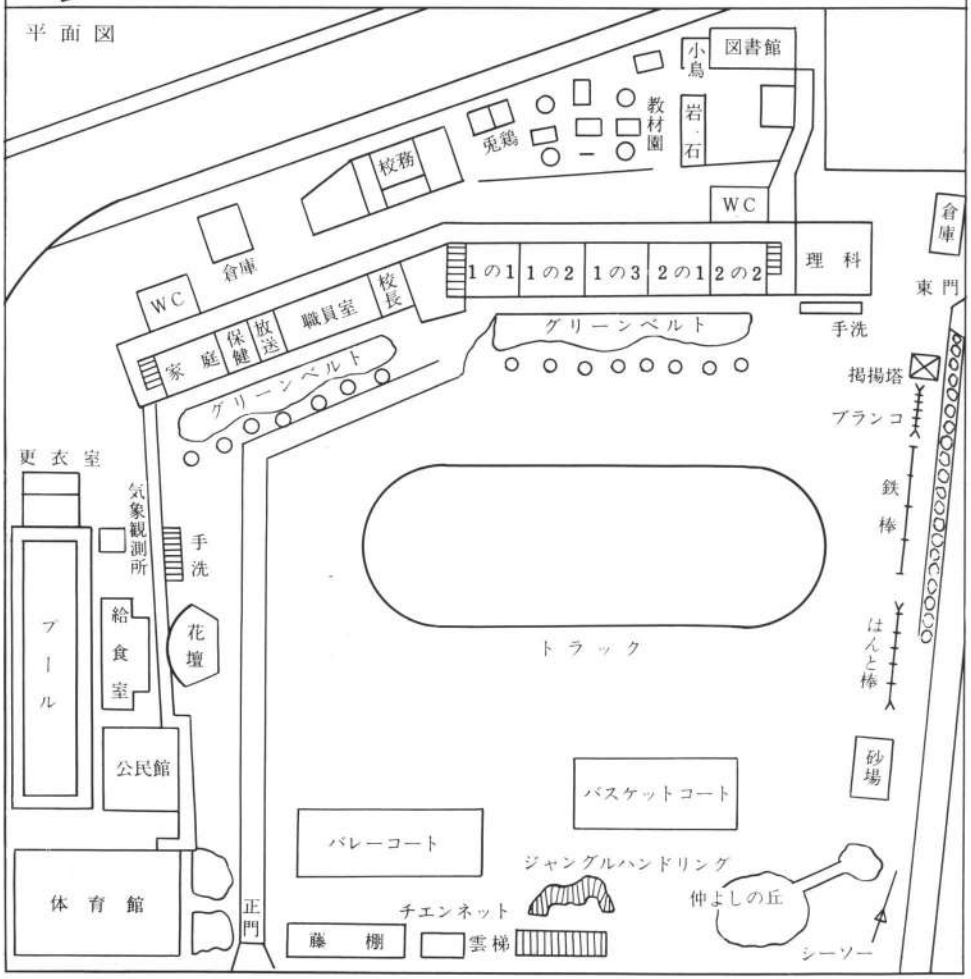
仲よしの丘で六年全

校地・校舎

昭和47年度

	校　地	校　舎	体育館	運動場
面　積	14,790㎡	2,800㎡	720㎡	7,977㎡





沿革年表

(　)内は富茂登学校

創立	西暦	年度	校名	概要	学級数	児童数	卒業生数	校長名
1	1873	明治6	大観舎（有道義校）	明治6年2月米屋町の尾張藩の旧役所を仮校舎にして開校、大観舎と称す（明治6年2月7日御手洗に有道義校開校）				
2	74	7	金華学校 伊奈波学校	4月校舎2階建2棟新築、1つは男子を収容し金華学校、1つは女子を収容し伊奈波学校と称す。		金華学校 伊奈波学校		吉田　伝次 説田孫三郎
3	75	8	〃					吉田　伝次
4	76	9	〃					〃
5	77	10	〃					〃
6	78	11	岐阜学校	7月校舎1棟を2階建に改築、金華、伊奈波の名称を廃して岐阜学校と称す。				味岡　正義
7	79	12	〃					〃
8	80	13	（富茂登学校）	（有道義校の名称を廃して富茂登学校と称す）				〃
9	81	14	〃	5月教則綱領公布により今までの下等、上等の二科を初等、中等、高等の三科とす。				〃
10	82	15	〃					安藤幸之助
11	83	16	〃					〃
12	84	17	〃					〃
13	85	18	〃					〃
14	86	19	岐阜尋常小学校	11月小学校令公布により岐阜尋常小学校（南北舎、現本校）と岐阜高等小学校（中舎、現京町小）とに分立す				〃
15	87	20	〃					稲垣　知剛
16	88	21	〃					〃
17	89	22	〃					〃
18	90	23	〃			741		〃
19	91	24	〃	10月28日午后3時濃尾大震災、校舎焼失、12月1日円龍寺にて午前午后に分け授業開始		680	128	〃
20	92	25	〃	4月25日米屋町に北舎竣工し円龍寺より移る。9月13日暴風雨のため屋根吹きとび18日まで臨時休業す	8	585	122	〃

〈　〉内は富茂登学校

創立	西暦	年度	校名	概要	学級数	児童数	卒業生数	校長名
21	1893	明治26	岐阜尋常小学校	9月28日中舎南舎竣工、岐阜高等小学校は鷲谷へ移転、　2月12日校舎落成式挙行	8	708	152	稲垣　知剛
22	94	27	〃	1月21日唱歌、裁縫を増科目とす	12	713	150	〃
23	95	28	〃			581	133 (39)	榎本　利通
24	96	29	〃		11	573	108 (33)	〃
25	97	30	〃			550	161 (36)	〃
26	98	31	〃		10	521	120 (50)	〃
27	99	32	〃		11	627	185 (58)	佐々木　喜一郎
28	1900	33	〃	4月1日学級の名称を第○学年第○部と改称す	10	601	85 (28)	〃
29	1	34	〃	4月1日裁縫専修科を廃止す	11	694	134 (30)	山岡　清
30	2	35	〃	10月8日校門建設（石柱、鉄扉）	13	694	152 (38)	〃
31	3	36	〃		12	708	165 (42)	〃
32	4	37	〃		13		154 (33)	〃
33	5	38	〃	6月19日、日直を設く			152 (47)	〃
34	6	39	〃				159 (34)	加藤良次郎
35	7	40	〃	義務教育4ヶ年制最終年			158 (34)	関谷　国治
36	8	41	〃				0	〃
37	9	42	〃	4月1日教務教育6ヶ年に延長され尋常科第5学年を置く	15	810	0	〃
38	10	43	（富茂登合併）	4月1日富茂登小学校を合併し分教場をおく。6学年を置く。10月26日大工町新校舎一棟竣工し第3学年以上の児童を収容す			175	〃
39	11	44	〃	4月1日全児童を収容し、富茂登分教場を廃す 5月27日新校舎落成式挙行す	22		153	〃
40	12	大正元	〃	9月23日暴風雨のため南舎階上全部吹き払わる 3日間臨時休業、その後、約1ヶ月間二部授業を行う			169	〃

創立	西暦	年度	校名	概要	学級数	児童数	卒業生数	校長名
41	1913	大正2	岐阜尋常小学校	4月1日風害復旧工事竣工し普通授業を行う	22	1273	186	関谷　国治
42	14	3	〃		22	1316	180	〃
43	15	4	〃	5月17日火災により校舎校具全部焼失2日間臨時休業、12月13日北舎竣工　1月18日南舎竣工、普通授業に恢復	22	1359	190	〃
44	16	5	〃	2月28日電話新設（1092番）	23	1425	135	〃
45	17	6	〃	5月15日角力場を設ける	24	1492	157	〃
46	18	7	〃		25	1600	206	〃
47	19	8	〃		26	1677	200	〃
48	20	9	〃	12月15日北舎増築	26	1765	232	〃
49	21	10	〃	7月16日移転中の宿直、使丁室完成　9月26日暴風雨のため南舎階上吹き倒さる、2日間臨時休業	27	1697	243	〃
50	22	11	〃		26	1693	248	〃
51	23	12	岐阜市岐阜尋常高等小学校	4月1日高等科を併置し、岐阜尋常高等小学校と改称す。6月13日治療室、使丁室移築完成。9月1日南舎改築竣工。2月14日中舎竣工	28	1654	256	〃
52	24	13	〃	4月1日商業実務学校併設さる　9月8日東南の校地拡張完成（300坪）	28（5）	1620（242）	258（88）	〃
53	25	14	岐阜市金華尋常高等小学校	10月1日金華尋常高等小学校と改称す	25（6）	1533（254）	266（110）	〃
54	26	昭和元	〃	7月1日岐阜市金華青年訓練所併設さる	24（5）	1425（238）	242（99）	〃
55	27	2	〃		23（5）	1405（224）	231（95）	〃
56	28	3	〃	11月3日理科室に電気実験配線装置をなす	26（5）	1384（203）	247（87）	〃
57	29	4	〃	6月22日運動場南隅に非常用井戸を堀り散水用吸水ポンプのモートル備付をなす	25（5）	1380（224）	218（88）	〃
58	30	5	〃		25（6）	1389（248）	178（144）	〃
59	31	6	〃		26（4）	1437（193）	222（90）	加藤　気作
60	32	7	〃		27（4）	1509（218）	220（87）	〃

創立	西暦	年度	校名	概要	学級数	児童数	卒業生数	校長名
61	1933	昭和8	岐阜市金華尋常高等小学校	7月1日北舎裏にプール新設完成　9月8日奉安庫西南隅より東南隅へ移転　12月28日講堂竣工	28（5）	1539（253）	225（106）	加藤　気作
62	34	9	〃	2月16日　校旗樹立式を挙行	29（5）	1577（260）	257（128）	〃
63	35	10	〃	6月30日金華商業青年学校開設	28（5）	1635（249）	225（105）	〃
64	36	11	〃		30（4）	1575（244）	261（116）	〃
65	37	12	〃	8月衛生室拡張工事完成（紫外線浴槽を備える）	30（4）	1623（241）	260（106）	梅沢　英造
66	38	13	〃	4月20日講堂内東部に畳をしき柔道場とす	29（5）	1603（264）	265（113）	〃
67	39	14	〃	5月29日課外武道として第5学年以上に柔道、剣道(男子)薙刀(女子)を課す　9月7日校庭東方にはん登棒を設ける	28（5）	1607（288）	273（132）	〃
68	40	15	〃		28（6）	1569（292）	264（130）	〃
69	41	16	岐阜市金華国民学校	4月1日国民学校令発布により岐阜市金華国民学校と改称す　6月4日玄関西側に掲示場設置　3月31日金華商業青年学校廃校	28（6）	1571（285）	249（113）	〃
70	42	17	〃		28（6）	1586（269）	265（123）	〃
71	43	18	〃		27（7）	1546（253）	247（98）	〃
72	44	19	〃		27（7）	1608（249）	312（110）	〃
73	45	20	〃	7月9日岐阜市に大空襲があったが本校は無事　8月9日丹羽流一訓導長良川にて殉職す	29（5）	1684（240）	232（85）	〃
74	46	21	〃		30（4）	1756（227）	291（108）	後藤　弥三
75	47	22	岐阜市立金華小学校	4月1日岐阜市立金華小学校と改称す 11月30日育友会結成	31	1678	329	〃
76	48	23	〃	9月1日菜食だけの給食開始	33	1780	276	〃
77	49	24	〃	7月16日視覚教育研究発表会 3月10日健康教育発表会	34	1734	284	〃
78	50	25	〃	9月24日角力場完成	34	1738	236	〃
79	51	26	〃	8月26日給食室新築落成す 10月3日保健室の一部改築完成	34	1743	275	〃
80	52	27	〃	1月25日同窓会結成 3月1日創立80周年記念式、校歌制定	34	1689	284	〃

創立	西暦	年度	校名	概要	学級数	児童数	卒業生数	校長名
81	1953	昭和28	岐阜市立金華小学校	4月2日図書館落成す 玉堂画富士寄贈	32	1683	320	鷲見臣一郎
82	54	29	〃	6月1日豚の給食小屋完成	33	1737	297	〃
83	55	30	〃		33	1766	314	〃
84	56	31	〃	5月金華児童愛護会結成（17名）	32	1692	253	〃
85	57	32	〃	3月21日鉄筋4教室完成	32	1643	182	〃
86	58	33	〃	6月5日運動場撒水施設完成 2月15日鉄筋5教室完成	33	1687	265	〃
87	59	34	〃	1月16日鉄筋6教室と中央玄関完成	31	1605	365	〃
88	60	35	〃		28	1418	313	〃
89	61	36	〃	4月8日鉄筋9教室完成 3月20日鉄筋6教室完成	26	1266	261	林　貞二
90	62	37	〃	7月15日プール完成　12月10日グリーンベルト完成 校門改築　1月17日愛護会は全日本交通安全協会賞を受く	26	1179	218	〃
91	63	38	〃	4月1日育友会をＰＴＡと改称　11月16日創立90周年記念式典を挙行	25	1117	218	〃
92	64	39	〃	8月18日ＰＴＡ文部大臣表彰をうける 3月はん登棒完成	24	1043	188	太田　武夫
93	65	40	〃		24	1014	169	〃
94	66	41	〃	10月28日体育倉庫新築　11月20日丹羽先生碑除幕 1月18日仲よしの丘竣工	24	1016	184	〃
95	67	42	〃		24	896	158	〃
96	68	43	〃	12月1日教室にテレビ設置　1月8日給食室竣工 3月27日岩石園完成	24	951	158	松田　善逸
97	69	44	〃	10月17日職員女子便所増設　10月15日気象観測所完成　12月1日教室石油ストーブ設置　2月20日花壇完成	24	954	146	居波　重邦
98	70	45	〃	12月15日グリーンベルト改造完成 3月31日図書館への廊下完成	24	947	152	〃
99	71	46	〃	9月20日校舎東半分の南に金網完成 12月13日公民館完成	24	920	149	吉岡　勲
100	72	47	〃	8月22日全教室に電灯つく　創立百周年記念誌発刊、記念文集、記念植樹、記念展覧会、記念式典	23	880	153	〃

歴　代　職　員

岐阜尋常小学校

註・動静不明の方は本籍地を記載

職名	氏　名	在職期間	住所又は家族の住所( )内は備考
校長	吉田伝次	明7　～	(金華学校長)
校長	説田孫三郎	明7　～	(伊奈波学校長)
校長	味岡正義	明11　～	(岐阜学校長)
校長	安藤幸之助	明　～明20・3・31	(岐阜学校長)
校長	稲垣知剛(鈴吉)	明20・4・1～明27・5・26	岐阜県恵那郡岩村55
	飯田吉徳	明20・5・　～明24・11・20	岐阜市西加納長刀堀24
	辻　与三郎	明20・5・3～明25・3・31	岐阜市東加納町2丁目21
	土本作次郎	明22・9・23～明26・3・31	岐阜県山県郡梅原村42
	水谷芳司	明23・5・21～明24・4・30	岐阜市方県河渡
	奥村俊三	明23・8・20～明24・11・21	岐阜県可児郡平牧村大森185
	村瀬逞太郎	明　～明24・3・31	
	渡辺松太郎	明23・10・23～明24・11・30	岐阜県可児郡上之郷村謡坂2
	熊野喜助	明23・11・17～明24・3 明24・10・6～明24・11・21	岐阜県武儀郡通元寺村68
	小池忠晄	明23・12・　～明24・9・7	岐阜市西加納町4丁目33
	中島美三郎	明23・12・18～明24・11・21 明26・6・19～明27・6・16	岐阜県養老郡下石津・稲山6
	大橋保吉	明24・1・14～明24・8・20	大垣市東今岡町
幹事	朝田純一	明24・4・1～明26・5・8	岐阜市今泉
	荒深道太郎	明24・4・2～明24・11・21	岐阜県武儀郡西武芸村中洞134
	月岡哲之助	明24・4・2～明24・11・21 明25・4・1～明29・9・28	岐阜県郡上郡八幡町新立11
	山本忠治	明24・4・2～明24・9・22 明27・8・30～明34	瑞浪市釜戸町288
	青木善教	明24・5・1～明24・11・21 明25・2・5～明27・5・14	岐阜市日置江7
	吉田実之助	明24・8・　～明25・4・1	大垣市今岡17
	杉山保太郎	明24・9・7～明24・11・21 明25・6・15～明26・6・12	岐阜県郡上郡八幡町178
	竹内たい	明24・12・7～明25・2・5	名古屋市東桜町2丁目3
	水谷静吉	明24　～明28・8・15	岐阜県安八郡今尾町460
	西川文吉	明24　～明26・4・15	岐阜県本巣郡北方町180
	矢島圭二	明24　～明25・3・31	岐阜県加茂郡中川辺村

職名	氏名	在職期間	住所又は家族の住所( )内は備考
	櫛田すき	明24 ～明28・1・20	岐阜県可児郡久々利村6
	堀 半次郎	明24 ～明27	
	小幡勇治	明26・3・31～明28・4・13	瑞浪市土岐町588
	早川仁吉	明26・4・6～明27	
	福田綱吉	明26・4・21～明26・7・31	美濃加茂市伊深町103
	堀 晃	明26・5・20～明32・5・23	岐阜県恵那郡下原田村下村102
	杉山保三郎	明26・5・26～明26・6・12	
	五井一吉	明26・6・13～明27・6・30	岐阜県養老郡上石津・牧田311
	野々村文治	明26・9・11～明30・10・20	岐阜市方県・石谷75
	石寺孝太郎	明26・9・16～明27・8・31	岐阜県恵那郡飯羽間村89
	酒向利雄	明26・9・28～明27・11・20	岐阜県加茂郡川浦村27
	伊藤正敏	明26・10・5～明26・10・21	岐阜県恵那郡三濃村浅谷83
	正木義愛	明26・11・1～明43・8・9	岐阜市長良高嶺町
	杉山 巌	明26・12・5～明29・6・29	岐阜県不破郡今須村273
	岩佐とく(丹羽)	明27・4・1～明30・6・22	岐阜市梶川町53
	本多さと	明27・4・1～明27・10・18	
	中沢広太郎	明27・5・26～明27・8・25	京都府南桑田郡亀岡町突抜41
	中村愛之助	明27・7・2～明27・7・5	
	山内定次郎	明27・7・ ～明28・3・31	
校長	榎本利通	明27・7・18～明31・6・1	
	箕浦与三郎	明27・8・30～明28・12・20	
	安江田以吉	明27・10・9～明28・4・30	
	神山隆次郎	明28・2 ～明30・5・31	岐阜市西加納2丁目9
	伊藤延吉	明28 ～明29・4・15	
	大西 洋	明28 ～明28・6・7	
	日比野恭四郎	明28・4・1～明29・1・17	
	大野 宏	明28・4・1～明31・7・7	岐阜県山県郡
	小川格(堀口)	明28・4・1～明38・2・28	岐阜県本巣郡真正町上真桑(死亡)
	野田恒吉	明28・4・18～明29	
	中島順吉	明28・6・18～明28・10・31	

職名	氏名	在職期間	住所又は家族の住所( )内は備考
	所　初太郎	明28・8・8～明29・4・25	
	佐藤伝二	明28・11・9～明28・11・17	
	市川進一(長尾)	明29・1・13～明30・4・13 明33・9・28～大3・9・18	岐阜県本巣郡合渡町合渡(死亡)
	小西みき(松橋)	明29・10・8～明30・10・4	
	高橋鶴松	明29・2・4～明36・11・5	岐阜県本巣郡
	久世五百太郎(牧田)	明29・3・6～明44・6・21	岐阜市美園町3丁目(死亡)
	水谷真澄	明29・4・27～明30・4・29	岐阜県羽島郡南宿村
	鷹見秀夫	明29・9・15～明34・4・1	岐阜県恵那郡
	山本市太郎	明29・10・3～明35・1・31	岐阜市西加納3丁目35
	福井銭十郎	明30・4・29～明30・12・6	岐阜県武儀郡
	辻　智観	明30・6・6～明31・7・11	岐阜市長良福光46
	川島　操	明30・7・1～明32・4・10	岐阜市西郷・下西郷66
	松田利津	明30・7・1～明38・4・18	岐阜市長良287
	椙山正弐	明30・12・25～明31・3・31	美濃市上有知885
	森田万寿雄	明31・3・31～明32・4・17	岐阜県土岐郡
校長	佐々木喜一郎	明31・6・2～明33・5・21	岐阜県養老郡養老村五日市6
	大竹吉三郎	明31・7・7～明31・11・30	各務原市鵜沼533
	永井牛太郎	明31・7・26～明32・4・10 明33・3・31～明33・9・21	岐阜県武儀郡
	市川小左馬	明32・4・1～明33・4・30	岐阜市盤根町48
	横江末男	明32・4・10～明32・6・6	
	小島栄太郎	明32・4・15～明42・3・25	岐阜県羽島郡中屋村下中屋5
	板津錠太郎	明32・4・24～明35・3・31	各務原市鵜沼750
	太田惣之助	明32・4　～明32・11・30	岐阜県本巣郡根尾村奥谷15
	深沢鑿次	明32・6・7～明32・11・30	岐阜市西加納3丁目13
	佐藤周一	明32・11・29～明33・4・24	
	大竹金一郎	明33・4・30～明33・11・20	
校長	山岡　清	明33・5・24～明38・5・18	岐阜県羽島郡笠松町1057
	横山政右衛門	明34・3・26～明38・3・31	岐阜県羽島郡上羽栗村宮地31
	柴田秀四郎	明34・4・1～明34・6・10	岐阜県羽島郡駒塚村狐火101
	青木善吉	明34・5・28～大11・6・18	岐阜県本巣郡本巣町(死亡)

職名	氏　名	在職期間	住所又は家族の住所( )内は備考
	井深佳六	明34・6・21～明41・8・31	岐阜県揖斐郡富秋村稲富76
	笠井清三	明35・2・1～明35・7・31	岐阜市三輪北野201
	近藤信	明35・3・31～明39・3・31	岐阜県恵那郡下原田村湊原41
	伊藤祐吉	明35・3・31～明45・4・17	三重県員辨郡中里村上相場
	酒井清太郎	明35・9・11～明38・3・27	岐阜市長良志段見27(死亡)
	石田庄三郎	明36　～明37	大垣市
	藤田宗	明36・3・31～明42・3・31	
	樋口政章	明36・11・5～明37・4・30	岐阜市加納長刀堀
	渡辺志な	明38・3・31～昭元・12・31	岐阜市緑町
	春田きみよ(野田)	明38・4・1～大7・5・23	(死亡)
	安藤けい	明38・5・16～明43・1・12	岐阜市端詰町198
校長	加藤良次郎	明38・8・18～明40・4・13	岐阜県恵那郡苗木町瀬戸
	小寺太郎	明38・12・25～明40・6・30	岐阜県武儀郡富之保村241
	上松啓次郎	明39・3・31～明40・10・31	岐阜市市橋爪25
	野田まさ	明40・3・31～明41・3・31	岐阜市下加納101
校長	関谷国治	明40・5・28～昭6・3・31	岐阜県本巣郡本田村本田(死亡)
	小栗卓爾	明40・9・4～明41・9・16	岐阜県恵那郡苗木町苗木3141
	武藤久吉	明40・11・4～昭4・3・31	(死亡)
	曽我ふみ	明40・11・30～明41・1・22	
	佃野増五郎	明41・3・31～明43・4・28	岐阜県揖斐郡大和村房島
	松原郁郎(坪内)	明41・8・31～大14・6・11	岐阜市本郷町3丁目4(死亡)
	近藤卯三郎	明41・9・2～昭2・3・31	岐阜県羽島郡佐波村高桑(死亡)
	細田とみ	明41・10・19～明43	
	杉原亮治(堀口)	明42・3・31～大2・6・5	岐阜市早田町1丁目
	桜井よね	明42・3・31～大3・1・19	三重県鈴鹿郡深伊沢村深溝
	渡辺佐太郎	明42・3・31～明45・4・9	岐阜県羽島郡岐南町下印食(死亡)
	清水つね(野々村)	明42・4・8～大2・5・22	岐阜市下竹町109

富茂登尋常小学校

建部松三郎

職名	氏　名	在職期間	住所又は家族の住所( )内は備考
	髙橋清松	明25　～	
	伊藤晴湖	明26・4・1～明30・3・31	岐阜市港町
	土本作次郎	明26・4・1～	岐阜県山県郡梅原村42
校長	矢島圭二	明29　～明38	岐阜県加茂郡中川辺村
	浅井鉄次郎	明29　～	
	小森実弥	明29　～	
	吉田　章	明29　～	
	小林一郎	明29　～	
	小沢竹三郎	明30　～明30・9・30	
	杉山保三郎	明30・6・15～明36	岐阜県郡上郡八幡町178
	熊沢文吾	明30・10・1～	
	田中　稔	明30　～	
	樋口	明34　～	
	野原	明34　～	
	奥村徳三郎	明36　～	
	田宮新一	明36　～	
	細野宇一	明37　～明39	
	森崎	明37　～	
	横山	明37　～	
	野田	明37　～明39	
	河村直也	明39・10・17～大12・3・31	岐阜市長良福光8（死亡）
校長	山田京松	明39　～明40	
校長	上松啓次郎	明40・10・31～明42・4・30	岐阜市市橋爪25
	矢島　利	明40・3・31～明44・3・31	岐阜市美園町3丁目
	井上造一	明41・2・18～明42	岐阜市鏡島江寄94
	林　清吉	明41・7　～明42・7・21	岐阜県揖斐郡大野町牛洞
	藤田　宗	明42・3・31～明42・10・26	三重県員辨郡十社村下平
校長	福田鹿之助	明42・6・26～大12・3・31	岐阜県加茂郡太田町66
	大沢竹治郎	明42・9・30～明43・3・31	岐阜県本巣郡船木村美江寺
	岸　嘉兵衛	明42・11・22～大3・3・31	岐阜県加茂郡蜂屋村中蜂屋

職名	氏　名	在職期間	住所又は家族の住所( )内は備考
	小林ひさを	明43・1・11～明43・4・20	岐阜市七軒町339

岐阜尋常小学校

	太田仙治(山本)	明43・3・31～大8・3・31	岐阜県揖斐郡大和村上南方
	日比野とく	明43・3・31～大2・1・9	岐阜市下今町712（死亡）
	小里勲	明43・3・31～明45・4・30	岐阜県揖斐郡大野町黒野
	大岩藤市	明43・3・31～明44・5・4	岐阜県揖斐郡小島村上野
	河野銀治	明43・4・9～明44・3・31	岐阜県揖斐郡大野町古川(死亡)
	宮崎えつ	明43・4・20～明44・4・7	岐阜市米屋町26
	長田花枝（堀）	明44・1・10～大11・3・31	大阪市
	岩間勘四郎	明44・3・31～大2・5・2	岐阜県揖斐郡北方町2051
	杉山澤平	明44・4・9～昭7・3・31	岐阜県本巣郡真正町下真桑神明(死亡)
	内田りょう	明44・5・25～明44・9・26	岐阜県恵那郡遠山村久保原(死亡)
	河村亨	明44・5・28～大4・8・31	岐阜県本巣郡文殊村117
	河村農夫吉	明44・10・31～大11・3・25	岐阜県武儀郡東武芸村宇多院(死亡)
	尾頭信一	明44・11・7～明45・8・31	岐阜市笹土居町207
	川村鍈一	明45・3・31～昭7・8・1 昭12・3・31～昭15・7・31	岐阜市北野町64(死亡)
	野村宗男	大元8・31　～大3・12・15	高山市城坂町
	五十川茂登	大2・1・17～大5・3・30	岐阜県揖斐郡池田村六ノ井
	木村省吾	大2・3・21～大5・4・11	岐阜市美園町1丁目
	太田泰治郎	大2・3・31～大4・6・30	各務原市那加町新加納
	安達為松	大2・5・7～大5・10・11	岐阜市大宮町1丁目(死亡)
	宮崎多称	大2・5・24～大2・9・19	岐阜市米屋町46
	傍島昌次	大2・6・5～大4・6・4	京都市
	田中すゑ	大2・9・9～大13・3・31	岐阜県養老郡広幡村口ヶ島（死亡）
	宗宮きし	大3・3・24～大4・10・7	岐阜県揖斐郡大和村房島（死亡）
	田辺ひさ（井川）	大3・6・25～大11・12・31	岐阜市上大久和町（死亡）
	山本幸七	大4・3・25～大9・3・20	岐阜市西野町2丁目（死亡）
	石川清流	大4・3・31～大6・10・10	岐阜市金屋町2丁目（死亡）
	堀文一	大4・3・31～大6・3・31	岐阜県養老郡日吉村宇田（死亡）

職名	氏　　名	在　職　期　間	住所又は家族の住所( )内は備考
	林　　み　称	大4・3・31～昭6・3・31	岐阜市忠節町2丁目
	渡　辺　　廉	大4・6・30～大6・2・1	岐阜県羽島郡八剣村下印食
	篠　田　美　和	大4・12・23～大6・3・31	岐阜市芥見
	森　　藤　吉	大5・3・31～大9・2・27	岐阜市端詰町432
	山　田　文　子	大5・3・31～大10・11・30	岐阜市忠節町1丁目
	永　田　正　三	大5・4・11～大8・3・14	岐阜市瓦屋町34(死亡)
	遠　藤　清九郎	大6・1・13～大12・7・14	東京都立川市錦町2の30(死亡)
	関　谷　広　蔵	大6・3・31～大8・3・31	岐阜県本田村本田(死亡)
	鳥　沢　貫　一	大6・3・31～大14・10・6	岐阜県山県郡伊自良村大森(死亡)
	纐　纈　武　一	大6・3・31～昭6・3・31	岐阜市下川手2124(死亡)
	五島　静(永田)	大6・3・31～大11・3・31	各務原市前宮町前渡
	中　村　　保	大6・11・7～大9・3・31	関市常盤町54番地(岐阜南高)
	奥　田　泰　境	大7・3・31～大7・6・18	関市桜木町(死亡)
	渡　辺　隆　徳	大7・5・24～昭14・3・31	関市千疋(死亡)
	三　浦　スエヲ	大7・5・31～大8・6・30	滋賀県滋賀郡膳所町錦
	白　木　豊　司	大8・3・31～大9・3・31	岐阜県本巣郡真正町真桑
	柳　原　憲　一	大8・3・31～昭12・3・31	岐阜市長森、細畑
	高　野　憲　治	大9・3・31～昭8・3・31	岐阜市真砂町5丁目
	林　　貫治郎	大9・3・31～昭15・3・31	岐阜市長良(死亡)
	今　川　幸　市	大9・3・31～昭12・3・31	岐阜市米屋町4(死亡)
	河　野　躬　之	大9・3・31～大12・11・13	岐阜市万力町10(死亡)
	土　方　寿美恵	大9・3・31～大14・3・31	鎌倉市雪ノ下
	高　木　け　い	大9・4・30～大10・11・31	大垣市東長町
	永　田　甚　吉	大10・3・31～大14・3・31	岐阜市市橋
	北　川　つ　る	大10・3・31～昭3・8・31	岐阜市島池の上(死亡)
	内　木　たまゑ	大10・12・5～大13・3・31	岐阜市中竹屋町
	渡辺たか(伊藤)	大11・1・26～大12・1・31	岐阜市北長森野一色(死亡)
	桜　井　良　治	大11・3・31～昭3・3・31	関市側島(死亡)
	佐　藤　とみせ	大11・3・31～大13・8・31	岐阜市厳美岩井
	杉　山　貞　子	大11・3・31～昭17・3・31	羽島郡岐南町三宅(死亡)

職名	氏名	在職期間	住所又は家族の住所( )内は備考
	赤塚重次郎	大11・6・30～昭8・3・31	岐阜市茜部町73番地
	正木清作	大11・8・31～昭14・3・31	岐阜市長良天神3の11(死亡)
	宇野志ん	大11・11・8～大15・8・31	各務原市那加東町
	山田義三郎	大12・3・31～昭17・3・31	岐阜市忠節町1丁目
	青木時三郎	大12・3・31～昭13・10・15	岐阜市梅林南町4(死亡)
	藤谷静	大12・3・31～昭15・3・31	岐阜市松ヶ枝町(死亡)
	小池貞子	大12・3・31～大13・3・31	岐阜県可児郡池田村池田町屋
	市原田鶴子	大12・3・31～大13・3・31	岐阜県加茂郡川辺町上川辺
	福田美稲	大12・3・31～大14・3・31	東京都青梅市青梅町413
	野中富吉	大12・10・3～昭12・3・31	岐阜県本巣郡本田村本田(死亡)
	栄マツ	大13・3・12～大15・3・31	岐阜市朝日町(死亡)
	高崎甚一	大13・3・31～昭5・9・5	岐阜市菊井町46
	翠精一	大13・3・31～昭6・3・31 昭14・6・28～昭20・1・31	岐阜県本巣郡糸貫町三橋(死亡)
	鵜飼由己	大13・3・31～昭10・3・31	岐阜県本巣郡糸貫町仏生寺351
	西村時二	大13・3・31～昭12・3・31	岐阜県山県郡大桑村(死亡)
	加藤雄	大13・3・31～大14・3・31	愛知県東春日井郡瀬戸町2206
	可児良行	大13・3・31～昭15・3・31	岐阜県可児郡可児町塩河1584
	篠田多弥	大13・3・31～大15・1・31	岐阜市長良校前町3
	加藤はる(波良)	大13・3・31～大15・1・31	多治見市小田町6の35
	窪田薫	大13・9・15～昭4・3・31	岐阜県揖斐郡北方町
教頭	富田幸治	大14・3・31～昭21・3・31	揖斐郡揖斐川町房島(富田女子高校長)
	川村かつ	大14・3・31～昭17・3・31	岐阜市大宮町二丁目
	野原きみ	大14・3・31～昭15・3・31	岐阜市本町2(死亡)
	河合佐治	大14・8・15～昭8・3・31	東京都世田谷区上野毛1－7－20
看護婦	三輪好恵	大14・10・26～昭15・9・30	岐阜県養老郡時村上751
	沢田三鶴	大14・11・6～昭14・3・31	岐阜市長森野一色252番地の1
	森かな(宮脇)	大15・1・19～昭4・10・31	愛知県安城市桜町15－40
	堀口ます	大15・8・31～昭2・4・6	岐阜市矢島町2丁目(死亡)
	馬淵敏男	昭2・3・31～昭6・6・13	岐阜県本巣郡鷺田村中之宮
	杉村富美子(河村)	昭2・3・31～昭9・3・31	一宮市萩原町高木字蟹子770の5

職名	氏　　名	在　職　期　間	住所又は家族の住所( )内は備考
	小塚志げ子(池田)	昭2・8・15～昭13・3・26	神奈川県藤沢市日ノ出町
	日野いま(賀島)	昭3・3・31～昭8・3・31	関市春日町(死亡)
	中　島　貞　雄	昭4・2・15～昭13・3・31	岐阜県海津郡平田町三郷
	野田ひで(馬淵)	昭4・3・31～昭12・3・31 昭15・3・31～昭20・4・30	岐阜市大池町6
	大　野　な　つ	昭4・3・31～昭9・3・31	岐阜市本郷町6丁目13
	高崎八重の(山口)	昭4・3・31～昭6・3・31	岐阜市菊井町46
	松　原　英　子	昭4・10・31～昭17・8・31	岐阜市徹明町2丁目
	高　木　須摩子	昭5・3・31～昭10・12・31	岐阜市六条731の9
	山本敏彦(白井)	昭5・10・3～昭15・3・31	関市吉田町22
	亀　山　幸　造	昭6・3・31～昭16・3・31	岐阜市金園町2丁目
	大　野　　隆	昭6・3・31～昭18・7・12	岐阜市本郷町6丁目13
校長	加　藤　気　作	昭6・3・31～昭12・7・10	岐阜市益屋町(死亡)
	藤　根　千　草	昭6・3・31～昭9・7・1	岐阜県山県郡谷合村加羅(死亡)
	岡崎　操(村山)	昭6・9・5～昭7・3・31	岐阜市徹明町2丁目12
	伊　藤　一　郎	昭7・3・31～昭14・3・31	岐阜県羽島郡柳津町本郷225
	野　田　　茂	昭7・3・31～昭16・3・31	岐阜県羽島郡足近村北宿
	仁　科　品　子	昭7・3・31～昭18・3・31	岐阜市長良松籟町2
	野　田　　満	昭8・3・31～昭20・3・31	岐阜市岩崎
	宮　崎　定　一	昭8・3・31～昭13・3・31	岐阜市高野町1丁目8
	渡　辺　一　江	昭8・3・31～昭27・3・31	岐阜市常盤町6
	市　川　保　房	昭8・3・31～昭12・3・31	岐阜県恵那市東野151(死亡)
	田　中　　桂	昭8・10・31～昭17・3・31	各務原市前渡西町1177の1
	大野司馬(酒向)	昭9・3・31～昭15・3・31	岐阜市長良南陽町2の9
	金　武　有　一	昭9・3・31～昭12・3・31	各務原市蘇原伊吹町1790
	信　田　美樹子	昭9・3・31～昭9・12・31	岐阜県高富町高木
	河合ゆき(高柳)	昭9・3・31～昭11・12・31	岐阜市長良宮口町1丁目
	川　上　千　歳	昭9・12・31～昭17・8・31	岐阜市三笠町1丁目
	長　瀬　久　米	昭11・1・21～昭11・3・31	岐阜市早田(死亡)
	洒　向　長　重	昭11・3・31～昭16・9・22	岐阜市長良桜井町2丁目6(死亡)
教頭	水　谷　意　啓	昭12・3・31～昭19・3・31	岐阜市元浜町

職名	氏　名	在職期間	住所又は家族の住所( )内は備考
	中村又一	昭12・3・31～昭18・3・31	岐阜市長良太平町(白山小長)
	中根雄次郎	昭12・3・31～昭17・3・31	岐阜市若宮町7の3
	香田龍一	昭12・3・31～昭14・3・31	岐阜県揖斐郡北方村1267(死亡)
	山本すゞ子(苅谷)	昭12・3・31～昭18・3・31	岐阜県羽島郡中屋村上中屋1321
	曽根寿美子(河村)	昭12・4・6～昭14・3・31	岐阜県本巣郡本巣町文殊1091
校長	梅沢英造	昭12・7・10～昭21・3・31	埼玉県鳩ヶ谷市坂下町3の23の19(死亡)
	小島仙一	昭13・3・31～昭16・3・31	岐阜市若宮町2丁目15
	寺町百助	昭13・3・31～昭21・3・31	岐阜県本巣郡糸貫町屋井(巣南中小長)
	梅田みさを	昭13・3・31～昭15・8・31	岐阜市梅林南町18
	岡本す江子	昭13・3・31～昭16・3・31	岐阜市長良幸和町2丁目
	中村　花	昭13・4・11～昭14・3・31	関市千疋84番地(死亡)
	高橋　チュウギ	昭13・6・23～昭13・8・31	山形県最上郡新庄町五日町170
	松原秀雄	昭14・3・31～昭14・8・29	岐阜市早田555(死亡)
	森　英二	昭14・3・31～昭15・3・19	岐阜市加納鉄砲町2の5
	浅野信夫	昭14・3・31～昭16・3・31	岐阜市早苗町7
	山本正蔵	昭14・3・31～昭18・3・31	岐阜市早田橋本
	佐合久一郎	昭14・3・31～昭16・3・31	岐阜市早田東町7－28(大垣北高)
	田中とみ子	昭14・3・31～昭20・3・31	岐阜市瓦屋町49
	臼井義保	昭14・4・10～昭14・6・1	愛知県豊橋市花田町西郷43
	小川田鶴子(草野)	昭14・10・10～昭17・3・31	岐阜市元町2(コロンビア学院長)
	有元喜美子	昭14・10・31～昭15・3・31	岐阜市加納安良町61
	堀　重教	昭15・3・31～昭16・9・18	岐阜市加納長刀堀1丁目
	田口耕作	昭15・3・31～昭20・3・31	加茂郡東白川村神土中谷3603の2
教頭	朝居稚夫	昭15・3・31～昭31・3・31	岐阜市市橋西之庄692(死亡)
	梅田隆夫(安藤)	昭15・3・31～昭22・4・20	岐阜市梅林南町18
	野村秀一	昭15・3・31～昭20・10・31	岐阜市元宮町2丁目
	平野静江	昭15・3・31～昭21・3・31	岐阜市芥見
	柳田　敏	昭15・8・31～昭20・3・31	岐阜市加納長刀堀3丁目
看護婦	山田すて	昭15・9・30～昭20・9・30	岐阜市北一色
	大島道栄	昭15・12・31～昭18・3・31	恵那市中津町

職名	氏　名	在職期間	住所又は家族の住所( )内は備考
教頭	長柄保夫	昭16・3・31～昭23・3・31	揖斐郡揖斐川町大字三輪571
	安田精一	昭16・3・31～昭21・3・31	岐阜県安八郡和合村津200
	後藤繁雄	昭16・3・31～昭23・12・11	岐阜市長良940(死亡)
	川島敏郎	昭16・3・31～昭21・4・15	岐阜市打越(北方町都築紡績高校)
	福田正己	昭16・3・31～昭25・3・31	岐阜県養老郡広幡村岩道167
	山田富子	昭16・3・31～昭17・12・31	岐阜市吉野町6丁目12
	村瀬みつの	昭16・3・31～昭20・7・31	岐阜市志段見141(死亡)
	佐藤秋子(谷口)	昭16・9・30～昭17・5・31	岐阜市蕪城町8
	五十嵐雪子	昭16・9・30～昭19・11・30	岐阜市佐久間町1
	渡部たつ子	昭17・1・31～昭17・6・30	香川県高松市旅籠町17
	加藤勉(各務)	昭17・3・31～昭20・3・31	岐阜県加茂郡久田見村125
	横山重一	昭17・3・31～昭19・3・31	山県郡高富町椎倉
	今津博夫	昭17・3・31～昭21・3・31 昭23・3・31～昭27・3・31	名古屋市南区本星崎町北之3587
	野津畠	昭17・3・31～昭22・4・20	岐阜市梅ヶ枝町1－17(岐阜高)
	神戸巴	昭17・3・31～昭18・3・31	岐阜県加茂郡東白川村神土630
	勝野みきゑ	昭17・3・31～昭26・3・31	岐阜市厚見上川手429(死亡)
	高橋美代子	昭17・3・31～昭18・3・31	岐阜市北野町
	神山通子(藤井)	昭17・3・31～昭25・3・31	福岡県遠賀郡岡垣町東海老津
	栗林廉子	昭17・5・31～昭22・4・30	岐阜市鶴田町二丁目
	鍛代美恵子	昭17・8・31～昭18・3・31	岐阜市加納村松町1の1
	小森好子(若原)	昭17・12・31～昭20・3・31	揖斐郡揖斐川町小野
	川瀬知勝	昭18・3・31～昭20・3・31	安八郡大藪町(安八郡仁木小長)
	久世富春	昭18・3・31～昭18・12・25	大垣市竹島町376(死亡)
	江崎範男	昭18・3・31～昭23・2・5	岐阜市千手堂北町2の16(死亡)
	村木進	昭18・3・31～昭26・5・16	岐阜市長者町15番地
	杉山静子	昭18・3・31～昭19・3・31	岐阜市羽根町(旧氏名武藤優子)
	各務照子(土本)	昭18・3・31～昭20・8・31	岐阜市鷺山若草町
	酒向敏子	昭18・3・31～昭32・3・31	岐阜市長良桜井町2(鷺山小)
	楠まさ子(本田)	昭18・3・31～昭20・3・31	揖斐郡大野町
	青木る里子(堀)	昭18・3・31～昭21・3・31	岐阜市長良東郷町1

職名	氏　名	在職期間	住所又は家族の住所( )内は備考
	田中貞一郎	昭18・9・30～昭22・12・31	岐阜県益田郡萩原町中呂
	野村勝利	昭19・3・31～昭20・12・31	岐阜市本荘302の1
	山田正子(松井)	昭19・3・31～昭20・9・30	岐阜市鶉5922－1(加納西小)
	小塩多寿子	昭19・3・31～昭20・5・31	岐阜市本荘432
	円山和子	昭19・3・31～昭19・9・30	鹿児島県大島郡大和村戸円1013
	神原可称	昭19・3・31～昭20・12・31	岐阜市福富326
	岡田婦美子	昭19・3・31～昭20・12・31	岐阜市長森岩地444
	大野辰美	昭19・5・20～昭23・6・30	岐阜県山県郡大桑村2642
	三輪滋子	昭19・8・31～昭20・9・30	岐阜県養老郡時村上751
	清水種子	昭19・11・30～昭20・8・11	岐阜市蜂屋町3(死亡)
	丹羽流一	昭20・3・31～昭20・8・9	岐阜市長良若葉町1丁目1(死亡)
	村瀬節子	昭20・3・31～昭22・6・30	岐阜市長良弁天町571
教頭	汲田史郎	昭20・3・31～昭34・3・31	岐阜市岩崎1266
	野々村稔	昭20・3・31～昭23・3・31	岐阜市方県
	安藤久子(長谷川)	昭20・3・31～昭34・3・31	岐阜市美島町4
	大口重利	昭20・4・30～昭20・9・30	岐阜市千手堂北町1の14
	野田登美子	昭20・4・30～昭24・10・15	岐阜市長良千代田町
	久野松枝(加藤)	昭20・6・30～昭21・3・31	岐阜市長良金華町2(本巣高)
	山本春子	昭20・6・30～昭33・3・31	岐阜市花沢町1の5(厚八中)
	高橋重信	昭20・9・30～昭22・4・20	岐阜市本荘久保見1316(中京運輸)
	林公子	昭20・9・30～昭32・3・31	岐阜市夕陽ヶ丘1
	中村貞三	昭20・9・30～昭23・3・31	岐阜市下茶屋町17
	宇佐見巴(金井)	昭20・9・30～昭20・10・31	大阪府八尾市久宝寺町
	中村千鶴子	昭20・12・31～昭23・9・30	岐阜市加納沓井町31
校長	後藤弥三	昭21・3・31～昭28・3・31	大垣市加賀野町640の2(死亡)
	土田勇	昭21・3・31～昭22・3・31 昭23・10・31～昭24・3・31 昭25・3・31～昭35・3・31	岐阜市上城田寺227(鷺山小長)
	栗田喜代子	昭21・3・31～昭27・1・12	岐阜市天神町南組(死亡)
	松野広子	昭21・3・31～昭32・3・31	岐阜市本町1丁目39(本荘小)
	河地真知子	昭21・3・31～昭23・9・30	岐阜市敷島町6の5

職名	氏　　名	在職期間	住所又は家族の住所( )内は備考
	福井弘子(柿内)	昭21・3・31～昭23・3・31	岐阜市木田
	西村君子	昭21・3・31～昭32・3・31	岐阜市鶴田町1丁目中組(鏡島小)
	堀口すゑの	昭21・3・31～昭32・3・31	岐阜市本町3丁目1(梅林小)
	酒井邦子(井上)	昭21・3・31～昭26・9・1	岐阜市三輪805(岩野田小)
	平松好子(棚橋)	昭21・3・31～昭23・3・31	愛知県一宮市葉栗光明寺
	森　泰三	昭21・5・31～昭25・3・31	羽島郡下羽栗村円城寺213
事務	水野　登	昭21・12・31～昭28・3・31	岐阜市鷺山古川町4丁目
	服部一美	昭22・3・31～昭27・3・31	岐阜市長良養老町1丁目(服部塾)
	長谷川ふみゑ(高瀬)	昭22・3・31～昭26・3・31	岐阜市鷺山本通り1丁目
	小島千枝	昭22・4・20～昭34・9・27	岐阜市佐久間町43
	大前英二	昭22・7・31～昭23・6・30	東京都
	白木栄彦	昭22・8・31～昭23・4・30	岐阜市萱場442
	尾藤英彦	昭22・10・31～昭34・3・31	岐阜市茜部山之上651
	河田義雄	昭23・3・1～昭24・3・31	岐阜市城田寺112
	丹羽正子	昭23・3・31～昭35・3・31	岐阜市長良若葉町1丁目1
	留田日出男(北川)	昭23・3・31～昭31・3・31	岐阜市彦坂753(茜部小教頭)
	住哲子(玉井)	昭23・3・31～昭36・3・31	岐阜市長良福泉53番地
	山内きみ子	昭23・3・31～昭33・3・31	岐阜市魚屋町5(早田小)
	児島正	昭23・6・30～昭36・3・31	本巣郡本巣町曽井中島(穂積中)
	伊藤栄	昭23・8・31～昭36・3・31	岐阜市佐久間町1の1(三里小)
	林　千世子	昭23・8・31～昭24・3・31	岐阜市茜部432
	小森澄子(坂井)	昭23・9・30～昭25・3・31	岐阜市芥見諏訪80－163
	小森芳勝	昭24・3・31～昭35・3・31	岐阜市粟野1145の1
	恩田甲子呂	昭24・3・31～昭27・3・31	東京都新宿区東大久保2の11
	山川俊二	昭24・3・31～昭34・3・31	岐阜市吾妻町東組22(梅林小)
	松田美知代	昭24・3・31～昭25・3・31	名古屋市千種区猪高町猪子石字よもぎ洞50－47
	栗本君雄	昭24・3・31～昭26・3・31	岐阜市則武2545
	鈴木智子	昭24・3・31～昭34・3・31	名古屋市千種区田代町瓶入19146
	清水千恵子	昭24・3・31～昭31・3・31	名古屋市東区橦木町3の16
	竹村喜久子(上野)	昭24・3・31～昭36・3・31	岐阜市長良万代町1丁目(早田小)

職名	氏　名	在職期間	住所又は家族の住所(　)内は備考
	内藤紀男	昭24・3・31～昭26・3・31	岐阜市菅原町3(岐阜教育事務所)
養護婦	磯部志ず子	昭24・3・31～昭26・3・31	岐阜市加納前田町37
	柳瀬茂信	昭24・10・15～昭36・3・31	大垣市西ノ川町(大垣市北中)
	渡辺政枝	昭25・3・31～昭36・3・31	岐阜市長良織田町1(伊奈波中)
	後藤　守	昭25・3・31～昭28・3・31	岐阜市岩田坂南町(羽島中)
	武藤信子	昭25・3・31～昭31・3・31	岐阜市長良城西町2(加納西小)
	安田百合子	昭25・3・31～昭35・3・31	岐阜市長良杉ノ町2丁目
	藤井たみ	昭25・5・20～昭28・3・31	岐阜市近島237の1(則武小)
	前田かず子	昭25・12・31～昭27・3・31	武儀郡武芸川町跡部993(長森北小)
	和田教雄	昭26・4・1～昭37・3・31	岐阜市加納奥平町(長森北小教頭)
	中村庄太郎	昭26・4・1～昭36・3・31	山県郡高富町本町1(死亡)
	加藤喜久子(堀)	昭26・4・1～昭27・3・31	東京都渋谷区桜丘町4の2
養教	森　千代子	昭26・4・1～昭37・3・31	岐阜市日光町9丁目50番地
	中村すえの	昭26・6・1～昭37・3・31	岐阜市長良大平町1
	橋田鈴子(柴田)	昭26・9・1～昭37・3・31	岐阜市鷺山清州町6丁目
	加藤亮一	昭26・12・1～昭27・3・31	岐阜市加納新町91
校長	鷲見臣一郎	昭27・3・31～昭36・3・31	岐阜市日野本郷(美濃加茂市教育長)
	水野花子	昭27・3・31～昭36・3・31	岐阜市吾妻町
	古川幸男	昭27・3・31～昭38・3・31	各務原市蘇原村雨町(養老池辺小長)
	青木俊夫	昭27・3・31～昭37・3・31	岐阜市梅河町
	西脇郁子(木野村)	昭27・3・31～昭33・3・31	岐阜市長良福江町
	伊佐治郁郎	昭27・3・31～昭33・3・31	岐阜市崇福寺(美濃教育事務所)
	棚橋澄江	昭27・8・31～	岐阜市鷺山1769の2
事務	杉山市郎	昭28・4・1～昭37・3・31	岐阜市江川町21(死亡)
	真鍋亨山	昭30・4・1～昭35・3・31	岐阜市万力町(岐阜高校)
	赤座澄子	昭31・4・1～昭38・3・31	岐阜市長良大前町
	宮田博江(吉村)	昭31・4・1～昭38・3・31	岐阜市白木町
	関谷光子	昭31・11・1～昭38・3・31	岐阜市玉姓町
	篠田正光	昭32・4・1～昭39・3・31	岐阜市日光町9丁目40(本郷小)
	橋詰美智子	昭32・4・1～昭40・3・31	岐阜市長良平和通り2(岩野田小)

職名	氏　名	在職期間	住所又は家族の住所(　)内は備考
	井川　貞	昭32・4・1～昭40・3・31	岐阜市旦の島180(早田小)
	堀部　律	昭32・4・1～昭40・3・31	岐阜市高森町4
	武藤信子	昭32・4・1～昭39・3・31	岐阜市大黒町2の10(長森北小)
	桐山富美子	昭32・4・1～昭41・3・31	岐阜市長良福光(徹明小)
	篠崎きみ	昭33・4・1～昭40・3・31	岐阜市長良松籟町
	山川冬樹	昭33・4・1～昭40・3・31	本巣郡糸貫町見延(恵光学園長)
	加藤義男	昭33・4・1～昭41・3・31	岐阜市黒野北町50(徹明小)
	中島利子	昭33・4・1～昭40・3・31	岐阜市長森野一色(芥見小)
教頭	梅田一雄	昭34・4・1～昭37・3・31	岐阜市茶屋新田(東海女短大事務)
	森崎栄太郎	昭34・4・1～昭41・3・31	岐阜市茜部新所(厚見小)
	野中和子	昭34・4・1～昭41・3・31	岐阜市桜通り6
	臼井正雄	昭35・4・1～昭47・3・31	岐阜市鶉5570(市厚生課)
	松原伊都	昭35・4・1～昭39・3・31	岐阜市長良新屋敷
校長	林　貞二	昭36・4・1～昭39・3・31	本巣郡真正町上真桑
	市原　昇	昭36・4・1～昭43・3・31	岐阜市長良高見(華陽小)
	矢島正夫	昭36・4・1～昭44・3・31	山県郡高富町大桑(岩野田小)
	田中道子	昭36・4・1～昭43・3・31	岐阜市早田1524の3(三里小)
	中野美代子	昭36・4・1～昭43・3・31	岐阜市長良花ノ木町3(長森北小)
	神山　武	昭36・4・1～昭43・3・31	山県郡高富町椎倉397(鷺山小)
	細野豊子	昭36・5・1～昭37・3・31	岐阜市長良光栄町
教頭	高橋　章	昭37・4・1～昭43・3・31	岐阜市芥見1900(岩野田中長)
	宇野美代子	昭37・4・1～昭44・3・31	岐阜市長良杉乃町3(早田小)
	野村　由	昭37・4・1～昭44・3・31	岐阜市鷺山正木栄町(木田小)
	内藤文子	昭37・4・1～昭44・3・31	岐阜市菅原町3(本荘小)
	藤垣淑子	昭37・4・1～昭39・3・31	岐阜市長良中野町3060の1
	武藤好雄	昭37・4・1～昭40・1・23	山県郡高富椎倉(死亡)
養教	長谷川早苗	昭37・4・1～昭45・3・31	岐阜市上川手271(市養護学校)
事務	田島宗治	昭37・4・1～昭44・3・31	不破郡関ヶ原町(本荘小)
	加藤禎三	昭38・4・1～昭45・3・31	岐阜市長良真福寺(茜部小)
	室　三千子	昭38・4・1～昭45・3・31	不破郡垂井町(垂井郵便局)

職名	氏　名	在職期間	住所又は家族の住所(　)内は備考
	田中秀夫	昭38・4・16～昭39・3・31	岐阜市新興町
校長	太田武夫	昭39・4・1～昭43・3・31	岐阜市加納高柳町2
	大橋左門	昭39・4・1～昭42・9・1	岐阜市元宮町3(加納西小)
	中村昭夫	昭39・4・1～昭46・3・31	本巣郡北方町(加納西小)
	山下光子	昭39・4・1～昭46・3・31	岐阜市福土山町3533(岩野田小)
	小寺美和子	昭39・4・1～昭46・3・31	岐阜市領下110(三里小)
	鈴木　貞	昭39・4・1～昭46・3・31	岐阜市長良西前野25(則武小)
	堀口ちよ	昭40・4・1～昭45・3・31	岐阜市矢島町2
	野田雅之	昭40・4・1～昭44・3・31	岐阜市加野団地(早田小教頭)
	木村勝次	昭40・4・1～昭47・3・31	岐阜市芥見5855の66(長森南小)
	渋谷静枝	昭40・4・1～昭47・3・31	岐阜市長森細畑979(茜部小)
	東屋清子	昭40・4・1～昭47・3・31	岐阜市太郎丸2060(常盤小)
	吉田あきゑ	昭40・4・1～昭47・3・31	岐阜市桜木町1(市橋小)
	沢部　豪	昭40・4・1～昭42・3・31	岐阜市長良有明町(長良小)
	長谷川ふみゑ	昭40・4・1～昭40・6・16	岐阜市鷺山本通り1
	安藤　勝	昭41・4・1～昭46・3・31	岐阜市長良竜東町5(岐北中)
	森本孝一	昭41・4・1～現在勤	岐阜市大洞607の112
	高橋　久	昭41・4・1～現在勤	岐阜市吹上町
	林　初子	昭42・4・1～現在勤	岐阜市鷺山清州町1
校長	松田善逸	昭43・4・1～昭44・3・31	岐阜市長良八代(済美学院本部)
教頭	鷲見礼司	昭43・4・1～現在勤	岐阜市松山町10
	遠山秀夫	昭43・4・1～昭46・3・31	岐阜市石谷(山県郡伊自良南小長)
	杉下喜美恵	昭43・4・1～現在勤	岐阜市本郷町4
	安田昭二	昭43・4・1～昭46・3・31	岐阜市古市場195の1(西郷小)
	浦崎浩二	昭43・4・1～現在勤	岐阜市東粟野
	堀部　満	昭43・4・1～昭45・3・31	本巣郡糸貫伝生町655(長良小)
校長	居波重邦	昭44・4・1～昭46・3・31	岐阜市加納大手町1(南青年会館)
	種田信子	昭44・4・1～現在勤	本巣郡糸貫高砂
	黄倉　崔	昭44・4・1～現在勤	岐阜市長良松籟町1の25
	桑原仲子	昭44・4・1～現在勤	岐阜市西野町2若葉荘7

職名	氏　名	在職期間	住所又は家族の住所(　)内は備考
	奥田孝朗	昭44・4・1～現在勤	岐阜市三田洞492の41
	浅野佳子	昭44・4・1～現在勤	岐阜市黒野交人509
事務	北洞洋子	昭44・4・1～昭45・3・31	岐阜市旦之島
	山田喜秋	昭45・4・1～昭47・3・31	岐阜市三田洞659(市養護学校)
	高木文子	昭45・4・1～現在勤	岐阜市加納南陽町2の63
	武藤一男	昭45・4・1～現在勤	岐阜市溝口183
	加川よし江	昭45・4・1～現在勤	岐阜市長良福光柿の木前
事務	大野玲子	昭45・4・1～現在勤	岐阜市日置江2832
養教	鹿島君子	昭45・4・1～現在勤	岐阜市長良福田町1の8
校長	吉岡　勲	昭46・4・1～現在勤	岐阜市又丸897の5
	島塚ゆきの	昭46・4・1～現在勤	岐阜市鷺山若草町1801
	加藤明子	昭46・4・1～現在勤	岐阜市加納朝日町3の35
	鈴木儁子	昭46・4・1～現在勤	岐阜市曙町1の1
	深尾美代子	昭46・4・1～現在勤	岐阜市山県岩508
	加藤宏曜	昭46・4・1～現在勤	岐阜市本町2の30
	片野雅夫	昭46・4・1～現在勤	岐阜県安八郡輪之内町四郷1750
	林　伸一	昭47・4・1～現在勤	岐阜市大縄場3の17
	松尾房子	昭47・4・1～現在勤	岐阜市田端15
	森井俊介	昭47・4・1～現在勤	岐阜市織田町2の18栄荘
	幅　岳志	昭47・4・1～現在勤	岐阜市中新町17
	小見山佳子	昭47・4・1～現在勤	羽島郡笠松町西金池98

歴代校医・薬剤師

校医	天野暢二	明33・7・24～昭2・11・25	(内科・死亡)
〃	宮島弘二	大15・4・14～昭23・3・31	岐阜市長良真福寺(歯科)
〃	野川三秀	大15・4・19～昭13・6・10	岐阜市神室町4(眼科・死亡)
〃	加野春次	大15　～昭16・7・19	岐阜市上新町(内科・死亡)
〃	里見千代子	昭13・7・5～昭15・8・31 昭24・4・1～昭27・10・31	岐阜市上竹屋町(眼科)
〃	宇佐美宗雄	昭16・7・28～昭22・3・31	岐阜市鞍屋町30(内科)
〃	松井太郎	昭22・4・1～昭40・3・31	岐阜市上茶屋町30の2(内科)

職名	氏　名	在職期間	住所又は家族の住所(　)は備考
校医	安部重敏	昭23・4・20～現在勤	岐阜市上大久和町(歯科)
〃	服部貴芳	昭24・9・10～現在勤	岐阜市今小町25(耳鼻咽喉科)
〃	野川　東	昭27・11・　～昭28・6・20	岐阜市神室町4(眼科・死亡)
〃	天野純蔵	昭29・4・1～昭32・3・31	岐阜市川端町6(眼科)
〃	河口春子	昭32・4・1～昭33・3・31	岐阜市湊町(小児科)
〃	山田　守	昭32・4・1～現在勤	岐阜市今小町(眼科)
〃	加野史郎	昭34・4・1～現在勤	岐阜市上新町(内科)
〃	兼松　薈	昭42・4・1～現在勤	岐阜市矢島町(小児科)
〃	安部敏彦	昭44・4・1～現在勤	岐阜市上大久和町(歯科)
薬剤師	西川吉三郎	昭9・8・15～昭23・3・31 昭30・4・1～昭43・3・31	岐阜市伊奈波通り1(死亡)
〃	近藤浩康	昭43・4・1～昭47・3・31	岐阜市島新町2の16
〃	堀江久男	昭47・4・1～現在勤	岐阜市桜通り1

歴代ＰＴＡ役員

昭和	会長	副会長	幹事(書記)	会計	会計監査	
22	浅野　久蔵	桜井　多市				
23	〃	〃				
24	松井　太郎	栗本　孝耀				
25	〃	〃				
26	浅野　久蔵	鷲見　喜七	村木　進	水野　登	後藤　喜八	服部かつ子
		安田　てる	渡辺　一江	朝居　稚夫	中川好太郎	
27	桑原　善吉	栗本　孝耀	朝居　稚夫	水野　登	橘内　順正	松野　俊子
		斎場　花枝	汲田　史郎	河口　玄昌		
28	〃	〃	〃	河口　玄昌	岡田　兵助	神谷　作市
		〃	〃	杉山　市郎	後藤　誠一	
29	中川好太郎				林　基吉	川村　かつ
		〃	〃	〃	川島　兵助	
30	〃	松井　太郎	〃	岡田　兵助	西垣　秀吉	沢田勢津子
		斎場　花枝		杉山　市郎	高木　甚一	

昭和	会長	副会長	幹事(書記)	会計	会計監査	
31	中川好太郎	松井　太郎	朝居　稚夫	田代良三郎	林　隆敏	川村　かつ
		斎場　花枝	汲田　史郎	杉山　市郎	川島　兵助	
32	〃	松井　太郎	児島　正	〃	河口　玄昌	伊藤直二郎
		入江　秀子	汲田　史郎		遠藤　貞子	
33	〃	〃	〃	川島　兵助	川出善太郎	丹羽　清二
				杉山　市郎	沢田勢津子	
34	〃	〃	児島　正	川出善太郎	山本佐一郎	外山　仁子
			梅田　一雄	杉山　市郎	林　三郎	
35	〃	加野　史郎	児島　正	山本佐一郎	毛利　吉光	外山　仁子
		神谷　房子	梅田　一雄	杉山　市郎	加藤　竜三	
36	〃	加野　史郎	梅田　一雄	林　三郎	尾関　一郎	奥田たづ子
		野村　岳子		杉山　市郎	山田　定	
37	丹羽　清二	毛利　吉光	高橋　章	尾関　一郎	加野　史郎	奥田たづ子
		谷川　房子	山川　冬樹	田島　宗治	藤田　皖護	
38	〃	毛利　吉光	伊勢間美代子	〃	加野　史郎	奥田たづ子
		野村　岳子	山川　冬樹		藤田　皖護	天野　早苗
39	〃	家田　一雄	〃	〃	後藤博三郎	丹羽　静江
		野村　岳子			藤田　皖護	天野　早苗
40	船戸　茂雄	〃	田井　秋江	〃	斎場　孝彦	丹羽　静江
			堀口　ちよ		説田　信義	井上美佐緒
41	〃	名和　正一	杉本　勇次	若井　秀一	河合慶太郎	中島千枝子
		大島　光子	堀口　ちよ	田島　宗治	加藤　領一	岩崎千鶴子
42	林　義栄	説田　信義	林　彰一郎	〃	日比野信雄	伊藤　久子
		柏木　和子	臼井　正雄		吉田　正	井上美佐緒
43	〃	山吉　二郎	林　昇	斎場　道子	横幕　統平	伊藤　久子
		堀　喜久子	臼井　正雄	田島　宗治	吉田　正	井上美佐緒
44	若井　秀一	山吉　二郎	〃	藤吉　正光	横幕　統平	伊藤　久子
		岩崎千鶴子		北洞　洋子	木村　富造	斎場　道子
45	〃	〃	清水　保	藤吉　正光	林　昇	石黒　恵子
			臼井　正雄	大野　玲子	平井　照二	斎場　道子

昭和	会長	副会長	幹事(書記)	会計	会計監査	
46	若井　秀一	林　昇	清水　保	藤吉　正光	平井　照二	市橋　庄介
		村瀬美代子	山田　喜秋	大野　玲子	日下部博子	喜多　幸子
47	〃	平井　照二	小坂井純一	吉田　周平	清水　保	喜多　幸子
		村瀬美代子	堀江　一英	大野　玲子		
			日下部博子			
			森本　孝一			

歴代金華児童愛護会役員

昭和30年度　有志６名にて交通整理を実施

宮部　貞一　　中村　貞三　　森　正夫

富成　沢治　　山田　正巳　　後藤文治郎

	会長	副会長
31年度	宮部　貞一	
32	〃	
33	〃	
34	〃	
35	森　正夫	
36	〃	
37	〃	
38	〃	
39	〃	小谷　亭一
40	小谷　亭一	山元　健一
41	〃	林　彰一郎
42	〃	〃
43	林　彰一郎	日比野信雄

44年度より、ＰＴＡに加入

編　集　後　記

くしくも由緒ある本校の創立百周年にめぐり合い、その記念誌の編集にたずさわることを無上の光栄とし、日夜奮励努力してきたが、遂に発刊することができたことを非常な喜びとするものである。

想いおこせば昭和45年12月15日、それはグリーンベルト改造完成の除幕式の日、私は次の仕事として、本校百年の教育の歩みを明らかにしようと決意したのである。そして構想を練り、次の具体的計画を立てた。内容として１年度毎に教育目標・研究主題を明らかにし、そのためどんな行事を持ち、学校規模はどんなで、その教育を支えた先生は誰々であったかということである。形式としてＡ５版、横書き、１年度を２頁とし、左頁に学校目標・研究主題・行事・学級担任一覧表・職員写真、右頁にその年度の特記事項の写真をのせる。

昭和46年５月より校務のひまを見つけては調査を始めた。学校目標・研究主題・行事は順調に進んだが明治・大正・昭和の学校日誌等を調べるのだから大変根気のいる仕事である。学級担任一覧表はそのものずばりの資料がなく種々の書類から１つ１つ丹念に調べ上げた。しかし１年間の中には担任が変ったり、児童数の変動があるので規準を設ける必要が生じてきた。それで学級担任一覧表は昭和24年度までは４月30日現在、それ以後は５月１日現在とした。従って例へば６年の担任や児童数は必ずしも卒業時と１致していない。次は写真探しである。横井フォート様の御厚意にすがり学校にあるのや御父兄のを接写して四百余枚になったので、その中の二百余枚を使って、昭和47年３月に現在校長室にある写真年表を完成した。

昭和47年度に入って創立百周年記念事業実行委員会ができ、その中に記念誌編集委員会が発足した。６月23日の編集委員会で私のこれまでの個人研究がそのまゝ引きつがれることになった。それから編集委員だけでなく実行委員の方々にも編集をお助け願うことになった。学校創立より濃尾地震までを記事にする者、明治・大正の校下の様子を調べる者、明治・大正の卒業生の談をきいてまとめる者、学級担任の不明な箇所をきく者、元校長先生・元ＰＴＡ会長様に記事をお願いする者、職員・ＰＴＡ役員の名簿を作る者、写真等を借りて選択し複製する者等に分れ、大々的に活動を始めた。それから半年の間、懸命の努力が続けられた。中には東京まで記事とりに出かけた平井照二氏、学級担任の不明な箇所をきゝこみで埋めて下さった清水保氏、明治・大正の校下の様子を調べまとめて下さった片野雅夫先生、写真の複製に骨身を惜しまなかった貝崎栄一氏、その度毎にわずかな枚数の写真でも心よく出張し撮影したり複製して下さった小森写真館様、編集全体の計画を推進し、堅牢優雅な製本装訂に苦心された編集委員長の吉田周平氏など、みんなの総力を挙げての努力の結晶が稔り、本校の吉岡勲校長先生の校閲をえて、昭和47年12月12日編集のすべては終ったのである。

編集に際しては、富田幸治先生・柳原憲一先生をはじめ、元校長先生・元ＰＴＡ会長さまから玉稿をいただき感涙にむせんだことである。又村瀬保夫氏始め卒業生の皆様から談をきくについては心からなる御協力をいただき厚く御礼を申し上げる次第である。資料集めについては

仏壇から出てきたとか、蔵の中から見つけたとかいって1枚又1枚とわざわざ持ってきて下さった方、写真やノートのつまったボール箱を届けて下さった方、特に秘蔵の川合玉堂画を巻頭写真にとして心よく提供して下さった河合良信氏など御礼の言葉もない程、有難いことである。

かくして皆さまの善意と御協力とが積りに積って一千余枚の写真等となり、その中から四百余枚を本誌に掲載することができた。次に本誌掲載の資料提供者の名をのせ御礼とする。

（ 鷲見礼司　記 ）

資料を提供された方の御芳名

順序不同　敬称略

林　公子	松山町	堀口すえの	本町3	富田　幸治	揖斐郡揖斐川町
小林　芳子	大仏町	寺町　百助	本巣郡糸貫町	浅野　菅二	若松町
藤吉　正光	松ヶ枝町	森　みつ	湊町	山田　好雄	矢島町1
安田　千蔵	東材木町	中川　規雄	湊町	津谷　みや	鞍屋町
古田　正彦	松山町	生月　義郎	元浜町	市田　幸輝	米屋町
川村　かつ	大宮町2	川島　悦	木造町東	岩井　勤	津島町3の13
河合　良信	東材木町	松原　清吉	東材木町	杉下喜美恵	本郷町4
藤谷　静	松ヶ枝町	高井　勝	伊奈波1	三輪　秀子	湊町
安井鉦治郎	鞍屋町	小谷　亭一	上茶屋町1	日比野三子	矢島町1
武藤　庄一	今町2	伊藤源次郎	本町3	小林　よう	川畔町
山村　清	啓運町	宇野　淳成	下新町	大橋　頼二	大宮町1
日下部博子	中竹屋町	堀　重吉	本町5	片野　知二	安八郡輪之内町
平井　照二	米屋町	古田　正男	本町6	宮田　隆一	本町1
堀江　一英	久屋町	松井　猛	矢島町2	小栗　慧蘊	長森野一色
村瀬美代子	本町3	加藤　敏夫	梶川町	真鍋　亨山	万力町
高崎　孝	下新町	小枝　峯男	下新町	中川好太郎	下茶屋町
加藤　明子	加納朝日町3	杉山　俊雄	今町1	広瀬　好郎	長良東郷町
森本　孝一	大洞、緑山	松井　利雄	矢島町2	岡田　昌二	玉井町
霜平　嘉一	中大桑町	梅田　歌子	西材木町	中村　浅吉	神田町4
平松　ぎん	元浜町	河村市太郎	米屋町	大野　新司	東材木町
十六銀行					

参考文献

本　名	著　者	本　名	著　者
美濃奇観	三浦千春	岐阜県警察沿革史	森　義一
岐阜美屋計	長瀬寛二	岐阜消防沿革史	森　英二
美濃の魁	福井熊次	岐阜市案内	岐阜市教育会
岐阜県教育五十年史	岐阜県教育会	岐阜市全景の図	
学制90年史	文部省	岐阜市街新全図	
岐阜市史	岐阜市役所		

創立百周年記念事業実行計画

1　事業の目的

岐阜市発祥の地に金華小学校が創立されて以来、百年を迎えるに当り有意義に各種記念事業を行なう

2　事業を行なう方法

① 地味に行ないたい

② 各事業の実施に当っては、学校・同窓会及び広報会をはじめ関係各位と連絡を保って協力を得ながら行ないたいと思う

③ ＰＴＡの中に金華小学校創立百周年記念事業実行委員会を作り、事業の遂行に当る

3　事業の内容

記念事業として下記の事を行なう

① 記念式典
② 記念講演
③ 記念誌発行
④ 記念植樹
⑤ 記念運動会
⑥ 記念児童作品展覧会
⑦ 記念児童文集作製

4　委員会の組織

記念事業の実行に当り下記の通り委員会を組織する

顧問	吉岡　勲　同窓会代表
実行委員長 実行副委員長	若井　秀一 平井　照二　村瀬美代子
総務委員会	小坂井純一　吉田　周平　堀江　一英　鷲見　礼司 日下部博子　清水　保　喜多　幸子　森本　孝一
記念式典委員会	○村瀬美代子　浅野　尚子　加藤　礼子　高木　文子 武山　悦子　村上　艶子　高木小夜子　深尾美代子 安藤　孝子　加藤　明子
記念誌編集委員会	○吉田　周平　中木　和水　高橋　正治　鷲見　礼司 酒井　一郎　貝崎　栄一　福田　和子　片野　雅夫

記念誌頒布委員会	○平井　照二　永田　稔　高崎　孝　島塚ゆきの 稲葉雄一郎　吉村　年江　児島　良子　林　初子 丸山　陽子　木村　富造　山村　知之 森　和子　村瀬　一郎　鈴木　淑子 中島　ひな　西野　洋一　神山　修次 大橋　昭三　加藤　重光
記念植樹委員会	○小坂井純一　長屋　実　奥田　孝朗　小見山佳子 伊藤源二郎　大橋　武治　加藤　宏曜　片野　雅夫 杉山　秀子　南谷　保子　黄倉　崔　高橋　久 村瀬　悦子
記念運動会委員会	○黄倉　崔　奥田　孝朗　浦崎　浩二　加藤　宏曜 片野　雅夫　高橋　久
記念児童作品展委員会	○林　伸一　加川よし江　浅野　佳子　幅　岳志 武藤　一男　森井　俊介
記念児童文集委員会	○浦崎　浩二　松尾　房子　種田　信子　杉下喜美恵 桑原　仲子　鈴木　儁子

創立百周年記念事業実行委員のつどい

編　集　室

昨年６月金華小学校創立百周年の記念事業実行計画が種々審議され、その中で記念誌を刊行する事になりました。この百年の間の長い歳月の教育の歩みを明らかにしようと編集方針を決めましたが、なんと云っても古い歳月の事ばかりで編集方針の立てかたに苦慮いたしました処が、幸に本校鷲見礼司教頭先生が、歴代校長先生の教育の実践・その年度の教育重点・目標・年間行事・学級担任等、広範囲にわたり本校の歩みの研究をされて、写真も相当数集めておられました。早速先生にお願いいたしました処、心よくご協力を賜りました。先生は、誠に周到にして緻密な計画をお立て下さいまして、私たちの先頭に立って編集に努力して戴き、この本が完成出来たのも教頭先生のお蔭と深く感謝しております。

片野雅夫先生には明治・大正時代の校下の研究資料を戴き、私たちの片腕となってご協力を賜り紙面を飾る事が出来ました。

玉稿・談話等皆さん方よりいただき一層の光彩を添え、実行委員・ＰＴＡ・全校下の皆様のご厚意ある資料の提供等を得て大成出来ました。この記念誌に寄せられたご助力に対して、私たちは終生忘れる事が出来ません。

本校卒業生である高田米吉氏には印刷をお引受け賜り並々ならぬ誠意と努力を惜みなく発揮いただき立派な本が出来ましたことを厚く謝意を表したく存じます。

最後に特に本誌の題字を内閣総理大臣田中角栄先生にお願い申し上げました処、予算編成、国会開会中にも拘らず揮毫を賜り、本誌に華を飾る事が出来、有難く感激しております。これまでにお骨折り下さいました方々にお礼申し上げます。

本誌の発刊準備・編集を手がけて十ヶ月、ここに漸く「金華小百年」の完成をみました。忠実に史実を綴りたく努力いたし、先輩諸氏にお尋ねもいたしましたが、大切な処が漏れたり、不備な所もあろうかと心配しております。

記念誌編集委員会

吉田周平
中木和水
酒井一郎
高橋正治
貝崎栄一
福田和子

鷲見礼司
片野雅夫

金 華 小 百 年

昭和48年３月１日印刷
昭和48年３月10日発行　（非売品）

発行　金華小学校創立百周年記念事業
実行委員長　若井　秀一
デレクター　加藤　孝司

印刷　㈱タカダ印刷　岐阜市若宮町８
製本　杉山製本紙工㈲　岐阜市金屋横町
製版　㈱岐阜写真製版所　岐阜市鷹見町３